

令和6年度

養父市

まちづくり計画

実施計画書

# 目次

<b>経営企画部</b> . . . . .	<b>1</b>	<b>産業環境部</b> . . . . .	<b>206</b>
秘書課 . . . . .	2	農林振興課 . . . . .	207
経営政策・国家戦略特区課 . . . . .	9	林業活性化センター . . . . .	226
デジタルファースト課 . . . . .	17	農地政策課 . . . . .	229
経営総務課 . . . . .	20	環境推進課 . . . . .	241
税務課・収納対策室 . . . . .	55	商工観光課 . . . . .	250
<b>危機管理室</b> . . . . .	<b>61</b>	<b>まち整備部</b> . . . . .	<b>281</b>
防災安全課 . . . . .	62	土地利用未来課 . . . . .	282
情報課 . . . . .	69	地籍調査課 . . . . .	300
		建設課 . . . . .	302
		上下水道課 . . . . .	322
<b>市民生活部</b> . . . . .	<b>74</b>		
市民課 . . . . .	75	<b>こども・夢・えがお部</b> . . . . .	<b>330</b>
やぶぐらし・地方創生課 . . . . .	87	子育て応援課 . . . . .	331
人権・協働課 . . . . .	94		
公民館 . . . . .	113		
まちづくり文化交流課 . . . . .	128	<b>会計課</b> . . . . .	<b>349</b>
<b>健康福祉部</b> . . . . .	<b>131</b>	<b>議会事務局</b> . . . . .	<b>354</b>
社会福祉課 . . . . .	132		
介護保険課 . . . . .	164	<b>教育部</b> . . . . .	<b>359</b>
健康医療課 . . . . .	172	教育課 . . . . .	360
社会的処方推進室 . . . . .	204	学校給食センター . . . . .	384
		生涯スポーツセンター . . . . .	387
		こども学び課 . . . . .	394
		歴史文化財課 . . . . .	417

# 經營企畫面部

秘

書

課

# 実施計画書

事業名		市長交際費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	17	パートナーシップで目標を達成しよう						
実施主体	養父市			担当課	秘書課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
根拠法令等	養父市市長交際費の支出及び公表に関する要綱								
事業目的	対象	個人、団体							
	背景と目的	市政の推進に必要な外部との交際に係る経費を支出することにより、円滑な市政運営を行う。							
事業内容	事業概要	市政の推進に必要な外部との交際のために、慶祝、弔慰、見舞い、会費、贈答品当に係る経費を支出する。							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
財源内訳	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000				
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		養父市制20周年記念事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	秘書課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民等								
	背景と目的	令和6年度で養父市発足から20周年を迎えるに当たり、市制施行以降のあゆみを振り返るとともに、養父市まちづくり計画で目指す「居空間構想」を実現するために新たな決意をもって市制を展開する契機として「養父市制20周年記念式典」を開催する。								
事業内容	事業概要	20周年式典 ・20年のあゆみ（動画） ・県内市町、協定・交流市町長等を招待 ・記念アトラクション ・功労者表彰 など								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	H30年度 (15年)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	530	3,536								
財源内訳	一般財源	530	3,536	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		各種負担金			枝番	単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	17	パートナーシップで目標を達成しよう							
実施主体		養父市			担当課	秘書課				
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	諸費
根拠法令等										
事業目的	対象	団体								
	背景と目的	円滑な市政運営を行うため、他団体との連携を図る。								
事業内容	事業概要	全国市長会、近畿市長会、兵庫県市長会、教育再生首長会議、平和首長会議、脱原発を目指す首長会議への負担金								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)	
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費		884	884	884	884	884				
財源内訳	一般財源	884	884	884	884	884				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		統計調査事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	秘書課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	1	統計調査総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	個人、団体									
	背景と目的	各種統計業務の連絡調整を行い、円滑な統計事務の遂行を図る。									
事業内容	事業概要	近畿都市統計協議会 総会・統計講習会、兵庫県統計協会市部統計協議会 定例会（各市持ち回り）、統計業務に関する講習会等									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	204	182	182	182	182						
財源内訳	一般財源	173	152	152	152						
	国支出金										
	県支出金	31	30	30	30						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		全国家計構造調査費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	秘書課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費		
根拠法令等	統計法第二条第四項										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	家計の実態を調査し、全国及び地域別の世帯の所得分布、消費の水準及び構造などに関する基礎資料を得る。									
事業内容	事業概要	国から指定された地区の世帯を対象に、基本調査及び簡易調査を行う。調査年度は5年周期で、前は令和元年に実施。									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	0	1,233	0	0	0						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金										
	県支出金		1,233								
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		国勢調査費（調査区設定事務）			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針（SDGs）	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	秘書課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費		
根拠法令等	統計法第二条第四項										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	2025年実施予定である国勢調査の準備調査である。適正な調査が実施できるよう、調査単位区の設定を行う。									
事業内容	事業概要	2025年実施予定である国勢調査の調査区設定事務。調査は5年周期で行われる。前回の調査区設定は令和元年に実施。調査区を世帯数や面積等で設定する。									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	0	281	0	0	0						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金										
	県支出金		281								
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

經營政策・

國家戰略特區課

# 実施計画書

事業名		企画一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			11 住み続けられるまちづくりを						
		17 パートナーシップで目標を達成しよう									
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費		
根拠法令等											
事業目的	対象										
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営政策・国家戦略特区課の所管する事務を執行するための経費</li> <li>・地域公共会社に係る経費</li> </ul>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画関連業務に係る経費 848千円</li> <li>・会議録作成システム使用料 1,059千円</li> <li>・専門職大学連携事業委託料 2,000千円</li> <li>・地域公共会社経営委託料 20,000千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	24,048	23,907	23,907	23,907	23,907						
財源内訳	一般財源	24,048	23,907	23,907	23,907						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		広域行政事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費		
根拠法令等	但馬広域行政事務組合規約、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法										
事業目的	対象	市民ほか									
	背景と目的	社会の都市化や高齢化が進展する中、住民の行政に対するニーズは高まりを見せており、1つの自治体では解決できない問題や、非効率的な行政事務が多くなっている。そのため複数の自治体が広域的な行政サービスを行い、効率的、効果的なサービス向上を目指す。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但馬広域行政事務組合負担金 11,437千円</li> <li>・ 全国過疎地域連盟負担金 150千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	11,519	11,587	11,587	11,587	11,587						
財源内訳	一般財源	11,519	11,587	11,587	11,587	11,587					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		市総合計画費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画	第5次養父市行政改革大綱									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費		
根拠法令等	養父市附属機関の設置等に関する条例、養父市行政改革推進委員会設置条例、養父市大規模事業評価実施要項										
事業目的	対象	養父市民ほか									
	背景と目的	市政を遂行する上で生じる問題・課題の克服、事務事業の効率化などについて、行政内部の検討だけでは偏った対応になりかねない。そのため外部の専門家、又は市民の意見を聴き市政運営に反映させる。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市まちづくり計画推進に係る経費 1,227千円</li> <li>・養父市行政改革推進に係る経費 455千円</li> <li>・大規模事業評価検討会議に係る経費 439千円</li> <li>・養父市若者活躍会議に係る経費 1,486千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	2,202	3,607	2,121	2,121	2,121						
財源内訳	一般財源	2,202	3,607	2,121	2,121						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		交流ネットワーク事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし(生活)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民ほか								
	背景と目的	市域を超えた交流ネットワークを構築し、情報発信と情報共有、連携事業などを行い、円滑な市政運営を図る。								
事業内容	事業概要	<p>東京養父市会及び関西養父市会のネットワークを活用し、円滑な市政運営への施策を展開する。また、民間企業との人事交流などを行い地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市会(東京・関西)に関する経費 476千円</li> <li>・地域活性化企業人事業 3,600千円</li> <li>・万博首長連合負担金 100千円</li> <li>・大阪・関西万博フィールドパビリオン推進補助金 1,000千円</li> <li>・養父市国際交流協会補助金 210千円</li> <li>・国際交流事業 915千円</li> <li>・その他事務費 389千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	4,969	6,690	4,775	4,775	4,775					
財源内訳	一般財源	4,969	4,775	4,775	4,775					
	国支出金									
	県支出金		500							
	地方債									
	その他		1,415							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		地方創生・国家戦略特区推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			8	働きがいも経済成長も			
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費	
根拠法令等	国家戦略特別区域法 ほか									
事業目的	対象	市民、事業者								
	背景と目的	既出の規制緩和の実践と新たな規制緩和提案により国家戦略特区の推進を図るとともに、取組効果の測定と市民への効果的な周知を行い、市の経済活性化や住民福祉向上につなげる。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域会議、ワーキンググループへの出席、推進共同事務局の開催等新規提案や評価検証等に係る経費 1,530千円</li> <li>・ パンフレットやチラシの作成等による普及啓発費 436千円</li> <li>・ 特区の効果検証等に係る研究費 1,700千円</li> <li>・ 特区シンポジウムの開催 1,514千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		新たな規制緩和提案数					3件	3件	0件	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,933	5,180	5,180	5,180	5,180					
財源内訳	一般財源	6,633	5,180	5,180	5,180	5,180				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	4,300								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		居空間構想推進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			5	ジェンダー平等を実現しよう				
	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう					
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市内外の企業、市民ほか									
	背景と目的	<p>まちづくり計画で定めた「やぶ2050 居空間構想」を実現するために、仮想空間を活用し、つながり人口の創出・拡大を図る。</p> <p>また、未来の養父市を担う人材を育成していくために、産官学が連携してワークショップ等を実施していく。</p>									
事業内容	事業概要	<p>【メタバース活用促進事業（居空間構想推進員配置事業）】 メタバースを活用した観光振興、移住定住促進、地域コミュニティ活性化、文化・教育振興、地域物産開発などを展開するための専門員を配置し、市の活性化を図る。</p> <p>【未来の養父市を担う人材育成事業】 デジタル技術に関するワークショップ等を開催する。また、市直営事業から民間事業者主体もしくは非営利団体主体での事業に転換させることを目標とし、その機運醸成、設立準備に向けた環境を整備する。</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合				50%	10.2%	10.6%			
SNS等で積極的に養父市の魅力を情報発信している人の割合				30%	7.6%	6.0%					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	24,600	22,230	1,598	1,598	1,598						
財源内訳	一般財源	0	0	1,598	1,598	1,598					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	24,600	22,230								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		養蚕プロジェクト事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も	9	産業と技術革新の基盤をつくろう					
	12	つくる責任、つかう責任	17	パートナーシップで目標を達成しよう						
実施主体	養父市			担当課	経営政策・国家戦略特区課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養蚕産業								
	背景と目的	<p>関西地方で優れた養蚕文化が栄えた地域として、技術や文化の素晴らしさを再認識する取り組みである「養蚕プロジェクト」。養蚕技術の美容健康、医学的利用も視野に入れた新産業としての可能性を検討する。上垣守國の功績を継承、世界遺産・富岡と北近畿の絹の観光との連携を目指すプロジェクトを展開する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>令和の時代にあった養蚕業を展開するバイオコクーン研究所との連携を促進させ、事業者の養蚕業参入を支援する。また、「訪問かいこ」事業を実施するため、東京農業大学、かいこの里や福祉施設などと連携して事業を推進していく。また、京丹後市と養蚕に関する共同研究を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材費 1,000千円</li> <li>・ 共同研究委託料 200千円</li> <li>・ 旅費 398千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		養蚕関連事業に取り組む事業者数			3社	2社	2社			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,800	1,598	1,598	1,598	1,598					
財源内訳	一般財源	0	1,598	1,598	1,598					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	10,800								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

デジタル

ファースト課

# 実施計画書

事業名		自治体DX推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう		9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを		7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに					
実施主体	養父市			担当課	デジタルファースト課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費	
根拠法令等	・デジタル手続法 ・情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律 ・デジタル社会形成基本法									
事業目的	対象	市職員・市民								
	背景と目的	国が進めるデジタル化の推進を行うと共に、データ連携基盤の管理を行う。								
事業内容	事業概要	(主な事業) ・行政手続等のオンライン化の推進 (377千円) ・デジタルデバイド対策 (33千円) ・デジタル政策アドバイザーとの連携 (286千円) ・データ連携基盤関係経費 (611千円) ・旅費 (300千円) ・テレワーク兵庫運用負担金 (20千円)								
	前年度からの変更点	デジタルポイント事業による全市民へのカードの配付								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		SNS等で積極的に養父市の魅力を情報発信している人の割合					30%	7.6%	6.0%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	15,031	1,698	35,320	40,000	40,000					
財源内訳	一般財源	6,531	1,698	35,320	40,000	40,000				
	国支出金									
	県支出金									
	起債									
	その他	8,500								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		デジタル田園都市国家構想推進事業費		枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号				
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合					90%	
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを			7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに					
実施主体	養父市			担当課	デジタルファースト課						
会計区分	コード	1	一般会計			当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	6	企画費
根拠法令等	・デジタル手続法 ・情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律 ・デジタル社会形成基本法										
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	国が進めるデジタル田園都市国家構想に基づき、デジタル化による市民サービスの拡充を行う。									
事業内容	事業概要	(主な事業) ・高度AIを活用した認知機能低下対策 (150,000千円) 脳活動測定、社会生活状況、国保データベースのデータ等の分析を行い、認知機能の低下等を早期発見することで、早期に社会的処方を実施し、健康加齢につなげる。 ・歩数に応じたやっぶるポイント付与事業 (2,920千円) ・旅費等 (500千円) (主な歳入) 創生基金繰入金 (50,500千円) 躍動する兵庫応援事業 (市町連携枠) 交付金 (1,500千円) デジタル田園都市国家構想推進交付金 (100,000千円)									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		SNS等で積極的に養父市の魅力を情報発信している人の割合					30%	7.6%	6.0%		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	0	153,420	20,000	20,000	20,000						
財源内訳	一般財源	0	0	20,000	20,000						
	国支出金	0	100,000	0	0						
	県支出金	0	1,500	0	0						
	起債	0	0	0	0						
	その他	0	51,920	0	0						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 經營管理課

# 実施計画書

事業名		職員管理事務費			枝番		単位事業名																					
まちづくり計画	柱							ページ番号																				
	施策																											
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②																							
	個別計画																											
	横断的行動指針 (SDGs)																											
実施主体	養父市			担当課	経営総務課																							
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算																				
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費																			
根拠法令等	地方公務員法																											
事業目的	対象	市職員																										
	背景と目的	職員に関する経費 派遣職員経費、健康診断、公務災害、職員採用、会計年度任用職員に係る経費																										
事業内容	事業概要	<p>(歳入)</p> <p>国支出金：子ども・子育て支援事業費補助金 561千円          県支出金：医療的ケア児保育支援事業補助金 258千円          その他：派遣職員給与受入金 15,890千円、生命保険料取扱事務費2,000千円          雇用保険料 2,000千円、職員健診助成金 1,000千円、公舎利用料 649千円          地公災害保障還付金 200千円、非常勤公務災害受入金 12千円</p> <p>(歳出)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1. 会計年度任用職員給与関係 (給料、報酬、費用弁償、手当等)</td> <td style="text-align: right;">89,979千円</td> </tr> <tr> <td>2. 公務災害補償関係</td> <td style="text-align: right;">3,000千円</td> </tr> <tr> <td>3. 社会保険料/共済負担金</td> <td style="text-align: right;">48,043千円</td> </tr> <tr> <td>4. 雇用保険料</td> <td style="text-align: right;">8,000千円</td> </tr> <tr> <td>5. 健康診断関係</td> <td style="text-align: right;">3,617千円</td> </tr> <tr> <td>6. 借上公舎関係</td> <td style="text-align: right;">4,178千円</td> </tr> <tr> <td>7. 人事評価制度関係</td> <td style="text-align: right;">913千円</td> </tr> <tr> <td>8. システム改修 (勤勉)</td> <td style="text-align: right;">2,803千円</td> </tr> <tr> <td>9. その他</td> <td style="text-align: right;">16,900千円</td> </tr> </table>									1. 会計年度任用職員給与関係 (給料、報酬、費用弁償、手当等)	89,979千円	2. 公務災害補償関係	3,000千円	3. 社会保険料/共済負担金	48,043千円	4. 雇用保険料	8,000千円	5. 健康診断関係	3,617千円	6. 借上公舎関係	4,178千円	7. 人事評価制度関係	913千円	8. システム改修 (勤勉)	2,803千円	9. その他	16,900千円
	1. 会計年度任用職員給与関係 (給料、報酬、費用弁償、手当等)	89,979千円																										
	2. 公務災害補償関係	3,000千円																										
	3. 社会保険料/共済負担金	48,043千円																										
4. 雇用保険料	8,000千円																											
5. 健康診断関係	3,617千円																											
6. 借上公舎関係	4,178千円																											
7. 人事評価制度関係	913千円																											
8. システム改修 (勤勉)	2,803千円																											
9. その他	16,900千円																											
前年度からの変更点	法改正により会計年度任用職員の勤勉手当を計上、法改正に伴うシステム改修																											
事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)																				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)																							
事業費	169,540	177,433	175,372	175,372	175,372																							
財源内訳	一般財源	149,515	154,863	153,363	153,363	153,363																						
	国支出金		561																									
	県支出金	392	258	258	258	258																						
	地方債																											
	その他	19,633	21,751	21,751	21,751	21,751																						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		一般管理事務費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民及び職員								
	背景と目的	職員が職務を執行する上で必要な事務費を適正に執行することにより、円滑な事務の執行及び事務の効率化を図る。								
事業内容	事業概要	<p>本庁、各地域局の事務費等に係る予算 経費の削減を図りつつ、執務に必要な経費の適正な執行を図る。</p> <p>(歳入) 県支出金：社会保障・税番号制度システム整備費補助金 3,876千円 その他：元気な養父づくり応援基金繰入金 300千円、コピー使用料 204千円 郵券料受入金 1,432千円、芸術文化イベント入場券売払収入 520千円 他</p> <p>(歳出) 消耗品費 7,915千円、通信運搬費（電話代） 6,353千円 郵券料 15,918千円、OA機器リース料 2,368千円 など</p>								
	前年度からの変更点	施設警備保障委託料を庁舎管理費（△535千円）へ移管 複合機等のOA機器リース料（1,270千円）を庁舎管理費から移管								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)		実績見込 (R5)		実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	41,327	49,982	42,045	42,045	42,045					
財源内訳	一般財源	39,250	43,579	40,358	40,358	40,358				
	国支出金									
	県支出金		3,876							
	地方債									
	その他	2,077	2,527	1,687	1,687	1,687				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		南但広域行政事務組合負担金		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①			10年後の数値目標②					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)								
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
根拠法令等									
事業目的	対象	市民							
	背景と目的	自治体の処理すべき事務が複雑膨大となり、広範多岐にわたり、かつ、広域化するに従って、自治体が単独で処理することが困難な場合が多くなっていることから、このような行政需要に対応し、かつ、行政コストの効率化を図るため、広域行政を組織し、共通する課題の解決や事業を共同で実施する。							
事業内容	事業概要	南但広域行政事務組合（電算業務、ゴミ処理施設、広域消防等）の負担金 （歳入） 国支出金：子ども・子育て支援事業費補助金 1,296千円 県支出金：移譲事務交付金 236千円 デジタル基盤改革支援補助金 61,619千円 （歳出） 南但広域行政事務組合負担金 1,110,349千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	1,099,400	1,110,349	1,110,349	1,110,349	1,110,349				
財源内訳	一般財源	1,004,461	1,047,198	1,110,113	1,110,113	1,110,113			
	国支出金		1,296						
	県支出金	3,539	236	236	236	236			
	地方債	91,400							
	その他		61,619						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		職員研修費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象									
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の能力の向上のため研修を実施。</li> <li>・ 市職員の人材育成のため職員研修旅費等を計上</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>(歳入) その他：職員研修助成金 15千円</p> <p>(歳出) 階層別研修、兵庫県自治研修所、但馬広域行政事務組合等 ・ 講師等謝金1,233千円、研修旅費590千円、受験受講手数料600千円、負担金690千円  大学授業料等 536千円、職員研修委託料 2,757千円、その他 525千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,645	6,931	6,931	6,931	6,931					
財源内訳	一般財源	8,630	6,916	6,916	6,916	6,916				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	15	15	15	15	15				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		情報公開・個人情報保護審査会費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①			10年後の数値目標②					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	16	平和と公正をすべての人に						
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
根拠法令等	個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号) 養父市条例(養父市情報公開条例、養父市情報公開・個人情報保護審査会条例、養父市議会の個人情報の保護に関する条例、養父市個人情報の保護に関する法律施行条例、養父市情報公開条例施行規則、養父市議会の個人情報の保護に関する条例施行規程、養父市個人情報の保護に関する法律施行条例の施行に関する規則、養父市情報公開・個人情報保護審査会規則)								
事業目的	対象	市民							
	背景と目的	市民が市政に参加し、公正で民主的な市政を実現していくためには、市が市政について十分な説明を行うとともに、市政に関する情報が適時かつ正確に提供されることが求められている。市では養父市情報公開条例により市が保有する情報を請求に応じて公開し、養父市個人情報の保護に関する法律施行条例により、個人情報の取扱いに関して、適正な取扱いと個人の権利利益の侵害を防止している。情報公開の開示決定等及び個人情報の開示決定等について審査請求があった場合、第三者的立場から中立、公平に審査することを目的に設置する附属機関である。							
事業内容	事業概要	情報公開・個人情報保護審査会の設置に係る経費 (歳出) 情報公開・個人情報保護審査会委員報酬 40千円(委員長15千円、委員12.5千円) " 費用弁償 9千円							
	前年度からの変更点	個人情報保護審査会と情報公開審査会を集約し、情報公開・個人情報保護審査会として運用							
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)				
事業費	49	49	49	49	49				
財源内訳	一般財源	49	49	49	49				
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		契約事務費			枝番	単位事業名							
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号					
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）											
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%									
	個別計画												
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを										
実施主体		養父市			担当課	経営総務課							
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算					
予算費目		款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	1	一般管理費	
根拠法令等													
事業目的	対象	入札参加資格のある業者（建設工事546者 コンサル342者 物品役務736者）											
	背景と目的	<p>定期的に入札会及び入札参加者審査会を実施。                      全登録業者を対象に入札参加資格審査申請システムや電子契約システム、市内建設工事・測量コンサル登録業者64者を対象に電子入札システムを導入し、入札契約事務の円滑化・迅速化、関係職員や業者の負担軽減等を図る。</p>											
事業内容	事業概要	<p>1. 入札会（紙入札・電子入札）を毎月4回実施 ※電子入札…平成26年12月開始                      2. 入札参加者審査会を毎月2回実施                      3. 契約事務 ※電子契約…令和6年度導入予定                      4. 開札結果・発注見通し等の公表                      5. 入札参加資格審査申請（指名願）受付・登録事務 ※電子受付…令和4年1月開始</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 30千円</li> <li>・システム等使用料 231千円</li> <li>・電子入札共同運営システム負担金 263千円</li> </ul>											
	前年度からの変更点	電子契約システム新規導入、入札参加資格審査申請受付等業務人件費削除（隔年実施）											
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)					
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)							
事業費		695	524	805	524	805							
財源内訳	一般財源	695	524	805	524	805							
	国支出金												
	県支出金												
	地方債												
	その他												

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		特定個人情報保護管理事務費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①			10年後の数値目標②					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)								
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務課	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
根拠法令等									
事業目的	対象	職員							
	背景と目的	<p>社会保障・税番号制度の情報連携については、平成29年11月に本格運用が開始され、マイナンバーを含む特定個人情報に関し、特定個人情報保護委員会が公表している「特定個人情報の適切な取扱いに関するガイドライン」に基づく安全管理措置を適切に履行することが必要であるため。</p>							
事業内容	事業概要	<p>特定個人情報の取扱い、ガイドラインに基づく安全管理措置の徹底及び規定類の周知を図るため、内部監査を実施することを目的に業務を委託する。</p> <p><b>【業務内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査職員向けの研修</li> </ul> <p>(歳出) 支援業務委託料 200千円</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	200	200	200	200	200				
財源内訳	一般財源	200	200	200	200				
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		文書管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	文書広報費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民及び職員								
	背景と目的	条例、規則等をホームページ等で公表することで行政の透明性の確保を図る。また、例規データ検索システムを提供し、職員の法制執務をサポートする。								
事業内容	事業概要	<p>1 例規集システムの使用料及び更新経費 2 本庁、地域局の新聞代 3 各法規の追録経費</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品費 1,574千円 (追録書籍代、新聞代)</li> <li>・ 例規追録管理委託料 3,200千円 (例規システムの更新委託料)</li> <li>・ 法令改廃情報提供システム使用料 1,344千円 (法令情報、判例等提供システム)</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	6,481	6,118	6,118	6,118	6,118					
財源内訳	一般財源	6,481	6,118	6,118	6,118					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		財政管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	3	財政管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象	財政に関する事務全般								
	背景と目的	経営総務課が管理する財務会計システムを適切に運用し、円滑な財政運営を行う。また、統一的な基準による財務書類を有識者等の支援を受けて適正に作成し、財務マネジメントの強化を図る。								
事業内容	事業概要	①財務会計システムの運用管理 ・財務会計システム等保守委託料 1,650千円 ・財務会計システムへの電子決裁導入に伴う改修費・備品購入費 6,490千円  ②財務書類の適正な作成 ・財務書類作成支援業務 440千円  ③その他財政運営に関すること ・予算書印刷費、消耗品費 355千円								
	前年度からの変更点	財務会計システムに電子決裁システムを導入								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,490	8,935	2,445	2,445	2,445					
財源内訳	一般財源	3,490	8,935	2,445	2,445	2,445				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		庁舎管理費			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費
根拠法令等									
事業目的	対象	庁舎（地域局庁舎含む）及び市民、職員							
	背景と目的	来庁者の利便性の確保及び職員の労働環境の向上等を図るため、庁舎の適正管理を行う。							
事業内容	事業概要	<p>(歳入)            その他：行政財産目的外使用料 257千円、大屋市民センター使用料 5千円            光熱水費等受入金 546千円、公共施設等整備基金繰入金 13,052千円</p> <p>(歳出) 本庁舎及び地域局の庁舎管理            ガス、水道、電気、燃料代など光熱水費等 30,291千円            修繕費 14,644千円、電気、電話等設備等管理委託料 4,256千円            設計・監理委託料 4,415千円、清掃・除雪等委託料 2,436千円            駐車場等借上 2,970千円、AED設置（18台）526千円            水質、消防設備等検査手数料 444千円 ほか</p>							
	前年度からの変更点	修繕事業の実施（養父防火設備、大屋非常照明等）、関宮地域局分館の維持管理費の追加 施設警備保障委託料（535千円）を一般管理事務費から移管 複合機等のOA機器リース料（1,270千円）を一般管理事務費へ移管							
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)	
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)			
事業費		44,036	64,086	44,754	44,754	44,754			
財源内訳	一般財源	43,093	50,226	43,946	43,946	43,946			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	943	13,860	808	808	808			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	経営総務課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費		
根拠法令等	その他（養父市公用車管理計画）										
事業目的	対象	公用車（一般庁用車）									
	背景と目的	<p>公用車管理計画書に基づき、公用車を良好に維持管理する。本庁舎15台 養父庁舎14台 大屋庁舎4台 関宮庁舎4台 合計 37台</p> <p>マイクロバスや幼児送迎車の維持管理をシルバー人材センターへ委託し業務の円滑化を図る。経営総務課2台 こども園等8台 全天候運動場1台 合計 11台</p>									
事業内容	事業概要	<p>（歳入） その他：物品売払収入 4,000千円、市有自動車損害共済金 3,000千円 庁用自動車貸出に伴う燃料費負担金 5千円</p> <p>（歳出） 本庁及び地域局の一般庁用車を経営総務課で一括管理 維持管理（車検・法定点検・自賠責保険・任意保険・燃料等）18,846千円 新規購入（軽自動車3台、普通車2台）7,800千円 （通常使用可能な一般庁用車を経営総務課で発注） マイクロバス等の維持管理費を養父市シルバー人材センターへ委託 8,166千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	34,738	34,812	34,812	34,812	34,812						
財源内訳	一般財源	28,734	27,807	27,807	27,807						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	6,004	7,005	7,005	7,005						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		指定管理審査費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市公の施設指定管理者制度運用会議設置要綱 平成17年12月26日・訓令第16号）									
事業目的	対象	指定管理者制度を導入する市の公の施設								
	背景と目的	指定管理者候補者の選考について、学識者や地元代表など外部委員の参画を図り、内部委員だけでは不足する専門的見地や対象施設に密接な関係者の声を反映する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 公の施設指定管理者制度運用会議（座長：副市長）による指定管理者の候補者の選考、市長への具申に際し、事前に対象施設を所管する部局が部局別選考部会又は部局別選定委員会を組織し、候補者の審査等を行う。</p> <p>2. 本事業の経費は、主に部局別選定委員会に参画いただく外部委員（学識者、地元代表等）の経費</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員報酬 62千円、費用弁償 35千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	291	97	97	97	97					
財源内訳	一般財源	291	97	97	97	97				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		区長会運営事業費			枝番		単位事業名									
まちづくり計画	柱							ページ番号								
	施策															
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②											
	個別計画															
	横断的行動指針 (SDGs)															
実施主体	養父市			担当課	経営総務課											
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算								
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費							
根拠法令等																
事業目的	対象	区長等														
	背景と目的	<p>区長会は、市民と市役所をつなぐ役割のほか、情報共有、地域に関する要望・提案等、市政を推進していく上で、重要な役割を担っている。</p> <p>市内の各地区等の発展と円滑な運営及び市行政との連携協力体制を緊密に保つ。</p>														
事業内容	事業概要	<p>協力業務（要綱に規定）の実施、会議の開催、自治体保険加入等</p> <p>（歳出）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">区長報償費の支払</td> <td style="text-align: right;">27,585千円</td> </tr> <tr> <td>自治体委託業務等災害補償保険料</td> <td style="text-align: right;">343千円</td> </tr> <tr> <td>区長会補助金（養父市区長会、4区長会等）</td> <td style="text-align: right;">1,241千円 など</td> </tr> </table>									区長報償費の支払	27,585千円	自治体委託業務等災害補償保険料	343千円	区長会補助金（養父市区長会、4区長会等）	1,241千円 など
	区長報償費の支払	27,585千円														
	自治体委託業務等災害補償保険料	343千円														
	区長会補助金（養父市区長会、4区長会等）	1,241千円 など														
前年度からの変更点																
事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)							
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)											
事業費	30,744	30,239	30,239	30,239	30,239											
財源内訳	一般財源	30,744	30,239	30,239	30,239	30,239										
	国支出金															
	県支出金															
	地方債															
	その他															

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		各種負担金			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	諸費	
根拠法令等										
事業目的	対象									
	背景と目的	市が政策の企画及び立案していくためには、情報の収集と分析、課題の明確化等の作業が必要である。こうした最新の情報等を収集する上で、各種団体からの情報提供等は有益である。								
事業内容	事業概要	<p>県雇用開発協会負担金、南但危険物安全協会負担金、但馬自治会負担金、兵庫県弁護士会負担金など市が会員となっている団体等の負担金及び会費</p> <p>(歳出) 但馬自治会負担金 197千円、法律扶助協会負担金 50千円 南但危険物安全協会負担金 24千円、兵庫県雇用開発協会負担金 10千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	399	281	281	281	281					
財源内訳	一般財源	399	281	281	281					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		総合賠償費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	諸費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市管理、市主催・共催事業参加者、市施設利用者等								
	背景と目的	市が所有、使用又は管理する施設の瑕疵や市の行う業務上の過失に起因する事故について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対応するための保険加入及び賠償金の支払い。								
事業内容	事業概要	<p>市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対応するための保険加入及び賠償金</p> <p>【補償内容】 契約類型 9 型 保険分担金 @97.3円×住民数 (住基+外国人)</p> <p>身体賠償、財物賠償、補償保険Ⅲ型 (死亡、後遺障害、入院、通院)、予防接種、公金総合、健診賠償、個人情報漏えい保険、サイバー保険</p> <p>(歳入) その他：全国町村会総合賠償補償保険受入金 200千円 市有自動車損害共済金 3,800千円</p> <p>(歳出) 全国町村会総合賠償補償保険保険料 2,096千円 交通事故等賠償金 3,800千円、総合賠償補償保険賠償金 200千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	6,144	6,096	6,096	6,096	6,096					
財源内訳	一般財源	2,144	2,096	2,096	2,096					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	4,000	4,000	4,000	4,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		固定資産評価審査委員会費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱						ページ番号			
	施策									
	10年後の数値目標①			10年後の数値目標②						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	16	平和と公正をすべての人に							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	2	徴税費	目	1	税務総務費	
根拠法令等	地方税法（昭和25年法律第226号）第436条 養父市固定資産評価審査委員会条例 養父市固定資産評価審査委員会規程									
事業目的	対象	固定資産税納税者								
	背景と目的	固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に関する不服を審査決定する機関で、審査申出書、市からの弁明書を元に書面審理を行う。場合によっては現地調査等を行い、又は口頭意見陳述等を受けることで審理を深め、認容、棄却及び却下の決定を行う。								
事業内容	事業概要	<p>固定資産評価審査委員会（委員4人）に係る経費</p> <p>（歳出）固定資産評価審査委員会委員報酬 90千円                  〃 費用弁償 32千円</p> <p>※現委員の任期は、令和4年6月1日～令和7年5月31日</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	122	122	122	122	122					
財源内訳	一般財源	122	122	122	122	122				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		選挙管理委員会運営事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①			10年後の数値目標②					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	16	平和と公正をすべての人に						
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	4	選挙費	目	1	選挙管理委員会費
根拠法令等	地方自治法								
事業目的	対象	選挙管理委員会委員、有権者							
	背景と目的	地方自治法に基づく選挙管理委員会設置による管理運営							
事業内容	事業概要	<p>委員長・委員報酬、定時登録（年4回）事務、選挙管理委員会の開催、選挙啓発、上部団体等主催の会議への参加、負担金の支払い</p> <p>（歳入）県支出金：在外選挙人名簿事務費市町交付金 1千円                  （歳出）選挙管理委員会委員報酬 297千円、選挙管理委員会委員旅費 108千円                  消耗品 101千円、郵券料 84千円、負担金 56千円</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	651	646	646	646	646				
財源内訳	一般財源	650	645	645	645				
	国支出金								
	県支出金	1	1	1	1				
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		市長選挙費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	4	選挙費	目	2	市長選挙費	
根拠法令等	公職選挙法									
事業目的	対象	候補者及び有権者								
	背景と目的	任期満了（令和6年10月31日）に伴う養父市長選挙の管理、執行								
事業内容	事業概要	養父市長選挙の管理、執行（ポスター掲示場、期日前投票、当日投票、開票事務、選挙公営費等）								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R2年度 (前回)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	16,759	17,500								
財源内訳	一般財源	16,759	17,500	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		市議会議員選挙費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務	項	4	選挙費	目	3	市議会議員選挙費	
根拠法令等	公職選挙法									
事業目的	対象	候補者及び有権者								
	背景と目的	任期満了（令和6年10月31日）に伴う養父市議会議員選挙の管理、執行								
事業内容	事業概要	養父市議会議員選挙の管理、執行（ポスター掲示場、期日前投票、当日投票、開票、選挙公営等）								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R2年度 (前回)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	41,745	33,774								
財源内訳	一般財源	41,745	33,774	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		国民健康保険特別会計繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			3	すべての人に健康と福祉を			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	
根拠法令等	国民健康保険法、地方財政法、国民健康保険繰出基準（国通知）									
事業目的	対象	国民健康保険特別会計（事業勘定）								
	背景と目的	国民健康保険特別会計が安定して運営できるよう基準に基づき繰出金を支出する。医療保険を支える制度として地域住民の医療の確保と健康の増進に大きな役割を果たしてきた国民健康保険制度ではあるが、高齢化と医療技術の高度化等により医療費も増加傾向にある。								
事業内容	事業概要	収支計画、繰出基準に基づき繰出金を支出する。 (歳入) 国支出金：国保保険基盤安定負担金 21,953千円 県支出金：国保保険基盤安定負担金 73,142千円 (歳出) 基盤安定（保険税軽減分）82,887千円、基盤安定（保険者支援分）42,556千円 未就学児均等割軽減分 950千円、職員人件費等 33,168千円 出産育児一時金 4,000千円、産前産後保険税繰入金 400千円 財政安定化支援事業 37,589千円、その他（福祉医療波及分）15,775千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	216,823	217,325	218,284	219,108	219,979					
財源内訳	一般財源	121,626	122,230	123,197	123,697	124,213				
	国支出金	22,232	21,953	21,285	20,827	20,379				
	県支出金	72,965	73,142	73,802	74,584	75,387				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		介護保険特別会計繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			3	すべての人に健康と福祉を			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	介護保険法、地方財政法									
事業目的	対象	介護保険特別会計								
	背景と目的	介護保険特別会計が安定して運営できるよう基準に基づき繰出金を支出する。 65歳以上の者が加入者（被保険者）となり、介護や支援が必要になった被保険者に介護（予防）サービスを提供し、被保険者自身とその家族を支援する介護保険制度は、高齢化の影響等により介護給付費が増加傾向にある。								
事業内容	事業概要	<p>収支計画、法令に基づく繰出金</p> <p>（歳入）国支出金：介護保険低所得者保険料軽減負担金 県支出金：介護保険低所得者保険料軽減負担金</p> <p>（歳出）介護給付費 471,052千円、地域支援事業 22,090千円 低所得者保険料軽減分 31,828千円、その他繰入金 71,716千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	614,695	596,686	613,512	615,793	614,895					
財源内訳	一般財源	582,852	572,815	580,715	582,996	581,114				
	国支出金	21,229	15,914	21,865	21,865	22,521				
	県支出金	10,614	7,957	10,932	10,932	11,260				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		後期高齢者医療特別会計繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			3	すべての人に健康と福祉を			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、地方財政法									
事業目的	対象	後期高齢者医療特別会計								
	背景と目的	高齢化に伴う医療費の増大が見込まれる中で、高齢者と若年世代の負担の明確化等を図る観点から、75歳以上の高齢者を対象として平成20年度に施行された後期高齢者医療制度の安定した運営を図るため基準に基づき繰出金を支出する。								
事業内容	事業概要	<p>収支計画、法令に基づき繰出金を支出する。</p> <p>(歳入) 県支出金：後期高齢保険基盤安定負担金 87,366千円</p> <p>(歳出) 保険基盤安定繰入金 116,489千円、職員給与費・事務費 9,662千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	114,203	126,151	115,386	116,361	116,969					
財源内訳	一般財源	35,492	38,785	35,610	35,915	36,129				
	国支出金									
	県支出金	78,711	87,366	79,776	80,446	80,840				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		水道事業会計繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	6	安全な水とトイレを世界中に					
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	
根拠法令等	地方公営企業法、地方財政法、地方公営企業繰出基準（国通知）									
事業目的	対象	水道事業会計								
	背景と目的	水道事業会計が安定して運営できるよう基準等に基づき繰出金を支出する。								
事業内容	事業概要	収支計画及び繰出基準等に基づき繰出金を支出する。 （歳出） 補助金（収益的収支分）126,615千円（基準内 126,314千円、基準外 301千円） 負担金（収益的収支分）3,809千円（基準内3,809千円） 出資金（資本的収支分）77,455千円（基準内 77,455千円）								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,322,564	207,879	175,775	126,055	107,449					
財源内訳	一般財源	267,675	207,879	175,775	126,055	107,449				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	1,054,889								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		病院負担金			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	3	すべての人に健康と福祉を				
実施主体	養父市			担当課	経営総務課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費
根拠法令等	公立八鹿病院組合の分賦金に関する条例、地方公営企業繰出基準（国通知）								
事業目的	対象	公立八鹿病院組合							
	背景と目的	公立八鹿病院組合は、南但における基幹病院として養父市と香美町によって運営されている。誰もが安心して暮らせる環境づくりのため、地域医療の核として中心的な役割を担う公立八鹿病院が安定して運営できるよう条例に基づき負担金を支出する。							
事業内容	事業概要	<p>公立八鹿病院組合の分賦金に関する条例に基づき支出する。</p> <p>①病院の建設改良に要する経費 ②へき地医療の確保に要する経費 ③不採算地区病院の運営に要する経費 ④不採算地区中核病院の機能維持に要する経費 ⑤結核医療に要する経費 ⑥リハビリテーション医療に要する経費 ⑦小児医療に要する経費 ⑧救急医療の確保に要する経費 ⑨高度医療に要する経費 ⑩公立病院附属看護師養成所の運営に要する経費 ⑪研究研修に要する経費 ⑫共済追加費用の負担に要する経費 ⑬医師確保対策に要する経費 ⑭地方公営企業職員の基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費 ⑮地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費 ⑯組合議会の運営等に要する経費 ⑰その他</p> <p>（歳入）地方債：過疎対策事業債 151,100千円 （歳出）八鹿病院組合負担金 1,212,749千円</p>							
	前年度からの変更点	④不採算地区中核病院の機能維持に要する経費、⑨PET-CT導入事業経費の追加							
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	1,068,402	1,212,749	1,024,150	1,047,262	1,011,459				
財源内訳	一般財源	1,068,402	1,061,649	1,024,150	1,047,262	1,011,459			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債		151,100						
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		国保直営診療施設勘定繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			3	すべての人に健康と福祉を			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費	
根拠法令等										
事業目的	対象	国保直営診療所（大屋、大屋歯科及び出合診療所）								
	背景と目的	地域住民の健康増進、疾病予防、治療のため必要不可欠な国保直営診療所が安定して運営できるよう繰出金を支出する。								
事業内容	事業概要	<p>収支計画等に基づき繰出金を支出し、診療所の運営の安定化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大屋診療所 34,390千円</li> <li>・大屋歯科診療所 11,531千円</li> <li>・出合診療所 22,133千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	出合診療所建設分繰出金の減								
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	289,425	68,054	60,731	64,155	67,516					
財源内訳	一般財源	57,025	68,054	60,731	64,155	67,516				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	232,400								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		養父歯科診療所特別会計繰出金		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			3	すべての人に健康と福祉を			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養父歯科診療所特別会計								
	背景と目的	養父歯科診療所は、養父地域を診察圏として地域の歯科医療の中心的な役割を果たしている。患者の立場に立った医療体制をとるなど地域住民に親しまれている養父歯科診療所が安定して運営できるよう繰出金を支出する。								
事業内容	事業概要	収支計画等に基づき支出し、養父歯科診療所の運営の安定化を図る。 ・繰出金 25,809千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	28,895	25,809	31,988	32,705	33,423					
財源内訳	一般財源	28,895	25,809	31,988	32,705	33,423				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		下水道事業会計繰出金			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			6	安全な水とトイレを世界中に				
実施主体	養父市			担当課	経営総務課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費		項	4	都市計画費		目	2	下水路費
根拠法令等	地方公営企業法、地方財政法、地方公営企業繰出基準（国通知）										
事業目的	対象	下水道事業会計									
	背景と目的	下水道事業会計が安定して運営できるよう基準等に基づき繰出金を支出する。									
事業内容	事業概要	<p>収支計画及び繰出基準等に基づき繰出金を支出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金(収益的収支分) 377,733千円（基準内375,121千円、基準外2,612千円）</li> <li>出資金(資本的収支分) 127,755千円（基準内127,755千円）</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)		実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	514,408	505,488	483,063	486,120	465,687						
財源内訳	一般財源	514,408	505,488	483,063	486,120						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		地方債元金償還金			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	12	公債費	項	1	公債費	目	1	元金	
根拠法令等										
事業目的	対象	市債元金償還金								
	背景と目的	これまでに発行した市債の元金償還金を支出する。計画的に繰上償還を実施する。								
事業内容	事業概要	地方債元金償還金 通常償還元金 1,782,723千円 繰上償還元金 196,827千円 (減債基金繰入金を充当) ※平成26年度同意債 臨時財政対策債 (借入日H27.3.25、借入額330,000千円、利率0.4%)								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,155,000	1,979,550	1,801,382	1,683,071	1,475,631					
財源内訳	一般財源	1,817,734	1,765,195	1,613,001	1,473,601	1,328,366				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	337,266	214,355	188,381	209,470	147,265				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		地方債利子償還金			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	12	公債費	項	1	公債費	目	2	利子	
根拠法令等										
事業目的	対象	市債利子償還金								
	背景と目的	これまでに発行した市債の利子償還金を支出する。								
事業内容	事業概要	地方債利子償還金								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	66,722	63,982	55,676	53,993	55,468					
財源内訳	一般財源	66,722	63,982	55,676	53,993	55,468				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		一時借入金利子			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱								ページ番号	
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	12	公債費	項	1	公債費	目	2	利子	
根拠法令等										
事業目的	対象	一時借入金利子償還								
	背景と目的	歳計内現金の不足を補うために借り入れる運営資金に対する利子の支払いを行う								
事業内容	事業概要	一時借入金利子償還金 $4,000,000 \text{千円} \times 0.5\% \times 7 / 365 \text{日} \times 1 \text{回} \approx 400 \text{千円}$								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	400	400	400	400	400					
財源内訳	一般財源	400	400	400	400					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		公債諸費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	12	公債費	項	1	公債費	目	3	公債諸費	
根拠法令等										
事業目的	対象	公債費に係る諸経費								
	背景と目的	公債費に係る諸経費								
事業内容	事業概要	<p>公債費に係る取扱手数料等を支出する。</p> <p>共済組合資金元金支払手数料      4千円 繰上償還に係る補償金              124千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	288	128	32	17	13					
財源内訳	一般財源	288	128	32	17	13				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		学校整備基金費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			4	質の高い教育をみんなに			
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	13	諸支出金	項	1	基金費	目	3	特定目的基金費	
根拠法令等	公立学校施設整備国庫補助金等の財産処分の承認（平成19年8月2日教学第1068-2号兵庫県教育長通知）									
事業目的	対象	学校整備基金								
	背景と目的	学校施設整備の資金とすることを目的に基金積立を行う。								
事業内容	事業概要	<p>旧大谷小学校施設使用料1,608千円のうち1,021千円を積立てる。</p> <p>（歳入）その他：建物貸付収入 1,021千円</p> <p>※処分制限期間（昭和59年建築 耐用年数47年） 令和13年まで実施</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,021	1,021	1,021	1,021	1,021					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	1,021	1,021	1,021	1,021	1,021				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		企業誘致推進基金費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	13	諸支出金	項	1	基金費	目	3	特定目的基金費	
根拠法令等										
事業目的	対象	企業誘致推進基金								
	背景と目的	市内への企業誘致を促進し、市の経済発展に資することを目的に基金積立を行う。								
事業内容	事業概要	<p>企業誘致した廃校利用分の貸付収入を基金に積み立てる。</p> <p>廃校活用分（土地貸付収入－土地使用料）≒4,300千円</p> <p>（歳入）建物貸付収入：4,300千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		予備費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱								ページ番号	
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	経営総務課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	14	予備費	項	1	予備費	目	1	予備費	
根拠法令等										
事業目的	対象	予備費								
	背景と目的	災害等、想定外の緊急的な支出に備える。								
事業内容	事業概要	想定外の緊急的な支出に備え予算計上する。								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000					
財源内訳	一般財源	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 稅務課 收納對策室

## 実施計画書

事業名		税務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	税務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	2	徴税费	目	1	税務総務費	
根拠法令等	地方税法等									
事業目的	対象	納税義務者及び各種団体								
	背景と目的	税務事務の一般管理経費 ・各種負担金（地方税申告・納付の電子化、租税事務に係る関係団体との共同事務） ・過誤納金還付事務								
事業内容	事業概要	(歳入) ・県民税徴収事務委託金 2,926千円充当 (歳出) ・負担金・分担金 3,728千円 地方税共同機構(納税義務者・税収割、収納手数料) 1,844千円 県電子自治体推進協議会(規模割) 1,476千円 市長会軽自動車税特別会計分担金(件数割) 271千円 資産評価システム研究センター他 137千円 ・過誤納還付金 10,000千円 ・旅費他 140千円								
	前年度からの変更点	地方税申告・納付の電子化拡大による関係機関への負担金の増								
	事業の数値目標	指標		目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	12,947	13,868	13,868	13,868	13,868					
財源内訳	一般財源	10,000	10,942	10,942	10,942	10,942				
	国支出金									
	県支出金	2,947	2,926	2,926	2,926	2,926				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		固定資産評価通年事業費		枝番	単位事業名									
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号						
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）												
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%										
	個別計画													
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを											
実施主体		養父市		担当課	税務課									
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算						
予算費目		款	2	総務費		項	2	徴税费		目	2	賦課徴収費		
根拠法令等		地方税法等												
事業目的	対象	納税義務者												
	背景と目的	固定資産税の公平・公正な課税を実施するための課税関連システムの運用・管理と職員の知識の向上												
事業内容	事業概要	<p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋配置図作成業務委託料 18,161千円</li> <li>・家屋評価システム機器リース料 860千円</li> <li>・その他需用費等 222千円</li> </ul>												
	前年度からの変更点	債務負担行為により家屋配置図作成業務 (R6~R7、2か年) を実施												
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)			実績見込 (R5)			実績 (R4)		
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)								
事業費		1,122	19,243	22,983	9,858	1,082								
財源内訳	一般財源	1,122	1,082	22,983	9,858	1,082								
	国支出金													
	県支出金													
	地方債													
	その他			18,161										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		固定資産評価替事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	税務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費	
根拠法令等	地方税法等									
事業目的	対象	納税義務者								
	背景と目的	固定資産税の公平・公正な課税を実施するため、宅地に係る鑑定評価を継続して実施し、固定資産税評価の適正化に資する。								
事業内容	事業概要	<p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準宅地時点修正業務委託料 501千円 (毎年)</li> <li>・ 固定資産税評価関連業務 5,291千円</li> </ul> <p>(固定資産賦課資料作成、路線価評価等時点修正、地番図異動更新及びシステム保守)</p>								
	前年度からの変更点	債務負担行為により固定資産税評価関連業務 (R6~R8、3か年) を実施								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	9,282	5,792	23,766	11,589	5,792					
財源内訳	一般財源	9,282	5,792	23,766	11,589	5,792				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		課税・徴収管理事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	税務課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費	
根拠法令等	地方税法等									
事業目的	対象	納税義務者								
	背景と目的	財源確保に資する市税の公平・公正な賦課徴収を行うための業務管理費								
事業内容	事業概要	(歳入) ・証明閲覧手数料 850千円を充当 ・県民税徴収事務委託金 3,210千円を充当 ・滞納処分費 303千円を充当 (歳出) ・給報等課税資料データ入力業務委託 1,214千円 ・収納代行業者処理手数料 791千円 ・軽自動車税環境性能割徴収取扱費 417千円 ・軽自動車検査情報手数料等 152千円 ・預金照会処理手数料、需用費他 2,780千円 ・会計年度任用職員(5名分) 17,372千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	20,723	22,726	22,726	22,726	22,726					
財源内訳	一般財源	16,202	13,959	13,959	13,959	13,959				
	国支出金									
	県支出金	3,189	7,614	7,614	7,614	7,614				
	地方債									
	その他	1,332	1,153	1,153	1,153	1,153				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		課税・徴収管理事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	収納対策室					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費	
根拠法令等	地方税法等									
事業目的	対象	高額・悪質 税滞納者								
	背景と目的	滞納整理事業の推進 ※兵庫県回収チームの派遣がなくなり、知識習得に研修等による自己研鑽が必須となっている。								
事業内容	事業概要	(歳出) ・研修費用、需用費等 181千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	186	181	181	181	181					
財源内訳	一般財源	186	181	181	181	181				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 危機管理室

# 防災安全課

## 実施計画書

事業名		消防団関係事業費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	防災安全課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	1	非常備消防費
根拠法令等	消防組織法								
事業目的	対象	養父市消防団							
	背景と目的	自然災害等において、地域防災の要として活動している消防団は必要不可欠の存在である。その消防団の組織運営の充実と円滑化を図り、また、消防団員の身分保障等を行うことで、組織力を強化し市民の安全安心を確保する。							
事業内容	事業概要	<p>1. 消防団の運営及び消防団員の身分保障等を行う。 2. 消防防災関連各種負担金等を負担する。</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団員報酬 54,008千円</li> <li>・ 消防団無線システムデータ通信料、防災行政告知システム使用料 3,863千円</li> <li>・ 消防団員退職報償金掛金 26,112千円</li> <li>・ 消防団運営交付金 13,158千円</li> <li>・ 消防団無線機更新事業 10,658千円</li> </ul>							
	前年度からの変更点	団員報酬の増額、消防団無線機更新事業の追加							
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		消防団員数			1,200人	1,127人	1,141人		
火災件数 (1~12月)			0件	10件	15件				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	124,761	179,246	179,246	169,000	169,000				
財源内訳	一般財源	87,090	120,175	120,175	109,900	109,900			
	国支出金								
	県支出金	100	100	100	100	100			
	地方債								
	その他	37,571	58,971	58,971	59,000	59,000			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		自主防災組織支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	防災安全課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	1	非常備消防費	
根拠法令等	災害対策基本法									
事業目的	対象	自主防災組織、幼少年婦人防火委員会								
	背景と目的	安全で安心して暮らせるまちづくりのために、自主防災組織にコミュニティ助成金を交付し、組織の強化を図る。また、幼少年婦人防火委員会の運営に対し助成を行い、市民の防火思想の普及啓発を推進する。								
事業内容	事業概要	<p>1. コミュニティ助成事業を申請する自主防災組織に対し助成金を交付する。</p> <p>2. 幼少年婦人防火委員会の運営に対し交付金を交付する。</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ助成 1,000千円</li> <li>・幼少年婦人防火委員会運営交付金 400千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	なし								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		防災訓練参加者数					10,000人	8,852人	8,840人	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,300	1,400	1,400	1,400	1,400					
財源内訳	一般財源	400	400	400	400					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	1,900	1,000	1,000	1,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		消防施設整備事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	防災安全課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	2	消防施設費		
根拠法令等	消防組織法、消防力の整備指針、消防水利の基準										
事業目的	対象	養父市消防団、行政区、市民									
	背景と目的	自然災害等において、地域防災の要として活動している消防団は必要不可欠の存在である。その消防団の消防車庫・消防車両・小型動力ポンプを整備・更新し、消防防災力の維持・充実を図ることで、市民の安全安心を確保する。また、初期消火設備として欠かせない防火水槽・消火栓の設置や、地区で管理する防火水槽・水利看板の整備に補助金を出すことで地域の防災力の維持・充実を図る。									
事業内容	事業概要	<p>1. 消防車両、小型動力ポンプ、消防車庫等の更新を行う。</p> <p>2. 消防団員の安全に係る装備を購入する。</p> <p>3. 防火水槽の新設工事及び消火栓の新設・移設・修繕工事等を行う。</p> <p>4. 行政区等が実施する防火水槽修繕や水利表示看板設置等に対し補助金を交付する。</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防格納庫整備事業（大谷、奥米地） 27,000千円</li> <li>・消防積載車購入事業（4台） 42,400千円</li> <li>・消防団備品購入等事業（投光器、発電機） 4,600千円</li> <li>・耐震性貯水槽整備事業（下町、吉井） 23,100千円</li> <li>・消防小型動力ポンプ購入事業（5台） 12,750千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		消防団員数				1,200人	1,127人	1,141人			
火災件数（1～12月）				0件	10件	15件					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	31,486	122,513	97,700	55,400	80,000						
財源内訳	一般財源	10,953	15,993	11,000	11,000						
	国支出金		5,400		5,400						
	県支出金	1,500	1,500	1,500							
	地方債	18,900	99,100	85,200	39,000						
	その他	133	520								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		消防車両等維持管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	防災安全課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	2	消防施設費	
根拠法令等	消防組織法、消防力の整備指針									
事業目的	対象	養父市消防団								
	背景と目的	自然災害等において、地域防災の要として活動している消防団は必要不可欠の存在である。その消防団の消防車庫・消防車両・小型動力ポンプ等の施設や装備、また、各地域に設置しているサイレン等を維持管理することで、消防防災力の維持・充実を図るとともに市民の安全安心を確保する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 消防団の消防車庫、消防車両、小型動力ポンプ等の維持管理を行う。</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防車両等修繕料 <span style="float: right;">4,180千円</span></li> <li>・ 電気料金(消防車庫及びサイレン) <span style="float: right;">1,582千円</span></li> <li>・ 消防車両燃料費(ガソリン、軽油) <span style="float: right;">1,186千円</span></li> <li>・ 消防車両検査手数料(車検、法定点検) <span style="float: right;">2,063千円</span></li> <li>・ 自動車損害保険料(指令車、ポンプ車、普通積載車、軽積載車) <span style="float: right;">208千円</span></li> <li>・ 自動車重量税(指令車、ポンプ車、普通積載車、軽積載車) <span style="float: right;">757千円</span></li> </ul>								
	前年度からの変更点	車検対象車両の減								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		消防団員数					1,200人	1,127人	1,141人	
火災件数 (1~12月)					0件	10件	15件			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	15,419	12,337	15,500	12,500	15,500					
財源内訳	一般財源	15,419	12,337	15,500	12,500	15,500				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		防災・災害対策事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	防災安全課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	災害対策費	
根拠法令等	災害対策基本法									
事業目的	対象	市民等								
	背景と目的	平成16年台風第23号以降、平成30年7月豪雨等様々な災害が発生している中、市の防災体制を充実させるため、兵庫県をはじめとする関係機関との連携強化を図る必要がある。フェニックス防災システム、兵庫衛星通信ネットワークシステム、Jアラートシステム等の維持管理を行い、災害発生により生ずる恐れのある住民や来訪者等の生命、身体及び財産への脅威や損害を軽減する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 防災行政告知システム、フェニックス防災システム、兵庫衛星通信ネットワークシステム、Jアラートシステム等の維持管理</p> <p>2. 食料、保存水、毛布、避難所用マット等の防災資機材の整備や備蓄</p> <p>3. 防災関連の負担金の負担</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災資機材購入事業 5,000千円</li> <li>・ 防災行政告知システム保守委託料 7,272千円</li> <li>・ やぶ市防災ネット利用料 1,413千円</li> <li>・ 県防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金 929千円</li> <li>・ 県・但馬地域合同防災訓練負担金 365千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		防災訓練参加者数					10,000人	8,852人	8,840人	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	48,581	20,045	20,000	20,000	20,000					
財源内訳	一般財源	45,581	17,045	20,000	20,000					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	3,000	3,000							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		水防事業費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	防災安全課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	4	水防費
根拠法令等	水防法								
事業目的	対象	市民							
	背景と目的	土のう袋・砂等の資材を配備し、水害に強いまちづくりを推進する。また大屋川防災ステーションを維持管理し、水防力の強化を図る。							
事業内容	事業概要	<p>1. 土のう袋・砂等を購入する。</p> <p>2. 大屋川防災ステーションの維持管理を行う。</p> <p>(主な歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災ステーション管理費（水道・電気） 298千円</li> <li>・ 防災ステーション下水道使用料 23千円</li> <li>・ 防災ステーション除草作業委託 90千円</li> <li>・ 土のう用砂 150千円</li> </ul>							
	前年度からの変更点	なし							
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)
		防災訓練参加者数					10,000人	8,852人	8,840人
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	561	561	561	561	561				
財源内訳	一般財源	561	561	561	561				
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 情報課

## 実施計画書

事業名		情報ネットワーク管理費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	情報課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
根拠法令等									
事業目的	対象	職員・市民							
	背景と目的	安定した市内イントラネットの運用・構築と維持管理							
事業内容	事業概要	<p>1 ネットワークの維持 グループウェア、例規システム、選挙システム、財務会計システム等の業務系システムと、Web閲覧等のインターネット系のシステム、並びに市役所本庁舎と地域局（出先機関を含む）を結ぶ庁舎間ネットワークの維持管理。</p> <p>2 端末管理 業務で使用する端末の更新及びセキュリティの管理。</p> <p>3 総合行政ネットワークの運用管理 公的個人認証サービス等のシステム稼働の基盤ネットワークである、全国の地方公共団体等が接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理。</p> <p>4 協定に伴う回線管理 ケーブルテレビ民間化事業に係る光回線等の管理。</p> <p>5 ネットワーク機器の更改 無線アクセスポイントの更新整備等。</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	111,071	72,600	77,625	85,725	58,725				
財源内訳	一般財源	111,071	49,432	77,625	85,725	58,725			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他		23,168						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		広報事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	情報課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	文書広報費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民及び市外									
	背景と目的	広報やぶによって、養父市政の動向や、身近なまちの話題の提供を行う。 また、ホームページとSNSにより、施策やイベントなどの行政情報を市内外に広く発信する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報やぶを毎月15日に発行し、各種行政情報を市民に伝える。</li> <li>・ホームページ、SNSにより、不特定多数の閲覧者に市の新鮮な情報を公開していく。</li> <li>・毎月、10日と25日に定例記者会見を開き、市の情報を記者クラブに取り上げてもらうことで、養父市をPRする。</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		SNS等で積極的に養父市の魅力を情報発信している人の割合					30%	7.6%	6.0%		
養父市HP訪問者数（セッション数）					1,000,000	700,000	835,842				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	7,844	8,951	8,951	8,951	8,951						
財源内訳	一般財源	7,161	8,178	8,178	8,178						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	683	773	773	773						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		CATV運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	情報課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	情報センター運営費		
根拠法令等	養父市条例（養父市情報放送施設の設置及び管理条例）ほか										
事業目的	対象	市民及び市外									
	背景と目的	令和8年3月までは「民間化事業に関する基本協定」に基づき、チャンネルリースにより自主放送番組の制作放送が可能である。情報課で制作する自主放送番組については、市民目線で、地域に根ざした行政情報及びコミュニティ情報をわかりやすく伝達し、親しみのある情報発信を行う。									
事業内容	事業概要	<p>自主放送番組についてはeo光の地上デジタルテレビ再放送にあわせてチャンネルリースした12チャンネルでサービスを継続することとしている。また、制作した番組の一部は、YouTubeでも公開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主放送番組の制作</li> </ul> <p>地域の話題や出来事を伝えるニュース番組、行政、公立病院、観光文化関連施設等の取組や魅力を伝える特集番組の他、市議会本会議の模様や市民の文化活動の発表の場となるステージイベントを収録放送する長尺番組など、市民への情報提供に資する番組を制作。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民からのビデオ投稿の受付編集</li> <li>情報センター施設管理</li> <li>防災行政告知システム戸別受信機の管理及び平時の告知放送の運用</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	53,432	45,669	33,671	48,171	33,671						
財源内訳	一般財源	25,744	42,695	30,983	45,483	30,983					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債	25,000									
	その他	2,688	2,974	2,688	2,688	2,688					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	情報課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	情報センター運営費	
根拠法令等										
事業目的	対象	庁用自動車（公用車）								
	背景と目的	取材等に使用する公用車の適正管理を行う。								
事業内容	事業概要	取材、保守点検等に使用する庁用自動車の管理経費（ガソリン購入費用、車検代、修繕費等） 対象車 ①エブリイ（軽） 姫路480そ3764（12か月点検） ②エブリイ（軽） 姫路480た5650（車検） ③エブリイ（軽） 姫路480た8968（12か月点検） ④ハイゼット（軽） 姫路480ち514（12か月点検）								
	前年度からの変更点	車検台数 2 台減								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	696	449	696	449	696					
財源内訳	一般財源	696	449	696	449	696				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 市民生活部

# 市 民 課

# 実施計画書

事業名		自衛隊募集事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等	自衛隊法（昭和29年法律第165号）第97条									
事業目的	対象	18歳～55歳未満の市民								
	背景と目的	<p>○自衛隊は、自衛隊法に基づき我が国の平和と独立を守り国の安全を保つため、直接侵略及び間接侵略に対し我が国を防衛することを主たる任務とし、必要に応じ公共の秩序の維持に当たっている。</p> <p>○法第97条第1項に基づき、市町村長は自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務を行う。</p>								
事業内容	事業概要	<p>○自衛隊法第97条第1項に基づき、自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務を行う</p> <p>○市広報掲載</p> <p>○市内イベント等での広報活動を支援</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集事務説明会出張旅費 11千円                      消耗品費 1千円</li> <li>(財源内訳)</li> <li>・ 自衛官募集事務費委託金 (国) 12千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	12	12	12	12	12					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金	12	12	12	12					
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		マイナンバーカード普及促進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象	全市民								
	背景と目的	<p>行政を効率化し、市民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するための社会基盤としてマイナンバーカードの普及推進に努めている。本市では、全ての市民がマイナンバーカードを保有・活用することで、急速に進むデジタル化による行政の効率化や生活の利便性向上といった恩恵を享受できるよう、限りなく保有率100%を目指しており、現在90%を超える保有率を誇っている。住民票などのコンビニ交付だけでなく、除籍謄本等のオンライン請求及びキャッシュレス決済サービスを導入するなど更なる利便性の向上に努めている。</p>								
事業内容	事業概要	<p>マイナンバーカードの新規取得事務及びマイナンバーカードに登載されている電子証明書の更新事務等各種手続きの確実な遂行のため、マイナンバーカード支援員を配置する。</p> <p>(歳出) 会計年度任用職員 5,841千円 (財源内訳) マイナンバーカード交付事務補助金 5,841千円</p>								
	前年度からの変更点	国のマイナポイント事業終了に伴う市独自のデジタルクーポン進呈事業の終了								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	マイナンバーカード保有率			93%	91%	93% (交付率)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	15,616	5,841	5,900	5,900	5,900					
財源内訳	一般財源	2,907	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金	7,677	5,841	5,900	5,900					
	地方債									
	その他	5,032								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		交通安全対策事業費			枝番	単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち				ページ番号				
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	16	平和と公正をすべての人に					
実施主体	養父市		担当課	市民課						
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	交通安全対策費	
根拠法令等	道路交通法（昭和35年法律第105号）ほか									
事業目的	対象	養父市民								
	背景と目的	<p>○安全・安心な交通社会の実現に向け、関係機関・団体とともに交通安全思想の普及浸透を図る。</p> <p>○交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図るとともに、子どもや高齢者を中心に啓発学習等の機会を提供し、安全な交通行動を醸成する。</p> <p>○移動に係る自家用自動車依存率の高い本市において、高齢ドライバーの数は相当多い。</p> <p>○自動車運転免許証の返納により、身分証明書として運転経歴証の交付があるが、手数料が必要。</p> <p>○交通安全講話などを通じて、高齢ドライバーの安全運転啓発と運転免許証返納について考える機会を設ける。</p>								
事業内容	事業概要	<p>○新小・中学生に反射材安全タスキの配布</p> <p>○交通安全グッズ（旗・看板・シール等）の作成及び交通安全対策キャンペーン等の推進</p> <p>○交通安全指導業務を養父交通安全協会に委託</p> <p>○市が管理している防犯灯の維持管理</p> <p>○高齢ドライバーの運転免許証自主返納を促進するため、免許返納時に交付される運転経歴証の交付手数料を助成する。（補助金額：1,100円/件）令和6年度見込件数：35件</p> <p>【補助実績】H30:54 R1:69 R2:76 R3:47 R4:33 R5見込:25（歳出）</p> <p>修繕費等 1,234千円 電気料金 3,564千円 システム保守料 413千円</p> <p>交通指導員委託料 1,250千円 LED防犯灯リース料 2,385千円 補助金 39千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		交通死亡事故			0	2	0			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	9,040	8,885	8,885	8,885	8,885					
財源内訳	一般財源	9,040	8,885	8,885	8,885	8,885				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		生活安全推進事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に			
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	交通安全対策費	
根拠法令等	養父市生活安全の推進に関する条例ほか									
事業目的	対象	養父市民								
	背景と目的	<p>○南但馬警察署、養父防犯協会及び市内防犯グループ等と連携し、安全意識の高揚と防犯環境の整備を図るとともに、地域住民自身が防犯活動の主体であるという意識付けを行う。</p> <p>○南但馬警察署、養父防犯協会等と連携したイベント等を通じて防犯啓発を行うなど、犯罪抑止活動を推進する。</p> <p>○犯罪を抑止するため市内の主要道路、施設等に防犯カメラを設置するとともに、防犯カメラ設置補助事業を行うなど、防犯環境の整備充実を図る</p>								
事業内容	事業概要	<p>○南但馬警察署、養父防犯協会及び防犯グループと連携し、安全意識の高揚と防犯環境の整備を図る。</p> <p>○市内の主要道路等に防犯カメラを設置し、区等の防犯カメラ設置に対し助成する。</p> <p>○「南但馬・安全安心の集い」を実施する。</p> <p>(歳出)</p> <p>出張旅費 72千円      修繕料等 208千円      工事請負費 (防犯カメラ) 2,000千円</p> <p>犯罪被害者等支援金 400千円      防犯カメラ設置補助金 600千円</p> <p>地域安全大会 383千円      防犯協会 1,100千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>防犯カメラ設置事業補助金 (県) 240千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	犯罪件数				50件		58件			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,770	4,763	2,180	2,180	2,180					
財源内訳	一般財源	4,530	4,523	2,180	2,180					
	国支出金									
	県支出金	240	240							
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		戸籍住民基本台帳事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし(生活)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	3	戸籍住民基本台帳事務費	目	1	戸籍住民基本台帳事務費	
根拠法令等	戸籍法、住民基本台帳法 ほか									
事業目的	対象	養父市民、養父市に本籍を有する日本国民								
	背景と目的	<p>○戸籍法に基づき地方自治法第2条第9項1号法定受託事務として戸籍に関する事務を行う。</p> <p>○住民基本台帳法に基づき、住民基本台帳の作成、異動記録及び証明に関する事務を行う。</p> <p>○養父市印鑑条例に基づき、印鑑の登録及び証明に関する事務を行う。</p> <p>○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法令に基づき、個人番号カードの申請受付、交付事務を行う。</p>								
事業内容	事業概要	<p>○戸籍事務、住民基本台帳事務及び印鑑登録事務に関して、法令に基づいた事務を行う。</p> <p>○個人番号カードの普及促進及び交付に関する事務を行う。</p> <p>(財源内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸籍証明手数料 2,650千円</li> <li>・国庫委託金 172千円</li> <li>・マイナンバーカード交付事務補助金等 2,781千円</li> <li>・その他 484千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費、需用費ほか 2,030千円</li> <li>・郵券料等 2,804千円</li> <li>・コンビニ交付運営負担金等 2,223千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
	マイナンバーカード保有率の向上				93%	91%	93%(交付率)			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	9,626	7,057	7,057	7,057	7,057					
財源内訳	一般財源	1,257	970	970	970					
	国支出金	176	172	172	172					
	県支出金	5,543	2,781	2,781	2,781					
	地方債									
	その他	2,650	3,134	3,134	3,134					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		消費者行政事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう				
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に					
実施主体	養父市			担当課	市民課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	6	消費者行政費		
根拠法令等	消費者安全法（平成21年法律第50号） 養父市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例（平成28年条例第19号）ほか										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	<p>○「養父市消費生活センター」を設置、相談員1名を配置して相談業務に従事、システム入力して広域的に情報を共有している。</p> <p>○「たじま消費者ホットライン」を運営し、但馬の県市町が一体となって消費者行政を推進し、消費者の主体的かつ合理的な消費行動の促進を図る。</p>									
事業内容	事業概要	<p>○消費者被害防止の啓発のため、街頭キャンペーンや出前講座の実施</p> <p>○相談事例への的確な対応のため、弁護士・司法書士との連携を図る</p> <p>○相談員のスキルアップのため、専門講座や相談員研修等に積極的に参加する</p> <p>○「たじま消費者ホットライン」と連携した消費者相談、事例研修、啓発イベントの開催などを行う</p> <p>（歳出）            会計年度任用職員 3,663千円 研修旅費等 173千円 啓発物品等 1,510千円            たじま消費者ホットライン運営協議会負担金 113千円            （財源内訳）            ・消費者行政活性化事業補助金 1,581千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		相談件数					200件	220件	210件		
斡旋件数					40件	60件	57件				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	4,856	5,459	5,459	5,459	5,459						
財源内訳	一般財源	3,284	3,878	3,878	3,878						
	国支出金										
	県支出金	1,572	1,581	1,581	1,581						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		八鹿駅公衆便所等維持管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に	11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養父市内外の利用者								
	背景と目的	○JR八鹿駅周辺整備事業の一つとして、平成16年3月にJR八鹿駅公衆トイレ及びポケットパークが設置され、以後、利用者が快適に利用できるよう適正な維持管理を行う。								
事業内容	事業概要	<p>○男女トイレの便器洋式化工事 ○八鹿駅に設置している公衆トイレ及びポケットパークの維持管理。 ○施設清掃の委託実施。 ○JRとの土地賃借事務。</p> <p>(財源内訳) 公共施設整備等基金 4,316千円 (歳出) 便器洋式化工事等 4,316千円 施設維持修繕等 869千円 土地賃借料 509千円</p>								
	前年度からの変更点	便器洋式化に伴い工事請負費、委託料の増								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		八鹿駅公衆トイレ・ポケットパークへの苦情件数					0件	0件	0件	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,387	5,694	1,988	1,378	1,378					
財源内訳	一般財源	1,387	1,378	1,988	1,378	1,378				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		4,316							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		畜犬登録事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	市民課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費	
根拠法令等	狂犬病予防法									
事業目的	対象	市民（犬の飼育者）								
	背景と目的	○狂犬病予防法に基づき、犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付を行い、狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>○獣医師会と連携し、犬の登録と狂犬病予防注射の実施、注射済票の交付を行う</p> <p>○犬の登録、鑑札の交付</p> <p>○獣医師会と連携し狂犬病予防注射接種の啓発及び集合注射を実施する</p> <p>○犬、猫の迷子については、遺失物法により最寄の警察署及び県が所管のため、連携して対応する</p> <p>(歳出)</p> <p>畜犬登録等事務委託料 101千円      鑑札・注射済票作製費 79千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>畜犬登録手数料 180千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		登録犬の狂犬病予防注射の接種率					100.0%	71.6%	70.7%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	195	180	180	180	180					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	195	180	180	180	180				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		墓地管理事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	市民課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	8	墓地事業費		
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律、養父市営墓地の設置及び管理条例ほか										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	<p>○墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)に基づき、市営墓地（大徳霊園・大塚霊苑・大屋富士霊苑）を設置している。</p> <p>○養父市営墓地の設置及び管理条例及び規則の規定に基づき、市営墓地を運営し適正な維持管理を行う。</p>									
事業内容	事業概要	<p>○霊苑内通路等の計画的な草刈り</p> <p>○霊苑施設、設備等の維持修繕</p> <p>○霊苑の定期的な見廻り等の点検実施</p> <p>(歳出)</p> <p style="padding-left: 20px;">施設修繕費等 484千円      草刈等作業委託料 420千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p style="padding-left: 20px;">墓地維持管理手数料      546千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	937	904	904	904	904						
財源内訳	一般財源	362	358	358	358	358					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	575	546	546	546	546					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		火葬場管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	市民課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	10	火葬場費		
根拠法令等	墓地、埋葬に関する法律 養父市斎場設置及び管理条例										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	○人生終焉の場の際し、ご遺族に心の安らぎと、故人を偲ぶ追悼のときを感じていただくための火葬施設として、設備や環境保全に努めるとともに環境汚染防止対策などを行い、市民の福祉と公衆衛生の向上に寄与し、尊厳と静雅な施設であり続けるため、適正な維持管理を行なう。									
事業内容	事業概要	<p>○斎場「静霊苑」の適正な維持管理          ○火葬炉5基の管理・修繕          ○公害、悪臭等の発生防止と調査の実施          ○斎場予約システムの導入（歳出）</p> <p>会計年度任用職員 19,326千円 施設維持 10,338千円 火葬炉等修繕 6,311千円          環境調査 385千円 施設点検清掃費 3,679千円 予約システム 952千円          （財源内訳）          火葬場使用料 16,860千円 （小動物用）骨壺代受入金 240千円</p>									
	前年度からの変更点	火葬炉設備修繕料の増									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)		実績見込 (R5)		実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)		R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)		
事業費	33,897		40,991		41,500		41,500		41,500		
財源内訳	一般財源	17,192		22,939		24,500		24,500		24,500	
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	16,705		18,052		17,000		17,000		17,000	

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	市民課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	10	火葬場費
根拠法令等	道路運送車両法								
事業目的	対象	養父市民							
	背景と目的	○市民課所管の専用車両の適正な維持管理を行う。							
事業内容	事業概要	○専用車両の適正な維持管理 消費生活相談専用車(姫路480な5503) 車検 斎場専用車 (姫路480た8969) 12カ月点検 (歳出) 法定点検費 62千円 車両修繕費 159千円 燃料費 178千円							
	前年度からの変更点	燃料費の減							
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	455	399	400	400	400				
財源内訳	一般財源	455	399	400	400	400			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

やぶぐらし・

地方創生課

## 実施計画書

事業名		元気な養父づくり応援寄附推進事業費		枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号				
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			12	つくる責任、つかう責任				
	16	平和と公正をすべての人に			17	パートナーシップで目標を達成しよう					
実施主体	養父市			担当課	やぶぐらし・地方創生課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	6	企画費
根拠法令等	養父市元気な養父づくり応援寄附条例(令和3年条例第2号) 養父市元気な養父づくり応援寄附条例施行規則(令和4年規則第17号) 養父市元気な養父づくり応援寄附推進事業実施要綱(令和4年告示第132号)										
事業目的	対象	日本国民									
	背景と目的	・養父市への応援支援を目的とした寄附について、ふるさと納税制度により推進する。 ・ふるさと納税制度の募集経費50%ルールを遵守し納税額増に取り組む。 ・市内事業者の特産品等を返礼品に活用し寄附額増を図るとともに、返礼品購入により事業者の売上増につなげ、地域経済の活性化を目指す。 ・独自性のある施策や事業、養父市の観光等の発信を通して、つながり人口増や応援いただける養父市ファンづくりに取り組む。									
事業内容	事業概要	ふるさと納税業務の推進に必要な経費を計上する。  <b>【歳入】</b> 元気な養父づくり応援基金繰入金 153,830千円  <b>【歳出】</b> 返礼品・送料等 107,152千円 委託料・広告料等経費 38,993千円 システム使用料等 3,388千円 その他事務経費 4,297千円									
	前年度からの変更点	年間ふるさと納税額（年間見込） 500,000千円 → 300,000千円									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		ふるさと納税寄附件数					12,200件	10,000件	7,683件		
ふるさと納税寄付金額					300,000千円	250,000千円	178,274千円				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	275,992	153,830	160,000	180,000	200,000						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	275,992	153,830	160,000	180,000	200,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		定住促進対策事業費			枝番	単位事業名		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号	
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）						
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	11 住み続けられるまちづくりを						
実施主体		養父市		担当課	やぶぐらし・地方創生課			
会計区分		一般会計			当初補正区分	当初予算		
予算費目		款 2	総務費		項 1	総務管理費	目 8	地域振興費
根拠法令等		養父市空き家情報登録制度「空き家バンク」実施要綱（令和元年告示第1号） 養父市やぶの空き家活用支援事業実施要綱（令和2年告示第112号） 養父市やぶ暮らし住宅支援奨励金交付要綱（令和4年告示第31号） 養父市ひょうごわくわく地方生活実現支援事業実施要項（令和3年告示第80号）						
事業目的	対象	在住者、市への移住希望者、東京圏から養父市に移住した者（就業、起業を伴う）						
	背景と目的	・市内在住者、移住希望者が養父市に住み続けるための施策の一つとして実施する。 ・生活の基盤となる住宅施策の充実により魅力あるまちとして認識を高め、UIターン等の促進により人口減少対策を図る。 ・仕事・住まい・子育て・就農・慣習・近所づきあいなど多岐にわたる相談業務であるが、子育て・移住サポートセンター及びジョブサポやぶによりワンストップでの対応に努め、スムーズな移住につなげる。						
事業内容	事業概要	1. 移住定住・暮らし相談業務等 窓口のワンストップ促進、やぶで暮らそうセミナー等の開催 移住定住交流事業（都市部での相談会、県移住サポートセンターとの共同事業）の実施 2. 空き家バンクの運営、住宅支援制度の実施 3. 空き家調査・見学対応、やぶぐらしサイト運営、住宅環境整備に対する補助支援 4. ちょこっと暮らし住宅運営事業 5. 移住定住ガイドブック作成  【歳入】県補助1,320千円、過疎債17,000千円、地域活性化センター2,000千円ほか 【歳出】住宅支援補助金 24,000千円、事業運営委託料4,480千円ほか						
	前年度からの変更点	・地域活性化センター助成を得て移住定住交流事業を実施 ・公共施設総合管理計画に基づき、お試し住宅2棟（大屋市場・加保）の売却検討 ・高校生ふるさと教育等を分離し「地域をつなぐ若者応援事業費」へ						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	転入者数		530人	458人	448人			
	移住相談件数		1,500件	1,050件	1,067件			
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)		
事業費		38,514	38,226	38,200	38,200	38,200		
財源内訳	一般財源	19,454	17,546	37,840	37,840	37,840		
	国支出金	500	0					
	県支出金	1,200	1,320					
	地方債	17,000	17,000					
	その他	360	2,360	360	360	360		

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域おこし協力隊活動事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	やぶぐらし・地方創生課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市地域おこし協力隊設置要綱（平成27年告示第49号） 養父市地域おこし協力隊起業支援補助金交付要綱（平成29年告示第62号）									
事業目的	対象	都市地域に住む人 地域活性化に意欲のある人								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化・地域課題解決に繋がる活動を行う地域外の人材を、地域おこし協力隊として積極的に採用する。</li> <li>・任期中から隊員の活動支援（フォロー）に努め、事業定着や隊員の定住促進を図る。</li> <li>・地域おこし協力隊の活動終了後、市内に起業する場合、その経費に対して補助金を交付し起業及び定住を促進する。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度中は13名の協力隊が活動した。令和6年度当初では10名になる見込み。令和6年度中に4名の隊員募集を予定。</li> <li>・協力隊退任後の活動支援として、事業継続や起業に当たり100万円を上限に補助を行う。</li> <li>・行政、地域住民及び関係者等と協力・連携し隊員の活動を経済的、人的に支援する。</li> </ul> <p>【歳入】 一般財源 51,127千円（特別交付税対象）、創生基金4,400千円 【歳出】 協力隊報償費等 27,032千円、委託費 21,143千円 起業支援補助金 5,000千円（5人）、その他経費 2,352千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		地域おこし協力隊の委嘱数				4人	1人	3人		
地域おこし協力隊の定着率				73%	64%	50%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	71,033	55,527	55,000	55,000	55,000					
財源内訳	一般財源	66,633	51,127	55,000	55,000					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	4,400	4,400							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		結婚応援推進事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市		担当課	やぶぐらし・地方創生課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費
根拠法令等	養父市縁結び奨励金交付要綱								
事業目的	対象	概ね近隣の市内外の独身男女							
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に晩婚化、未婚化が進み養父市でも同様の状況である。</li> <li>・令和2年度の国勢調査では養父市未婚率は20歳から39歳で男性が57.2%、女性が42.9%でありいずれも上昇している。</li> <li>・出会いの機会創出と成婚へつながる支援に取組み、市内定住や人口減少対策を図る。</li> </ul>							
事業内容	事業概要	1. 縁結び奨励金交付事業 成婚に導き、定住に至るまで世話をした縁結び世話人・団体に対する奨励金（200千円） 2. 出会い応援事業 交流イベント、婚活セミナーの開催など（1,000千円）年間4回（予定） 3. 結婚新生活支援事業 新たに婚姻届を出した新婚世帯に要する転居費用等に対する補助金（1,200千円） （歳入）交付金 地域少子化対策重点推進交付金 600千円 補助率1/2  <b>【歳入】</b> 国補助600千円、一般財源1,800千円 <b>【歳出】</b> 報償費200千円、委託料1,000千円、補助金1,200千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		婚姻数		65組	50組	44組			
出会い・結び合い事業実施回数		4回		5回	3回				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400				
財源内訳	一般財源	1,800	1,800	2,400	2,400	2,400			
	国支出金	600	600						
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		地域をつなぐ若者応援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
	8	働きがいも経済成長も								
実施主体	養父市			担当課	やぶぐらし・地方創生課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市まちづくり基本条例									
事業目的	対象	市民等								
	背景と目的	1. 人口増への取り組みの一つとして、U・Iターンによる転入者数を増やす施策。 2. 高校生から大学生等の若者は、自身の将来を考える年代でもあり、進路選択や職業観を養う機会の造成が求められている。 3. 市、高校、企業の3者が協力して将来設計への一助一考となるよう企業と対話する場を設ける。 4. ふるさと産品を送る事業等を実施し、合わせて意識調査や就活情報等を提供し、進学後もつながりを維持する事業とする。								
事業内容	事業概要	1. 高校生対象 キャリアトーク事業、ふるさと教育事業、コミュニケーション研修 2. 大学生等対象 ふるさと産品給付事業、意識調査、メール活用(情報発信等)  <b>【歳入】</b> 国庫支出金1/2 1,820千円、創生基金1,400千円、一般財源420千円 <b>【歳出】</b> 講師謝金等170千円、事業運営委託料3,460千円等								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
	養父市に住みたいと思う学生				50%	31%	30%			
	U・Iターン奨励金の申請件数				35件	27件	20件			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	0	3,640	3,700	3,750	0					
財源内訳	一般財源		420	3,700	3,750					
	国支出金		1,820							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		1,400							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		元気な養父づくり応援基金費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	16	平和と公正をすべての人に							
実施主体	養父市			担当課	やぶぐらし・地方創生課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	13	緒支出金	項	1	基金費	目	3	特定目的基金費	
根拠法令等	養父市元気な養父づくり応援寄附条例 養父市基金条例									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	養父市へ共感と想いを持つ人々からいただいた寄附金を当該基金に積み立て、適正に管理する。								
事業内容	事業概要	<p>・ふるさと納税寄附金を当該基金に積み立て適正な管理を行う。</p> <p>【歳入】 元気な養父づくり応援寄附金 300,000千円 【歳出】 基金積立金 300,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	500,000	300,000	325,000	350,000	375,000					
財源内訳	一般財源									
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	500,000	300,000	325,000	350,000	375,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

人權・協働課

（地域局）

# 実施計画書

事業名		行政相談事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう				
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に					
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	文書広報費		
根拠法令等	行政相談委員法										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	①総務大臣から移植された行政相談委員が相談所を開設し、国や県などが行う業務に対する苦情、意見、要望などを幅広く受け付け、その解決を通じて行政運営の改善を図る。 ②行政相談委員（養父市4名）の活動及び運営上の事務処理を支援し、行政相談委員の資質向上と市民の相談・問題解決に資する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市行政相談委員会」活動助成</li> <li>・但馬地区行政相談業務連絡協議会活動への参加</li> <li>・定例相談：毎月各1回4会場</li> <li>・特設相談：随時</li> <li>・行政相談の周知広報活動、自主研修会の開催</li> </ul> （歳出）市行政相談委員会補助金80千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	90	80	80	80	80						
財源内訳	一般財源	90	80	80	80						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		参画と協働の推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費	
根拠法令等	養父市条例（養父市まちづくり基本条例、養父市提案型市民協働事業実施要綱）									
事業目的	対象	市民、NPO法人、市民活動団体、企業等								
	背景と目的	<p>少子高齢化の進行、子育て、介護、環境問題など行政を取り巻く課題は多種多様化し、行政のみでこれらの公共サービスを担うには限界がある。</p> <p>一方、社会や地域の課題を市民自らが解決しようとする市民活動団体の活動が活発になり、多様化した公共サービスの担い手として期待されている。このような多様化した公共サービスの領域を、行政と市民活動団体が協働により取り組むことを目的とする。</p>								
事業内容	事業概要	<p>地域課題や行政課題を解決しようとする市民活動団体による公益的な事業の提案を募集、審査し、採択した事業について団体と市が協働で実施することにより、市政への市民参加の促進と市民主体のまちづくりを推進する。</p> <p>◇協働のまちづくりの推進（提案型市民協働事業の実施）</p> <p>事業推進にあたり、採択団体が複数の場合、事業運営委託料1団体上限500千円で2団体とする。ただし、上限500千円の事業のみを採択するのではなく、事業費の多寡にかかわらず必要なことに必要な分のみ委託できることを周知する。また協働する担当課は、提案の段階から提案団体と関わる。</p> <p>◇協働事業審査会の運営</p> <p>事業期間を十分に確保するため、前年度に募集及び審査を行い、年度当初から事業に着手する。</p> <p>◇スケジュール R6.1 R6年度提案事業公募 R6.3 審査会 R6.4 事業実施</p> <p>（歳出）報酬25千円（審査会委員）、研修会謝金50千円、費用弁償37千円、チラシ等印刷製本費50千円、提案型事業委託料1,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		地域自治組織や団体等と養父市の協働事業件数					2件	2件	2件	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,182	1,162	1,162	1,162	1,162					
財源内訳	一般財源	1,182	1,162	1,162	1,162					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域づくり支援事業費		枝番	1	単位事業名	地域づくり支援事業			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市まちづくり基本条例、養父市規則、要綱（集会施設改修事業補助金交付要綱 他）									
事業目的	対象	各区、地域自治組織								
	背景と目的	活力ある地域づくりを進めるため、市民、地域及び関係機関と連携し、各種地域振興策、地域課題解決に向けた地域振興策を講じる。								
事業内容	事業概要	<p><b>【地域づくり支援事業】</b> 多様な地域課題の解決や今後の地域自治組織のあり方を検討。委員報酬125千円、アドバイザー謝金410千円、旅費156千円、需用費30千円、運転業務委託料60千円</p> <p><b>【コミュニティ助成事業】</b> （財）自治総合センターが行うコミュニティ助成で、区や自治組織のコミュニティ活動に必要な設備の整備経費を助成。100万円以上250万円限度。市審査の結果3団体を申請予定。下八木区（下八木区コミュニティ活動備品・除雪機の整備2,500千円）、岡区（岡区コミュニティ活動備品・除雪機の整備2,400千円）、関宮区栄町町内会（関宮区栄町町内会コミュニティ活動備品の整備1,500千円）総額：負担金補助金 6,400千円</p> <p><b>【集会施設改修事業】</b> 区や地域自治組織が行う100万円以上の集会施設の改修に対して、その経費の1/2、100万円を限度に助成。 ＜予定区＞大屋市場区、糸原区、奈良尾区 補助金3,000千円</p> <p><b>【持続可能な多自然地域づくり事業】</b> 地域の多様性を生かした取り組みや個性を磨く地域づくりを行う地域自治組織に対して助成 ＜予定＞ソフト事業 計3,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	13,523	13,181	13,181	13,181	13,181					
財源内訳	一般財源	5,213	4,762	4,762	4,762					
	国支出金									
	県支出金	2,666	2,000	2,000	2,000					
	地方債									
	その他	5,644	6,419	6,419	6,419					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		地域づくり支援事業費		枝番	2	単位事業名	明延活性化事業			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	8	働きがいも経済成長も			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	明延鉱山遺産等								
	背景と目的	過疎化と高齢化が進む明延では、鉱山遺産を活用した地域活性化に取り組み、交流人口や関係人口の増加を目指している。 一円電車の運行を中心に、探検坑道や史跡を活用した地域振興事業を進めるために、地域との協働に加え、適正な維持管理が必要である。								
事業内容	事業概要	一円電車は近代化産業遺産、日本遺産を構成する遺産であるとともに、県文化財として認定される。老朽化が進み保全の取り組みが必要であるとともに、運行時の安全確保が不可欠である。 電車や線路、施設の適正な維持管理を行うとともに、鉱石の道明延実行委員会を組織し、鉱山遺産を活用した事業を展開する。  報償費：80千円、旅費：30千円、需用費：182千円、委託料：150千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		明延地区への来訪者数				13,000人	8,000人	8,832人		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	827	442	900	900	900					
財源内訳	一般財源	827	442	900	900	900				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		地域づくり支援事業費		枝番	3	単位事業名	魅力向上事業費			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	8	働きがいも経済成長も			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民、来訪者								
	背景と目的	大屋地域では、エリア全体での来訪者数の減少等による課題を抱えるので、個々の魅力向上を図るとともに、相互に連携する取組みが必要である。 また、地域局周辺は公共的施設が比較的集積し、連携による市民サービスの向上が期待できるとともに、地域資源を活用した賑わい創出を目指すもの。								
事業内容	事業概要	<p>◆木彫フォークアート阪急うめだ展 大屋地域を代表する地域資源である「木彫」の魅力向上を図るため、企画展を開催し、公募展及び木彫展示館、さらに養父市のプロモーションを行い、魅力向上に繋げる。 ・阪急うめだ展 令和6年7月18日～7月24日 報償費：30千円、旅費：187千円、需用費：114千円、委託料：90千円</p> <p>◆大屋地域の拠点エリア推進 拠点エリアや地域資源の活用を図るため、課題やニーズを共有を目指す講演会・ワークショップ等を開催する。 報償費：100千円、旅費：40千円、需用費：100千円、委託料：275千円</p>								
	前年度からの変更点	阪急うめだ本店での展示、拠点エリアの推進								
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		大屋地域への来訪者数			200,000人	100,000人	104,012人			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	918	936	850	850	850					
財源内訳	一般財源	918	936	850	850	850				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		地域自治組織運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市まちづくり条例、地域自治組織の財政支援に関する条例									
事業目的	対象	地域自治組織、市民								
	背景と目的	過疎と高齢化に対応しながら、まちづくり基本条例の3原則「市民主体」「相互協働」「地域尊重」によるまちづくりを実現するため、旧小学校区を単位とした18地域自治組織を設置する。持続可能な活力ある地域づくりをすすめ、世代を越えて助け合える、自立した地域コミュニティを育成する。								
事業内容	事業概要	<p>①「市民主体」「相互協働」「地域尊重」の原則によるまちづくりの推進。</p> <p>②各地域自治組織が創意と工夫、責任と判断で地域課題の解決に向けた活動や自治活動を支援する。</p> <p>③自治組織の役割が重要となる中、自治組織の事務局を担う事務員、事務局長の勤務条件の整備をすすめ、R2年度から社会保険料等の事業主負担分を包括交付金の対象としている。（社保に加入した場合のみ加算）</p> <p>（歳出）地域自治組織包括交付金100,638千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		地域担当チーム職員の活動延べ人数				160人	125人	157人		
地域自治組織における多世代交流事業の割合				35.0%	27.0%	11.7%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	101,578	100,638	100,638	100,638	100,638					
財源内訳	一般財源	52,578	52,638	100,638	100,638	100,638				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	49,000	48,000							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域活性化事業費		枝番	単位事業名	ウインタースポーツ大会			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号	
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)							
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	関宮地域局				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費
根拠法令等									
事業目的	対象	一般市民および小中学生							
	背景と目的	養父市には、関西を代表する4つのスキー場があり、冬期間には多くのスキー客で賑わう。そのうち旧関宮エリアには3つのスキー場が点在し、ウインタースポーツの拠点となっている。この立地条件を活用したウインタースポーツ大会を開催することで、地域文化の定着および子どもたちの地域への愛着を醸成し、また、養父市の魅力を発信することで、将来に亘る定住人口、交流人口の維持増加を目的とする。							
事業内容	事業概要	ハチ高原スキー場で開催し、地元スキークラブ、地元スキージュニアチーム、ハチ高原観光関係者、用具メーカー等と連携し、スキー大会を開催。 競技はジャイアントスラロームで、小学1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学生、一般、マスターズの各男女12クラスで競う。  (歳出) 養父市地域活性化事業実行委員会補助金 1,200千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)				
事業費	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200				
財源内訳	一般財源	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		伝統芸能振興事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	葛畑農村歌舞伎伝承会・お走り祭り保存会			担当課	関宮地域局・養父地域局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市要綱（葛畑農村歌舞伎伝承振興事業補助金交付要綱）										
事業目的	対象	葛畑農村歌舞伎並びに養父神社お走りまつりで地域の伝統芸能継承活動									
	背景と目的	葛畑農村歌舞伎並びにお走りまつりは地域に受け継がれる貴重な伝統文化で、人のつながりや地域の誇りを生み出すとともに、生まれ育った地域や人への愛情を醸成する取組である。伝統文化を地域のアイデンティティとして尊重し、保存継承することで生活の豊かさを見出し、地方創生を推進する。									
事業内容	事業概要	<p>1. 地域の貴重な伝統文化を保存・継承する取組を支援し、地域に誇りや愛情を抱く人を育み定住など地方創生を推進する。</p> <p>2. 葛畑農村歌舞伎伝承会の第20回せきのみや子ども歌舞伎公演と、お走りまつり保存会のお走りまつり伝承活動を支援する。</p> <p>(財源内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造助成金（その他） 定額 500千円</li> <li>・元気基金 4,400千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葛畑農村歌舞伎伝承事業補助金 6,100千円</li> <li>・お走りまつり保存会活動助成 254千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標						目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		葛畑農村歌舞伎観覧者						645人	645人	364人	
年次計画と財源	R5年度 (千円)		R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)		
事業費	11,556		6,354		6,354		6,354		6,354		
財源内訳	一般財源	1,454		1,454		1,454		1,454		1,454	
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	10,102		4,900		4,900		4,900		4,900	

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		木彫フォークアートおおや事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	8	働きがいも経済成長も			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民、来訪者								
	背景と目的	木彫の全国公募展で令和6年で30回の節目の開催となる。シティプロモーションや地域文化の醸成を目的とする市を代表するイベントである。								
事業内容	事業概要	<p>公募展(予定)            審査: 令和6年9月8日、授賞式: 9月22日、会期: 9月13日~9月29日/17日間            会場: おおやホール</p> <p>報酬: 334千円、報償費: 593千円、旅費: 62千円、需用費: 1,055千円、役務費: 198千円            委託料: 900千円、使用料及び賃借料: 220千円、備品購入費: 2,800千円</p>								
	前年度からの変更点	30回記念に合わせ特別賞を設定								
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		公募展来場者数				5,000人	3,081人	2,536人		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	5,961	6,162	5,900	5,900	5,900					
財源内訳	一般財源	5,424	5,625	5,300	5,300	5,300				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	537	537	600	600	600				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		木彫展示館運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市条例（養父市大屋文化交流施設木彫展示館設置及び管理条例）									
事業目的	対象	市民、来訪者								
	背景と目的	公募展木彫フォークアートおおやの優秀作品の収蔵と一般公開を行う施設。木彫芸術の魅力を伝え、地域の活性化に繋げる。施設は、重伝建に指定される大杉地区の玄関口に位置することから、拠点施設等の役割を担う。								
事業内容	事業概要	指定管理委託により大杉区が管理（平成18年～） 施設）展示場、創作棟、駐車場、中庭 業務）施設の維持管理、入館料及び使用料の収納、展示会・交流会等のイベント開催、木彫作品の貸出など  委託料：2,076千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		来場者数				1,000人	1,000人	715人		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	1,814	2,076	2,076	2,076	2,076					
財源内訳	一般財源	1,814	2,076	2,076	2,076					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		はさまじ里山の森公園維持管理事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	養父地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市条例（養父市はさまじ里山の森公園設置及び管理条例）									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	安全で快適な憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進、子育て世代の生活環境づくりに資するとともに、交流による地域再生（活性化・賑わいづくり）を創出する。								
事業内容	事業概要	<p>平成19年度に兵庫県から譲渡された兵庫県畜産試験場和田山分場跡地及び堀畑1号墳周辺の有効活用に向けて平成21年度から26年度にかけてグラウンドゴルフ場を中心とした市民の憩いの公園として整備した「はさまじ里山の森公園」を、指定管理により安全で快適・賑わいを創出する施設として運営する。</p> <p>【歳出】          養父市はさまじ里山の森公園維持管理(事業費4,400千円)          ・維持管理費(修繕料) 400千円          ・指定管理料 4,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		グラウンドゴルフ利用者					4,000人	1,000人	975人	
交流センター・多目的広場利用者等					13,500人	16,500人	17,786人			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	4,550	4,400	4,400	4,550	4,400					
財源内訳	一般財源	4,550	4,400	4,400	4,550	4,400				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		おおやアート村拠点施設管理事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市条例（養父市おおやアート村拠点施設設置及び管理条例）									
事業目的	対象	市民、来訪者								
	背景と目的	アートをキーワードに賑わいの創出を目指す「おおやアート村構想推進プラン」の拠点施設として平成24年にオープンした。施設管理は市直営で、企画運営をNPO法人おおやアート村と協働で実施している。								
事業内容	事業概要	<p>&lt;市業務&gt;            展示場（作品展示）、創作棟（ワークショップ等のアート体験）、アトリエ棟（貸アトリエ、まんが図書室等）の管理運営            需用費3,176千円、役務費171千円、委託料：460千円、使用料及び賃借料：96千円</p> <p>&lt;NPO法人業務&gt;            展示場を活用した作品展示等の企画・運営、アート村関連イベントの開催、施設の夜間管理事業運営委託料：800千円、管理業務委託料：168千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		来場者数					10,000人	5,600人	5,200人	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	8,992	10,823	9,000	9,000	9,000					
財源内訳	一般財源	6,699	8,622	6,800	6,800	6,800				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	2,293	2,201	2,200	2,200	2,200				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		地域自治組織拠点整備事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等	養父市まちづくり条例、地域自治組織の財政支援に関する条例									
事業目的	対象	地域自治組織、市民								
	背景と目的	過疎と高齢化に対応しながら、まちづくり基本条例の3原則「市民主体」「相互協働」「地域尊重」によるまちづくりを実現するため、旧小学校区を単位とした18地域自治組織を設置する。持続可能な活力ある地域づくりをすすめ、世代を越えて助け合える、自立した地域コミュニティを育成する。								
事業内容	事業概要	<p>「市民主体」「相互協働」「地域尊重」の原則によるまちづくりの推進に向け、地域が自立して主体的に活動するための施設を整備する。</p> <p>R6年度は、出合校区協議会の拠点施設として、旧出合こども園の室内改修工事を行う。</p> <p>施行監理委託料1,400千円、工事請負費32,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	2,500	33,400	2,500	40,100						
財源内訳	一般財源	2,500	0	2,500	40,100	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債		33,400							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		関宮地域局周辺整備事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
	12	つくる責任、つかう責任								
実施主体	養父市			担当課	関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	地域振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	合併により衰退が著しい旧関宮町の中心地に再び賑わいを取り戻すため、地域の主要施設が集中する関宮地域局周辺一帯を「関宮小さな拠点」と位置づけ、医療・福祉・子育て・交流・防災等、市民活動の核となる拠点を整備し、「養父市まちづくり計画」の実践として新たな賑わいを創出する。								
事業内容	事業概要	<p>関宮地域小さな拠点の構築のため、関宮公民館別館（仮称）や高齢者居住施設等を整備する。官民連携による適切な手法による発注を予定しており、3か年にわたり整備を行う。（財源内訳）</p> <p>合併特例事業債 693,400千円          公共施設等整備基金 36,510千円</p> <p>（歳出）          関宮公民館別館等設計建築業務 729,910千円          関宮小さな拠点計画等検討作成会議 390千円（謝金等）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	289,276	730,300	655,500	513,100	70,000					
財源内訳	一般財源	0	390	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	191,200	693,400							
	その他	98,076	36,510	655,500	513,100	70,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		社会福祉一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう			
	10	人や国の不平等をなくそう			16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	
根拠法令等	保護司法、人権擁護委員法									
事業目的	対象	養父市民								
	背景と目的	<p>今なお多くの犯罪や人権課題が存在し、悪質・巧妙化している。これらの解消を図る団体を支援することで、住みよいまちづくりを推進する。</p> <p>①犯罪を犯した者の更生を通じて地域社会の浄化、社会を明るくする運動の展開、再犯防止を図る養父保護区保護司会（定数23名）の活動を支援する。</p> <p>②地域に人権思想を広め、人権擁護の活動を行う養父市人権擁護委員（定数9名）の活動を支援し、人権啓発を推進する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>保護司会及び人権擁護委員会への活動助成金を交付するとともに、事務局としてその活動を支援する。</p> <p>（歳出）            旅費32千円、公用車運転業務委託料30千円、負担金補助及び交付金300千円（保護司会96千円、豊岡人権擁護委員協議会67千円、豊岡人権擁護委員会養父市地区委員会137千円）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	345	362	362	362	362					
財源内訳	一般財源	345	362	362	362	362				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		人権啓発事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし(生活)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画	第2次養父市人権教育及び啓発推進計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			4 質の高い教育をみんなに			10 人や国の不平等をなくそう			16 平和と公正をすべての人に
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	1 社会福祉総務費			
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律										
事業目的	対象	養父市民									
	背景と目的	今もなお、同和問題をはじめとする様々な人権課題が存在し、社会情勢の変化に伴い人権課題は複雑多様化してきている。人権尊重の理念を普及させ、人々の人権意識を高め、理解を深めるための啓発事業を行う。また、身の回りの出来事を人権の視点からとらえ意識していくことで、市民誰もが正しい理解と認識をし、人権が尊重されるまちづくりをすすめる。									
事業内容	事業概要	<p>①「人権文化をすすめる市民運動」を展開し、啓発作品の募集、展示、啓発資料(カレンダー・作文集)作成、配布</p> <p>②人権講演会、人権学習会、人権教育講演会の開催</p> <p>③人権文化をすすめる実践講座「人権学びステーション」の開催</p> <p>④人権の花運動の実施</p> <p>⑤養父市人権教育推進協議会等の活動を支援するとともに協働による人権啓発を行う</p> <p>⑥子育てブックを活用して自尊感情を育む事業の展開</p> <p>(歳入) 県人権擁護推進等事業費補助金210千円、県人権啓発活動地方委託事業委託金430千円  (歳出) 会計年度任用職員報酬等4,040千円、講師謝金等報償費755千円、旅費61千円、需用費1,172千円、備品購入費150千円、市人教等負担金2,923千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標(R6)		実績見込(R5)		実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)		R6年度(千円)		R7年度(千円)		R8年度(千円)		R9年度(千円)		
事業費	9,325		9,101		9,101		9,101		9,101		
財源内訳	一般財源	8,546		8,461		8,461		8,461		8,461	
	国支出金										
	県支出金	779		640		640		640		640	
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		男女共同参画事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし(生活)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画	第4次養父市男女共同参画プラン								
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに			
	5	ジェンダー平等を実現しよう			8	働きがいも経済成長も				
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法									
事業目的	対象	養父市民								
	背景と目的	誰もが性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる養父市をめざし、「第4次養父市男女共同参画プラン」に基づき、女性のキャリア支援、女性の参画を可能とする環境整備等をすすめる。また、男性も含めた働き方改革を推進し、すべての人がワークライフバランスを実現できる社会をめざす。								
事業内容	事業概要	①男女共同参画推進員との協働による事業実施を行う。 ②男女共同参画週間等の啓発事業として、啓発資料の掲示・配布を行う。 ③誰もが自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ豊かで活力ある社会をめざすため、女性のキャリアアップ支援として、女性リーダー養成講座を開催する。 ④あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成を進めるため、市内の団体・企業と連携し、女性活躍セミナー等を開催する。 ⑤教育委員会と連携し、小中学生への「いのちの教育」を推進する。 ⑥女性を対象とした就労・子育て支援など分野横断的な情報を提供し、支援を行うためワンストップ相談窓口を運用する。 ⑦「元気な養父づくり応援基金」を活用し、女性活躍に尽力された方への表彰と講演会を実施する。 (歳入) (国)地域女性活躍推進交付金277千円、元気な養父づくり応援基金400千円 (歳出) 相談員報酬216千円、報償費1,235千円、旅費181千円、需用費375千円、役務費36千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		審議会などへの女性の登用率				30.00%	27.70%	27.70%		
女性リーダー育成事業数				8回	8回	2回				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,967	2,043	2,043	2,043	2,043					
財源内訳	一般財源	1,111	1,366	1,366	1,366	1,366				
	国支出金	456	277	277	277	277				
	県支出金									
	地方債									
	その他	400	400	400	400	400				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		みふね会館管理運営費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			16	平和と公正をすべての人に			
		11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	人権・協働課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉課	目	7	社会福祉施設費	
根拠法令等	養父市条例（養父市立みふね会館設置及び管理条例、養父市立みふね会館運営委員会設置条例）									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	国民的課題である同和問題の解決に向けて、地域住民の生活改善や人権意識の向上に寄与するため各種事業を行う。また、人権が真に尊重される豊かな社会の実現に資するため、福祉の向上及び人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして事業を実施し、人権尊重のまちづくりを図る。								
事業内容	事業概要	<p>1. 人権啓発・地域交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸講座等住民交流を図る講座の実施・みふねだより等広報誌の発行・みふね会館文化祭の開催</li> <li>・市人教八鹿支部と連携した各種人権啓発事業の実施</li> </ul> <p>2. 相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活相談、就労相談、人権相談の実施</li> </ul> <p>3. 管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理、貸館事業、下網場児童遊園の管理</li> </ul> <p>(歳入) 県みふね会館運営費補助金4,495千円、みふね会館使用料180千円  (歳出) 会計年度任用職員報酬等5,260千円、講師謝金等報償費1,911千円、旅費76千円、需用費1,561千円、施設点検整備手数料等役務費170千円、シルバー人材センター等委託料177千円、使用料及び賃借料103千円、備品購入費240千円、県隣保館連絡協議会負担金89千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,471	9,587	9,587	9,587	9,587					
財源内訳	一般財源	3,796	4,912	4,912	4,912					
	国支出金									
	県支出金	4,495	4,495	4,495	4,495					
	地方債									
	その他	180	180	180	180					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 公民館

# 実施計画書

事業名		文化会館・ホール管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	文化会館・ホール運営費	
根拠法令等	養父市条例（やぶ市民交流広場設置及び管理条例）ほか									
事業目的	対象	市民及び施設利用者								
	背景と目的	市民の教養を高め、地域の芸術文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、心豊かな地域社会の形成に寄与する。								
事業内容	事業概要	<p>4館ホールの適切な維持管理に努め、安全で快適な施設環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4館ホールの施設、設備の維持管理、消防設備点検、排煙設備点検、清掃業務等（歳入）</li> <li>・ホール使用料 2,200千円 ・書籍等販売代金 10千円（歳出）</li> <li>・施設維持管理運営費 1式 40,446千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>うちおおやホール 音声誘導灯更新 1,067千円</li> <li>YBホール 平台運搬車購入 660千円</li> </ul> </li> </ul>								
	前年度からの変更点	建設費（ビバホール舞台吊物改修、おおやホール屋上防水）の減、保守点検費用の増								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	73,992	40,446	42,000	42,000	42,000					
財源内訳	一般財源	44,223	38,236	40,000	40,000	40,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	29,769	2,210	2,000	2,000	2,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		文化会館・ホール運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	文化会館・ホール運営費	
根拠法令等	養父市条例（やぶ市民交流広場設置及び管理条例）ほか									
事業目的	対象	市民及び施設利用者								
	背景と目的	<p>（やぶ市民交流広場ホール・ビバホール・おおやホール・ノビアホールの運営事業）より多くの市民に優れた芸術鑑賞の場を提供し、地域文化の振興を図る。また、地域の特色を活かしたイベントを実施し、参画と協働で運営する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>舞台芸術を通して、市民に潤いと活力を与える。          ・4館ホール事業の実施（主催事業、NPO法人、振興会等委託等）</p> <p>（歳出）          ・ホール運営費 1式 8,641千円            うち自主事業運営委託料 4,300千円            ホール運営委託（ホールスタッフ） 2,200千円</p>								
	前年度からの変更点	建設費（ビバホール舞台吊物改修、おおやホール屋上防水）の減、保守点検費用の増								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		地域の特色ある事業数				80	76	72		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,814	8,641	8,800	8,800	8,800					
財源内訳	一般財源	8,814	8,641	8,800	8,800	8,800				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		公民館管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費		
根拠法令等	社会教育法、養父市条例（養父市立公民館条例）										
事業目的	対象	市民及び施設利用者									
	背景と目的	公民館は、多様な学習機会や集会の場の提供など、市民の学習需要に応える社会教育施設である。実際生活に則する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上、生涯学習社会の構築、社会福祉の増進に寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>4公民館の適正な維持管理を実施し、安全で快適な施設としての利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理 夜間管理（シルバー委託）、点検、清掃</li> <li>・設備の維持管理 排煙、電気、消防設備点検および保守管理</li> <li>・施設の運営 OA機器、事務用品、管理消耗品の整備、保険加入（歳入）</li> <li>・公民館使用料 1,081千円 ・元気基金繰入金 30,000千円</li> <li>・公共施設基金繰入金 4,900千円 ・光熱水費受入金等 241千円（歳出）</li> <li>・会計年度任用職員報酬等 29,027千円 ・施設維持管理費 1式 58,322千円（うちYBパーク整備事業 30,000千円、駐輪場屋根整備 4,900千円）</li> </ul>									
	前年度からの変更点	【建設費】【維持修繕費】の増									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	58,026	87,349	53,000	53,000	53,000						
財源内訳	一般財源	51,684	51,127	51,000	51,000	51,000					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	6,342	36,222	2,000	2,000	2,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	公民館						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費		
根拠法令等	道路交通法等										
事業目的	対象										
	背景と目的	所管課の事務、事業の用に供するため、公用自動車2台を適正に維持管理する。									
事業内容	事業概要	公用車の適正な維持管理に努める。 (歳出) ・維持管理費 1式 345千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	277	345	300	300	300						
財源内訳	一般財源	277	345	300	300	300					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		交流活動推進事業費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号	
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)							
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう		
実施主体	養父市			担当課	養父地域局(養父公民館)				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費
根拠法令等									
事業目的	対象	養父市民・北海道留寿都村民・大阪府豊中市民							
	背景と目的	<p>【留寿都村交流】 養父市の小学生を「やぶっ子親善使節団」として留寿都村へ派遣し、異文化・歴史に触れる機会を通じて子どもたちの自主性・協調性を養うとともに、ふるさと養父市愛の醸成を図る。</p> <p>【豊中市高川公民館分館交流】 豊中市高川地区で開催される「高川まつり」に参加し、文化活動・特産品販売等を通じて地域間交流を深める。</p>							
事業内容	事業概要	<p>①北海道留寿都村との交流【事業費557千円(旅費254、需用費152、委託料110、使用料41)】</p> <p>(1)「留寿都村やぶっ子親善使節団派遣事業」(7月下旬) 養父市内小学生5年生・6年生を3泊4日の日程で派遣</p> <p>(2)留寿都村生涯学習ふれあいの旅の受入れ(8月上旬) 留寿都村小学生6年生を1泊2日の日程で受入れ、市内見学により市民交流を図る。</p> <p>(3)養父・留寿都村児童作品の相互展示 やぶ文化祭(10月)にて留寿都村児童の書道・絵画等の作品を展示するとともに、留寿都村公民館まつり(1月)では、養父市内児童の書道・絵画等の作品展示し文化交流を図る。</p> <p>②豊中市高川地区との文化交流【事業費60千円(報償費10、旅費15、需用費5、委託料30)】 高川まつりに参加し、芸能発表等による文化交流や市内特産農産物の販売等による養父市のPRを行う。</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		留寿都村やぶっ子親善使節団の派遣人数				20人	4人	中止	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)				
事業費	604	617	617	617	617				
財源内訳	一般財源	604	617	617	617				
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		分館管理運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費	
根拠法令等	養父市葛畑コミュニティセンター設置及び管理条例									
事業目的	対象	市民及び施設利用者								
	背景と目的	豊かな人間生活を回復し、安全で快適な生活環境と併せて、住民同士が対話し、連帯意識を深め、真に住民が、望む地域社会を実現することを目的とし、設置された葛畑コミュニティセンターを適切に管理・運営する。								
事業内容	事業概要	関宮公民館分館葛畑コミュニティセンター及び体育館の管理・運営 (歳入) ・葛畑コミュニティセンター使用料 80千円 (歳出) ・施設維持管理費 699千円 (管理謝金120千円、修繕料100千円、電気料192千円、上下水道料153千円等)								
	前年度からの変更点	特定建築物検査の減								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	829	699	700	830	700					
財源内訳	一般財源	749	619	620	750	620				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	80	80	80	80	80				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		ビバホールチェロコンクール推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	養父地域局(養父公民館)					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養父市民、市内外の音楽愛好家、チェロコンクール関係者								
	背景と目的	ビバホールチェロコンクールは、市民ボランティアで組織した同実行委員会と同運営委員会が核となって運営し、将来性豊かな若手チェロ奏者の発掘・育成を通じて、養父市の文化の高揚を図るとともに、全国及び海外へ情報発信することによる養父市の知名度向上をめざし開催している。またチェロを通じた市民の憩いと交流の場の創出をめざす。								
事業内容	事業概要	<p>チェロコンクールは隔年で開催。コンクールの翌年は第1位受賞者のリサイタルを開催</p> <p>■第15回ビバホールチェロコンクール第1位受賞記念リサイタルの開催</p> <p>1 東京リサイタル 2024年(令和6年)11月24日(日) / 第一生命ホール</p> <p>2 養父リサイタル 2024年(令和6年)12月 1日(日) / ビバホール</p> <p>(事業費 2,800千円/旅費148千円、需用費27千円、委託料2,625千円)</p> <p>(財源) ■受入金：チェロコンクール参加料等 658千円</p> <p>■一般財源： 2,142千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	ビバホールチェロコンクール来場者 (コンクール・プレイベント等)				1,000人	1,429人	-			
	ビバホールチェロリサイタル来場者(東京・養父公演)				600人	-	669人			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	9,303	2,800	9,303	2,800	9,303					
財源内訳	一般財源	7,728	2,142	7,728	2,142	7,728				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	1,575	658	1,575	658	1,575				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		文化祭・芸能祭事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費	
根拠法令等	社会教育法、養父市条例（養父市立公民館条例）									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	文化協会に所属する団体等が日頃の練習の成果を発表するとともに、市民相互の交流を図る。市民全体の地域創造イベントとして、準備から出演・展示までを、協働により地域文化の向上を図るとともに、交流と絆づくりの事業を展開する。								
事業内容	事業概要	<p>4公民館を拠点に実行委員会を組織し、地域に密着した文化祭・芸能祭を開催する。また、特別展等を開催し、地域文化を掘り起し、賑わいの場を創出する。</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営費 1式 1,875千円</li> <li style="padding-left: 20px;">うち需用費（印刷製本費、消耗品費） 1,025千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,853	1,875	1,800	1,800	1,800					
財源内訳	一般財源	1,853	1,875	1,800	1,800	1,800				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		教室講座・大会等開催事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費	
根拠法令等	社会教育法、養父市条例（養父市立公民館条例）									
事業目的	対象	市民及び施設利用者								
	背景と目的	地域課題や市民ニーズに則し、教室講座、青谿書院塾、ふるさと歴史講演会、市民展、研修会等を開催する。 生涯学習の輪を広げるとともに、学んだ成果を地域に還元していく。								
事業内容	事業概要	<p>現代的課題や地域文化の継承・掘り起し等の課題に則した事業を実施する。</p> <p>（歳入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室講座等参加料 95千円</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営費 1式 1,646千円</li> <li style="padding-left: 20px;">うち報償費（記念品、講師等謝金） 970千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		生涯学習関連講座参加者数					1,000人	750人	750人	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,708	1,646	1,600	1,600	1,600					
財源内訳	一般財源	1,562	1,551	1,500	1,500					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	146	95	100	100					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		図書整備事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、大屋、関宮地域局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	公民館費		
根拠法令等	図書館法、養父市条例（養父市立公民館条例）										
事業目的	対象	市民及び施設利用者									
	背景と目的	図書やその他必要な資料を収集整理保存し、市民利用に供することにより、市民の学習活動を支援する。 また、読書環境の充実を図り、図書利用サービスの向上を図る。									
事業内容	事業概要	<p>既存の図書システムにより、検索・貸出・返却・流通を行う。 また、マイナンバーカードの多目的利用を推進し利便性向上を図る。</p> <p>（歳入） ・元気基金繰入金 10,000千円 ・図書カード再交付料等 2千円</p> <p>（歳出） ・図書館運営費 1式 19,456千円 うち図書購入費 13,360千円</p>									
	前年度からの変更点	関宮分館会計年度任用職員手当等の増									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	一人当たりの図書貸出冊数				3.5冊	3.0冊	2.7冊				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	18,068	19,456	19,500	19,500	19,500						
財源内訳	一般財源	8,066	9,454	9,500	9,500						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	10,002	10,002	10,000	10,000						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地区公民館管理運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	大屋地域局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	4	生涯学習振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	住民福祉及び文化向上を図るため、西谷地区公民館の維持管理を行う。費用は地元筏区との費用負担割合により執行する。								
事業内容	事業概要	<p>【歳出】 報償費：4千円(施設管理謝金)、需用費：238千円(光熱水費、管理消耗品)、役務費：22千円(消防設備点検)</p> <p>【歳入】 光熱水費等受入金：80千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	485	264	264	485	264					
財源内訳	一般財源	405	184	184	405	184				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	80	80	80	80	80				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		体育館管理運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、関宮地域局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費		
根拠法令等	養父市条例（養父市立体育施設設置及び管理条例）										
事業目的	対象	市民及び施設利用者									
	背景と目的	地域の体育活動の振興および市民の健康増進を図るとともに、住民相互の交流を促進することを目的とし、設置された体育施設を適切に管理・運営する。									
事業内容	事業概要	<p>八鹿体育館、ようか武道館、養父体育館、農林漁業者等健康増進施設の維持管理。 （歳入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育館施設使用料 400千円</li> <li>・ようか武道館使用料 400千円</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設維持管理費 1式 5,715千円</li> <li>修繕料（八鹿、養父、関宮） 450千円、電気料金（八鹿、関宮） 1,920千円、</li> <li>シルバー委託料（八鹿） 1,885千円 など</li> </ul>									
	前年度からの変更点	八鹿体育館、ようか武道館のトイレ洋式化等工事の減									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	14,517	5,715	5,800	5,800	5,800		5,800				
財源内訳	一般財源	13,717	4,915	5,000	5,000	5,000		5,000			
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	800	800	800	800	800		800			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		コミュニティスポーツセンター管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし（生活）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	公民館・養父、関宮地域局					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	
根拠法令等	養父市条例（養父市立コミュニティスポーツセンター設置及び管理条例）									
事業目的	対象	市民及び施設利用者								
	背景と目的	地域の体育活動の振興および市民の健康増進を図るとともに、住民相互の交流を促進することを目的とし、設置されたコミュニティスポーツセンターを適切に管理・運営する。								
事業内容	事業概要	<p>小佐、三谷、関宮、出合、熊次の各コミュニティスポーツセンターの維持管理。 （歳入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスポーツセンター利用料 106千円</li> <li>・光熱水費等受入金 460千円</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設維持管理費 1式 5,997千円</li> <li>修繕料（八鹿、養父、関宮） 460千円、水道料金（八鹿、養父、関宮） 390千円、電気料金（八鹿、養父、関宮） 2,344千円、建物使用料（関宮） 1,152千円 など</li> <li>【建設費】建屋コミスポアスベスト調査 600千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	建屋コミスポアスベスト調査の増								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,654	5,997	5,600	5,600	5,600					
財源内訳	一般財源	5,058	5,431	5,000	5,000	5,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	596	566	600	600	600				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		農村広場等維持管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市				担当課	関宮地域局（関宮公民館）					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費		
根拠法令等	養父市立体育施設設置及び管理条例										
事業目的	対象	市民及び施設利用者									
	背景と目的	地域の体育活動の振興及び市民の健康の増進を図るとともに、住民相互の交流を促進することを目的とし、設置された体育施設を適切に管理・運営する。									
事業内容	事業概要	関宮農村広場の管理・運営 (歳入) ・農村広場使用料 80千円 (歳出) ・農村広場維持管理費 1式 1,050千円 (修繕料500千円、電気料360千円 清掃委託料88千円等)									
	前年度からの変更点	グラウンド修繕料の増									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	650	1,050	1,050	1,050	1,050						
財源内訳	一般財源	570	970	970	970						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	80	80	80	80						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

まちづくり

文化交流課

# 実施計画書

事業名		文化会館・ホール運営事業費		枝番		単位事業名	文化芸術イベント			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに			
	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	まちづくり文化交流課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	文化会館・ホール運営費	
根拠法令等	文化芸術基本法 劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
事業目的	対象	市民に良質で多様な文化芸術事業を提供する								
	背景と目的	やぶ市民交流広場（YBファブ）を中核施設として他のホールや学校など市内全域において、一流アーティストを招聘し、音楽や演劇など多種多様な鑑賞事業等を実施し、文化芸術事業を推進することにより、市民それぞれの欲求を満たし豊かな生活を提供し、地域の活性化を図るとともに、次代を担う子ども達の豊かな感性を育み、夢への可能性を後押しする								
事業内容	事業概要	(歳入) ・入場料収入 9,480千円 (別途食糧費に520千円充当) ・元気基金 25,000千円 (歳出) ・コンサート、演劇などの出演料 25,000千円 ・公演チラシなどPR経費 4,078千円 ・プロスタッフを含む事業運営費 5,240千円 ・その他事務費等 162千円 (別途食糧費を520千円計上) ※事業内容ごとの歳出内訳 ・クラシック事業 10,140千円 ・「#こどもまんなかやってみた」 6,354千円 ・その他 17,986千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	文化・芸術活動への市民参加者				13,000人	12,000人	11,225人			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	34,558	34,480	35,000	35,000	35,000					
財源内訳	一般財源	250	0	25,000	25,000	25,000				
	国支出金									
	県支出金	250								
	地方債									
	その他	34,058	34,480	10,000	10,000	10,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		文化芸術推進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに				
	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	まちづくり文化交流課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	文化会館・ホール運営費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民に良質で多様な文化芸術事業を提供する									
	背景と目的	文化芸術施策を推進し実施するため、次のとおり実施する。 ・芸術監督を中心にYBアクト等において市民ニーズの把握に努め、市民と協働で文化芸術施策を推進する。 ・旧グンゼ棟の運営及び維持管理。									
事業内容	事業概要	<p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物貸付収入 300千円</li> <li>・能公演入場料収入 500千円</li> <li>・光熱費受入金 354千円</li> <li>・元気基金 5,400千円</li> <li>・創生基金 5,000千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術監督 1,389千円 (報酬1,000千円、旅費376千円、保険13千円)</li> <li>・YBアクト 778千円 (謝金420千円、費用弁償198千円、実費弁償154千円、保険6千円)</li> <li>・事務事業費 2,401千円 (事務経費576千円、施設管理運営経費1,825千円)</li> <li>・八鹿能公演 5,500千円 (能公演委託料 4,000千円、舞台補修補助金 1,500千円)</li> <li>・豊岡演劇祭 5,400千円 (負担金 5,000千円、運行委託料 400千円)</li> </ul>									
	前年度からの変更点	旧グンゼ棟屋根改修工事の完了に伴う減額									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	養父市の文化芸術活動に魅力を感じる子どもの割合					—	—	—			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	17,306	15,468	4,568	4,568	4,568						
財源内訳	一般財源	11,192	3,914	3,914	3,914						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	6,114	11,554	654	654						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 健康福祉部

# 社会福祉課

# 実施計画書

事業名		社会福祉一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう				
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に					
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費		
根拠法令等	社会福祉法 他										
事業目的	対象	市民（全般）									
	背景と目的	すべての人が地域生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていくことのできる「地域共生社会」をつくりをめざす。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市福祉事務所関係経費</li> <li>・但馬福祉有償運送協議会の運営負担金</li> <li>・社会福祉法人監査</li> <li>・災害時移送支援等業務委託</li> <li>・防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業</li> <li>・タクシー等利用料助成事業</li> </ul> <p>（歳入）県補助金17千円、（歳出）会計年度任用職員4,114千円、報酬510千円、報償費35千円、旅費588千円、需用費220千円、役務費30千円、委託料2,899千円、負担金16,826千円、扶助費1千円</p>									
	前年度からの変更点	高齢者等のタクシー利用料助成事業を障害者等移動支援事業より変更									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	安心見守りネットワーク参加団体数				61	61	61				
	個別支援計画策定数				18	13	12				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	6,556	25,223	21,729	21,729	21,729						
財源内訳	一般財源	6,504	25,206	21,712	21,712	21,712					
	国支出金										
	県支出金	52	17	17	17	17					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		社会福祉協議会費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>1</b> 貧困をなくそう			<b>3</b> すべての人に健康と福祉を						
	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう			<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費		
根拠法令等	養父市要綱（養父市社会福祉協議会運営費等補助金交付要綱）他										
事業目的	対象	社会福祉協議会、市民（全般）									
	背景と目的	市民が住み慣れた地域で安全安心に暮らせるよう、養父市社会福祉協議会と連携し、高齢者、障がい者、子育て中の親などの小地域での日中居場所づくりの推進や地域内でのコミュニケーションの再生、災害時等の要援護者の地域支援体制の整備、それらを支えるボランティアの育成等を行う。									
事業内容	事業概要	<p>地域福祉推進の担い手である社会福祉協議会に対し、地域福祉の向上に資する施策を実施するために運営補助、事業費補助及び事業委託を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉ネットワーク事業（福祉防災マップ、要援護者台帳作成・更新）</li> <li>・福祉活動専門員の設置</li> <li>・ボランティアセンター運営事業</li> <li>・結婚相談事業</li> <li>・運営補助（令和4年度～）</li> </ul> <p>（歳出）委託料5,610千円、補助金25,580千円</p>									
	前年度からの変更点	移送サービス事業廃止に伴う補助金の削除									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	ボランティア登録団体数					75	73	77			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	31,915	31,195	31,195	31,195	31,195						
財源内訳	一般財源	6,915	6,195	6,195	6,195						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	25,000	25,000	25,000	25,000		25,000		25,000		

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		遺家族援護費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を				10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを				16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市				担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3 民生費			項	1 社会福祉費		目	1 社会福祉総務費		
根拠法令等	養父市要綱（養父市福祉保健推進補助金交付要綱）他										
事業目的	対象	戦没者遺家族									
	背景と目的	戦争犠牲者の遺族の互助親睦と、先の大戦の過ちを繰り返さない意識の啓発に努める。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養父市遺族会への活動補助</li> <li>・ 兵庫県遺徳顕彰会負担金</li> <li>・ 養父市戦没者追悼式の開催（次回、令和7年度。3年に1回開催）</li> </ul> <p>（歳入） （歳出） 負担金、補助及び補助金195千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)			
事業費	195	195		1,195		195		195			
財源内訳	一般財源	195	195		1,170		195		195		
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他					25					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		民生委員・児童委員活動費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			3	すべての人に健康と福祉を			
	5	ジェンダー平等を実現しよう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	
根拠法令等	民生委員法、児童福祉法等									
事業目的	対象	民生委員・児童委員、民生・児童協力委員								
	背景と目的	地域福祉推進の担い手である「民生委員・児童委員」の識見の向上と委員活動の支援を行い、併せて単位民生委員児童委員協議会（旧町単位）の活動を支援することにより地域福祉活動の強化を図る。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員・児童委員の報償金（会長4名、副会長8名、委員88名）会長（年額）88,200円、副会長（年額）76,200円、委員（年額）委員73,200円</li> <li>・ 委員の費用弁償（旅費）、単位民児協及び市連合会への補助金の交付等</li> <li>・ 民生委員推薦会の運営（委員12名）</li> <li>・ 民生・児童協力委員の報償費</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">（歳入） 民生・児童協力委員活動支援事業補助金 92千円 民生委員・児童委員活動費用弁償等補助金 6,064千円</p> <p style="margin-left: 20px;">（歳出） 推薦会委員報酬270千円、委員報償費9,774千円 旅費、費用弁償、実費弁償1,222千円 負担金・補助金1,909千円、その他需用費等598千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	13,873	13,773	13,773	13,773	13,773					
財源内訳	一般財源	7,717	7,617	7,617	7,617	7,617				
	国支出金									
	県支出金	6,156	6,156	6,156	6,156	6,156				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		生活困窮者自立支援事業費			枝番	単位事業名	
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）					
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%			
	個別計画						
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう		2 飢餓をゼロに			
実施主体	養父市		担当課	社会福祉課			
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算
予算費目	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市生活困窮者自立支援実施要綱）						
事業目的	対象	生活困窮者					
	背景と目的	生活困窮者自立支援法に基づき、市民の様々な生活課題の解決・軽減を図るため、生活支援相談窓口を設置し、関係機関と連携しながら包括的な支援を行う。					
事業内容	事業概要	<p><b>【必須事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立相談支援事業／生活困窮者の相談に応じて、課題解決にかかる支援を行う。</li> <li>・住居確保給付金／離職によって住宅を失った者又は失う恐れのある者が就労をめざす場合、一定期間に限り住宅家賃相当額を支給する。</li> </ul> <p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時生活支援事業／住居のない者に一定期間に限り宿泊場所の提供等を行う。</li> <li>・共助の基盤づくり事業／ふれあい訪問員による訪問活動を通じて、生活困窮者等の早期発見を行い、必要な支援につなげる。</li> <li>・ひきこもり相談支援センター設置・運営業務／当事者、家族等の居場所づくりや自立及び社会参加につながる相談支援を行う。 ※予算・契約：社会福祉課、運営実務：健康医療課</li> </ul> <p>（歳入）生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（補助率1/2～3/4）4,142千円、生活困窮者自立相談支援事業国庫負担金（補助率3/4）10,200千円          （歳出）会計年度任用職員8,829千円、旅費249千円、需用費100千円、委託料9,474千円、使用料168千円、扶助費729千円</p>					
	前年度からの変更点						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
	新規就労者数（延べ人数）		20	20	19		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）		
事業費	19,662	19,549	19,549	19,549	19,549		
財源内訳	一般財源	6,814	5,207	5,207	5,207	5,207	
	国支出金	12,848	14,342	14,342	14,342	14,342	
	県支出金						
	地方債						
	その他						

注）次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		令和6年度新たな非課税世帯給付金給付事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			8 働きがいも経済成長も				
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
根拠法令等	養父市要綱（）								
事業目的	対象	令和6年度新たな住民税非課税世帯（300世帯）及び同世帯18歳以下の子供（50人）							
	背景と目的	令和6年度において新たに住民税非課税となる世帯並びに対象世帯に子供がいる場合は加算を行うことで、物価高により厳しい状況にある低所得者支援及び定額減税を補足する給付として行う。							
事業内容	事業概要	<p>令和6年度新たな住民税非課税世帯には10万円支給し、並びに対象世帯にこどもがいる場合は加算（18歳以下、児童1人につき5万円）を行う。</p> <p>【歳入】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</p> <p>【歳出】 令和6年度新たな非課税世帯給付金給付事業費 ○事務費（849千円） 報酬581千円（会計年度任用職員報酬542千円、時間外勤務手当39千円）、旅費15千円（費用弁償、会計年度任用職員15千円）、需用費161千円（印刷製本費15千円、消耗品費146千円）、役務費92千円（郵券料92千円） ○事業費（32,500千円） 扶助費32,500千円（新たな非課税世帯30,000千円、こども加算2,500千円）</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費		33,349							
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0			
	国支出金		33,349						
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		令和6年度新たな均等割のみ課税世帯給付金給付事業費		枝番	単位事業名		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）					
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%			
	個別計画						
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう		8 働きがいも経済成長も			
実施主体	養父市		担当課	社会福祉課			
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
根拠法令等	養父市要綱（）						
事業目的	対象	令和6年度新たな均等割のみ課税世帯（100世帯）及び同世帯18歳以下の子供（50人）					
	背景と目的	令和6年度において新たな均等割のみ課税となる世帯並びに対象世帯に子供がいる場合は加算を行うことで、物価高により厳しい状況にある低所得者支援及び定額減税を補足する給付として行う。					
事業内容	事業概要	<p>令和6年度新たな均等割のみ課税世帯には10万円支給し、並びに対象世帯に子どもがいる場合は加算（18歳以下、児童1人につき5万円）を行う。</p> <p><b>【歳入】</b> 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</p> <p><b>【歳出】</b> 令和6年度新たな均等割のみ課税世帯給付金給付事業費 ○事務費（81千円） 需用費49千円（印刷製本費5千円、消耗品費44千円）、役務費32千円（郵券料32千円） ○事業費（12,500千円） 扶助費12,500千円（新たな均等割のみ課税世帯10,000千円、子ども加算2,500千円）</p>					
	前年度からの変更点						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)		
事業費		12,581					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0	
	国支出金		12,581				
	県支出金						
	地方債						
	その他						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		障害者福祉一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉課	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	その他（障害者総合支援法 他）									
事業目的	対象	障がい者等								
	背景と目的	障害福祉サービス等を提供するにあたり必要な事務環境を整備する。 地域で活動する障がい者団体の活動を支援し、障がい者の自立、交流及び社会参加を促す。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者福祉一般事務経費 ・ 市内の障がい者団体の活動支援（補助金交付）</li> <li>・ 災害時要援護者台帳システム管理 ・ 障害支援区分認定審査会の運営</li> <li>・ 自動車運転免許取得費、自動車改造費用補助</li> <li>・ 医療支援型グループホームへの運営事業補助</li> <li>・ 手話言語推進のため施策及び施策検討会の運営</li> <li>・ その他障がい者福祉施策推進上の事務経費</li> </ul> <p>（歳入）医療支援型グループホーム運営事業補助金（県1/2）438千円 （歳出）報酬750千円、報償費20千円、旅費444千円、需用費126千円、役務費440千円、委託料83千円、使用料及び賃借料634千円、負担金、補助及び交付金2,036千円、扶助費1千円</p>								
	前年度からの変更点	障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定の削除、医療支援型グループホームへの運営事業補助の追加								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		障害支援区分認定審査会開催回数				12	12	12		
手話施策推進会議開催回数				2	2	1				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,706	4,534	4,534	4,534	4,534					
財源内訳	一般財源	8,706	4,096	4,096	4,096	4,096				
	国支出金									
	県支出金		438	438	438	438				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		障害児福祉・特別障害者手当支給事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	社会福祉法 他									
事業目的	対象	常時特別の介護を必要とする在宅児童（20歳未満）・在宅者（20歳以上）								
	背景と目的	心身に重度の障がいがあるために特別な介護を必要とする障がい者（児）に対して、手当を支給することにより福祉の向上を図る。								
事業内容	事業概要	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく法定事務</p> <p>※4半期ごとに定額の手当を支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児福祉手当（令和5年4月～ 1人15,220円/月） ※5人見込</li> <li>・特別障害者手当（令和5年4月～ 1人27,980円/月） ※30人見込</li> </ul> <p>（歳入）特別障害者手当等給付費負担金（国3/4） 8,357千円 （歳出）扶助費 11,143千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	障害児福祉手当支給延べ人数				-	4	3			
	特別障害者手当支給延べ人数				-	25	25			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,875	11,143	11,143	11,143	11,143					
財源内訳	一般財源	2,719	2,786	2,786	2,786	2,786				
	国支出金	8,156	8,357	8,357	8,357	8,357				
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		グループホーム家賃助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	養父市要綱(養父市グループホーム等利用者家賃負担軽減事業実施要綱)									
事業目的	対象	グループホーム利用の障害者(児)								
	背景と目的	グループホーム利用者が負担する家賃の一部を助成することにより、利用者負担の軽減を図る。								
事業内容	事業概要	<p>障害福祉サービスの1つであるグループホームの利用者が負担する家賃の1万円(障害福祉サービスによる補足給付)を控除した額の1/2を助成する(ただし、上限15,000円/月)。</p> <p>対象者は、障害福祉サービスの負担上限が低所得(市民税非課税世帯に属する方)に該当する方。</p> <p>(歳入) グループホーム家賃助成補助金(県1/2) 2,157千円 (歳出) 扶助費4,314千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
	家賃補助制度利用者				-	29	25			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	4,068	4,314	4,314	4,314	4,314					
財源内訳	一般財源	2,034	2,157	2,157	2,157	2,157				
	国支出金									
	県支出金	2,034	2,157	2,157	2,157	2,157				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		重度心身障害者（児）介護手当支給事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を						
	11 住み続けられるまちづくりを										
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費		
根拠法令等	社会福祉法 他 養父市重度心身障害者（児）介護手当支給条例										
事業目的	対象	重度心身障がい者（児）の介護者									
	背景と目的	重度心身障がい者（児）の介護者に手当を支給することにより、当該介護者及び障がい者の負担を軽減し、もって障がい者の福祉向上を目的とする。									
事業内容	事業概要	重度心身障がい者（児）の介護者に月額10千円の手当を支給する。（4半期に1回） ※対象見込 5人  （歳出）扶助費600千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		手当支給延べ人数					-	4	4		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	600	600	600	600	600						
財源内訳	一般財源	600	600	600	600	600					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		障害者総合支援給付費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費		
根拠法令等	社会福祉法 他										
事業目的	対象	障がい福祉サービス支給決定がなされた障がい者（児）									
	背景と目的	障害者総合支援法に基づく介護給付費・訓練給付費等を給付することにより、障がい者（児）の生活支援、就労支援、地域移行など地域で自立した生活が営めるよう障がい福祉サービスを提供する。									
事業内容	事業概要	障害者総合支援法に基づく法定業務 ・障がい福祉サービスの給付（介護給付費・訓練給付費） ・補装具の給付 ・計画相談支援の給付  （歳入）障害者総合支援費負担金（国1/2）373,758千円、（県1/4）186,879千円 （歳出）需用費140千円、役務費813千円、扶助費747,516千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		障害福祉サービス利用件数				7,764	7,692	7,424			
補装具（購入、修理）給付件数				50	50	31					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	751,910	748,469	747,515	747,515	763,334						
財源内訳	一般財源	188,711	187,832	187,594	187,594	191,549					
	国支出金	375,466	373,758	373,281	373,281	381,190					
	県支出金	187,733	186,879	186,640	186,640	190,595					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		障害者（児）医療費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	社会福祉法 他									
事業目的	対象	障がい者（児）（身体障害者手帳所持者）								
	背景と目的	障がい者等に対しその身体的な障がいの状態の軽減を図り、自立した日常生活を営むため医療費を助成する。 市町が負担するのは、更生医療、育成医療のみ（精神通院医療は都道府県）								
事業内容	事業概要	<p>○更生医療：18歳以上の身体障害者手帳保持者が、障がいを除去したり、障がいの程度を軽くするために必要な医療を受ける場合に医療費の一部を公費で負担する。</p> <p>○育成医療：18歳未満の身体障害者手帳保持者が、障がいを除去したり、障がいの程度を軽くするために必要な医療を受ける場合に医療費の一部を公費で負担する。</p> <p>○療養介護医療：病院等へ長期入院による医療的ケア・常時介護を行う療養介護のうち医療に係るものの一部を公費で負担する。</p> <p>（歳入）障害者（児）医療費負担金（国1/2）14,118千円、（県1/4）7,059千円 （歳出）役務費10千円、扶助費28,236千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		更生医療実人数					-	8	13	
療養介護医療実人数					-	11	12			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	34,696	28,246	28,246	28,246	28,704					
財源内訳	一般財源	8,686	7,069	7,069	7,069	7,183				
	国支出金	17,340	14,118	14,118	14,118	14,347				
	県支出金	8,670	7,059	7,059	7,059	7,174				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		障害者等移動支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市人工透析患者通院費助成金交付要綱）									
事業目的	対象	じん臓機能による身体障害者手帳所持者								
	背景と目的	じん臓の機能障害により人工透析療法を受けている者に対し、人工透析療法のための通院で福祉車両等を利用した場合に要する費用を助成し、人工透析患者の負担軽減に寄与する。								
事業内容	事業概要	<p>○人工透析患者通院費助成</p> <p>じん臓機能障害による透析通院におけるタクシー等移送費を所得状況に応じて、償還払いにより助成（補助率：1/2、上限額：非課税世帯は30千円/月、課税世帯は15千円）</p>								
	前年度からの変更点	タクシー等利用料助成は、社会福祉一般事務費に変更								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		人工透析患者通院助成実人数			-	5	3			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	11,348	1,620	1,620	1,620	1,620					
財源内訳	一般財源	11,348	1,620	1,620	1,620	1,620				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		基幹相談支援センター運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	その他（障害者総合支援法 他）									
事業目的	対象	障がい者（児）及びその介護者								
	背景と目的	障がい者（児）及びその介護者からの相談に応じ、情報提供や権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障がい者（児）が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。また、養父市の相談支援体制の強化を図りつつ中核的な役割を果たし、養父市自立支援協議会を運営する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談支援事業は市内4か所市外1か所の事業所に委託。</li> <li>令和6年4月から、地域生活支援拠点コーディネーター業務も委託予定。</li> <li>・相談支援体制の強化。</li> <li>・養父市自立支援協議会の運営。</li> <li>・障害者相談員の設置（身体障害者相談員5名、知的障害者相談員4名）</li> </ul> <p>※障害者総合支援法の法定業務            （歳入）地域生活支援事業補助金（国1/2）9,411千円、地域生活支援事業補助金（県1/4）4,705千円            （歳出）報償費455千円、旅費75千円、需用費45千円、役務費21千円、委託料18,823千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		障害者相談員の相談件数（身体・知的）			100	100	106			
一般相談支援 相談延件数			10,000	10,000	10,292					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	17,371	19,419	19,419	19,419	19,419					
財源内訳	一般財源	4,810	5,303	5,303	5,303	5,303				
	国支出金	8,374	9,411	9,411	9,411	9,411				
	県支出金	4,187	4,705	4,705	4,705	4,705				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域活動支援センター支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	養父市障がい者等地域生活支援事業施行規則、養父市地域活動支援センター事業実施要綱、養父市地域活動支援センター基礎的事業補助金交付要綱									
事業目的	対象	地域活動支援センター								
	背景と目的	地域活動支援センター事業の実施事業者へ運営費の支援を行うことにより、障がい者等に対する創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>養父市民が利用する地域活動支援センターの運営費の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センターオンサルデ（養父市）</li> <li>・地域活動支援センターあべいゆ（朝来市）</li> </ul> <p>※法定必須事業 地域活動支援センター機能強化事業を行う養父市内の事業所に補助金を交付する。</p> <p>（歳入）地域活動支援センター支援事業費負担金（県2/10）1,574千円 （歳入）地域生活支援事業国庫支出金 750千円 県支出金 375千円 （歳出）負担金、補助及び交付金9,370千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		利用者人数					20	18	17	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,806	9,370	9,370	9,370	9,370					
財源内訳	一般財源	6,220	6,671	6,671	6,671					
	国支出金	750	750	750	750					
	県支出金	1,836	1,949	1,949	1,949					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		障害児施設給付費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			10 人や国の不平等をなくそう						
		11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費		
根拠法令等	児童福祉法										
事業目的	対象	通所サービス支給決定を受けた障がい児（18歳未満）									
	背景と目的	児童福祉法に基づく障害児通所給付費を給付することにより、未就学の障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を、就学中の障がい児には生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を通じ、社会生活に向けた支援を行う。									
事業内容	事業概要	障害児施設（通所）費の給付（※児童福祉法に基づく法定業務） ・児童発達支援事業 ・放課後等デイサービス事業 ・相談支援給付事業 ・高額障害児福祉サービス事業  （歳入）障害児施設給付費負担金（国1/2）28,349千円（県1/4）14,174千円 （歳出）役務費114千円、扶助費56,698千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	障がい児施設給付費利用件数				840	850	788				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	55,813	56,812	56,752	56,752	57,885						
財源内訳	一般財源	14,026	14,289	14,274	14,274	14,558					
	国支出金	27,858	28,349	28,319	28,319	28,885					
	県支出金	13,929	14,174	14,159	14,159	14,442					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域生活支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう			
	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	社会福祉法 他									
事業目的	対象	障がい者（児）								
	背景と目的	障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じて実施し、障がい者福祉の向上に寄与する。（障害者総合支援法による法定業務）								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション支援（意思疎通支援）</li> <li>・日常生活用具給付</li> <li>・移動支援事業</li> <li>・生活支援事業（重度障害者等入浴サービス）</li> <li>・日中一時支援</li> <li>・社会参加促進事業（精神障がい者支援啓発講座等）</li> <li>・手話奉仕員養成研修</li> <li>・福祉ホーム補助</li> <li>・権利擁護事業 等</li> </ul> <p>（歳入）地域生活支援事業補助金（国1/2）6,066千円（県1/4）3,033千円                  （歳出）報償費1,035千円、需用費15千円、役務費218千円、委託料894千円、負担金、補助及び交付金383千円、扶助費 9,851千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		日常生活用具給付人数				88	83	76		
手話通訳者等派遣件数				20	18	16				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	11,968	12,396	12,396	12,396	12,396					
財源内訳	一般財源	3,951	3,297	3,297	3,297					
	国支出金	5,351	6,066	6,066	6,066					
	県支出金	2,666	3,033	3,033	3,033					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		障がい者就労等促進事業費		枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号				
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>1</b> 貧困をなくそう			<b>3</b> すべての人に健康と福祉を			<b>8</b> 働きがいも経済成長も			<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費		
根拠法令等	養父市障がい者雇用促進奨励金交付要綱、障害者優先調達推進法										
事業目的	対象	障がい者、障がい者を受け入れる事業主									
	背景と目的	働きたい障がい者を雇用につなげるべく、一般就労への移行者の増加や一般就労後の定着率の向上を目指す。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場実習を受けやすくするため、実習を受ける障害者と受け入れる事業所（企業）に奨励金を交付する。</li> <li>・一般就労をし、6か月就労を続けた障がい者に奨励金を交付する。</li> <li>・当事者の相談支援を行うピアサポーターの雇用を広げるため、ピアサポーターを雇用した事業所に、その給与の一部を助成する。</li> <li>・障がい者に働いて賃金を得る喜びを体験するため、市役所内に有料で絵を借り入れる。</li> <li>・障がい者の就労について適切な支援を行うことができるように、専門機関の指導を受ける。</li> <li>・福祉施設に対して市の業務の優先的な発注を推進するため、社会福祉課が窓口となる。 （歳出）報償費100千円、委託料200千円、使用料及び賃借料120千円、負担金、補助及び交付金1,755千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		福祉就労をする障がい者数（実人員）				120	120	113			
福祉就労から一般就労への移行者数				3	1	2					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	2,280	2,175	2,175	2,175	2,175						
財源内訳	一般財源	2,280	2,175	2,175	2,175	2,175					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		障がい児福祉サービス等利用支援事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を				
	11 住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	2 障害者福祉費	
根拠法令等	障害者総合支援法・児童福祉法・養父市要綱（養父市障がい児福祉サービス等利用支援事業実施要綱）								
事業目的	対象	障がい児及びその保護者							
	背景と目的	障害福祉サービスにおける利用者負担は原則1割負担であり、所得に応じて上限額(0円～37,200円)が定められている。保護者はその負担感から本来必要なサービスの利用を躊躇するというケースも見受けられていた。障がい児の保護者は、児童の養育において精神的、経済的な負担が大きいのが実情であり、福祉サービス等の利用者負担額を助成することにより適切なサービス利用を支援し、障がいがあっても安心して子育てができる養父市づくりを目指す。							
事業内容	事業概要	<p>障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく障がい児を対象とした福祉サービスの利用者負担額（相当額）を助成することにより、障がいがある児童の健全な育成と保護者の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金（利用者負担額相当額）：1,456千円</li> <li>・受給対象児の見込み数：35人（実人数見込み）</li> </ul> <p>（歳出）補助金、補助金及び交付金1,456千円</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)	
		助成人数			35	30		21	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	1,328	1,456	1,456	1,456	1,456				
財源内訳	一般財源	1,328	1,456	1,456	1,456	1,456			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		老人福祉一般事務費		枝番	1	単位事業名	市老連、単位老人クラブ活動補助金交付事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
	2 飢餓をゼロに			11 住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市老人クラブ等社会活動促進事業補助金交付要綱）									
事業目的	対象	養父市老人クラブ連合会、市内老人クラブ（会員）等								
	背景と目的	高齢者の福祉活動に係る団体の活動支援を行い、高齢者の生きがいづくり、健康づくりのための社会活動を推進し、高齢者福祉の増進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>高齢者で構成している団体へ活動費補助金等を交付する。</p> <p>①養父市老人クラブ連合会 1,944千円（内、高齢者福祉大会事業費 360,000円）</p> <p>②単位老人クラブ（適合・30人以上）90,000円/年 38クラブ（R5：37クラブ、1,424人）          （中規模・29人以下）60,000円/年 9クラブ（R5：9クラブ、195人）          （小規模・14人以下）20,400円/年 1クラブ（R5：1クラブ、8人）</p> <p>（歳入）老人クラブ活動費補助金（県2/3）1,251千円          老人クラブ活動強化推進事業補助金（県1/2）912千円          （歳出）補助金（①+②）5,925千円、その他需用費等49千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,780	5,974	5,974	5,974	5,974					
財源内訳	一般財源	3,722	3,811	3,811	3,811					
	国支出金									
	県支出金	2,058	2,163	2,163	2,163					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		老人福祉一般事務費		枝番	2	単位事業名	高齢者就業機会確保事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体		養父市		担当課	社会福祉課					
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目		款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	3 老人福祉費	
根拠法令等		養父市要綱（養父市高齢者就業機会確保事業補助金交付要綱）								
事業目的	対象	シルバー人材センター（会員）								
	背景と目的	高齢者が生きがいを持って働くことができる「生涯現役社会」実現のため、会員加入率の増と併せ、養父市の労働力不足の解消を目的とする。								
事業内容	事業概要	養父市シルバー人材センターへの事業費補助等  ・シルバー会員数の拡大、女性会員の拡大 ・高齢者活用・現役世代雇用サポート事業(派遣先並びに就業先の拡大) ・地域就業機会創出・拡大事業を実施  (歳出) 補助金13,200千円、負担金120千円								
	前年度からの変更点	デジタル環境利用促進事業の終了、フリーランス新法環境整備促進事業を新たに実施								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)	
		シルバー人材センターの斡旋による高齢者の就労者数				425	425		435	
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費		14,120	13,320	13,320	13,320	13,320				
財源内訳	一般財源	14,120	13,320	13,320	13,320	13,320				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		長寿祝福事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を						
	2 飢餓をゼロに			11 住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費		
根拠法令等	養父市条例（長寿祝福条例）										
事業目的	対象	年度内100歳到達者（大正13年4月1日～大正14年3月31日生）									
	背景と目的	多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、その福祉の増進に寄与することを目的とする。毎年9月の老人の日、老人週間における市としての敬老行事として取り組む。									
事業内容	事業概要	<p>当該年度中に100歳に到達する方で基準日（9月15日）にご存命の方に対し、祝い品を贈答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿祝品 1人30,000円程度の記念品</li> <li>対象者 大正13年4月1日～大正14年3月31日生まれの方29人</li> </ul> <p>【参考】令和7年度：44人、令和8年度：56人、令和9年度：74人（令和5年5月時点データ）（歳出）記念品957千円、その他需用費等127千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	829	1,084	1,084	1,084	1,084						
財源内訳	一般財源	829	1,084	1,084	1,084	1,084					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		高齢者等優待乗車証交付事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市高齢者等優待乗車証交付事業実施要綱）									
事業目的	対象	高齢者（70歳以上）、障害者手帳所持者、免許返納者（65歳～69歳）、生活保護受給者								
	背景と目的	高齢者等優待乗車証交付事業を実施することにより、高齢者等の社会参加の促進及び移動支援を行い高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的とする。								
事業内容	事業概要	<p>全但バス株会社が運行する路線バス（コミュニティバスを含む）で、養父市内の範囲内において、1回の乗車につき150円（初乗運賃相当額）で利用できる高齢者等優待乗車証を交付する。</p> <p>全但バス株式会社へは、当乗車証を利用した額に応じて負担金を支払う。</p> <p>○優待乗車証有効期間：令和4年4月～令和7年3月末（3年に1度更新） ○令和5年9月時点証交付者数：2,622人</p> <p>（歳出）需用費356千円、役務費210千円、負担金、補助及び交付金21,281千円</p>								
	前年度からの変更点	優待乗車証更新（令和7年3月）								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		高齢者等優待乗車証交付者数				2,670	2,650	2,421		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	21,215	21,847	21,215	21,215	21,847					
財源内訳	一般財源	3,215	4,847	4,215	4,847					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	18,000	17,000	17,000	17,000					
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域支え合い買い物支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市地域支え合い買い物支援事業補助金交付要綱）									
事業目的	対象	市民（高齢者等及び買い物困難地域の住民）								
	背景と目的	身近な地域から個人商店が撤退するなどにより、日常生活に必要な食料品・日用雑貨等の購入が困難な地域が増えている。このため、移動販売事業者を支援し、移動販売事業を継続していくことで買い物困難地域の解消を図り、地域における買い物機会を確保し、市民生活の利便性を向上させる。併せて高齢者等の見守りを移動販売事業者及び買い物をする地域住民が行うため、安全な地域づくりや閉じこもり防止等にも寄与する。								
事業内容	事業概要	<p>移動販売活性化協議会に加入し、販売地域の維持・拡大や販売品目の充実等を図り、移動販売を営む事業者に対して、車両購入費等の一部を補助する。この補助事業により、移動販売事業者の販売地域の拡大や週内に複数回の移動販売事業者が同一地区を訪問することで、市内の買い物がしづらい、できない地域を解消する。また、移動販売活性化協議会は、養父市と「安心見守りネットワーク事業協定」を締結している。</p> <p>【補助内容（1台当たり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売車両購入及び改造費等補助（補助率：1/3、上限1,000千円）</li> <li>・車両車検費用補助（補助率：1/2、上限100千円）</li> <li>・起業一時金補助（操業開始時に100,000円の一時金を支給）</li> </ul> <p>（歳出）負担金、補助及び交付金1,350千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		移動販売事業者数					6	6	9	
訪問地区数					75	63	86			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,050	1,357	1,060	1,000	1,000					
財源内訳	一般財源	1,050	1,357	1,060	1,000	1,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		老人福祉センター管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
	2 飢餓をゼロに			11 住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	社会福祉費					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費	
根拠法令等	養父市条例（八鹿老人福祉センター設置及び管理条例）									
事業目的	対象	市内高齢者等								
	背景と目的	八鹿老人福祉センターを設置し、高齢者の各種相談、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。								
事業内容	事業概要	八鹿老人福祉センターの管理運営を養父市老人クラブ連合会へ委託（施設の維持管理は直営により実施） （歳入）公共施設等整備基金繰入金11,492千円、使用料1千円 （歳出）需用費1,553千円、役務費102千円、委託料3,149千円、使用料42千円、 工事請負費（エレベーター修繕）11,492千円、 備品購入費（机・椅子入替）2,235千円								
	前年度からの変更点	エレベーター修繕（制御盤交換）、会議室の机・椅子入替を行う								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,672	18,573	4,846	4,846	4,846					
財源内訳	一般財源	4,671	7,080	4,845	4,845	4,845				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	1	11,493	1	1	1				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		母子福祉事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			3	すべての人に健康と福祉を			
	5	ジェンダー平等を実現しよう			10	人や国の不平等をなくそう				
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、養父市要綱（母子・父子自立支援員設置要綱、母子家庭自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、母子家庭高等技能訓練促進費等支給実施要綱ほか）									
事業目的	対象	母子家庭、父子家庭、父母のない児童を養育している家庭及び寡婦（以下、母子家庭等）								
	背景と目的	母子父子自立支援員を配置し、母子家庭等の相談や自立のための情報提供などを行う。また、職業能力の向上のため、母子家庭の母親が受ける研修等の費用補助や就業に結びつきやすい資格取得のために高等技能訓練促進費を支給（最大3年間）することにより、母子の自立を支援する。								
事業内容	事業概要	<p>母子・父子自立支援員（嘱託職員）1名を配置。</p> <p>職業能力の向上のための研修・講習会等への参加費用の一部として、自立支援教育訓練給付金を支給。（上限20万円）</p> <p>就業に結びつきやすい資格取得のため、高等職業訓練促進給付金を支給することにより、受講期間中における生活の負担軽減を図る。（月額10万、2名見込み）</p> <p>（歳入）母子家庭自立支援給付金事業補助金（国3/4）2,025千円 母子・寡婦福祉資金事務費交付金（県定額）23千円</p> <p>（歳出）会計年度任用職員4,131千円、扶助費2,700千円、その他補助金96千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		自立支援教育訓練給付金の利用者				2	1	2		
高等職業訓練促進給付金の利用者				2	1	1				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	6,360	6,927	6,927	6,927	6,927					
財源内訳	一般財源	4,312	4,879	4,879	4,879	4,879				
	国支出金	2,025	2,025	2,025	2,025	2,025				
	県支出金	23	23	23	23	23				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		母子生活支援・助産施設設置事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう					
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等	児童福祉法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、養父市規則（助産施設及び母子生活支援施設措置費用の徴収に関する規則）									
事業目的	対象	DV被害者である母子、身寄りのない母子								
	背景と目的	DV（ドメスティックバイオレンス）被害者である母子及び身寄りのない母子等を生活支援施設等へ入所措置し、その保護、支援、自立への支援を行う。								
事業内容	事業概要	DV被害者である母子等の保護、支援、自立のため母子生活支援施設に入所措置する。DV相談はあるが入所措置に至らないケースが多いため、1世帯分の措置費を計上。  (歳入) 母子生活支援施設措置費負担金 (国1/2) 500千円 (県1/4) 250千円、雑入1千円 (歳出) 扶助費 1,000千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000					
財源内訳	一般財源	249	249	249	249	249				
	国支出金	500	500	500	500	500				
	県支出金	250	250	250	250	250				
	地方債									
	その他	1	1	1	1	1				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		生活保護事務費			枝番	単位事業名								
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号						
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）												
	10年後の数値目標①	出生数 150人		10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%									
	個別計画													
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			2	飢餓をゼロに							
実施主体		養父市			担当課	社会福祉課								
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算						
予算費目		款	3	民生費		項	3	生活保護費		目	1	生活保護総務費		
根拠法令等		生活保護法												
事業目的	対象	生活困窮者												
	背景と目的	適正に生活保護制度を事務執行するための事務的経費である。												
事業内容	事業概要	<p><b>【主な内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援員及び生活支援員の配置</li> <li>・嘱託医の設置、医療扶助費レセプト点検の実施</li> <li>・生活保護システム、レセプト管理システム及び医療扶助オンライン資格確認にかかる経費</li> <li>・その他、事務費、旅費等にかかる経費</li> </ul> <p>(歳入) 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(補助率1/2~3/4)4,187千円  (歳出) 会計年度任用職員7,557千円、報酬487千円、需用費96千円、旅費293千円、役務費517千円、使用料3,878千円、</p>												
	前年度からの変更点	医療扶助オンライン資格確認体制整備事業の終了に伴う減額及び当該事業開始にかかる経費の増額												
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)			実績見込 (R5)			実績 (R4)		
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)					
事業費		18,025	12,828		12,828		12,828		12,828					
財源内訳	一般財源	9,704	8,641		8,641		8,641		8,641					
	国支出金	8,321	4,187		4,187		4,187		4,187					
	県支出金													
	地方債													
	その他													

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		生活保護措置費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			2	飢餓をゼロに			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	2	生活保護扶助費	
根拠法令等	生活保護法									
事業目的	対象	生活困窮者								
	背景と目的	生活保護法に基づき、健康で文化的な最低限度の生活を保障するため、各種の扶助費を支給するとともに、自立の助長を図る。								
事業内容	事業概要	<p>【生活保護費の支給】 生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助及び葬祭扶助の8種類の扶助。就労自立給付金、進学準備給付金の支給及び救護施設事務費の支払い</p> <p>【自立の助長】 関係機関と連携しながら就労支援、生活支援等を行う。※令和3年1月から健康管理事業が必須となる。</p> <p>(歳入) 生活保護国庫負担金(補助率3/4) 156,034千円、県負担金3,000千円、雑入577千円 (歳出) 扶助費等208,626千円</p>								
	前年度からの変更点	被保護者数の減、および入院被保護者数の減少による医療扶助費の減								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		生活保護世帯数						79	88	
生活保護人数						95	103			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	235,964	208,626	208,626	208,626	208,626					
財源内訳	一般財源	52,772	49,015	49,015	49,015					
	国支出金	176,791	156,034	156,034	156,034					
	県支出金	6,000	3,000	3,000	3,000					
	地方債									
	その他	401	577	577	577					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		災害救助事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			2	飢餓をゼロに			
実施主体	養父市			担当課	社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	4	災害救助費	目	1	災害救助費	
根拠法令等	養父市条例（災害見舞金等の支給に関する条例）									
事業目的	対象	災害被災者								
	背景と目的	養父市に居住し、住民基本台帳に記録している者が火災、風雪水害その他の災害により死亡、又は住家等が焼失若しくは倒壊したとき、その遺族又は世帯に対して見舞金を支給する。								
事業内容	事業概要	<p><b>【見舞金の基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住家（母家）が全焼、全壊または流出 1世帯 200千円</li> <li>・住家（母家）が半焼、または半壊 1世帯 100千円</li> <li>・工場、作業所及び母屋以外が全焼等 1世帯 30千円</li> <li>・死亡 50千円</li> <li>・住家（母家）の床上浸水 30千円</li> </ul> <p>（歳出）負担金、補助金 1,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		見舞金の支給件数					-	3	0	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	550	1,000	1,000	1,000	1,000					
財源内訳	一般財源	550	1,000	1,000	1,000	1,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 介護保険険課

## 実施計画書

事業名		老人福祉一般事務費		枝番	単位事業名		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）					
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%			
	個別計画						
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		10	人や国の不平等をなくそう	
	11	住み続けられるまちづくりを		16	平和と公正をすべての人に		
実施主体	養父市		担当課	介護保険課			
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	
				目	3	老人福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市但馬長寿の郷・健康福祉大学事業実施要綱・養父市屋根の雪下ろし費用助成事業実施要綱・養父市介護人材の確保に向けた資格取得補助金要綱・養父市高齢者補聴器購入助成事業実施要綱）						
事業目的	対象	市内に住所を有するおおむね65歳以上の高齢者等					
	背景と目的	認知症高齢者等への支援体制の強化 高齢者等の交流、生きがいがづくり、生活支援等の整備 福祉職場の人材の確保や、安心して仕事ができる環境作り					
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業・認知症介護予防教室の実施</li> <li>・ とが山学園運営委託料（健康福祉大学の事業運営委託）</li> <li>・ 屋根の雪下ろし費用助成金（冬季積雪時の屋根の雪下ろし費用の一部助成）</li> <li>・ 福祉施設新規就労者への就職祝い金の支給・資格取得補助金（介護人材の継続的確保）</li> <li>・ 訪問看護師等安全確保・離職防止事業補助金（保険外での2人訪問の費用一部負担）</li> <li>・ 高齢者補聴器購入費助成事業（中等度難聴者への購入補助）</li> </ul> <p>（歳出） 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 46千円            高齢者健康福祉大学とが山学園運営委託料 4,680千円            屋根の雪下ろし費用助成金 100千円            介護人材確保事業 850千円            訪問看護師等安全確保・離職防止事業補助金 68千円            ホームヘルパー等介護人材取得補助金 1,200千円            高齢者補聴器購入費助成事業 1,620千円</p>					
	前年度からの変更点						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		会員数の維持を図る（とが山学園）		160	160	200	
高齢者への補聴器購入助成			30	40	-		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）		
事業費	8,556	8,564	8,564	8,564	8,564		
財源内訳	一般財源	7,422	7,630	7,630	7,630	7,630	
	国支出金						
	県支出金	1,134	934	934	934	934	
	起債						
	その他						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		社会福祉法人等による利用者負担軽減事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市			担当課	介護保険課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市社会福祉法人等による利用者負担の軽減措置に係る実施要綱）									
事業目的	対象	要介護被保険者（施設入所者）で生活困難と認められる者								
	背景と目的	低所得者に係る利用者負担対策のうち、要介護被保険者で生計困難と認められる者が利用する介護保険サービスのうち、あらかじめ利用者負担の軽減を実施する旨の届出をした社会福祉法人等が実施する介護保険サービスを利用した場合の利用者負担の一部を軽減し、利用者の生活の安定と介護保険制度の円滑な実施を図る。低所得者の高齢者の負担軽減を行い、暮らしやすい体制を整える。								
事業内容	事業概要	<p><b>【事業概要】</b> 要介護被保険者で生計困難と認められる者に対する介護保険サービス及び食費・居住費の利用者負担を軽減する事業を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付する。低所得の方でも安心して施設利用ができ、高齢者が暮らしやすい体制を整えていく。</p> <p><b>【令和6年度】</b> （歳入）社会福祉法人等による利用者負担軽減事業補助金 負担割合 国1/2、県1/4、市1/4 （歳出）利用者負担、食費及び居住費を軽減 180千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	180	180	180	180	180					
財源内訳	一般財源	45	45	45	45					
	国支出金									
	県支出金	135	135	135	135					
	起債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		養護老人ホーム保護措置費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市			担当課	介護保険課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費	
根拠法令等	養父市規則（養父市老人福祉法による老人ホーム入所等に関する規則）									
事業目的	対象	生活環境、経済的事情で生活が困難な高齢者								
	背景と目的	身体・精神・環境及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な概ね65歳以上の高齢者に対して、生活環境の確保を図るため養護老人ホームへの入所を措置する。高齢者の生活拠点を作ることで、暮らしやすい体制を整える。								
事業内容	事業概要	<p><b>【事業概要】</b> 概ね65歳以上の高齢者で身体・精神・環境及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者を入所させ、健全な日常生活の確保を図る。 養護老人ホーム保護措置費</p> <p><b>【令和6年度】</b> 51人分を計上（かるべの郷あじさい、ことぶき苑等）                  (歳入) 養護老人ホーム入所者費用徴収金 29,298千円                  (歳出) 入所判定委員会開催費（費用弁償）等 46千円                  養護老人ホーム入所措置費 112,474千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	112,275	112,520	112,520	112,520	112,520					
財源内訳	一般財源	83,105	83,222	83,222	83,222	83,222				
	国支出金									
	県支出金									
	起債									
	その他	29,170	29,298	29,298	29,298	29,298				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		生活支援ハウス運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市			担当課	介護保険課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市生活支援ハウス居住部門運営事業実施要綱）									
事業目的	対象	居宅において生活に不安のある高齢者								
	背景と目的	居宅において生活に不安のある高齢者に対し、居住機能、介護支援機能、交流機能等を提供することにより、安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援する。								
事業内容	事業概要	<p><b>【事業概要】</b>                      居宅において生活することに不安のある高齢者に対し、居住機能、生活支援機能、交流機能等を提供することにより、安全、健康な生活が送れるように支援する。生活支援ハウスの事業運営委託料</p> <p><b>【令和6年度】</b>                      ・おおやの郷生活支援ハウス 定員5人（おおやの郷委託）                      ・はちぶせの里生活支援ハウス 定員5人（はちぶせの里委託）                      （歳入）生活支援ハウス利用者負担 984千円                      （歳出）委託料 12,871千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	12,569	12,871	12,871	12,871	12,871					
財源内訳	一般財源	11,417	11,887	11,887	11,887	11,887				
	国支出金									
	県支出金									
	起債									
	その他	1,152	984	984	984	984				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		デイサービスセンター管理費		枝番		単位事業名									
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号								
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）													
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%										
	個別計画														
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう								
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に									
実施主体	養父市			担当課	介護保険課										
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算								
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費						
根拠法令等	養父市条例（養父市大屋デイサービスセンター設置及び管理条例、養父市関宮高齢者総合保健福祉センター設置管理条例）														
事業目的	対象	指定管理施設大屋デイサービスセンター、関宮高齢者総合保健福祉センター施設管理													
	背景と目的	介護サービス利用者等が安心してサービスを受けられるよう大屋デイサービスセンター、関宮高齢者総合保健福祉センターの施設修繕を行う。大屋デイサービスセンター、関宮高齢者総合保健福祉センター共に令和4年度から3年間指定管理を継続。													
事業内容	事業概要	<p><b>【事業概要】</b> 介護サービス利用者（通所介護）が安心してサービスを受けられるように施設管理を行う。地域での在宅生活が維持してけるよう体制を整える。（大屋・関宮地域）</p> <p><b>【令和6年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大屋デイサービスセンター</li> <li>・関宮高齢者総合保健福祉センター</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（歳出） 需用費（修繕料）</td> <td style="text-align: right;">1,200千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">委託料（防火設備点検代他）</td> <td style="text-align: right;">70千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定管理料（電気代法人契約終了影響額）</td> <td style="text-align: right;">1,290千円</td> </tr> </table>								（歳出） 需用費（修繕料）	1,200千円	委託料（防火設備点検代他）	70千円	指定管理料（電気代法人契約終了影響額）	1,290千円
	（歳出） 需用費（修繕料）	1,200千円													
	委託料（防火設備点検代他）	70千円													
	指定管理料（電気代法人契約終了影響額）	1,290千円													
前年度からの変更点															
事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)								
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)										
事業費	2,197	2,560	0	0	0										
財源内訳	一般財源	2,197	2,560												
	国支出金														
	県支出金														
	起債														
	その他														

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域高齢者施設管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市			担当課	介護保険課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費	
根拠法令等	養父市条例（養父市地域ふれあいの家設置及び管理条例）									
事業目的	対象	大屋ふれあいの家の管理								
	背景と目的	地域の高齢者施設の維持管理を行い、介護予防等地域活動の場を維持し、高齢者等が生活しやすい地域を作っていく。								
事業内容	事業概要	<p>【事業概要】 各地域の高齢者施設の管理を行い、介護予防のサロンや地域の活動の場として維持していく。</p> <p>【令和6年度】 大屋ふれあいの家 維持管理費（光熱水費等） （歳出） 需用費（修繕料、消耗品、水道使用量、電気料金等） 476千円              役務費                    38千円              委託料                    30千円              使用料等                  24千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	629	568	568	645	568					
財源内訳	一般財源	629	568	568	645	568				
	国支出金									
	県支出金									
	起債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		介護保険事業			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう				
	11	住み続けられるまちづくりを			16	平和と公正をすべての人に					
実施主体	養父市			担当課	介護保険課						
会計区分	介護保険特別会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款			項			目				
根拠法令等	介護保険法（養父市介護保険条例等）										
事業目的	対象	65歳以上の第1号被保険者、介護認定者									
	背景と目的	介護保険は入浴、排泄、食事などの日常生活の支援や機能訓練、看護、療養上の管理などが必要な人に対して介護サービス・福祉サービスを提供する制度であり、介護が必要な状態になっても、心身の状態や環境等に応じたサービスの提供により、できる限り自立した日常生活を営むことができるよう支援する。また、介護予防、自立支援を強化し、できるだけ要介護状態にならないよう、要介護状態が悪化しないような取り組みを実施する。									
事業内容	事業概要	<p><b>【介護保険事業の運営】</b>            介護保険制度は、65歳以上の方が加入者(第1号被保険者)となり納める保険料と、国、県、市の各負担金及び社会保険診療報酬支払基金の交付金等を財源として、介護や支援が必要になった人に介護（予防）サービスを提供することで、被保険者自身とその家族を支援する仕組み。</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		介護を必要としない人の年齢を延伸する。				85	83.17	83.14			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	4,005,400	3,987,300	3,987,300	3,987,300	3,987,300						
財源内訳	一般財源	708,154	777,824	777,824	777,824	777,824					
	国支出金	1,032,401	1,027,179	1,027,179	1,027,179	1,027,179					
	県支出金	575,353	574,045	574,045	574,045	574,045					
	起債										
	その他	1,689,492	1,608,252	1,608,252	1,608,252	1,608,252					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 健康医療課

# 実施計画書

事業名		後期高齢者医療事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、兵庫県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、養父市後期高齢者医療に関する条例									
事業目的	対象	後期高齢者医療被保険者（75歳以上の市民及び65歳以上で一定の障がいのある市民）								
	背景と目的	平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき後期高齢者医療制度が実施され、兵庫県後期高齢者医療広域連合が制度の運営を行っている。円滑な運営のための経費を各市町が負担金として拠出する。								
事業内容	事業概要	兵庫県後期高齢者医療広域連合へ下記の負担金を支出する。 ○共通経費負担金：後期高齢者医療広域連合の事務に必要な経費の負担金（15,077千円） ○療養給付費負担金：医療給付費のうち市が負担する公費分負担金（366,819千円）  令和6年度平均被保険者数（見込み）：4,929人								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	374,095	381,896	384,015	386,823	389,652					
財源内訳	一般財源	374,095	381,896	384,015	386,823	389,652				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		重度障害者医療費助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市条例（養父市福祉医療費等助成条例）									
事業目的	対象	身体障害者手帳1級又は2級、療育手帳A判定該当者								
	背景と目的	重度障害者（後期高齢者医療保険被保険者を除く）の医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>重度障害者で、疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担が受けられない場合において、その自己負担額の一部を助成する。          ※高3までの子は乳幼児等医療またはこども医療で対応          ◆所得制限          一般 市民税所得割税額23.5万円未満          低所得者 市民税非課税世帯で、年金収入を加えた所得80万円以下          ◆一部負担金（医療機関ごと）          一般 外来600円 入院2,400円          低所得者 外来400円 入院1,600円          ★県支出金：重度障害者医療費補助金（13,242千円）、重度障害者医療費事務費補助金（128千円）          補助率：医療費1/2、事務費1/2          ★その他財源：福祉医療費第3者納付金、不当請求返還金（50千円）          ●令和6年度見込受給者数195人 &lt;参考&gt;R5.3末：181人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	重度障害者医療費助成件数（件）				4,500	4,500	4,076			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	26,848	26,808	26,808	26,808	26,808					
財源内訳	一般財源	13,414	13,388	13,388	13,374	13,374				
	国支出金									
	県支出金	13,384	13,370	13,370	13,384	13,384				
	地方債									
	その他	50	50	50	50	50				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		乳幼児等医療費助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市条例（養父市福祉医療費等助成条例）									
事業目的	対象	0歳から小学3年生までの子								
	背景と目的	乳幼児等医療費の一部を助成することにより、健康保持及び福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減する。								
事業内容	事業概要	<p>0歳から小学3年生までの子で、疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担分を控除した自己負担額の全額を助成する。</p> <p>※H25.7から市条例により所得制限撤廃、一部負担金は無料化</p> <p>【参考：県制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆所得制限（0歳児は所得制限なし）</li> <li>一般 市民税所得割税額23.5万円未満（世帯合算後）</li> <li>低所得者 市民税非課税世帯で年収収入を加えた所得80万円以下</li> <li>◆一部負担金（医療機関ごと）</li> <li>一般 通院800円 入院3,200円</li> <li>低所得者 通院600円 入院2,400円</li> </ul> <p>★県支出金：乳幼児等医療費補助金（7,492千円）、乳幼児事務費補助金（754千円）</p> <p>補助率：医療費1/2、事務費1/2</p> <p>●令和6年度見込受給者 1,320人 &lt;参考&gt;R5.3末：1,313人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	乳幼児等医療費助成件数（件）				23,000	22,600	21,124			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	43,416	45,192	45,192	45,192	45,192					
財源内訳	一般財源	32,859	36,946	36,946	36,946	36,946				
	国支出金									
	県支出金	10,557	8,246	8,246	8,246	8,246				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		母子家庭等医療費助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市条例（養父市福祉医療費等助成条例）									
事業目的	対象	母子・父子家庭で18歳までの子を監護する母又は父、及びその子・同年齢までの遺児								
	背景と目的	母子家庭、父子家庭及び遺児の医療費の一部を助成することにより、健康保持及び福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減する。								
事業内容	事業概要	<p>母子家庭、父子家庭及び遺児で疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担医療が受けられない場合において、その自己負担額の一部を助成する。          ※高3までの子は乳幼児等医療またはこども医療で対応          ◆所得制限（保護者・扶養義務者）          一般 児童扶養手当の満額支給所得基準          低所得者 市民税非課税世帯で年金収入を加えた所得80万円以下          ◆一部負担金（医療機関ごと）          一般 外来800円 入院3,200円          低所得者 外来400円 入院1,600円          ★県支出金：母子家庭等医療費補助金（1,715千円）          補助率2/3          ●令和6年度見込受給者数 70人 《参考》R5.3末：100人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	母子家庭等医療費助成件数（件）				700	800	796			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	2,909	2,629	2,629	2,629	2,629					
財源内訳	一般財源	1,019	914	914	914					
	国支出金									
	県支出金	1,890	1,715	1,715	1,715					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		高齢重度障害者医療費助成事業費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			11 住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	健康医療課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費
根拠法令等	養父市要綱（養父市高齢重度障害者医療費助成事業実施要綱）								
事業目的	対象	身障手帳1級又は2級、療育手帳A判定、精神保健福祉手帳1級の該当者で後期高齢者の対象者							
	背景と目的	重度障害者（後期高齢者医療保険被保険者）の医療費の一部を助成することにより、健康保持及び福祉の増進を図る。							
事業内容	事業概要	<p>後期高齢の重度障害で、疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担医療が受けられない場合において、その自己負担額の一部を助成する。</p> <p>◆所得制限            一般 市民税所得割税額23.5万円未満            低所得者 市民税非課税世帯で、年金収入を加えた所得80万円以下</p> <p>◆一部負担金（医療機関ごと）            一般 外来600円 入院2,400円            低所得者 外来400円 入院1,600円</p> <p>★県支出金：高齢重度障害者医療費補助金（9,675千円）、高齢重度障害者医療費事務費補助金（220千円）            補助率：医療費1/2、事務費1/2            ★その他財源：後期高齢者医療費調整分（9,000千円）            ●令和6年度見込受給者数 300人 ≪参考≫R5.3末：269人</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
	高齢重度障害者医療費助成件数（件）				5,500	6,000	5,772		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	30,457	28,829	28,829	28,829	28,829				
財源内訳	一般財源	10,752	9,934	9,934	9,934				
	国支出金								
	県支出金	10,705	9,895	9,895	9,895				
	地方債								
	その他	9,000	9,000	9,000	9,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		重度精神障害者医療費助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	1	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市条例（養父市福祉医療費等助成条例）									
事業目的	対象	精神保健福祉手帳1級該当者								
	背景と目的	重度精神障害者（後期高齢者医療保険被保険者を除く）の医療費の一部を助成することにより、健康保持及び福祉の増進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>重度精神障害者で、疾病又は負傷（精神疾患を除く）に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他公費負担医療が受けられない場合において、その自己負担額の一部を助成する。</p> <p>※高3までの子は乳幼児等医療またはこども医療で対応</p> <p>◆所得制限            一般 市民税所得割税額23.5万円未満            低所得者 市民税非課税世帯で、年金収入を加えた所得80万円以下</p> <p>◆一部負担金(医療機関ごと)            一般 外来600円 入院2,400円            低所得者 外来400円 入院1,600円</p> <p>★県支出金：重度精神障害者医療費補助金（105千円）、重度精神障害者医療費事務費補助金（2千円）</p> <p>●令和6年度見込受給者数 8人 &lt;参考&gt;R5.3末：5人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	重度精神障害者医療費助成件数（件）				60	60	30			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	109	214	214	214	214					
財源内訳	一般財源	55	107	107	107	107				
	国支出金									
	県支出金	54	107	107	107	107				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		こども医療費助成事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市こども医療費助成事業実施要綱）									
事業目的	対象	小学4年生から中学3年生までの子								
	背景と目的	こども医療費の一部を助成することにより、健康保持及び福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減する。								
事業内容	事業概要	<p>小学4年生から中学3年生までの子で、疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担分を控除した自己負担額の全額を助成する。</p> <p>※H25.7月から市条例により所得制限撤廃、一部負担金は無料化</p> <p>【参考：県制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆所得制限 市民税所得割税額23.5万円未満（世帯合算後）</li> <li>◆一部負担金（保険医療機関ごと） 通院・入院ともに医療費の2割 （医療費の2割が高額療養費等支給後の自己負担額の2/3を超える場合は自己負担額の2/3）</li> </ul> <p>★県支出金：こども医療費補助金（5,671千円）、こども医療費事務費補助金（477千円） 補助率：医療費（入院分10/10、外来分1/2）、事務費（入院分10/10、外来分1/2） ●令和6年度見込受給者数 1,010人 《参考》R5.3末：899人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	こども医療費助成件数（件）				14,000	13,600	11,230			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	26,063	32,138	32,138	32,138	32,138					
財源内訳	一般財源	20,878	25,990	25,990	25,990	25,990				
	国支出金									
	県支出金	5,185	6,148	6,148	6,148	6,148				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		高齢期移行助成事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市				担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費		項	1	社会福祉費		目	4	福祉医療助成費
根拠法令等	養父市条例（養父市福祉医療費等助成条例）										
事業目的	対象	65歳以上69歳以下で一定所得以下の者									
	背景と目的	高齢期移行者（65歳以上69歳以下で一定の所得以下の者）の医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図る。									
事業内容	事業概要	<p>高齢期移行者で、疾病又は負傷に対し、医療保険による給付が行われた場合で、他の公費負担医療が受けられない場合において、その自己負担額の一部を助成する。</p> <p>◆要件            区分Ⅰ：市民税非課税世帯で、世帯員全員が年金収入80万円以下、かつ、所得がないもの            区分Ⅱ：市民税非課税世帯で、本人の年金収入を加えた所得が80万円以下であり、かつ、要介護2以上の介護認定を受けている者。            ★県支出金：高齢期移行費補助金（1,102千円）、高齢期移行費事務費補助金（37千円）            補助率：医療費1/2、事務費1/2            ●令和6年度見込受給者数 70人 《参考》R5.3末：68人</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
	高齢期移行費助成件数（件）				800	850	824				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	2,806	2,302	2,302	2,302	2,302						
財源内訳	一般財源	1,418	1,163	1,163	1,163						
	国支出金										
	県支出金	1,388	1,139	1,139	1,139						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		高校生等医療費助成事業		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉医療助成費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市こども医療費助成事業実施要綱）									
事業目的	対象	高校1年生から高校3年生（18歳に達した最初の年度末）までの子								
	背景と目的	高校生等の医療費を助成することにより、こどもの健康保持及び福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担をさらに軽減し、継続した子育て支援を行う。								
事業内容	事業概要	<p>高校1年生から高校3年生（18歳に達した最初の年度末まで）の子を対象に受給者証を交付し、健康保険が適用される医療費の自己負担額を全額助成する。</p> <p>福祉医療費 14,256千円（1人あたり医療費25,186円×566人）            審査支払手数料 317千円            事務費等 66千円            計 14,639千円</p> <p>●令和6年度見込み受給者数 566人 《参考》R5.7末：            （歳入）元気な養父づくり応援基金 14,639千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		高校生等医療費助成件数（件）				4,500	3,430	—		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	14,010	14,639	14,639	14,639	14,639					
財源内訳	一般財源	14,010	0	14,639	14,639	14,639				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		14,639							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		国民年金事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
	10 人や国の不平等をなくそう									
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	国民年金事務費	
根拠法令等	その他（国民年金法）									
事業目的	対象	養父市民								
	背景と目的	全ての国民を対象に老齢、障害又は死亡による所得の喪失・減少により、国民生活の安定が損なわれることを国民の共同連帯により防止し、健全な国民生活の維持・向上に寄与することを目的とする。								
事業内容	事業概要	<p>国民年金法により法定受託となっている各種申請の受付、回送や相談業務を行う。 又、協力・連携事務により納付督促等、各種情報提供、法定受託以外の各種申請受付及び届書等の回送を行う。</p> <p>★国庫支出金：国民年金事務費交付金 5,136千円 国民年金職員人件費に充当（正規職員 3,036千円：総務課） 国民年金事務費に充当（100千円：健康医療課 会計年度任用職員 2,000千円：経営総務課） 令和6年度国民年金第1号被保険者見込み数 1,800人 ≪参考≫R5.3末 1,917人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		年金機構への各種届出進達件数（件）					950	900	950	
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	2,714	3,314	3,314	3,314	3,314					
財源内訳	一般財源	700	1,214	1,214	1,214	1,214				
	国支出金	2,014	2,100	2,100	2,100	2,100				
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		保健衛生一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			11 住み続けられるまちづくりを					
	8 働きがいも経済成長も									
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	
根拠法令等	その他（健康増進法、保助看法、血液確保法）									
事業目的	対象	全市民								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりの事業について評価、検討等を行い、市民一人ひとりが、住み慣れた地域で生涯にわたって健康で生き生きとした生活ができるまちを目指す。</li> <li>・専門職の資質向上を図ることにより総合的な視野を持ちながら、より効果的な保健事業を展開する。</li> <li>・血液製剤の確保のための献血事業の推進を図る。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>(1) 健康づくり推進協議会と歯科保健推進連絡会議の開催。 健康保健事業の実績報告と評価、委員からの助言等をいただく。 事業の効果や方向性についての協議を行う。</p> <p>(2) 保健師・管理栄養士の研修参加による資質の向上を図る。</p> <p>(3) 献血事業への協力・推進を行う。</p> <p>(4) 歳入 一般財源 1,083千円 歳出 報酬 360千円、旅費等 271千円、負担金等 452千円 ★会計年度任用職員経費（報酬、手当等） 6,206千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,835	7,289	7,200	7,200	7,200					
財源内訳	一般財源	5,835	7,289	7,200	7,200	7,200				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			12	つくる責任、つかう責任			
	7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに								
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	庁用自動車管理費								
	背景と目的	訪問、健診、保健相談等、保健事業に必要な庁用自動車の維持・管理								
事業内容	事業概要	<p>(1) 庁用自動車の維持・管理 4台（軽自動車）            No.48-12 スズキ アルト（乗用）点検            No.48-13 スズキ アルト（乗用）点検            No.35-01 スズキ アルト（乗用）車検 R6.8.28            No.55-38 スズキ エブリ（軽貨物）点検</p> <p>(2) 歳入 一般財源 569千円            歳出 需用費 471千円、役務費 91千円、公課費 7千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	527	569	569	569	569					
財源内訳	一般財源	527	569	569	569					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域医療推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	保健事業費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民・医療関係者等								
	背景と目的	慢性的な八鹿病院の医師不足、民間医院の医師の高齢化など、将来的に養父市の医療確保が難しい状況となることが懸念される中において、持続可能な地域医療の在り方や将来の養父市の地域医療を守っていくために必要な方策を、民間医院・中核病院である八鹿病院・医療関係者・市民代表等と連携を図り検討するとともに、養父市医師会、南但歯科医師会の活動を支援し、市民の健康を守る。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市の地域医療を守り育てる基本方針策定委員会の開催（373千円） 市の医療体制のあり方や市の医療施策について検討</li> <li>・養父市医師会及び南但歯科医師会への補助（800千円） 医師会が行う健康講座等の取組支援</li> <li>・市内医療機関のオンライン診療及び薬局のオンライン服薬指導導入への補助（1,220千円） 市内医療機関・薬局に対し、備品購入費、回線設定料、運営経費等を補助することにより、ICTを活用したオンライン診療・服薬指導の導入や継続を促進</li> <li>・遠隔診療実証事業（2,209千円） 令和5年度に大屋町明延区で実施した遠隔診療実証事業を継続 医療MaaS（車両を使用した遠隔診療）の導入などの展開も検討 歳入：人生100年時代づくり・地方創生ソフト事業交付金（2,209千円）</li> </ul>								
	前年度からの変更点	令和5年度に企業協力により開始した遠隔診療実証事業の継続								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,393	4,602	4,602	4,602	4,602					
財源内訳	一般財源	2,393	2,393	4,602	4,602					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		2,209							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		感染症予防事業費			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを		
	8	働きがいも経済成長も							
実施主体	養父市			担当課	健康医療課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費
根拠法令等	予防接種法、感染症法								
事業目的	対象	市民							
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種は感染症対策に大きな役割を果たし、将来の疾病予防にもつながる。</li> <li>・ 予防接種により市民全体の免疫水準を維持し、感染症から身を守るために接種機会を安定的に確保し、接種率向上を目指す。</li> </ul>							
事業内容	事業概要	<p>(1) 予防接種法に基づく定期接種、任意接種を実施する。</p> <p>(2) 定期接種（A類疾病）ロタ、B型肝炎、Hib、小児肺炎球菌、結核、風しん等 （B類疾病）季節性インフルエンザ（65歳以上）、高齢者肺炎球菌 新型コロナウイルス感染症（65歳以上） 任意接種 季節性インフルエンザ（妊婦、小学生以下の無償化継続）、帯状疱疹 接種対象者への接種案内、予防接種健康被害救済への対応</p> <p>(3) 歳入歳出 歳入：（国）感染症予防事業費等補助金 818千円 （県）帯状疱疹ワクチン助成事業補助金 380千円 （その他）元気な養父づくり応援基金繰入金 2,204千円 歳出：需用費 23,987千円、委託料 66,050千円、負担金補助金等 12,382千円</p>							
	前年度からの変更点	高齢者肺炎球菌の経過措置が令和5年度で終了、新型コロナウイルス感染症の定期化（B類疾病）帯状疱疹ワクチン任意予防接種助成							
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		この地域で子育てをしていきたい親の割合				92.0%	91.0%	90.3%	
小児の定期接種予防接種率				90.0%	86.0%	85.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	87,943	103,848	103,848	103,848	103,848				
財源内訳	一般財源	87,115	100,446	103,848	103,848	103,848			
	国支出金	828	818						
	県支出金		380						
	地方債								
	その他		2,204						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		健康増進事業費			枝番	1	単位事業名	健康増進事業		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
	8	働きがいも経済成長も								
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費	
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病は、早期発見や、生活習慣の改善をすることで重症化・発症予防が可能である。</li> <li>・青・壮年期を対象とした健康づくりの各種保健事業の推進を図ることで健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図る。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>(1) 健康増進法等に基づき各種保健事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5がん検診（肺・胃・大腸・乳・子宮）を市民ドックで無料化、個別健診で9割助成</li> <li>・節目年齢への無料クーポン、節目年齢・小中学生（小5・中2・中3）へのがん予防冊子の配布</li> <li>・口腔検診の実施（20・25・30・35歳の無料化クーポン拡充）</li> <li>・30～39歳の特定健診の実施</li> <li>・健康教育、健康相談、肝炎検診・骨粗鬆症検診</li> <li>・アスベスト健康管理支援、ドナー支援事業、がん患者アピアランス事業、若年在宅ターミナル支援事業</li> </ul> <p>(2) 歳入歳出</p> <p>歳入：（国）がん検診推進事業補助金等 225千円            （県）健康増進事業補助金等 3,492千円            （その他）元気な養父づくり応援基金繰入金等 6,952千円</p> <p>歳出：委託料 37,818千円、役務費 1,247千円、負担金等 3,391千円</p>								
	前年度からの変更点	（拡充）口腔検診20・25・30・35歳の無料化 5がん検診（肺・胃・大腸・乳・子宮）を市民ドックで無料化、個別健診で9割助成								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		特定保健指導実施率			63.0%	62.7%	62.5%			
	1日30分以上運動を週2日以上、1年以上実施			男性36% 女性38%	男性35.7% 女性36.4%	男性35.5% 女性34.1%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	34,679	42,456	42,456	42,456	42,456					
財源内訳	一般財源	30,755	31,787	31,787	31,787					
	国支出金	225	225	225	225					
	県支出金	3,492	3,492	3,492	3,492					
	地方債	0								
	その他	207	6,952	6,952	6,952					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		健康増進事業費		枝番	2	単位事業名	後期高齢者医療健診事業費			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			11 住み続けられるまちづくりを					
	8 働きがいも経済成長も									
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費	
根拠法令等	健康増進法、高齢者医療確保法									
事業目的	対象	後期高齢者								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>急速な高齢化の進展に伴い、疾病に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。また、死亡原因においても、生活習慣病が6割を占めている。</li> <li>生活習慣病は、生活習慣を改善することでその予防や重症化・合併症を避けることができる。後期高齢者の健康健診・口腔検診を実施することにより生活習慣病の早期発見と重症化予防を行うとともにフレイルを予防する。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>(1) 健康増進法等に基づき保健事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者の健康診査、口腔検診</li> </ul> <p>(2) 歳入歳出            歳入（国）後期高齢者健診補助金等1,483千円            （その他）1,920千円            歳出 需用費 213千円、役務費 524千円、委託料 4,891千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		特定健診受診率（後期高齢）					16.5%	16.4%	16.3%	
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	5,091	5,628	5,628	5,628	5,628					
財源内訳	一般財源	1,771	2,225	2,225	2,225					
	国支出金	1,400	1,483	1,483	1,483					
	県支出金									
	地方債									
	その他	1,920	1,920	1,920	1,920					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		健康増進事業費			枝番	3	単位事業名	高齢者一体的実施事業費		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			11 住み続けられるまちづくりを					
	8 働きがいも経済成長も									
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律									
事業目的	対象	高齢者								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急速な高齢化の進展に伴い、疾病に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。また、死亡原因においても、生活習慣病が6割を占めている。</li> <li>・生活習慣病は、生活習慣を改善することでその予防や重症化・合併症を避けることができる。</li> <li>・高齢者の健康の保持・増進を図るため、後期高齢者医療・国民健康保険・介護予防・健康づくり等の庁内担当部局が連携のもと一体的に保健事業を実施し高齢者を支援する。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>(1) 高齢者一体的実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画、調整、KDBシステムを活用した健康課題の分析・対象者の把握</li> <li>・高齢者保健事業の実施</li> <li>・ハイリスクアプローチ：健康状態不明者の把握</li> <li>・ポピュレーションアプローチ：フレイル予防の健康教育・健康相談、質問票の実施</li> </ul> <p>(2) 歳入歳出            (歳入) 高齢者一体的実施事業交付金 10,681千円うち、451千円            (歳出) 報償費 40千円、旅費 38千円、需用費等 416千円</p> <p style="text-align: center;">*保健衛生職員人件費（保健師等）10,230千円【経営総務課対応】</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		健康状態不明者の把握率					100%	100%	100%	
健康教室・健康相談実施者数（実人員）					700人	670人	613人			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	504	494	494	494	494					
財源内訳	一般財源	53	43	43	43					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	451	451	451	451					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		自殺対策強化事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう								
	3	すべての人に健康と福祉を									
実施主体	養父市			担当課	健康医療課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費		
根拠法令等	自殺対策基本法										
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	<p>・養父市の平均自殺率（人口10万対）は平成29～令和元年の3年間は18.8、平成30年～令和2年は13.2と減少傾向にある。          県平均15.7に比べても低くなっている。</p> <p>・自殺の理由としては健康問題や家庭問題、経済問題等であり、今後も継続した社会的要因を踏まえた総合的対策、うつ予防が求められる。そのため、自分にあったストレス解消方法を身につけることや十分な睡眠・休養を取ること、うつについての正しい知識を持って対応がとれるような啓発を関係機関と連携しながら行う。また、社会的問題となっているひきこもりへの理解の浸透と、相談窓口の周知を図る。</p>									
事業内容	事業概要	<p>(1) 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺対策として庁内連携を含めた体制づくり、メンタルヘルスの啓発</li> <li>・職員、民生委員や福祉委員等地域のゲートキーパーとなる人への研修会</li> <li>・不登校・ひきこもりを考える事業および連携会議等</li> <li>・精神保健・こころのサポーター研修の開催</li> <li>・ボランティアグループの活動支援とフォロー研修の実施</li> <li>・カウンセリング等相談窓口の拡大と周知</li> </ul> <p>(2) 歳入歳出          歳入 (県)自殺対策強化事業補助金 220千円          歳出 報償費 212千円、旅費 21千円、需用費 189千円、役務費 26千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	ゲートキーパー養成数 (人)				100	100	254				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	442	448	448	448	448						
財源内訳	一般財源	222	228	228	228	228					
	国支出金										
	県支出金	220	220	220	220	220					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		健康づくり推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費	
根拠法令等	養父市条例(養父市自然を生かした健康づくり推進条例)									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	要介護認定者や養父市国保医療費の増加、日常生活での身体活動量(運動・スポーツ)の減少が課題となっており、なかでも青壮年期は身体活動量の減少による体力低下が他の年代に比べて多い。そこで、運動の普及を通じた健康づくり事業を青壮年期から継続的に実施する。同様に、個人を対象とした健康づくり事業も青壮年期から進め、元気な高齢者づくりによる健康寿命の延伸と医療費の削減を図る。								
事業内容	事業概要	<p>(1)業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力側の実施し、個人へ結果をフィードバックして今後の健康づくりに活かす。</li> <li>・やっぷー健康ポイント事業においては、健康づくりの継続・健康維持増進のさらなる充実・推進を図る。</li> <li>・健康アプリを活用した健康づくりを推進する</li> <li>・健康やぶ21-第5版- (R8～) 改定に向けた健康づくりアンケートの実施</li> </ul> <p>(2)歳入歳出</p> <p>歳入 (国)保健事業推進補助金 535千円</p> <p>歳出 需用費 801千円、役務費 396千円、委託料 3,341千円、負担金 20千円</p>								
	前年度からの変更点	健康アプリの普及啓発と活用 健康やぶ21-第5版- (R8～) 改定に向けた健康づくりアンケートの実施								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		健康ポイント交換者(実人数)			900	850	812			
1日30分以上運動を週2日以上、1年以上実施			男性36% 女性38%	男性35.7% 女性36.4%	男性35.5% 女性34.1%					
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	1,310	4,558	6,178	1,258	1,258					
財源内訳	一般財源	760	4,023	5,643	723	723				
	国支出金	550	535	535	535	535				
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		未熟児養育医療給付費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	母子保健指導費	
根拠法令等	養父市要綱（養父市未熟児養育医療実施要綱）									
事業目的	対象	医療を必要とする未熟児								
	背景と目的	未熟児は、正常な新生児に比べて疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切に処置を行う必要がある。このため、医療措置が必要であると認められた未熟児に対して医療給付を実施するもの。								
事業内容	事業概要	<p>未熟児養育医療は入院医療費のうち保険適用後の自己負担額及び入院時食事療養費の自己負担額について、申請に基づき給付を行う。なお、世帯の所得税額等に応じて自己負担金を徴収することになっているが、乳幼児等医療費助成制度対象者と整合性を図る観点から自己負担額は市が独自に助成する。</p> <p>国県支出金：国 1,089千円（未熟児養育医療費等国庫負担金）                  県 544千円（養育医療給付事業県費負担金）                  国県補助率：国（1/2）、県（1/4）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		未熟児養育医療費給付申請人数（人）					5	5	1	
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	1,154	2,702	2,702	2,702	2,702					
財源内訳	一般財源	446	1,069	1,069	1,069					
	国支出金	472	1,089	1,089	1,089					
	県支出金	236	544	544	544					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		大屋保健センター管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	保健センター管理費	
根拠法令等	健康増進法									
事業目的	対象	相談者など施設利用者、保険事業関係者								
	背景と目的	大屋保健センターは、施設内に大屋歯科診療所を置く、大屋診療所と連結する一体的建物であり、大屋地域の保健・医療・福祉の拠点である。現在、大屋保健センターの1階部分は、社会福祉法人養父市社会福祉協議会大屋支部の事務所として無償提供している。								
事業内容	事業概要	<p>市民の保健・医療・福祉の拠点となる大屋保健センターを快適に使用できるよう、適正な維持管理を行う。</p> <p>(歳入) その他：公共施設等整備基金繰入金28,121千円 行政財産目的外使用料5千円</p> <p>(歳出) 需用費150千円（修繕料） 委託料53千円（施設設備管理委託料/自動ドア点検） 工事請負費28,121千円（大屋保健センター等塗装改修工事）</p>								
	前年度からの変更点	大屋保健センター等塗装改修工事								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	大屋保健センター 利用者延べ人数 (人)				700	700	679			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,270	28,324	303	303	303					
財源内訳	一般財源	3,265	198	298	298	298				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	5	28,126	5	5	5				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		診療所維持管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	健康医療課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市有診療施設									
	背景と目的	市有施設で民間が運営する関宮歯科診療所の維持管理を行う。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関宮歯科診療所、その他旧診療所施設の維持修繕 150千円</li> <li>・ 関宮歯科診療所台リース 910千円/年間</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	997	1,060	1,060	1,060	1,060						
財源内訳	一般財源	997	1,060	1,060	1,060						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		病院負担金			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	公立豊岡病院組合				担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費		
根拠法令等											
事業目的	対象	高齢者、妊婦、新生児等を重点とする市民全員									
	背景と目的	但馬こちらのとり周産期医療センターの医師確保等を図り、但馬の周産期医療を守り、ハイリスクの妊婦、胎児、新生児に対応する。ドクターヘリとの併用、またはドクターヘリが悪天候等で飛べない場合、その補完としてドクターカーを運行する。平成29年度から24時間運行。									
事業内容	事業概要	公立豊岡病院が事業主体となり、但馬3市2町で負担する。 ・ドクターカー事業負担金 9,816千円 ・周産期医療センター医師確保等のソフト事業負担金 2,648千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	ドクターカー出動件数 (件)				403	393	383				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	11,208	12,464	12,464	12,464	12,464						
財源内訳	一般財源	11,208	12,464	12,464	12,464						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		やぶ医者プロジェクト事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費	
根拠法令等	養父市条例（医師確保対策就業支度金貸与条例） 養父市要綱（医学生入学時特別修学資金補助金交付要綱、女性医師の働きやすい環境整備補助金交付要綱）									
事業目的	対象	公立八鹿病院、診療所医師、将来医師を目指す者等								
	背景と目的	養父市の中核医療機関として大きな役割を果たしている公立八鹿病院においては、新臨床研修制度により深刻な医師不足に陥り、医療機能が低下している。また、市立診療所においても医師の高齢化により、近い将来、医師確保の必要性に迫られている。 やぶ医者プロジェクト事業により、公立八鹿病院及び市立診療所の医師確保を図り、誰もが安心して暮らせる環境を実現する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学生入学時特別修学資金補助（2人分） 20,000千円</li> <li>・ 地域医療確保事業補助（6人）60,000千円 （事業財源内訳として、その他収入公立八鹿病院から50,000千円）</li> <li>・ 公立八鹿病院の女性医師の働きやすい環境整備に関する補助 500千円</li> <li>・ 公立八鹿病院及び市立診療所の採用医師に係る医師確保対策就業支度金貸与 9,000千円</li> <li>・ やぶ医者大賞の実施 3,018千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	寄附講座設置による公立八鹿病院への派遣医師数 (人)				6	6	6			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	94,188	92,518	92,518	92,518	92,518					
財源内訳	一般財源	35,577	29,095	42,518	42,518	42,518				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	58,611	63,423	50,000	50,000	50,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		研究所運営補助事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	病院診療所費	
根拠法令等	一般財団法人医療文化経済グローバル研究所運営費等補助金交付要綱									
事業目的	対象	市民、医療・福祉・地域づくり関係者								
	背景と目的	市民の「健康加齢の増進」と「幸福度の向上」に寄与するための調査・研究・提言・支援を行う一般財団法人医療文化経済グローバル研究所の運営を支援する。								
事業内容	事業概要	一般財団法人医療文化経済グローバル研究所の運営支援 （研究所の主な事業） ①市民の幸福及び健康に寄与する調査研究 ②社会的処方に関する調査研究 ③健康加齢の促進、幸福満足度の向上のための啓発及び教育に関する事業 ④地方自治体への提言 など （歳出）法人運営補助金 10,000千円 （歳入）元気な養父づくり応援基金 10,000千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	0	10,000	10,000	10,000	10,000					
財源内訳	一般財源	0	0	10,000	10,000	10,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		10,000							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名	国民健康保険特別会計 事業勘定		枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち							ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課		健康医療課				
会計区分	国民健康保険特別会計 事業勘定					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款		項		目					
根拠法令等	地方自治法、国民健康保険条例、同施行規則など									
事業目的	対象	国民健康保険加入者								
	背景と目的	国民健康保険は、すべての国民が安心して医療が受けられるよう国民皆保険の基盤をなす制度として重要な役割を担っており、市と県が一体となって運営する。本市においては、加入者は人口減、年齢到達等により減少傾向にあるが、一人当たりの医療費は高くなっている。医療費適正化、保険事業の推進等により医療費の削減に努め、安定的な運営を促す。								
事業内容	事業概要	<p>国民健康保険被保険者証の交付、医療費等給付、保健事業等の実施                      (令和6年度) マイナンバーカードと保険証一体化に伴うシステム改修(南広負担金)                      国民健康保険被保険者の特定健診の自己負担軽減の拡充                      ★集団健診(市民ドック) 無料、個別健診(八鹿病院・市内医療機関) 9割助成</p> <p>(歳入) 主なもの                      ■国民健康保険税 385,867千円                      ■県補助金 2,015,611千円(普通交付金1,889,373千円、県繰入金68,600千円ほか)                      ■他会計繰入金 217,325千円(保険基盤安定繰入金ほか一般会計繰入金)                      ■基金繰入金 30,000千円                      ■国庫補助金 5,332千円(社会保障・税番号制度システム整備補助金)</p> <p>(歳出) 主なもの                      ■総務費 36,705千円(職員人件費22,672千円、南但広域負担金5,332千円ほか)                      ■保険給付費 1,889,683千円                      ■納付金 684,187千円                      ■保健事業費 26,078千円(特定健診事業費19,897千円、健康診断委託料14,170千円ほか)                      ■諸支出金 21,323千円(国保直営診療施設勘定繰出金19,311千円ほか)</p>								
	前年度からの変更点	集団健診(市民ドック) 無料、個別健診(八鹿病院、市内医療機関) 9割助成 マイナンバーカードと保険証一体化に伴うシステム改修(南広負担金)								
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
	被保険者一人当たりの医療費(国保)				485,000	485,000	479,761円			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	2,801,300	2,659,600	2,747,580	2,717,405	2,687,104					
財源内訳	一般財源	626,565	620,238	647,225	657,650	667,119				
	国支出金		5,332							
	県支出金	2,135,878	1,996,611	2,061,967	2,020,981	1,980,821				
	地方債									
	その他	38,857	37,419	38,388	38,774	39,164				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		国民健康保険特別会計 大屋診療所施設勘定			枝番		単位事業名	
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）						
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%			
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを	
実施主体	養父市			担当課	健康医療課			
会計区分	国民健康保険特別会計 大屋診療所施設勘定					当初補正区分	当初予算	
予算費目	款			項		目		
根拠法令等								
事業目的	対象	大屋診療所受診者						
	背景と目的	<p>大屋診療所は、国民健康保険直営診療所として、平成7年に設立され、地域住民の健康増進・疾病予防・治療に取り組み、訪問診療も積極的に行っている。また、明延地区でオンライン診療の実証実験も実施している。運営状況は厳しい中、診療所利用者数は維持している。</p> <p>今後、診療所運営の体制強化やオンライン診療など利便性を向上するなど、診療所利用者数の増加に繋がるよう努めるとともに施設改修と医療機器の更新など計画的な環境整備を図る。</p>						
事業内容	事業概要	<p>診療体制            医師2人（1人は週1回八鹿病院からの派遣により診療）、看護師3人（会計任用3人）、事務員2人（再任用1名、会計任用1名）            月曜日、水曜日、金曜日 午前9時から11時30分まで診療、午後は往診            火曜日 午前9時から11時30分、午後2時30分から4時30分まで診療            木曜日 午後2時30分から4時30分まで診療</p> <p>【維持修繕】            ・1階トイレ改修 4,760千円（内、設計監理 1,460千円、工事 3,300千円）            ・医療機器更新（ポケットエコー） 900千円</p>						
	前年度からの変更点	1階トイレ改修、医療機器購入（ポケットエコー）						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	診療所利用者数（診療延人数：人）		6,100	6,100	5,893			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）			
事業費	121,000	124,600	121,000	120,000	119,000			
財源内訳	一般財源	121,000	124,600	121,000	120,000	119,000		
	国支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		国民健康保険特別会計 大屋歯科診療所施設勘定 枝番			単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを		
実施主体	養父市			担当課	健康医療課				
会計区分	国民健康保険特別会計 大屋歯科診療所施設勘定					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款			項		目			
根拠法令等									
事業目的	対象	大屋歯科診療所受診者							
	背景と目的	大屋歯科診療所は、国民健康保険直営診療所として昭和45年に設立され、平成9年に歯科保健センターを併設した。治療に加え、入院患者への訪問診療、在宅高齢者の歯科保健医療や口腔衛生指導を積極的に実施している。 厳しい運営状況にある中、地域住民や利用者等の医療提供体制を維持改善するべく医師確保を含めた運営体制強化に努めるとともに医療機器の更新など計画的な環境整備を図る。							
事業内容	事業概要	<p>診療体制            医師1人（会計任用）、歯科衛生士1人（会計任用）、事務員1人（再任用）            月曜日～金曜日（金曜日は隔週休診） 午前9時から12時 午後1時30分から5時まで診療</p> <p>【維持修繕】            ・医療機器更新（デンパックス、滅菌器、コンプレッサー） 5,503千円</p>							
	前年度からの変更点	医療機器更新（デンパックス、滅菌器、コンプレッサー）							
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		診療所利用者数（診療延人数：人）				2,200	2,200	2,070	
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	34,100	39,100	34,000	34,000	34,000				
財源内訳	一般財源	34,100	39,100	34,000	34,000	34,000			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		国民健康保険特別会計 出合診療所施設勘定			枝番	単位事業名	
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）					
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%			
	個別計画						
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを	
実施主体	養父市			担当課	健康医療課		
会計区分	国民健康保険特別会計 出合診療所施設勘定				当初補正区分	当初予算	
予算費目	款		項		目		
根拠法令等							
事業目的	対象	出合診療所受診者					
	背景と目的	出合診療所は、国民健康保険直営診療所として昭和24年に開設され、農山村と氷ノ山・鉢伏山を中心とした観光地を診療圏としている。患者は高齢者が大半を占め、在宅患者や障がいを持った人が多く、訪問診療での治療を積極的に行っている。厳しい運営状況にある中、地域住民や利用者等の医療提供体制を改善するべく、新診療所で運営を進めている。診療所運営の体制強化に努めるとともに医療機器の更新など計画的な環境整備を図る。					
事業内容	事業概要	<p>診療体制            医師1人（正規）、看護師2人（正規1名、会計任用1名）、事務員1人（会計任用）            月曜日～火曜日、木曜日～金曜日 午前9時から12時まで診療、午後は、往診            水曜日 午前中往診、午後3時から午後5時まで診療</p>					
	前年度からの変更点	医師の更新、新診療所での運営、新診療所建築に係る費用減、					
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)
		診療所利用者数（診療延人数：人）			4,000	3,600	4,153
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）		
事業費	327,700	71,000	72,000	71,000	71,000		
財源内訳	一般財源	72,800	71,000	72,000	71,000	71,000	
	国支出金						
	県支出金	22,500					
	地方債						
	その他	232,400					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		養父歯科診療所		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを		
実施主体	養父市			担当課	健康医療課				
会計区分	養父歯科診療所特別会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款		項		目				
根拠法令等									
事業目的	対象	養父歯科診療所受診者							
	背景と目的	養父歯科診療所は、公立歯科診療所として昭和59年に設置され、養父地域を診療圏としている。歯科衛生士をはじめ、スタッフの退職により診療体制を縮小していたが、令和4年度に歯科衛生士を採用し、診療体制が確保されたことにより、患者数が増加している。厳しい運営状況にある中、地域住民や利用者等の医療提供体制を改善するべく、診療所利用者数の回復及び更なる体制強化に努めるとともに医療機器の更新など計画的な環境整備を図る。							
事業内容	事業概要	<p>診療体制</p> <p>医師1人、歯科技工士1人（会計任用）、歯科衛生士2人（正規・会計任用）、歯科助手兼事務員2人（会計任用）</p> <p>月曜日～金曜日 午前9時から12時まで診療</p> <p>月曜日～水曜日、金曜日 午後2時から5時まで診療</p> <p>木曜日 午後2時から5時まで診療</p> <p>土曜日 午前9時から午後5時まで診療（月に2回）</p>							
	前年度からの変更点	機器更新 歯科用チェアリース							
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		診療所利用者数（診療延人数：人）				3,600	3,600	2,493	
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	55,300	57,000	57,000	58,000	58,000				
財源内訳	一般財源	55,300	57,000	57,000	58,000	58,000			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		後期高齢者医療			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	健康医療課					
会計区分	後期高齢者医療特別会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款			項			目			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、兵庫県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、養父市後期高齢者医療に関する条例									
事業目的	対象	後期高齢者医療被保険者（75歳以上の市民及び65歳以上で一定の障がいのある市民）								
	背景と目的	平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者医療制度が実施されている。制度の運営を兵庫県後期高齢者医療広域連合が行い、保険料の徴収、被保険者証の窓口交付や各種申請受付事務を各市町が担っている。								
事業内容	事業概要	<p>後期高齢者医療制度の円滑な運営に資するため、保険料の徴収、県広域連合への運営費納付、被保険者証の窓口交付事務等を行う。</p> <p>★その他財源：一般会計繰入金 126,151千円のうち125,953千円          （保険基盤安定116,489千円、事務費等繰入金9,662千円のうち9,464千円）          督促手数料 40千円          保険料還付金 1,500千円</p> <p>令和6年度平均被保険者数（見込み）：4,929人</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	446,300	470,400	466,669	477,417	479,747					
財源内訳	一般財源	330,755	342,907	349,743	359,516	361,238				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	115,545	127,493	116,926	117,901	118,509				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 社會的処方推進室

# 実施計画書

事業名		社会的処方推進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			10 人や国の不平等をなくそう						
	11 住み続けられるまちづくりを			16 平和と公正をすべての人に							
実施主体	養父市			担当課	社会的処方推進室						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	少子高齢化や人口減少の進展、長寿社会、現役世代の減少、社会情勢の変化など、地域や家族等の状況は常に変化している。個人や世帯が抱えている生きづらさやリスクが複雑化・多様化するなかで、属性を問わない包括的な支援と地域づくりに向けた支援を総合的に推進し、多様なつながりを地域に生み出すことを通じて、身近な地域でのセーフティネットの充実と地域共生社会を目指す。									
事業内容	事業概要	<p>高齢者、障がい者、生活困窮、子どもなどの各分野において、相談支援、参加支援、つなぎ先となる居場所や地域づくりの取り組みが行われているが、それらを包含する事業として位置づけたうえで実施するとともに、重層的支援体制整備事業の対象となるものは当該事業として実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成事業（市内専門多職種による養成研修、市職員研修）300千円</li> <li>地域づくりコーディネーターの設置（委託料）3,700千円</li> <li>重層的支援コーディネート事業（委託料）2,000千円</li> <li>ポータルサイトの運営及び保守（通信運搬費、委託料）608千円</li> <li>リンクワーク支援活動団体支援事業（補助金）400千円</li> <li>旅費、需用費、郵券料、備品購入費、負担金 880千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点	重層的支援体制整備事業の活用									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		健康寿命（平均自立年齢）の延伸				男性:78.89 女性:84.09	男性:78.82 女性:84.01	-			
つながりにより生活環境が改善した人				20人	-	-					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	6,600	7,888	7,888	7,888	7,888						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金		7,368	7,368	7,368						
	県支出金	4,000									
	地方債										
	その他	2,600	520	520	520						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 産業環境部

# 農林振興課

# 実施計画書

事業名		農林業センサス調査費			枝番		単位事業名															
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号														
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）																				
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%																
	個別計画																					
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>1</b> 貧困をなくそう			<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう			<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を			<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう											
実施主体	養父市			担当課	農林振興課																	
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算														
予算費目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費													
根拠法令等	統計法(平成19年法律第53号)、統計法施行令(平成20年政令第344号)及び農林業センサス規則(昭和44年農林省令第39号)																					
事業目的	対象	全農家																				
	背景と目的	農林業センサスは、我が国農林業の生産構造及び就業構造等の実態や農山村地域の現状を把握することによって、農林業に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備するとともに、国際連合食糧農業機構（FAO）の提唱する2025年世界農林業センサスの趣旨に従い、各国農林業との比較において我が国農林業の実態を明らかにすることを目的として実施する。																				
事業内容	事業概要	<p>全国で同時に行う統計事務。 事務に係る統計指導員・調査員の報酬、事務に係る旅費、消耗品費等の費用</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(歳入) 農林業センサス調査委託金(県)</td> <td style="width: 50%;">4,308千円 (見込額)</td> </tr> <tr> <td>(歳出) 報酬</td> <td>3,191千円 (指導員・調査員報酬)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>10千円 (説明会出張旅費)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>393千円 (消耗品費)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>86千円 (郵送料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>628千円 (シルバー人材センター委託料)</td> </tr> </table>									(歳入) 農林業センサス調査委託金(県)	4,308千円 (見込額)	(歳出) 報酬	3,191千円 (指導員・調査員報酬)	旅費	10千円 (説明会出張旅費)	需用費	393千円 (消耗品費)	役務費	86千円 (郵送料)	委託料	628千円 (シルバー人材センター委託料)
	(歳入) 農林業センサス調査委託金(県)	4,308千円 (見込額)																				
	(歳出) 報酬	3,191千円 (指導員・調査員報酬)																				
	旅費	10千円 (説明会出張旅費)																				
需用費	393千円 (消耗品費)																					
役務費	86千円 (郵送料)																					
委託料	628千円 (シルバー人材センター委託料)																					
前年度からの変更点	本調査開始に伴う事業費の増額																					
事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)														
	養父市の農林業の実態を明らかにする																					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)														
事業費	11	4,308		11		0		0														
財源内訳	一般財源	0	0		0		0		0													
	国支出金																					
	県支出金	11	4,308		11																	
	地方債																					
	その他																					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		高齢者生きがい活動支援事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>1</b> 貧困をなくそう				<b>8</b> 働きがいも経済成長も					
	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを				<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市				担当課	農林振興課					
会計区分	コード	1	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費		項	1	社会福祉費		目	3	老人福祉費
根拠法令等	養父市高齢者就業機会確保事業補助金交付要綱										
事業目的	対象	養父市シルバー人材センターの生きがい活動支援（農業参入）									
	背景と目的	<p>養父市の農業を取り巻く環境として、人口減少や高齢化など様々な要因で農地の維持が困難となり、耕作放棄地が増加している。また、農業を「生きがい」や「健康維持」へ結びつける高齢者が多いが、個人での出荷販売には限界があり、営農を断念する高齢者も増えている。このような状況を打破するため、耕作放棄地で栽培した農産物を通じて、地産地消・地産都消を推進することで、高齢小規模農家の支援と地場農産物・特産品の販路拡大を目指す。</p>									
事業内容	事業概要	<p><b>【楽農応援事業】</b> 2,500千円 耕作放棄農地の拡大防止とその農地の活用により栽培した農産物の都市部への販売を推進し、「地産都消」の拡大を図る。</p> <p><b>【地産地消「やぶもん」推進事業】</b> 1,500千円 養父市産の安心・安全・美味しいにこだわった農産物、特産品を市内で消費する活動を推進し、高齢者など小規模な農業者の営農意欲を高め、高齢化した地域の農業を応援する。</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		地産地消“やぶもん”事業 販売金額					6,000千円	5,500千円	5,019千円		
楽農応援事業 販売金額					11,400千円	11,400千円	9,606千円				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000						
財源内訳	一般財源	4,000	4,000	4,000	4,000						
	国支出金										
	県支出金										
	起債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		農業総務一般事務費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>8</b> 働きがいも経済成長も			<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう					
	<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を			<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	農業者及び関係機関								
	背景と目的	米価をはじめとする農産物価格の低迷、高齢化による担い手不足、耕作放棄地の拡大、昨今の物価高騰などの影響を受け、多くの課題を抱える市の農業について、国・県・JA等関係機関と連携した農業施策を推進し、担い手の確保・育成や環境創造型農業、スマート農業の推進など地域農業に新たな活力を生み出すため、農業関係の総務事務費を支出する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業農村振興施策の総合調整や農業農村対策の諸計画についての進行管理等</li> <li>・ 国県補助事業の制度把握及び周知等</li> <li>・ 県農業農村地域振興対策協議会ほか市町や農業関係機関で構成する各種協議会への参加</li> </ul> <p>(歳入) 土地建物貸付収入 26千円  (歳出) 普通旅費 305千円  消耗品費 194千円  使用料及び賃借料 172千円  負担金、補助及び交付金 395千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,065	1,066	1,066	1,066	1,066					
財源内訳	一般財源	1,039	1,040	1,040	1,040					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	26	26	26	26					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農産物特産開発事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>1</b> 貧困をなくそう			<b>8</b> 働きがいも経済成長も						
	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを			<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう							
実施主体	養父市			担当課	農林振興課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費		
根拠法令等	養父市要綱（養父市朝倉山椒苗木購入費等補助金）										
事業目的	対象	養父市の特産農産物生産農家									
	背景と目的	養父市が発祥地である「朝倉山椒」の世界ブランド化を推進するなかで、生産農家、生産本数を拡大するため、苗木の購入及び一定規模の生産団地整備を補助する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特産品PR看板点検・修繕費用 1,050,000円</li> <li>○農作業準備休養所 漏水修繕料 110,000円</li> <li>○野菜集出荷所 野菜包装機購入費 3,982,000円</li> <li>○朝倉山椒苗木購入費補助 補助率：苗木購入費の1/2（上限1,000円）※苗木購入費2,420円/1本（R4価格） 予算額：700,000円（700本分）</li> <li>○朝倉山椒の生産団地整備を補助する 補助率：総事業費の1/2（上限100,000円） 朝倉山椒生産団地化支援 100,000円×2件 朝倉山椒苗木生産強化支援 100,000円×1件</li> </ul>									
	前年度からの変更点	朝倉山椒加工拡大補助を削除									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		朝倉山椒生産量				7.0t	6.3t	5.8t			
朝倉山椒苗木新植本数（累計）				10,551本	9,851本	9,174本					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	1,300	6,142	1,300	1,300	1,300						
財源内訳	一般財源	1,300	6,142	1,300	1,300						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		フルーツの里やぶ維持管理事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさも守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	養父市条例（養父市集出荷貯蔵施設「フルーツの里やぶ」設置及び管理条例）									
事業目的	対象	養父市内外の利用者								
	背景と目的	本施設は地域住民の就業機会増大や安心安全な農産物の地産地消拡大を推進する拠点施設として、平成7年から市直営で営業を続け、令和2年度からは民間事業者による指定管理を行っている。令和5年4月より指定管理2期目を開始しており、指定管理者へ委託する業務として、1期目から継続する公衆トイレの維持管理業務のほか、新たに給食・地産地消コーディネーター業務を加え、更なる地産地消の推進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>公衆トイレ維持管理業務や新たに加えた「給食・地産地消コーディネーター業務」などに係る指定管理料を支払うほか、施設全体の維持管理について老朽化している箇所の修繕を実施する。</p> <p>(歳入) 使用料 9千円          (歳出) 需用費 1,200千円 (施設維持修繕料)          委託料 1,373千円 (指定管理料1,373千円、特殊建築物調査委託料75千円)</p>								
	前年度からの変更点	特殊建築物調査委託料及び物品購入費を皆減								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		農産物販売額					30,000千円	24,561千円	23,466千円	
学校給食センターへの出荷者数					35人	23人	27人			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,783	2,573	2,117	2,053	1,973					
財源内訳	一般財源	3,774	2,564	2,108	2,044	1,964				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	9	9	9	9	9				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		担い手総合支援事業費		枝番	1	単位事業名	美しい村づくり資金利子補給			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	養父市	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法									
事業目的	対象	担い手農業者（認定農業者・集落営農組合等）								
	背景と目的	過疎化と高齢化の進展により農業・農村の担い手不足は深刻な状況である。本市には、多様な担い手が求められており、各担い手がそれぞれの立場で役割と能力発揮できるように関係機関と連携し、各種施策に繋ぐなど総合的な支援を行い農業・農村の維持活性化と農業振興を図る。								
事業内容	事業概要	・美しい村づくり資金利子補給補助【293千円】								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		認定農業者数				57人	55人	52人		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	898	293	293	293	293					
財源内訳	一般財源	897	293	293	293	293				
	国支出金									
	県支出金	1								
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		担い手総合支援事業		枝番	2	単位事業名	地域計画等の実現に向けた農業機械支援事業			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	養父市	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法									
事業目的	対象	農業者								
	背景と目的	高価な農業機械の更新や新規導入は、農業者にとって、営農継続や経営規模拡大等の障壁になっている。こうした課題は、法定化された地域計画の策定が求められる中、将来の守るべき農地を担う農業者の確保と位置づけにも影響を及ぼす。10年後の市の農業を担うことが期待される農業者を対象に営農継続や規模拡大等に関する判断に大きな影響を及ぼす農業機械の導入に対し支援すること、営農の継続に繋げ、農地の維持、農業の持続的発展及び地域計画の策定促進・実現に資することを目的とする。								
事業内容	事業概要	<p><b>【事業概要】</b>要件を満たす対象者に対し、農業機械の購入経費を補助</p> <p>(1) 対象者：市内農業者</p> <p>(2) 要件：おもに耕作を行う地域において地域計画案が策定され、自らが位置付けられていること（令和6年度においては、地域の話し合い（目標地図案）の中で農業を継続する意思を示していること可）</p> <p>(3) 補助率：1/2（上限 1,000千円）</p> <p>次のいずれかの取組を行う者は補助額を加算（上限 1,500千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離農者から農地を引き受けること等を通じた規模拡大</li> <li>・ 環境負荷低減の取組</li> <li>・ スマート農業機械の導入</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		地域計画策定率					100%	0	-	
環境負荷の低減に取り組んでいる農家の数 (KPI)					60%	57.2%	57.0%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費		20,000	20,000	20,000	20,000					
財源内訳	一般財源	0	0	20,000	20,000					
	国支出金									
	県支出金	5,900								
	地方債									
	その他	14,100								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		経営所得安定対策等実施事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も				
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう					
実施主体	養父市			担当課	農林振興課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費
根拠法令等	国法令（経営所得安定対策等実施要綱）										
事業目的	対象	個人農家、地区農会、認定農業者、集落営農組織、農業参入法人等									
	背景と目的	<b>【経営所得安定対策制度】</b> 米政策改革の定着に向け、担い手の経営安定に資するセーフティネット対策、食料自給率・自給力の維持向上に資する戦略作物の本作化及び水田を活用した産地創造等を図る。									
事業内容	事業概要	①農会長を通じ、水稲作付実施計画書（営農計画書）の配布、回収を行う。 ②経営所得安定対策制度の実施にあたり、農業再生協議会が水田収益力強化ビジョンを作成し、交付金等の申請取りまとめや要件確認等の事務を執行する。 （歳入） ・経営所得安定対策直接支払推進事業補助金（県） 3,795千円 （歳出） ・農会長報償 1,050千円 ・役務費 50千円 ・負担金、補助金及び交付金 1,436千円  ※会計年度任用職員賃金 2,898千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	水田転作面積				85.0ha	77.5ha	77.1ha				
	転作取組者数				200件	171件	186件				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	5,087	5,434	5,434	5,434	5,434						
財源内訳	一般財源	1,292	1,639	1,639	1,639						
	国支出金										
	県支出金	3,795	3,795	3,795	3,795						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		人と環境にやさしい農業戦略事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画	人と環境にやさしい農業ビジョン・有機農業実施計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう			11 住み続けられるまちづくりを					
	13 気候変動に具体的な対策を			15 陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と調和のとれた食料システムを確立するための環境負荷低減事業活動の促進に関する法律（みどりの食料システム法）</li> <li>・有機農業の推進に関する法律</li> </ul>									
事業目的	対象	市民全体								
	背景と目的	<p>養父市では牛ふん堆肥の利用を中心に、多方面から有機農業の推進に取り組んでいる。一方で、農林水産省が令和3年度に「みどりの食料システム戦略」による持続可能な農業を提唱しており、2050年までにオーガニック市場を拡大し、有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大する目標を掲げている。</p> <p>こうした背景から、令和4年度に「人と環境にやさしい農業ビジョン」及び「有機農業実施計画」を策定し、令和5年度に推進組織として「やぶし有機の里づくり推進協議会」を発足した。本事業はそのビジョンの目標達成に向けた取組みを推進するもの。</p>								
	事業概要	<p>①やぶし有機の里づくり推進協議会（国費2,800千円、市費300千円） 推進体制の運営（協議会、先進地視察）（国費922千円）／学習会等の農業者技術向上（国費189千円） 市民周知（フォーラム開催等）（国費1,253千円、市費300千円）／有機農産物の販売促進（国費436千円）</p> <p>②センチピートグラス活用実証（市費100千円） 研修（勉強会、現地指導）、資材購入</p> <p>③有機JAS認証取得補助金（市費700千円） 有機JAS認証の取得に係る経費の1/2を補助する（上限50千円）</p> <p>④GAP認証取得補助金（市費200千円） GAP（農業生産工程管理）認証の取得に係る経費の一部を補助する</p> <p>⑤土壌診断経費補助金（市費500千円） 環境への配慮や生産性向上に向けた適切な施肥を奨励するため土壌診断に係る経費の一部を補助する</p> <p>⑥堆きゅう肥利用促進（市費900千円） 堆肥散布に係る経費の一部を補助する @1千円/10a×9,000a</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	環境負荷の低減に取り組んでいる農家の数				60%	57.2%	57.0%			
	環境創造型農業実施面積				115.20ha	95.50ha	92.72ha			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	12,675	5,500	5,000	5,000	5,000					
財源内訳	一般財源	1,690	2,700	3,500	5,000					
	国支出金									
	県支出金	3,700	2,800	1,500						
	起債									
	その他	7,285								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		日本型直接支払事業費			枝番	1	単位事業名	多面的機能支払交付金事業				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号				
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）										
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画											
	横断的行動指針 (SDGs)	2 飢餓をゼロに				9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
	11 住み続けられるまちづくりを				15 陸の豊かさを守ろう							
実施主体		養父市			担当課		農林振興課					
会計区分		一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目		款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費
根拠法令等		農業の有する多面的機能の発揮に関する法律										
事業目的	対象	事業計画の認定を受け多面的機能発揮促進事業を実施しようとする農業者団体等										
	背景と目的	<p>農業・農村は、国土の保全、水源のかん養、良好な景観の形成等の多面的機能を有している。近年の農村地域の過疎化、高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。また農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担も懸念されている。</p> <p>このため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。</p>										
事業内容	事業概要	<p>【農地維持・資源向上（共同）支払交付金 活動組織：61組織 交付金額：38,339千円】 多面的機能を支える共同活動を支援する。 ※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押しする。 &lt;支援対象&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的活動</li> <li>・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成</li> <li>・水路、農道、ため池の軽微な補修</li> <li>・外来種の駆除、ビオトープづくり 等</li> </ul> <p>【資源向上（長寿命化）支払交付金 活動組織：40組織（内広域1組織） 交付金額：24,970千円】 &lt;支援対象&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の長寿命化のための活動 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">※国費50%、県費25%、市費25%</p> <p>※会計年度任用職員報酬等 4,172千円 事務費（旅費等） 819千円</p>										
	前年度からの変更点											
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		取組組織					61組織	66組織	65組織			
取組面積					797ha	833ha	828ha					
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費		71,180	68,300	67,877	67,877	67,877						
財源内訳	一般財源	16,104	18,790	18,367	18,367	18,367						
	国支出金											
	県支出金	55,076	49,510	49,510	49,510	49,510						
	起債											
	その他											

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		日本型直接支払事業費		枝番	2	単位事業名	中山間地域等直接支払交付金事業			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			9	産業と技術革新の基盤をつくろう			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮に関する法律									
事業目的	対象	集落等を単位とする協定を締結し、5年間農業生産活動等を継続する農業者等								
	背景と目的	中山間地域は流域の上流部に位置することから、中山間地域の農業・農村が持つ水源かん養、洪水の防止、土壌の浸食や崩壊の防止などの多面的機能を発揮している。しかしながら、中山間地域では、過疎化・高齢化が進む中で、自然的・経済的・社会的条件の不利性から、担い手の減少、耕作放棄地の増加などによって、多面的機能の低下が懸念されている。 このため、中山間地域において、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保するため集落等への交付金を交付することにより、その主体的な活動を支援する。								
事業内容	事業概要	<p>【中山間地域等直接支払交付金 取組組織：33組織、交付金：44,500千円】</p> <p>&lt;対象農用地&gt;</p> <p>①急傾斜地（田：1/20以上、畑等：15°以上）</p> <p>②緩傾斜地（田：1/100以上1/20未満、畑等：8°以上15°未満）</p> <p>&lt;支援対象&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産活動</li> <li>耕作放棄の発生防止活動、水路・農道等の管理活動（泥上げ、草刈り等） 等</li> <li>・多面的機能を増進する活動</li> <li>周辺林地の管理、景観作物の作付、体験農園 等</li> <li>・集落戦略の作成</li> </ul> <p>※国費50%、県費25%、市費25%</p> <p>※事務費 486千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	集落協定数				33組織	33組織	31組織			
	取組面積				210	210	198			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	45,053	44,986	44,986	44,986	44,986					
財源内訳	一般財源	11,156	11,262	11,262	11,262					
	国支出金									
	県支出金	33,897	33,724	33,724	33,724					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		日本型直接支払事業費			枝番	3	単位事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業		
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			9	産業と技術革新の基盤をつくろう			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費	目	3	農業振興費
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮に関する法律									
事業目的	対象	複数の農業者、又は複数の農業者及び地域住民等によって構成される任意組織								
	背景と目的	環境問題に対する関心が高まる中で、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくとともに、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全等に積極的に貢献していくため、環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。								
事業内容	事業概要	<p>【環境保全型農業直接支払交付金 面積:115.20ha、交付金:8,411千円】</p> <p>化学肥料・化学合成農薬の使用を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組と併せて行う以下の対象取組に支援する。</p> <p>《有機農業、堆肥の施用、カバークロップ、リビングマルチ、冬期湛水、中干延期 等》</p> <p>●支援の対象となる農業者要件</p> <p>①主作物について販売することを目的に生産を行っていること。</p> <p>②国際水準GAPを実施していること。</p> <p>※国費50%、県費25%、市費25%</p> <p>※事務費 53千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		環境創造型農業実施面積				115.20ha	95.50ha	92.72ha		
環境負担の低減に取り組んでいる農家の数				60%	57.2%	57.0%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,419	8,464	8,464	8,464	8,464					
財源内訳	一般財源	2,083	2,156	2,156	2,156					
	国支出金									
	県支出金	6,336	6,308	6,308	6,308					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農業普及事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさも守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	農業・農学に関心のある方								
	背景と目的	農業への関心が高まるなか、農業の専門的な知識を学問（農学）として学べる場を提供することで農業従事者の増加や耕作放棄地の解消、農産物の品質向上等を図る。								
事業内容	事業概要	<p>但馬農業高等学校との共催により、鳥取大学・関西大学・京都大学等から外部講師を招聘し、作物や栽培方法など農業の専門的な知識を学問（農学）として学べるセミナーを実施する。</p> <p>（歳入）セミナー受講料 150千円（10千円×15人）  （歳出）報償費 330千円（講師謝金、交通費）  需用費 30千円（テキスト代等消耗品費）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		セミナー受講生				15人	12人	15人		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	448	360	360	360	360					
財源内訳	一般財源	288	210	210	210					
	国支出金									
	県支出金									
	起債									
	その他	160	150	150	150					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		新規就農者支援事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	養父市	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	農業人材力強化総合支援事業実施要綱（平成24年4月6日付け23経営第3543号 農林水産事務次官依命通知）									
事業目的	対象	新規就農者、新規就農研修者								
	背景と目的	過疎化と高齢化の進展により農業・農村の担い手不足は深刻な状況である。青年の就農意欲の噴起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得の確保を図り、地域への担い手の確保と育成、強い中心経営体の確保・育成を総合的に支援する。								
事業内容	事業概要	<p>○新規就農者育成総合対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市の認定する新規就農者で、農地中間管理機構または実質化された人・農地プランの中心経営体に位置付けられている独立・自営農者に対し年額最大1,500千円（夫婦の場合は年間最大2,250千円）を最長3年間交付する。【4,500千円】</li> <li>○新規就農希望者研修支援 【6,750千円】</li> <li>○新規就農者技術習得管理施設 【240千円】</li> </ul> <p>（歳入）354千円（施設使用料）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		認定新規就農者				2人	2人	3人		
新規就農研修生（累計）				9人	7人	7人				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	23,260	11,869	11,869	11,869	11,869					
財源内訳	一般財源	8,020	265	7,015	7,015					
	国支出金									
	県支出金	12,000	4,500	4,500	4,500					
	地方債	3,000								
	その他	240	7,104	354	354					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		畜産振興対策事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	2	飢餓をゼロに			8	働きがいも経済成長も				
	15	陸の豊かさを守ろう									
実施主体	養父市			担当課	農林振興課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	4	畜産業費
根拠法令等	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律、家畜伝染病予防法 ほか										
事業目的	対象	畜産農家									
	背景と目的	<p>後継者や担い手のいない零細な農家の廃業が増加している一方、飼養頭数の規模が大きな農家との格差が拡大し支援の手法にも多様化が必要となっている。</p> <p>但馬牛等のブランド力の強化や畜産家の担い手対策、高品質で特徴のある生産技術の普及支援、スマート技術の導入支援、また、家畜排泄物対策などにより、安全で特徴ある畜産物づくりを進め、安定した畜産経営家を育成する。</p>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬牛のブランド力の強化                優良雌子牛導入確保補助 4,000千円      和牛振興協議会助成 50千円                和牛飼育ヘルパー補助 15千円      子牛品評会の顕彰 26千円</li> <li>・優良な繁殖酪農牛の確保                高性能精液の導入補助 37千円</li> <li>・家畜ふん尿のバイオマス利用促進                資源循環肥料利用推進対策補助 433千円</li> <li>・畜産クラスター事業を始めとする増頭羽支援</li> <li>・若手畜産農家の育成・交流支援（養父牛会）</li> <li>・家畜伝染病対策</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		但馬牛繁殖雌牛頭数 (頭)				950	943	934			
和牛 (肥育牛) 飼養頭数 (頭)				1,800	1,778	1,760					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	5,438	4,661	4,661	4,661	4,661						
財源内訳	一般財源	5,011	234	4,234	4,234						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	427	4,427	427	427						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		堆肥センター管理運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	12	つくる責任、つかう責任					
	13	気候変動に具体的な対策を	15	陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	畜産業費	
根拠法令等	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律									
事業目的	対象	畜産農家、耕種農家								
	背景と目的	<p>畜産農家にとってふん尿処理の労務や適切な処理の順守にかかる経費が負担となり、増頭する上の課題となっている一方、耕種農家にとっては環境に配慮した付加価値の高い農作物栽培に欠かせない堆肥は、消費者ニーズとなっている。</p> <p>このため、堆肥センターで和牛・乳牛飼養農家のふん尿処理を適正に行い畜産農家の負担を軽減するとともに、耕種農家が付加価値の高い農作物を生産するのに必要な牛ふん完熟堆肥を生産する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>有機の郷づくりの拠点施設としてプラントによる高温発酵を行い、安心安全で高品質な堆肥の生産し、有機野菜の産地である「おおや高原」や環境創造型農業を実施する水田等への堆肥散布を行うほか、バラ堆肥や畑、家庭菜園にも使いやすい小袋の販売を行う。</p> <p>(歳入)：堆肥センター使用料4,800千円、堆肥売払収入7,812千円  (歳出)：人件費(会計年度3名)14,043千円  主要建設：大型発電機更新工事13,511千円、ダンプトラック更新11,265千円  経常経費：光熱費、燃料費、施設・車両・重機維持管理費、シルバー委託料、プラント保守管理委託料、堆肥散布手数料ほか</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		堆肥販売額(千円)			7,812	7,780	7,361			
牛ふん堆肥散布面積 (ha)			50.0	49.1	37.9					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	51,813	66,373	66,373	66,373	66,373					
財源内訳	一般財源	38,613	53,761	53,761	53,761					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	13,200	12,612	12,612	12,612	12,612				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		林業総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			13	気候変動に具体的な対策を			
	15	陸の豊かさを守ろう								
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産費	項	2	林業費	目	1	林業総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	各種協議会、生産森林組合等								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種協議会の運営及び情報の共有化</li> <li>○生産森林組合の経営の安定化を図る</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>各種協議会などへの負担金納付、分収林における収益金の交付及び市内の生産森林組合へ法人市民税均等割額の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>(歳入) 分収林立木売却収入 7,000千円</p> <p>(歳出) 県公有林野協議会負担金 20千円</p> <p>県治山林道協会負担金 1,747千円</p> <p>水源造林協議会負担金 4千円</p> <p>生産森林組合育成補助金 (17組合) 1,410千円</p> <p>収益分収金 7,000千円</p> <p>事務費等 42千円</p> <p>保安林内作業許可標識設置委託料 78千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,014	10,301	10,223	10,223	10,223					
財源内訳	一般財源	3,008	3,301	3,223	3,223	3,223				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	7,006	7,000	7,000	7,000	7,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		豊かな森づくり推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			13	気候変動に具体的な対策を			
	15	陸の豊かさを守ろう								
実施主体	養父市			担当課	農林振興課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	
根拠法令等	養父市森林整備地域活動支援交付金交付要綱									
事業目的	対象	市内民有林								
	背景と目的	人工林の6割が、今後10年間で50年生以上となり、本格的な木材利用が可能と言われているが、作業道等の基盤整備の立ち後れにより、適正な森林施業行われていない森林が増加する傾向にある。このため、計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な経営計画の樹立及び間伐や作業道設置に対して補助金を交付し森林管理の徹底を図り、地域住民等による森林の手入れ等の共同活動をし、これらの事業の推進により養父市の豊かな森づくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>以下の補助金、交付金による支援を実施し、豊かな森づくりを推進する。</p> <p>【住民参画型里山林再生事業】（193千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等による森林整備の共同活動に対し支援する。</li> </ul> <p>（歳出）住民参画型里山林再生事業補助金 193千円</p> <p>以下の事業は「兵庫県民緑税」を活用する事業 「新ひょうごの森づくり」第3期対策（R4～R13）</p> <p>【森林管理100%作戦推進事業】（5,122千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐を推進するため、森林所有者が造林事業で行う間伐とその作業道の開設経費の一部を県と市が連携して助成する。</li> </ul> <p>（歳入）森林の整備造成等事業補助金（ひょうご農林機構）1,227千円</p> <p>（歳出）森林管理100%作戦推進事業 5,087千円（市3,894千円、機構1,192千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">附帯事務費 35千円（機構35千円）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	間伐実施面積				120	115	92			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	28,621	5,315	5,315	5,315	5,315					
財源内訳	一般財源	21,859	4,088	4,088	4,088	4,088				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	6,762	1,227	1,227	1,227	1,227				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 林業活性化センター

# 実施計画書

事業名		森林環境譲与税関連事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に			8	働きがいも経済成長も			
	13	気候変動に具体的な対策を			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	林業活性化センター					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	
根拠法令等	森林・林業基本法 森林経営管理法 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律									
事業目的	対象	私有人工林								
	背景と目的	平成31年4月に施行された森林経営管理制度に基づき、適正な森林管理がなされていない私有人工林について、市が仲介役となり経済林として事業体へのあつ旋を図っていくとともに、「森林環境譲与税」の活用により市民、森林所有者及び林業事業体に対し、既存事業では対応が困難なきめ細かな支援と非経済林の経営管理権取得による公的な管理及び新規自伐型林業プレイヤーの獲得、育成を図る。								
事業内容	事業概要	<b>【歳入】</b> ・森林環境譲与税 92,500千円 ・基金繰入金ほか 33,966千円  <b>【歳出】</b> ・林業活性化センター運営費ほか（人件費含む） 11,495千円 ・森林経営管理事業（支障木伐採含む） 24,866千円 ・森林経営管理システム構築業務 20,570千円 ・環境保全型森林整備補助金事業 43,450千円 ・搬出間伐促進補助金事業 18,200千円 ・自伐型林業研修事業 5,885千円 ・自伐型林業補助金事業 2,000千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		間伐実施面積					180.0	123.9	103.4	
林業賃労働者数					70	65	60			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	128,000	126,466	112,500	112,500	92,500					
財源内訳	一般財源	70,200	92,500	92,500	92,500	92,500				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	57,800	33,966	20,000	20,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		市単独造林事業費			枝番	単位事業名	市有林・市行造林整備事業		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	13	気候変動に具体的な対策を			15	陸の豊かさを守ろう		
実施主体	養父市			担当課	林業活性化センター				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	3	造林事業費
根拠法令等	森林・林業基本法 地球温暖化対策の推進に関する法律								
事業目的	対象	市有林及び市行造林							
	背景と目的	令和4年3月に策定した森林経営計画（認定番号：養父第4-5号）の対象となる919.98ha（市有林154.53ha、市行造林765.45ha）について、同計画書に基いた適正管理を実施することで、立木資産価値の向上と山地災害の未然防止及び温室効果ガス吸収源等、森林の有する多面的機能の高度発揮を図る。							
事業内容	事業概要	市有林・市行造林の間伐 森林経営計画（養父第4-5号） 計画対象森林面積：919.98ha ※算出される計画期間内における間伐面積の下限 193.45ha 【年次計画】 令和5年度 間伐 20ha 令和6年度 間伐 45ha 令和7年度 間伐 45ha 令和8年度 間伐 45ha 令和9年度 間伐 45ha 計200ha							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		間伐実施面積			45.00	24.30	13.89		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	5,800	9,500	9,500	9,500	9,500				
財源内訳	一般財源	5,800	9,500	9,500	9,500	9,500			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 農地政策課

# 実施計画書

事業名		農業委員会事務局費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			8	働きがいも経済成長も				
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	農業委員会事務局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産費		項	1	農業費	目	1	農業委員会費	
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法										
事業目的	対象	農業委員会事務局職員、農業委員、農地利用最適化推進委員									
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地法に係る法令事務の適正な執行</li> <li>・ 農地基本台帳の整備及び管理</li> <li>・ 各種研修会、会議等を通じた資質向上</li> </ul>									
事業内容	事業概要	<p>1. 適正な農地行政の執行等の環境・条件づくりを行い委員会活動を補佐する。 法令等について学び、知識等のスキルアップを図るため、各種会議・研修会に積極的に参加する。 農業委員会業務の基礎をなす農地台帳について整備・補正を徹底し適正な管理を行う。</p> <p>2. 「行動する農業委員会」として現場活動の活性化に向けた環境・条件づくりを行う。 農家や地域の課題や動向などの情報収集と整理をタブレットを活用しながら、各種制度を通じた提案などを的確に行い委員の現場活動につなげる。</p> <p>(歳入) 機構集積支援事業補助金(県) 充当率100% 200千円/農地利用最適化交付金(県) 充当率100% 200千円 手数料18千円</p> <p>(歳出) 職員旅費 144千円/資料・消耗品費 57千円/タブレット関係 246千円/会議録調整委託料 260千円 農地基本台帳システム、農地地図管理システム保守管理委託料 748千円 その他24千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,473	1,479	1,479	1,479	1,479						
財源内訳	一般財源	1,241	1,061	1,061	1,061						
	国支出金										
	県支出金	220	400	400	400						
	地方債										
	その他	12	18	18	18						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農業委員等人件費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			8	働きがいも経済成長も			
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	農業委員会事務局					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費	
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法、農業者年金基金法									
事業目的	対象	農業委員、農地利用最適化推進委員								
	背景と目的	農業委員及び農地利用最適化推進委員の法令事務の円滑な執行と農地利用の最適化のための活動に係る報酬を支給する。								
事業内容	事業概要	<p>毎月開催する農業委員会総会における合議体としての決定行為と、推進委員と連携した農地利用の最適化に向けた推進活動を行う農業委員に年間活動報酬を支給。また、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の現場活動を行う農地利用最適化推進委員に年間活動報酬を支給する。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業委員報酬 (13名) 3,601千円                会長355,000円 会長代理298,000円 委員268,000円</li> <li>・ 農地利用最適化推進委員報酬 (12名) 2,640千円                220,000円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	6,241	6,241	6,241	6,241	6,241					
財源内訳	一般財源	6,241	6,241	6,241	6,241					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農業委員会運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	8	働きがいも経済成長も			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	農業委員会			担当課	農業委員会事務局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費		
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法、農業者年金基金法										
事業目的	対象	農業委員、農地利用最適化推進委員									
	背景と目的	農地法に係る法令事務の適正な執行とともに、農地利用最適化推進委員と連携して地域農業の課題解決を図る。また、研修会や視察、現地活動等により農業委員及び農地利用最適化推進委員としての資質向上を図る。									
事業内容	事業概要	<p>1. 農業委員会総会を毎月開催し、農地法に係る転用等の申請案件の審議を行う。 農地利用最適化推進委員と連携して農地の点検及び有効活用の推進を図る。 委員及び推進委員の資質向上のため各種会義や研修会に積極的に参加する。</p> <p>2. 各地域の委員が定期的に集まり、活動の進捗状況や問題点、取り組み方法等を協議し地域農業の課題解決をはかる。</p> <p>(歳入) 農地利用最適化交付金（県） 500千円</p> <p>(歳出) 総会・研修等費用弁償 1,514千円／法令等図書・各種事業にかかる消耗品費等 482千円 農業委員会だより発行220千円／兵庫県農業会議会費 392千円 その他146千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		農林業経営体数					800	800	800		
耕地面積					1,470	1,470	1,490				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	2,528	2,754	2,754	2,754	2,754						
財源内訳	一般財源	2,028	2,254	2,254	2,254						
	国支出金										
	県支出金	500	500	500	500						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		農業者年金事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			3 すべての人に健康と福祉を					
実施主体	養父市			担当課	農業委員会事務局					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費	
根拠法令等	農業者年金基金法、農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法									
事業目的	対象	農業者年金加入者及び未加入農業者、農業委員・農地利用最適化推進委員								
	背景と目的	<p>農業者年金は、厚生年金に加入できない専門的な農業者が、厚生年金に代わる国民年金の上乗せ部分として要望し制定された年金です。</p> <p>所得が不安定である農業者の老後生活を安定させ、福祉向上を図るため、農業者年金制度の周知と加入を促進する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>1 農業者の将来に向けた農業者年金の加入を促進するため、研修受講等による委員・職員の知識を向上させるとともに、農業者への内容周知及び加入啓発を行う。</p> <p>また、受給者及び待機者について適正な受給を指導していく。</p> <p>2 令和6年度も、農業委員会委員の研修及び若手農業者への加入啓発・勧誘訪問を行うとともに、新規就農者の個別相談を実施する</p> <p>(歳入) 農業者年金業務委託手数料 150千円 (歳出) 職員旅費 42千円/消耗品費 109千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		新規加入者数					1	0	0	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	120	151	151	151	151					
財源内訳	一般財源	120	1	1	1					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	150		150		150		150		

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農業振興地域整備促進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			2	飢餓をゼロに			
	15	陸の豊かさを守ろう								
実施主体	養父市			担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律									
事業目的	対象	農業振興地域と農用地区域を指定する市の振興計画								
	背景と目的	養父市の農業振興地域整備計画の進行管理 市における総合的な農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し、必要な施策を推進する。								
事業内容	事業概要	養父市農林業振興施策検討会議を開催し、農用地区域の除外、編入について審査する。法令手続きを執行する。 (歳入) 農業振興地域に関する証明手数料 18千円 (歳出) 農林業振興施策検討会議開催経費 50千円 その他31千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		耕地面積				1,470	1,470	1,490		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	89	81	81	81	81					
財源内訳	一般財源	71	63	63	63					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	18	18	18	18					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		地域計画策定促進事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			2	飢餓をゼロに			
	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農林振興費	
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法									
事業目的	対象	地域、農家、農会等								
	背景と目的	高齢化や人口減少の本格化による農業者の減少や耕作放棄地の増加も止まらないため、人・農地プランを地域農業経営基盤促進計画（地域計画）として、未来の地域の農地を守り、担い手にどのように集約するかを、地域自らの話し合いにより地域の農地を守る取り組みを進めるための農業経営基盤強化促進法等の一部改正法が令和4年5月に成立した。この地域計画策定は、農地を所有する全ての地域に義務付けられている。								
事業内容	事業概要	<p>法に規定されている令和6年度の策定期限までに市内の各地域に地域計画を策定するため、必要とする経費を計上する。</p> <p>1. 地域の話し合いに基づき、中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業のあり方等を記載した計画を作成し、市の検討会に諮る。集落単位、広域的単位等、計画の範囲は地域の状況により判断する。</p> <p>2. すでに人・農地プラン策定済の地区は、目標地図等必要とされる見直しを行い、地域計画へ切り替える。</p> <p>3. 地域計画策定のための協議の場の開催につき、地域計画策定支援金を交付し、地域の策定支援を行う。          (歳入) 農地利用最適化交付金 200千円 地域計画策定推進緊急対策事業補助金 2,121千円 地域計画普及交付金 75千円 他700千円          (歳出) 事業費          謝金 188千円 (アドバイザー等) / 旅費関係419千円 / 消耗品費250千円 (資料代) 負担金及び補助金 地域計画策定支援金1,500千円 (協議の場合1回5,000円×5回×60箇所)          会計年度任用職員費 報酬、手当等3,668千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		地域計画策定数				129	10	0		
耕地面積 (ha)				1,470	1,470	1,490				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,894	6,025	263	263	263					
財源内訳	一般財源	1,819	123	223	223	223				
	国支出金									
	県支出金	3,075	3,096	40	40	40				
	地方債									
	その他		2,806							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		農地利用向上促進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5 ジェンダー平等を実現しよう			8 働きがいも経済成長も						
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう			11 住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	農地政策課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業振興費		
根拠法令等	農地法、農地経営基盤強化促進法、農地中間管理事業の推進に関する法律 棚田地域振興促進法、国家戦略特別区域法、構造改革特別区域法										
事業目的	対象	農業者、新規就農希望者、新規就農者、認定農業者、農業法人等									
	背景と目的	農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化を進め、担い手の経営の効率化と規模拡大を支援する。 国家戦略特別区域法から構造改革特別区域法へ移行されたが、可能となった一般法人の農地取得について、地域に根差し経営の安定化を目指す法人の農地取得を促す。耕作放棄地再生の取り組みを一層加速させるため、市独自の補助制度により支援する。 棚田の有する多面的な機能を活用した棚田の保全と地域振興の取り組みを加速させる。									
事業内容	事業概要	<p>【農地中間管理事業】農地中間管理機構による農地の円滑な貸し借りと担い手への集積・集約を実施する。貸付期間は原則10年以上。（歳入・歳出）機構集積協力金交付金 4,420千円</p> <p>【法人農地取得事業】一般法人が農地を取得するにあたり、その担保措置として市が関与する。（歳入・歳出）法人から取納し地権者に支払う農地売買代金 1,000千円</p> <p>【耕作放棄地再生対策事業】荒廃農地の権利移転（所有権・賃借権・使用貸借権）を受ける者が行った再生作業等に要した経費に対し10aあたり50,000円を上限に補助を行う。[雑草・雑木の除去、深耕、整地、肥料、有機質資材の投入等による土づくり等]</p> <p>（歳出）耕作放棄地再生事業補助金 750千円</p> <p>【棚田地域振興事業】棚田地域振興法により指定された棚田を核とした取組を総合的に支援する。（歳出）旅費 175千円、消耗品 116千円、委託料200千円（大学サークル農村マッチング支援業務）、使用料及び賃借料500千円（レンタカー代）、負担金、補助及び交付金900千円（棚田案内看板設置費用）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		特区認定事業者数・農業参入企業数					1	1	1		
耕地面積 (ha)					1,470	1,470	1,490				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	2,952	8,061	5,791	4,791	4,791						
財源内訳	一般財源	800	791	1,791	791						
	国支出金										
	県支出金	1,152	4,420	3,000	3,000						
	地方債										
	その他	1,000	2,850	1,000	1,000						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		土地改良施設等維持事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	13	気候変動に具体的な対策を						
	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市		担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
根拠法令等	土地改良法 防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法等								
事業目的	対象	地元が管理する土地改良施設を利用する者							
	背景と目的	地元が管理する土地改良施設（ため池・農道水路）や農地等の整備・改良等に対し、国庫補助事業や市単独補助金を活用することにより、良好な営農活動と持続可能な農業基盤づくりに寄与する。							
事業内容	事業概要	(歳出) 1. 農村地域防災減災事業（ため池・農道橋・揚水機場関連） ため池廃止工事（上池） 11,000千円 中川原揚水機場改修工事 16,000千円 寄宮揚水機場改修調査設計業務 4,908千円 唐木岩尾統合井堰改修調査設計業務 8,041千円 長戸井堰揚水機改修設計業務 4,908千円 小田頭首工改修調査設計業務 19,900千円 県営かんがい事業 小城手前田ポンプ改修 300千円 防災重点農業用ため池緊急整備事業（畦下池） 5,500千円 2. その他 農林業振興補助金 5,000千円 中心経営体農地集積促進費 4,460千円 その他 1,119千円			(歳入) 県支出金 中心経営体農地集積促進事業補助金 3,456千円 震災対策農業水利施設整備事業補助金 58,757千円 その他 66千円 土地改良事業分担金 1,700千円				
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	農林業経営体数		800	800	800				
	耕地面積 (ha)		1,470	1,470	1,490				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	79,672	81,136	73,800	81,600	113,000				
財源内訳	一般財源	15,848	17,157	29,800	21,300	10,000			
	国支出金								
	県支出金	62,269	62,279	43,900	58,200	75,500			
	地方債								
	その他	1,555	1,700	100	2,100	27,500			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		農地中間管理事業推進事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう			11 住み続けられるまちづくりを					
	15 陸の豊かさを守ろう									
実施主体	養父市			担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	
根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律									
事業目的	対象	意欲的に農業を営む者等								
	背景と目的	<p>高齢化により離農する農家が増える一方で、農業を専業とした担い手も着実に数を増やしてきている。</p> <p>従来、農地の貸借は農業者が地権者と直接交渉する必要があり、集積はもとより団地として集約することが難しい状況であるため、農地中間管理事業を活用し、意欲ある農業者の営農の効率化と収益性向上を図る。</p>								
事業内容	事業概要	<p>農地中間管理事業では従来の農業者と地権者の相対でなく、公的機関である農地中間管理機構が双方の間に入るため円滑な貸借を行うことができる。</p> <p>意欲ある農業者は直接地権者と交渉する必要がなく、農地を長期的に集積・集約することができる。一方で地権者は、現在の耕作者がリタイアしても次の耕作者を今後策定される地域計画をもとに機構が選定してくれるため安心して貸付けることができる。農地利用最適化の向上が図られる事業である。</p> <p>(歳入) 農地中間管理機構事務委託金 200千円（事務費分）【他に人件費分800千円を充当】</p> <p>(歳出) 普通旅費 40千円、消耗品費 150千円、施設使用料 10千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		農林業経営体数					800	800	800	
新規就農者数					2	2	3			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	200	200	200	200	200					
財源内訳	一般財源	100	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金	100	200	200	200					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		土地改良事業推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを			
	13	気候変動に具体的な対策を			14	海の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	
根拠法令等	土地改良法、農地中間管理事業の推進に関する法律等									
事業目的	対象	土地改良区・地元管理土地改良施設を利用する関係者								
	背景と目的	農地利用の最適化を図るため、地元主体としたほ場整備事業を中心に土地改良事業を進め、担い手対策としての大区画化、農業用水利施設のパイプライン化など、持続可能な農地、農業用施設を維持し、良好な営農活動を可能とする基盤づくりに寄与する。								
事業内容	事業概要	(歳出) 1. 県営土地改良事業負担金 ほ場整備事業負担金（大塚） 15,800千円 ほ場整備事業負担金（九鹿） 14,100千円 2. 工事請負費 県営ほ場整備 補助対象外工事 7,000千円 3. ほ場整備 調査調整費（大塚・九鹿） 200千円				(歳入) 地元負担金 6,000千円 農業経営高度化支援事業補助金 118千円				
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		耕作面積 (ha)				1,470	1,470	1,490		
農林業経営体数				800	800	800				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	25,720	37,100	41,200	32,700	24,600					
財源内訳	一般財源	21,703	30,982	32,982	24,482	18,982				
	国支出金									
	県支出金	117	118	118	118	118				
	地方債									
	その他	3,900	6,000	8,100	8,100	5,500				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		林道維持管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11 住み続けられるまちづくりを			15 陸の豊かさを守ろう					
	13 気候変動に具体的な対策を									
実施主体	養父市			担当課	農地政策課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	4	林道事業費	
根拠法令等										
事業目的	対象	地元管理林道を利用する関係者								
	背景と目的	市内林道の適正な維持管理を行うことにより、森林資源の保全し継続可能な林業を推進するとともに、森林を活用した新たな産業を生み出す環境づくりに努める								
事業内容	事業概要	地元管理の林道施設の維持管理費 農林業振興補助金 500千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	500	500	500	500	500					
財源内訳	一般財源	500	500	500	500	500				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 環境推進課

# 実施計画書

事業名		環境衛生一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画	第二次養父市環境基本計画、地球温暖化対策実行計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに			11	住み続けられるまちづくりを				
		13	気候変動に具体的な対策を			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	環境衛生課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費		項	1	保健衛生費		目	6	環境衛生一般事務費
根拠法令等	環境基本法、廃棄物処理法、養父市環境保全条例など										
事業目的	対象	市民、事業者、養父市の行政機関									
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活レベルの向上に伴い、地球温暖化や廃棄物の問題が表面化している。</li> <li>・第二次養父市環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政のそれぞれが環境に対する意識や理解を深め、養父市を取り巻く地球規模の環境問題に取り組み、身近な環境問題の解決を図る。</li> <li>・環境負荷の少ない持続可能な発展により循環型社会の構築を目指す。</li> </ul>									
事業内容	事業概要	1. 第二次養父市環境基本計画、養父市環境保全条例に基づく環境施策 2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、(市)廃棄物施策 3. 国、県、但馬各市町、市内関係団体と協働した環境活動 (歳入) ・クリーンエネルギー自動車充電インフラ等導入促進補助金(国) 1,680千円 ・オフセット・クレジット販売代金(その他) 550千円 (歳出) ・Jクレジット新規取得に係る費用 3,600千円 ・各協議会、団体等負担金(9団体) 821千円 ・八木川大屋川河川環境学習事業委託金 200千円 ・省エネ住宅促進事業補助金 4,000千円 ・充電インフラ普及促進事業工事費 4,000千円									
	前年度からの変更点	地球温暖化対策実行計画の改定に係る改訂業務委託料の減									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		市有施設の温室効果ガス排出量					4,977t-co2				
自然環境への影響を考慮して何かしらの行動をしている人の割合					90%	70.3%	74.0%				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	19,355	13,994	2,394	2,394	2,394						
財源内訳	一般財源	11,806	5,480	1,880	1,880						
	国支出金		1,680								
	県支出金	14	14	14	14						
	地方債										
	その他	7,535	6,820	500	500						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		不法投棄監視事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画	第二次養父市環境基本計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	12	つくる責任、つかう責任						
	14	海の豊かさを守ろう	15	陸の豊かさも守ろう							
実施主体	養父市			担当課	環境推進課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、養父市条例（養父市環境保全条例）など										
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	<p>・人目の届かない場所への不法投棄や、道路沿線においてごみのポイ捨てが依然ある。市民から市・県・国・警察に多くの通報が寄せられる（放置すると不法投棄行為を誘発し、大量に捨てられたり、居住環境の悪化につながる）。</p> <p>・市による監視活動、県・南但馬警察署と連携した監視、不法投棄物の回収、不法投棄防止に関する啓発活動などを継続実施する。</p>									
事業内容	事業概要	<p>市内の監視パトロール及び回収作業を行うとともに、環境美化、不法投棄防止の啓発を行う。</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄監視車の維持管理経費 712千円</li> <li>・啓発看板、その他消耗品等 204千円</li> <li>・回収補助作業としてシルバー人材センター委託料等 99千円</li> <li>・廃棄物撤去委託料 100千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
		不法投棄監視員による不法投棄物回収量			2,600kg	3,050kg	2,880kg				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,126	1,115	1,115	1,115	1,115						
財源内訳	一般財源	1,126	1,115	1,115	1,115						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		養父市コウノトリ放鳥推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画	第二次養父市環境基本計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
	15	陸の豊かさを守ろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	環境推進課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費	
根拠法令等	コウノトリ野生復帰グランドデザイン、コウノトリ野生復帰推進計画Ⅱ期 養父市コウノトリ生息環境整備事業補助金交付要綱									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリ野生復帰グランドデザインに基づき、昭和30年代に生息していたコウノトリの野生復帰を推進する。</li> <li>・地域に自然再生意識の高揚が図られ、農地保全のみならず、里山林の整備・災害に強い森づくりなどの森林整備、河川整備の推進、併せて子どもたちの情操教育の向上と、環境学習・教育の推進を図る。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外コウノトリの個体数が約370羽となり(来年度には500羽に達する見込み)、野生復帰の試みや施設の在り方について検討を行った。今後は、人工飼育したコウノトリを養父市内で放鳥する取り組みから、自然のコウノトリを養父市内に定着させる取り組みにシフトする。令和6年度は、飼育ケージの撤去及び農地への復元工事を実施する。</li> <li>・市内へのコウノトリの定着を図るため、人工巣塔の設置のための補助事業を新設する。(歳出)</li> <li>・環境学習用品等 50千円</li> <li>・拠点施設土地使用料 106千円</li> <li>・コウノトリ放鳥拠点ケージ撤去工事請負費 3,936千円</li> <li>・コウノトリ生息環境整備費補助金 200千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	コウノトリ放鳥拠点ケージ撤去工事請負費、コウノトリ生息環境整備費補助金の新設								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		コウノトリ幼鳥のリリース数				-	2	2		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,820	4,292	450	450	450					
財源内訳	一般財源	2,820	4,292	450	450	450				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		公害対策事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画	第二次養父市環境基本計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを				
		12	つくる責任、つかう責任			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	環境衛生課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	環境衛生費	目	7	公害対策事業費		
根拠法令等	公害に関する各法律、県条例、養父市条例（養父市環境保全条例）など										
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全を図るため、騒音規制法、振動規制法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、悪臭防止法、兵庫県環境の保全と創造に関する条例、養父市環境保全条例等に掲げる市の責務を遂行する。</li> <li>・県民局、南但馬警察署等との連携・情報交換を積極的に行い、監視活動を通じて、公害の発生を抑制する。</li> </ul>									
事業内容	事業概要	<p>1. 騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法により、騒音・振動・悪臭に係る関係申請事務、指導等を実施する。</p> <p>2. 関係法令等に基づき、環境保全に関する監視活動を行うとともに、市民からの環境に関する苦情に対して相談を受け付ける。</p> <p>3. 油流出、毒物流出等について各行政機関と連携した対応を行う。</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油流出事故対応資材費等 110千円</li> <li>・油流出事故等の撤去手数料 300千円</li> <li>・自動車騒音ほか環境調査委託料 826千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250						
財源内訳	一般財源	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		ごみ処理一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画	第二次養父市環境基本計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを				
		12	つくる責任、つかう責任		15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市			担当課	環境推進課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	ごみ処理費	
根拠法令等	養父市条例（養父市廃棄物の処理及び清掃に関する条例）									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別回収、リサイクルの推進（集団回収）を通し環境保全を図る。</li> <li>・市民、収集場所（拠点施設、ステーション）への分別啓発等。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	1. ごみの分別回収・リサイクルの推進（集団回収）を図る 2. 国、県道などで事故等による大型動物死体受入及び処分 3. 資源ごみの集団回収に伴う助成 （歳入） ・大型動物死体処理委託金（国）1,475千円、（県）2,065千円 （歳出） ・ごみ分別等の啓発活動、その他消耗品費 232千円 ・廃棄物処理委託料（災害時等） 1,000円 ・大型動物死体処理委託料 3,438千円 ・集団回収事業助成金 2,677千円								
	前年度からの変更点	回収量減少による集団回収事業助成金の減額								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		一般廃棄物のごみリサイクル率			31.2%		29.0%			
	資源ごみの集団回収参加団体数			43	40	41				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	8,045	7,771	7,771	7,771	7,771					
財源内訳	一般財源	4,505	4,231	4,231	4,231	4,231				
	国支出金	1,475	1,475	1,475	1,475	1,475				
	県支出金	2,065	2,065	2,065	2,065	2,065				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		クリーンセンター施設管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画	第二次養父市環境基本計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
		14	海の豊かさを守ろう			15	陸の豊かさも守ろう			
実施主体	養父市			担当課	環境推進課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	ごみ処理費	
根拠法令等	養父市条例（養父市廃棄物の処理及び清掃に関する条例）									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 琴弾クリーンセンター跡地における排水処理施設など維持管理。</li> <li>・ 宮垣地区との覚書に基づく琴弾クリーンセンター跡地の環境調査。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>1. 排水処理施設に係る維持修繕（施設修繕、電気、処理薬剤など）</p> <p>2. 施設周辺環境調査委託料（放流水の周辺環境調査）（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排水処理施設 修繕、消耗品等 1,130千円</li> <li>・ 排水処理施設 水道・電気料等 2,030千円</li> <li>・ 周辺環境調査費 2,300千円</li> <li>・ 汚染負荷量賦課金 75千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	汚染負荷量賦課金の減額、シルバー人材センター委託料の増額								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,836	5,877	5,877	5,877	5,877					
財源内訳	一般財源	5,836	5,877	5,877	5,877	5,877				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		有害鳥獣防護対策事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）							
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画	第二次養父市環境基本計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			11	住み続けられるまちづくりを		
	15	陸の豊かさを守ろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	環境推進課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、 養父市鳥獣捕獲許可等事務取扱要綱								
事業目的	対象	市民							
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シカ、イノシシ等の有害鳥獣からの農作物被害軽減を目指す。</li> <li>・有害鳥獣駆除に取り組むとともに、農業・農村の基盤を守る農地に有害鳥獣防護柵を整備する。（国事業等を活用した防護柵事業は、養父市野生動物被害対策推進協議会と連携して実施する。）</li> </ul>							
事業内容	事業概要	<p>1. 有害鳥獣対策として狩猟期以外の有害鳥獣捕獲に取り組む。</p> <p>2. 国事業、市単独事業による有害鳥獣防護柵の設置を進め、農業被害の軽減を図る。</p> <p>（歳入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止総合対策事業補助金（県） 19,251千円</li> <li>・捕獲等参加証明書手数料 3千円</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣防除事業委託金 38,200千円（うち、サギ対策委託料1,400千円）</li> <li>・有害鳥獣防除事業補助金 6,036千円（市単独事業 うち、補助拡充分5,712千円）</li> <li>・狩猟期中の県シカ捕獲拡大事業負担金 8,089千円</li> <li>・新規狩猟者確保事業補助金 150千円</li> </ul>							
	前年度からの変更点	銃班活動における銃猟管理料等、新規狩猟者確保事業補助金の新設 シカ肉処理加工施設設置補助金、狩猟期シカ捕獲拡大事業負担金の減額							
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		野生鳥獣による農林業被害額		22,645千円	24,836千円	27,447千円			
有害鳥獣捕獲実績（シカ）		2,520頭	1,724頭	1,905頭					
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	64,732	58,131	58,131	58,131	58,131				
財源内訳	一般財源	44,178	38,877	38,877	38,877	38,877			
	国支出金								
	県支出金	20,551	19,251	19,251	19,251	19,251			
	地方債								
	その他	3	3	3	3	3			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		緑化推進事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画	第二次養父市環境基本計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
	15	陸の豊かさを守ろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	緑化推進団体、緑の少年団			担当課	環境推進課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費	目	2	林業振興費
根拠法令等	養父市緑の募金活用事業補助金交付要綱、緑の少年団活動助成事業補助金交付要領									
事業目的	対象	緑化推進団体、緑の少年団								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の募金などを原資とし、地域の奉仕活動を通じて、心豊かな人格形成の支援を実施するとともに、緑あふれる豊かな自然環境を守り育てる。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>1. 緑の募金を原資とし、緑の募金推進に係る啓発資材の購入、緑化事業を推進する。</p> <p>2. 市内6少年団の活動を支援する。</p> <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の募金市交付金（その他）600千円</li> <li>・緑の少年団活動費受入金（その他）114千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の募金推進資材費 26千円</li> <li>・緑の少年団活動補助金 114千円</li> <li>・緑化推進事業補助金 600千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	753	753	753	753	753					
財源内訳	一般財源	39	39	39	39	39				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	714	714	714	714	714				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 商工觀光課

# 実施計画書

事業名		経済センサス調査費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も								
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費		
根拠法令等	その他（統計法）										
事業目的	対象	農林漁家に属する個人経営の事業所、家事サービス業及び外国公務に属する事業所を除く全事業所及び企業									
	背景と目的	統計法に基づく国の基幹統計調査。 本市の事業所及び企業について、包括的な産業構造を把握し、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備する。									
事業内容	事業概要	令和3年に「活動調査」を実施した。次回令和6年に実施する「基礎調査」に向け、毎年調査区管理を実施する。 ※基礎調査（令和元年実施→令和6年実施予定）及び活動調査（令和3年実施→令和8年実施予定）はそれぞれ5年毎に実施する。  (歳入)・経済センサス調査区管理市町交付金 8千円 (歳出)・需用費 8千円（事務消耗品）									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	8	8	8	8	8						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金										
	県支出金	8	8	8	8						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		労働対策事業費			枝番	1	単位事業名	労働対策事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5 ジェンダー平等を実現しよう			8 働きがいも経済成長も						
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう			11 住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	1	労働諸費		
根拠法令等											
事業目的	対象	養父市内の企業・事業所及び求職者									
	背景と目的	国・県等の雇用施策に関する情報を市内企業に周知するとともに、企業の採用情報等の周知、企業説明会の共同開催により、市内の就業・雇用の充実、確保に努める。									
事業内容	事業概要	事業所ガイドブックの作成と配布並びに但馬地域合同企業説明会の共同開催など (歳出) ・旅費 24千円 ・需用費 432千円 (事業所ガイドブック印刷代ほか) ・使用料 400千円 (合同企業説明会ブース使用料) ・負担金、補助及び交付金 100千円 (兵庫県雇用開発協会負担金)									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		従業員数					8,658	-	-		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	955	956	956	956	956						
財源内訳	一般財源	955	956	956	956						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		労働対策事業費			枝番	2	単位事業名	インターンシップ支援事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			8	働きがいも経済成長も				
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	5	労働費		項	1	労働諸費		目	1	労働諸費
根拠法令等											
事業目的	対象	UIターン就職を希望する学生									
	背景と目的	進学、就職、結婚、住宅の取得、子育てなど人生の契機となる時期に、人口流出が顕著となる傾向がある。特に若者が大学等への進学を機に市外に転出することは避けられないことから、一旦転出した若者が卒業後、本市に戻ってくれる等の仕組構築を図る。									
事業内容	事業概要	UIターン就職を検討している学生に対し、1泊2日、市内企業で就業体験を行う。 ・対象者 大学生、大学院生、短大生、専門学生、高校生等 ・内容 (1) インターンシップ (2) 業界研究セミナー (3) 合同発表会  (歳出) ・報償費 130千円 (インターンシップ講師謝金) ・需用費 112千円 (チラシ作成等) ・役務費 50千円 (郵券代) ・委託料 40千円 (バス運行費)									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		市内高等学校等からの地元就職率					60.0%	59.0%	69.6%		
従業員数					8,658	-	-				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	335	332	332	332	332						
財源内訳	一般財源	335	332	332	332						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		労働対策事業費			枝番	3	単位事業名	働き方改革支援事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	5	ジェンダー平等を実現しよう			8	働きがいも経済成長も				
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	1	労働諸費		
根拠法令等	養父市条例(働き方改革推進条例)										
事業目的	対象	市民及び企業・事業所									
	背景と目的	「労働者のモチベーションの向上」「人材流出の歯止め」「移住・定住人口の増加」等を図り、地方創生や女性総活躍に繋げることを目的として、「養父市働き方改革推進条例」及び関連規則等を制定し、働き方改革の推進を図る。									
事業内容	事業概要	<p>市民、事業者、関係機関及び行政が一丸となって働き方改革に取り組む体制として、働き方改革に取り組む企業への認定制度を設け、認定企業への支援として市HPで認定企業を公表することなどの情報発信を行うとともに別途補助金等による支援を行う。また、事業者や市民向けの講演会（セミナー）を開催することにより働き方改革の必要性を伝えていく。</p> <p>(歳出) ・ 報償費 150千円 (講師等謝金)          ・ 需用費 100千円 (チラシ等作成費)          ・ 旅費 21千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		働き方改革推進宣言企業数				15	14	12			
セミナー実施件数				4	3	1					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	269	271	271	271	271						
財源内訳	一般財源	269	271	271	271	271					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		商工一般事務費			枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号				
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）										
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%								
	個別計画											
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も									
実施主体		養父市			担当課	商工観光課						
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目		款	7	商工費		項	1	商工費		目	1	商工総務費
根拠法令等												
事業目的	対象	市内商工業者										
	背景と目的	市内の商工業振興のための事務を行うとともに兵庫県物産協会に加入し、情報・物産の交流を促進する。										
事業内容	事業概要	<p>商工業振興に係る全般的な事務費及び兵庫県物産協会負担金の執行</p> <p>(歳入) ・ 営業証明手数料 1千円  (歳出) ・ 旅費 163千円  ・ 需用費 744千円 (コピーカウント料、公用車燃料代ほか)  ・ 役務費 55千円 (公用車車検等)  ・ 使用料及び賃借料 7千円 (複合機リース料)  ・ 負担金、補助及び交付金 26千円 (兵庫県物産協会会費)  ・ 公課費 7千円 (自動車重量税)</p>										
	前年度からの変更点											
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)			実績見込 (R5)		
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費		1,002	1,002	1,002	1,002	1,002						
財源内訳	一般財源	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001						
	国支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他	1	1	1	1	1						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		商工振興事業費			枝番	1	単位事業名	商工振興事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-2_デジタル技術の積極的な活用（情報社会）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費		目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内外の企業・事業者									
	背景と目的	新型コロナウイルス感染症の影響を経て、多様な働き方や多様な生活が普及している中において場所にとらわれない働き方を有するIT企業等の誘致に取組むとともに、市内事業者の事業展開に対しての新たな資金調達方法への支援や円滑な事業承継に対する支援を行う。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部に展開するシェアオフィスを利用することで、シェアオフィスを利用するIT関連事業者や起業を検討する人たちとの繋がりを図る。</li> <li>・地方での円滑な事業承継が重視されている中において事業承継への支援。</li> <li>・新たな事業展開を目指す事業者等の資金調達の取組みを支援。</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅 費 892千円</li> <li>・需用費 110千円</li> <li>・委託料 2,056千円</li> <li>・使用料及び賃借料 1,045千円</li> <li>・負担金、補助及び交付金 1,500千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		事業所数				1,273	-	-			
企業誘致件数				12	11	11					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	7,500	5,603	2,047	2,047	2,047						
財源内訳	一般財源	7,500	4,103	2,047	2,047						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他		1,500								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		商工振興事業費			枝番	2	単位事業名	創業・事業承継支援事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費		目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内で創業・二次創業を行う事業者									
	背景と目的	創業塾を開催し創業に必要な知識の習得から創業時の経費助成に至る一体的な支援体制を整備することにより、創業と事業承継の促進を図る。									
事業内容	事業概要	<p>① 市内で創業、第二創業を行う者に必要経費の一部を助成する。                  ② 養父市商工会に委託し創業塾（7回講座）を実施する。</p> <p>（歳出）・負担金、補助及び交付金 11,000千円                  ①起業者支援助成金 10,000千円                  ②創業塾開催補助金 1,000千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		分野別新規起業件数				91	81	77			
	事業所数				1,273	-	-				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000						
財源内訳	一般財源	11,000	9,850	11,000	11,000						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他		1,150								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		商工振興事業費			枝番	3	単位事業名	販路開拓事業補助金			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
	11 住み続けられるまちづくりを										
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費		
根拠法令等	養父市要綱（養父市販路開拓事業補助金交付要綱）										
事業目的	対象	市内の企業・事業者									
	背景と目的	小規模事業者の持続的に安定した経営を図るため、販路拡大などに要する経費の一部を補助する。									
事業内容	事業概要	小規模事業者に対し、広報宣伝費や物流費等販路拡大に要する経費の一部を補助する。 (歳出) 負担金、補助金及び交付金 1,500千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		事業所数				1,273	-	-			
従業員数				8,658	-	-					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500						
財源内訳	一般財源	500	500	1,500	1,500						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債	1,000	1,000								
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		商工振興事業費			枝番	4	単位事業名	養父市版スタートアップインレジデンス事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等											
事業目的	対象	市内の中小企業者等									
	背景と目的	国全体でも起業(スタートアップ)が注目されている中で、スタートアップ起業家等の市への訪問を創り出す取組を実施することによりスタートアップの交流による新たな事業創出、市内事業者とのマッチング、関係人口の創出を図り、市内経済の振興等に繋げる。									
事業内容	事業概要	<p>スタートアップ起業家等の市への訪問を創出する取組を実施することにより、交流による新たな事業創出、市内事業者とマッチング、関係人口の創出等を図る。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 8,215千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		事業所数				1,273	-	-			
従業員数				8,658	-	-					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費		8,215									
財源内訳	一般財源	0	2,000	0	0	0					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他		6,215								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		商工会及び工業会補助事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養父市商工会								
	背景と目的	補助金交付により、養父市商工会の運営と商工会の実施する事業を支援し、市内商工業の振興と雇用の確保を図る。								
事業内容	事業概要	<p>商工会への一般活動（経営改善普及事業及び地域総合振興事業）に対し、補助金を交付し支援を行う。</p> <p>（歳出）・負担金、補助及び交付金 16,000千円（商工会活動補助金）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		事業所数					1,273	-	-	
従業員数					8,658	-	-			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	15,000	16,000	16,000	16,000	16,000					
財源内訳	一般財源	15,000	16,000	16,000	16,000					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		企業誘致促進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市				担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費		目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市外からの進出事業者、市内事業者									
	背景と目的	養父市は、過疎化・少子高齢化に伴う人口減少に起因し、年々事業所数が減少しており、若者の定住、就労の場の確保が喫緊の課題となっている。 このため、企業誘致を行い事業所数の増加や雇用の場の創出を図る。									
事業内容	事業概要	<p>1 誘致施策や事業用地等をPRし、市内産業立地・誘致活動を推進する。</p> <p>2 企業誘致フェア（神戸国際フロンティア産業メッセ）への出展及び企業訪問の実施</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費 300千円（職員旅費）</li> <li>・需用費 200千円（出展バナー印刷、事務消耗品）</li> <li>・使用料及び賃借料 160千円（施設使用料等）</li> <li>・工事請負費 40千円（出展ブース電気工事費等）</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		企業誘致件数					12	11	11		
事業所数					1,273	-	-				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	700	700	700	700	700						
財源内訳	一般財源	123	123	123	123						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	577	577	577	577						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		企業審議会運営費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費		目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内商工業者									
	背景と目的	市内商工業及び鉱業の振興、企業誘致に関し、学識経験者、事業者及び住民の代表から意見を聞き、制度設計並びに事業執行に反映させる。									
事業内容	事業概要	<p>企業等審議会を開催し、市内商工業及び鉱業の振興、企業誘致に関する審議を行う。          委員数：12名（学識経験者2名、商工鉱業の代表6名、住民代表4名）          任期：2年（委嘱の日から令和7年3月31日まで）</p> <p>（歳出）・報酬 180千円（審議委員報酬）          ・旅費 60千円（審議委員費用弁償）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		事業所数					1,273	-	-		
従業員数					8,658	-	-				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	240	240	240	240	240						
財源内訳	一般財源	240	240	240	240						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		商工振興施設管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合	90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
	11 住み続けられるまちづくりを										
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費		
根拠法令等	養父市要綱(養父市学校跡施設の開放に関する要綱)										
事業目的	対象	事業用地(廃校施設等)の維持管理									
	背景と目的	当市への事業進出・規模拡大を図る事業者に対し、廃校となった公共施設を貸与し地域経済の発展と雇用の創出を図るとともに、進出企業が地域と密着した運営を行うことにより地域コミュニティの拠点機能をもたせ、地域の活性化に繋げる。									
事業内容	事業概要	<p>1 校舎と運動場(市管理部分)を一般開放し、住民の福祉の向上を図る。</p> <p>2 市管理部分について維持管理をする。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費 1,764千円(修繕料、消耗品費、水道使用料、電気料金、燃料費)</li> <li>・役務費 33千円(施設点検整備等手数料)</li> <li>・委託料 396千円(草刈等作業委託料)</li> <li>・使用料及び賃借料(下水道使用料) 30千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	1,001	2,223	1,001	1,001	1,001						
財源内訳	一般財源	1,001	2,223	1,001	1,001						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		商工業者融資事業費		枝番	1	単位事業名	中小企業融資制度 他			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合					90%
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等	養父市要綱(養父市中小企業融資要綱)									
事業目的	対象	市内の中小企業者								
	背景と目的	令和元年度の暖冬及び令和2年新型コロナウイルスによる経営悪化並びに経営革新及び事業規模拡大により事業者が必要とする資金調達を融通し、中小企業の健全な発展を図る。								
事業内容	事業概要	<p>① 養父市中小企業融資要綱に基づく融資事業を行う。経営革新支援資金、事業応援資金、開業資金を活用した者には年0.8%の利子補給を5年間行う。</p> <p>② R1年度の暖冬並びにR2新型コロナウイルスにより経営悪化した市内中小企業者が、経営安定化のために兵庫県及び政府系金融機関から借入れした資金に対し、利子補給金を5年間交付する。</p> <p>(歳出) ・負担金、補助及び交付金 60,866千円</p> <p style="margin-left: 20px;">① 養父市中小企業融資分 9,324千円</p> <p style="margin-left: 20px;">② R1暖冬対策分～R6 357千円</p> <p style="margin-left: 20px;">③ R2新型コロナウイルス 51,185千円</p> <p>・補償、補填及び賠償金 1千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	新規融資件数				20	18	12			
	事業所数				1,273	-	-			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	49,106	60,867	4,000	16,500	16,500					
財源内訳	一般財源	49,106	60,867	4,000	16,500	16,500				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		商工業者融資事業費		枝番	2	単位事業名	アグリ特区保証			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合					90%
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	目	2	商工振興費
根拠法令等	養父市要綱（養父市国家戦略特別区域農業保証(通称：養父市アグリ特区保証)融資制度要綱									
事業目的	対象	市内の中小企業者								
	背景と目的	商工業とともに農業を行う中小企業者の事業に必要な事業資金の融通を促進し、中小企業の健全な発展を図る。								
事業内容	事業概要	<p>商工業とともに特区内で行う農業の実施に係る資金融資に対し、信用保証料の補助及び年0.8%の利子補給を3年間行う。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金、補助及び交付金 616千円（信用保証料補助・利子補給金）</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		新規融資件数					2	2	0	
事業所数					1,273	-	-			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	652	616	643	589	580					
財源内訳	一般財源	652	616	643	589	580				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		計量法による立入検査費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	12	つくる責任、つかう責任							
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等	計量法									
事業目的	対象	市内の食料品販売店舗（市民）								
	背景と目的	<p>計量法第148条の規定に基づき、製造・卸売業、小売店舗等の事業所に対して立入検査を行い、市内において商品量目に関する適切な商取引を指導する。</p> <p>1年に2回、中元時期と歳末期の前に、市内店舗の商品量目立入検査を実施することで、市民の安心・安全な生活を守る。</p>								
事業内容	事業概要	<p>計量法に基づく商品量目立入検査の実施（中元時期及び歳暮時期 計5店舗）</p> <p>（歳入）・商品量目検査委託料 68千円                  （歳出）・需用費 4千円（消耗品費）                  ・委託料 64千円（検査委託料）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	68	68	68	68	68					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金	68	68	68	68					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		養父市企業支援センター事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合					90%
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市外からの進出事業者、市内事業者								
	背景と目的	相談業務等の支援を行うことにより新規創業を促進するとともに、市内事業者の経営改善や事業拡充を推進し、市内商工業の振興を図る。 また、企業紹介サイト「やぶビズ」の運営を実施し多様なマッチングを促進することで市内事業者の支援に繋げる。								
事業内容	事業概要	養父市商工会に企業支援センター運營業務を委託する。 ・ 専門家による相談業務 ・ 事業者事業PR事業(他の市内事業者のモデルケースとなるような事業者の展示会参加等の事業PRを支援) ・ やぶビズ管理費  (歳出) ・ 委託料 2,040千円 (企業支援センター運營業務) 4,256千円 (企業支援センター機能強化事業)								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		企業相談等実施件数				70	64	60		
	事業所数				1,273	-	-			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,040	6,296	2,040	2,040	2,040					
財源内訳	一般財源	2,040	2,040	2,040	2,040					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		4,256							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		養父市ブランド創出事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
	10 人や国の不平等をなくそう										
実施主体	養父市			担当課	商工観光費						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費		
根拠法令等	養父市規則（養父市地域ブランド推進協議会規則 他）										
事業目的	対象	養父市で生産の製品・特産品など									
	背景と目的	養父市の魅力的な地域資源を活用した商品を「養父市地域ブランド推奨品」として認定し、商品の高付加価値化によって販売を促進し、生産から販売に関わる循環を向上させ地域経済を活性化させる。									
事業内容	事業概要	<p>1 地域資源を掘り起こし（ブラッシュアップ）を行い、優れた地域産品を市内外にPRを行うことで、地域経済の活性化を図る。</p> <p>2 申請のあった地域産品を認定基準に基づき、審査・認定する。</p> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 120千円（協議会委員報酬）</li> <li>・旅費 98千円（委員費用弁償、委員実費弁償、職員旅費）</li> <li>・需用費 215千円（印刷製本費、消耗品費、燃料費）</li> <li>・委託料 88千円（HP管理委託）</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
		養父市ブランド認定制度創出と認定件数			42	39	39				
	新規申請数			3	4	0					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	521	521	521	521	521						
財源内訳	一般財源	521	521	521	521						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		企業等振興奨励事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
	11 住み続けられるまちづくりを										
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費		
根拠法令等	養父市企業等振興奨励に関する条例										
事業目的	対象	市内の商工業者									
	背景と目的	市内の商工業者等が、産業の振興と雇用機会の拡大を目的に行う、事業の拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入等を支援するとともに、雇用の拡大に繋がる産業立地を促進するため、養父市へ新たに進出、立地する企業に対し、積極的な支援を行うことで、その後の安定操業を促し、次の企業進出拡大へと繋げる。また、令和元年度より取り組み始めた働き方改革を推進するため補助金等の交付により支援を行う。									
事業内容	事業概要	<p>1 事業拡大、設備の近代化、新商品開発、雇用拡大、市内進出など、企業の積極的な活動に対して支援を行う。</p> <p>2 働き方改革に取り組む事業者等に対し、当制度の要件緩和、補助率の嵩上げ等により支援を行う。</p> <p>(歳出) 負担金、補助及び交付金 74,866千円</p> <p>①企業等振興奨励措置 21,801千円</p> <p>②企業等振興奨励措置 2,700千円</p> <p>③企業等振興奨励措置 46,665千円</p> <p>④働き方改革支援事業 3,700千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		事業所数				1,273	-	-			
従業員数				8,658	-	-					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	84,348	74,866	75,000	75,000	75,000						
財源内訳	一般財源	84,348	69,166	75,000	75,000						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債		4,000								
	その他		1,700								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		特産品販路開拓支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合					90%
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	8 働きがいも経済成長も			9 産業と技術革新の基盤をつくろう					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市内企業								
	背景と目的	市内の特産品の販路開拓の支援を行うことにより、市内特産品のPRによる知名度向上並びに出荷額の増加を目指す。								
事業内容	事業概要	<p>特産品販路開拓支援業務(東京でのアンテナショップ等)を委託実施する。</p> <p>(歳出)・委託料 5,878千円(事業運営委託料)</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		事業所数				1,273	-	-		
従業員数				8,658	-	-				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	7,878	5,878	6,878	6,878	6,878					
財源内訳	一般財源	7,878	878	6,878	6,878	6,878				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債		5,000							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		6次産業化支援センター施設管理費		枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号				
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合					90%	
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も			9	産業と技術革新の基盤をつくろう				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費		目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内農林漁業を活用し6次産業化や関連事業に取り組む事業者									
	背景と目的	農業の競争力の強化、付加価値の創出・向上を図るため、6次産業化の推進、創業・事業展開を支援する6次産業化支援センターを設置し運営する。									
事業内容	事業概要	<p>1 6次産業化支援センターを運営し、6次産業化の推進、創業・事業展開を支援する。</p> <p>2 指定管理者により施設の業務運営を行う。</p> <p>(1) 施設の維持管理業務（保守点検、清掃、警備、緑地管理）</p> <p>(2) 使用許可等に関する業務</p> <p>(3) 設置目的に資する事業の実施</p> <p>(歳出) ・ 需用費 250千円（修繕料）</p> <p>・ 委託料 7,100千円（指定管理料）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		養父市ブランド認定制度創出と認定件数					42	39	39		
分野別新規起業件数					91	81	77				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	7,350	7,350	7,350	7,350	7,350						
財源内訳	一般財源	7,350	7,350	7,350	7,350						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		観光一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)									
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう				
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	2	観光振興費		
根拠法令等											
事業目的	対象	観光関係機関等									
	背景と目的	広域的な観光関係機関との連携協力を図り、負担金及び補助金を拠出する。やぶ市観光協会組織の活動を支え、養父市の観光振興による賑わいと活力あふれるまちづくりを推進する。									
事業内容	事業概要	<p>1. 広域的な連携により、養父市だけではできない情報発信を行う。</p> <p>2. 観光交流人口200万人達成を図るため、観光関係機関との連携・協働を密にする。(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通旅費 98千円</li> <li>・消耗品費 125千円</li> <li>・負担金、補助及び交付金 2,624千円</li> </ul> <p style="text-align: center;">観光関係機関負担金、観光協会補助金など</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		観光入込客数(千人)				2,000	1,016	959			
観光消費額(百万円)				12,000	11,000	10,387					
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	6,328	6,347	6,347	6,347	6,347						
財源内訳	一般財源	6,318	6,337	6,337	6,337	6,337					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	10	10	10	10	10					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		観光宣伝費			枝番	1	単位事業名	観光宣伝費		
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	2	観光振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	観光客等								
	背景と目的	養父市の観光交流人口は平成25年度に150万人を突破した。令和元年度は150万人を下回ったが、200万人を目指し観光協会や観光関連団体と連携し誘客促進に努めている。また、国家戦略特区指定の機運を活かし、引き続き養父市の魅力を広くPRすることで、観光と農業による経済の活性化を実現する。								
事業内容	事業概要	継続的なイベント参加、自前パンフレット作成、観光関連団体との連携、HP・SNSによる情報発信など観光宣伝事業を実施する。 ・やぶ市観光協会への委託事業(シティプロモーション事業) ・観光関連事業(ラッピングバスなど) (歳出)旅費 321千円、役務費 792千円(ラッピングバス)、シティプロモーション事業委託料 18,600千円、サイクルイベント負担金 800千円 <b>【新規事業】</b> (養父市制20周年記念地域間交流事業) 1,800千円 (ロケ誘致事業) 1,500千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		観光入込客数(千人)				2,000	1,016	959		
観光消費額(百万円)				12,000	11,000	10,387				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	21,544	23,813	23,813	23,813	23,813					
財源内訳	一般財源	21,544	20,513	23,813	23,813					
	国支出金									
	県支出金	800								
	地方債									
	その他	2,500								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		観光宣伝費		枝番	2	単位事業名	定額観光タクシー事業			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	2	観光振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	観光客等								
	背景と目的	<p>鉄道、バスなど公共交通機関を利用した観光客、宿泊を伴う観光客等に対する市内2次交通の改善のため、時間制定額タクシーを導入し、観光客等の誘客促進と利便性、地域全体の宿泊者数の増加を図る。</p> <p>WMG2027関西大会の開催に伴い、自家用車を使わない観光客への事前のPRとしても実施する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>養父市への玄関口である、JR八鹿駅及び道の駅ようか但馬蔵、道の駅但馬楽座を起点に、市内観光や市内での宿泊を増加させるツールとして、特に土日祝日の2次交通として定額観光タクシーを実施し、都市部からの観光客(シルバー、ファミリー、グループ)等の利便性向上と誘客拡大を図る。</p> <p>(歳出)・事業運営委託料 1,300千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		観光入込客数(千人)				2,000	1,016	959		
新たな交通アクセス手段の利用者数(人(台))				400(140)	400(140)	325(112)				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	850	1,300	1,300	1,300	1,300					
財源内訳	一般財源	850	1,300	1,300	1,300					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		イベント関連補助事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			17	パートナーシップで目標を達成しよう			
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	2	観光振興費	
根拠法令等	養父市商工業及び観光業振興事業補助金交付規則									
事業目的	対象	地域に根付く伝統あるまつりやイベントもしくは新たに始まるイベント								
	背景と目的	養父市の観光客誘致イベントや夏まつり等の市民イベントの活動を支える為に補助金を拠出する。イベントの規模や内容を審査し適正に執行する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 市内で開催される、市民イベントへ補助金を交付し更なる交流拡大を目指す。</p> <p>2. 令和6年度も旧町夏まつりの他、交流拡大、ふるさと回帰を目的とした市内の各種イベントを支援する。</p> <p>3. 旧町夏まつりを実施するにあたり、警察から要望のあった警備費を令和3年度より全て支援することとしている。</p> <p>(歳出) ・報酬 53千円(審議委員報酬)          ・費用弁償 21千円(費用弁償)          ・負担金、補助及び交付金 7,486千円(イベント補助金)          2,400千円(警備費)</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		観光入込客数(千人)				2,000	1,016	959		
観光消費額(百万円)				12,000	11,000	10,387				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	10,911	9,960	9,960	9,960	9,960					
財源内訳	一般財源	10,911	9,960	9,960	9,960					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		訪日外国人誘客促進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-4_多彩な人々によって創出される地域資源(観光・交流)								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			10	人や国の不平等をなくそう			
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	2	観光振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市内の観光関連事業者、市民、外国人旅行者等								
	背景と目的	政府は訪日外国人旅行者数を2030年6000万人を目標にしており、関西ではWMG2027関西大会・大阪万博・IR開業など外国人旅行者が増加していく見込みであるが、養父市に来る外国人旅行者は少数であり、外国人旅行者が少ない原因は、外国人にとり魅力的なコンテンツ、情報発信、インフラ不足であると考えられるため、ハード・ソフト両面の受入環境整備を進めるとともに、効果的・効率的な情報発信を行う本事業の取組が必要になる。								
事業内容	事業概要	<p>訪日インバウンド獲得に向け、①WMG2027関西大会に向けた受入環境等の基盤整備、②WMGを契機とした継続的な誘客を実施する。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員(CIR)の配置及び活動(報酬、旅費) : 5,428千円</li> <li>・外国人モニターツアー業務委託 : 500千円</li> <li>・外国人旅行者に向けた広報宣伝等 : 1,446千円</li> <li>・日本政府観光局(JNTO)の賛助団体登録及び活動 : 953千円</li> <li>・訪日インバウンド受入環境整備促進補助金 : 1,500千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		観光入込客数(千人)			2,000	1,016	959			
観光消費額(百万円)			12,000	11,000	10,387					
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	9,821	9,827	9,827	9,827	9,827					
財源内訳	一般財源	9,809	9,815	9,815	9,815	9,815				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	12	12	12	12	12				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		観光施設管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを				
		12	つくる責任、つかう責任								
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費		項	2	観光費		目	3	観光施設費
根拠法令等											
事業目的	対象	観光施設等									
	背景と目的	<p>直営の市内観光施設や観光エリアにおける歩道、看板など工作物の適切な維持管理を行い、安全で衛生的な施設の運営を図る。</p> <p>市内14の観光施設を指定管理者制度により管理運営する。</p> <p>道の駅3施設の運営支援を図り、道路利用者等へ快適なサービスを提供し地域活性化を図る。</p>									
事業内容	事業概要	<p>市内観光交流施設の運営並びに、登山道、看板等の適切な維持管理を計画的に図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷ノ山、ハチ高原内施設（ハチ高原交流促進センター、トイレなど）の維持管理</li> <li>・指定管理施設（14施設）の維持管理</li> <li>・道の駅やぶ・ようか、小路頃チェーン着脱場の管理委託 ほか</li> </ul> <p>（歳入） ・道の駅管理委託料、交流促進センター使用料 ほか 25,205千円</p> <p>（歳出） ・観光施設修繕料 6,199千円</p> <p>          ・施設管理委託料【道の駅管理委託】 14,381千円</p> <p>          ・指定管理委託料 5,365千円       土地建物使用料 7,733千円</p> <p>          ・施設管理委託料 4,877千円       その他               16,391千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	観光入込客数（千人）				2,000	1,016	959				
	観光消費額（百万円）				12,000	11,000	10,387				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	73,950	54,946	54,946	54,946	54,946						
財源内訳	一般財源	49,577	29,741	29,741	29,741						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	24,373	25,205	25,205	25,205						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		八鹿温泉施設管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を			11 住み続けられるまちづくりを						
		12 つくる責任、つかう責任									
実施主体	養父市			担当課	商工観光課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費		
根拠法令等											
事業目的	対象	八鹿温泉施設（とがやま温泉）利用者等									
	背景と目的	とがやま温泉天女の湯の適正な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と観光交流人口の増加に寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>令和2年12月から運営方法を業務委託に変更したことから、管理運営に係るすべての経費を市で予算計上する。</p> <p>（歳入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機設置料 28千円</li> <li>・入浴料 38,140千円</li> <li>・食堂使用料 360千円</li> <li>・繰越金 16,500千円</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費 35,790千円（泉源施設、機械設備等修繕 5,000千円）</li> <li>・役務費 629千円</li> <li>・委託料 30,297千円</li> <li>・使用料及び賃借料 3,290千円</li> <li>・工事請負費（受水槽周辺地盤改良工事・設計監理及び空調機更新工事） 24,300千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		観光入込客数（千人）					2,000	1,016	959		
観光消費額（百万円）					12,000	11,000	10,387				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	72,236	94,306	94,306	94,306	94,306						
財源内訳	一般財源	34,448	39,278	39,278	39,278						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	37,788	55,028	55,028	55,028						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		氷ノ山国際スキー場施設管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		11	住み続けられるまちづくりを				
	12	つくる責任、つかう責任		15	陸の豊かさを守ろう					
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	7	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費	
根拠法令等										
事業目的	対象	氷ノ山国際スキー場入山者等								
	背景と目的	指定管理者制度で管理運営を行う氷ノ山国際スキー場のうち、協定により市の責務となる部分について、適正な管理、事務執行を行い、指定管理者との協働により利用者の増加を図る。								
事業内容	事業概要	<p>ゲレンデ、駐車場等の借地料の支払いを行う。年次計画に基づく整備として、リフト整備工事、圧雪車、除雪車の修繕及び灯油地下タンクの修繕を指定管理料として指定管理者に支払い、指定管理者が発注して事業を行う。</p> <p>(歳出) ・指定管理料 53,610千円  リフト関係整備工事、圧雪車・除雪車修繕、灯油地下タンク修繕  ・土地・建物使用料 4,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		観光入込客数 (千人)				2,000	1,016	959		
観光消費額 (百万円)				12,000	11,000	10,387				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	29,000	57,610	57,610	57,610	57,610					
財源内訳	一般財源	29,000	57,610	57,610	57,610	57,610				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		あけのべ自然学校運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-3_次代に引き継ぐ豊かな自然環境（環境推進）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合					90%
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			12	つくる責任、つかう責任			
実施主体	養父市			担当課	商工観光課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	7	施設管理費	
根拠法令等										
事業目的	対象	あけのべ自然学校利用者等								
	背景と目的	豊かな自然環境の下で、野外活動の場と指導者を提供し、児童・生徒の校外教育活動の推進を図るとともに、日本遺産に認定された明延鉱山産業遺産等を活用して観光交流人口の増加を図る。「明延鉱山探検坑道」や「一円電車」等を通して明延鉱山史を伝えるとともに、近代日本を支えた明延地域の魅力を発信する。								
事業内容	事業概要	<p>1 あけのべ自然学校、明延鉱山探検坑道等の施設維持管理及び運営</p> <p>2 日本遺産認定された明延鉱山産業遺産の保存及び活用による観光交流人口の増加を図る</p> <p>(歳入) ・自然学校使用料など 14,364千円</p> <p>(歳出) ・報酬 3,593千円 ・報償費 2,232千円 ・旅費 180千円 ・需用費 8,234千円</p> <p>・役務費 934千円 ・委託料 2,370千円 ・使用料及び賃借料 2,084千円</p> <p>・工事請負費 15,279千円 ・負担金 9千円</p> <p>(フルタイム会計年度任用職員：職員グループ入力)</p> <p>・12,801千円 (報酬、時間外、通勤手当、報酬増額)</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		観光入込客数 (千人)			2,000	1,016	959			
観光消費額 (百万円)			12,000	11,000	10,387					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	60,578	48,825	48,825	48,825	48,825					
財源内訳	一般財源	33,522	34,461	34,461	34,461					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	27,056	14,364	14,364	14,364					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# まち 整 備 部

# 土地利用未来課

# 実施計画書

事業名		市有財産管理費			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを		15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費
根拠法令等									
事業目的	対象	市有財産（普通財産の土地・建物）及び廃校（企業誘致等）							
	背景と目的	公共施設等総合管理計画に基づき財産の総量縮減（調査、売却、譲渡など）を進めることにより、将来の財政基盤を整える。 また、遊休財産の有効利用のため、売却や貸付を行うとともに、市有財産の良好な維持管理を行う。							
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産（普通財産の土地・建物）の維持管理</li> <li>・借受地の維持管理（契約等手続き、賃借料の処理）</li> <li>・企業誘致廃校の貸地対応</li> <li>・処分（測量、登記、売却）</li> <li>・公共施設等総合管理計画の推進（調査、売却、譲渡など）</li> <li>・公共施設に係る損害共済加入等</li> </ul> <b>【主な歳出】</b> 市有施設解体工事 9,757千円（旧出合診療所、建屋大型農機具倉庫） 市有施設解体工事設計監理業務 2,755千円 <b>【主な歳入】</b> 公共施設等整備基金 12,512千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	14,194	26,318	12,000	12,000	12,000				
財源内訳	一般財源	12,262	11,871	10,000	10,000	10,000			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	1,932	14,447	2,000	2,000	2,000			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		交通政策事業費			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市		担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	企画費
根拠法令等	養父市自家用有償バス運送条例、養父市地方バス等公共交通維持確保対策補助金交付要綱								
事業目的	対象	養父市民等							
	背景と目的	<p>近年の急速な少子高齢化の進展、自家用車の利用割合の増加など、地域公共交通の維持が難しい状況である。</p> <p>地域住民の自立した日常生活及び社会生活の確保、観光その他地域間交流の促進などの課題に対処するため、地域公共交通の確保を図る。</p>							
事業内容	事業概要	<p><b>【主な歳出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転バス実証事業 174,000千円</li> <li>・生活交通維持確保対策 136,658千円</li> </ul> <p>路線バスの維持確保、コミュニティバスの運行及び出合バスターミナルの管理、自家用有償バスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用有償観光旅客等運送事業補助金 1,000千円</li> <li>・コミバス車両更新補助 13,300千円</li> <li>・鉄道利用促進 2,377千円</li> </ul> <p>養父駅業務委託、各種期成同盟会等への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬空港利用促進事業 6,106千円</li> </ul> <p>養父市コウノトリ但馬空港利用促進協議会による各種助成、但馬空港推進協議会負担金</p> <p><b>【主な歳入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通確保維持改善事業費補助金 174,500千円</li> <li>自家用有償バス運賃収入 222千円</li> </ul>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合			50.0%	10.2%	10.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	170,600	339,209	160,000	160,000	160,000				
財源内訳	一般財源	169,492	164,487	159,200	159,200	159,200			
	国支出金	1,000	174,500	500	500	500			
	県支出金								
	地方債								
	その他	108	222	300	300	300			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		空家等対策推進事業費			枝番	単位事業名	
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）					
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%			
	個別計画						
	横断的行動指針 (SDGs)	11 住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市		担当課	土地利用未来課			
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	6 環境衛生費	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法						
事業目的	対象	市民					
	背景と目的	空家等に対する基本的な姿勢を示した養父市空家等対策計画に基づき、市内の空家等の適切な管理の促進による防災、衛生、景観等の維持、向上を図り、住みたいまちづくりに寄与する。近年社会的構造の変化等に伴い年々増加する空家等の実態調査を実施し、調査の結果に基づく空家等対策計画の改訂を行う。					
事業内容	事業概要	<p>養父市空家等対策計画に基づき、国県の補助事業を利用して中長期的な事業展開により空家の利活用促進を図るとともに、市民生活に危害を及ぼす可能性のある特定空家等の除去など空家等対策を総合的かつ計画的に実施することで、市民の安全・安心な住環境の確保を図る。また、指導、勧告を行っても改善がみられない場合には、行政代執行を行う。</p> <p>【主な歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特定空家等除去支援事業6,660千円</li> <li>②修繕料（応急措置）840千円</li> <li>③老朽空屋等除去支援補助金5,000千円</li> <li>④行政代執行費用（委託料、工事請負費）5,000千円</li> </ul> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備交付金 3,330千円（補助率1/3）</li> <li>・老朽空き家等除去支援補助金 1,665千円（補助率1/4）</li> <li>・弁償金 5,000千円</li> </ul>					
	前年度からの変更点						
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
	特定空家等の除去件数		15	10	9		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)		
事業費	27,392	17,974	17,979	17,979	17,979		
財源内訳	一般財源	11,392	7,979	7,979	7,979	7,979	
	国支出金	3,335	3,330	3,335	3,335	3,335	
	県支出金	1,665	1,665	1,665	1,665	1,665	
	地方債						
	その他	11,000	5,000	5,000	5,000	5,000	

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		土木総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	公衆用道路等								
	背景と目的	公衆用道路等の適正な管理や国・県道の整備促進のための業務及び土地利用管理グループの管理部門の総務事務を効率的に実施するとともに、地理空間データの庁内共有により業務の効率化を図る。これにより、安全・安心で住みやすいまち、チャレンジできるまちの実現に向けた社会基盤整備の促進や許認可事務の円滑化を図る。								
事業内容	事業概要	①職員の専門知識や技術力の向上に必要な研修 60千円 ②道路河川愛護活動の支援（行政区や各種団体に軍手や燃料を支給）508千円 ③道路管理に必要な台帳システムの維持管理経費等 2,700千円 ④法定外公共物等の維持管理のための原材料支給 400千円 ⑤道路事業推進を目的とする各種団体への負担金 1,138千円 ⑥道路、河川及び治水等の大会参加及び要望活動事務 557千円 ⑦空間情報（GIS）の維持管理経費等 1,188千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	22,764	11,210	8,210	11,210	8,210					
財源内訳	一般財源	22,764	11,210	8,210	11,210	8,210				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-1_地域の価値を生かした仕事づくり（価値創造）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	庁用自動車									
	背景と目的	土地利用未来課所管庁用自動車3台の良好な維持管理により、通常業務の遂行及び災害時の救護、防災活動が円滑に実施され、安全で安心な住みよいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	土地利用未来課が管理している庁用自動車の維持管理に係る法定点検、車検、修繕及び燃料代等									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	664	674	700	674	700						
財源内訳	一般財源	664	674	700	674	700					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		用地総務一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	2	用地総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	国・県・市が実施する道路、河川、防災事業用地関係者									
	背景と目的	事業関係者との交渉及び関係機関との調整を行うとともに、取得用地の調査及び登記を実施することにより、事業を円滑に推進し、社会基盤整備の促進による住みたいまちづくりに貢献する。									
事業内容	事業概要	①国・県事業：事業説明会への随行及び関係機関、関係者との連絡調整 30千円 ②市事業：事業説明会への随行、法務局調査、用地立会、物件調査、単価決定、用地交渉、契約、登記、市道等の未登記処理対応 400千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標						目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	695	485	695	485	695						
財源内訳	一般財源	683	473	683	473	683					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	12	12	12	12	12					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		河川総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	17	パートナーシップで目標を達成しよう					
	10	人や国の不平等をなくそう								
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川総務費	
根拠法令等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律・砂防法 地すべり等防止法・急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律									
事業目的	対象	土砂災害警戒区域に居住する市民								
	背景と目的	河川を市民と協働で保全するとともに、土砂災害警戒区域等に対策を実施することで、将来に渡って危険を軽減し、安全で安心して暮らせる住みたいまちの継続的な実現に寄与する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①普通河川の維持管理</li> <li>②県が実施する急傾斜対策事業の地元負担金を市が負担する</li> <li>③河川事業推進を目的とする各種団体への負担金</li> <li>④雨水貯留施設設置促進のための補助金</li> </ul> <p>【主な歳出】急傾斜負担金30,000千円 クリーン作戦2,199千円 雨水貯留施設設置補助230千円</p> <p>【主な歳入】河川清掃費県補助金1,099千円（補助率1/2）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	54,193	33,205	33,205	33,205	33,205					
財源内訳	一般財源	5,594	3,606	3,606	3,606					
	国支出金									
	県支出金	1,099	1,099	1,099	1,099					
	地方債	47,500	28,500	28,500	28,500					
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		都市計画業務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費		
根拠法令等	都市計画法等・養父市条例（都市計画審議会）										
事業目的	対象	市民、都市計画施設、建築物等									
	背景と目的	<p>魅力ある生活環境を創造するまちづくりを行うため、都市基盤の整備に必要な都市施設等の計画決定など、都市計画に関する審議を行うとともに、市民生活の利便性向上など、快適で文化的な生活と良好な都市環境の確保を推進することにより、持続可能な住みたいまち、チャレンジできるまちづくりを目指す。</p> <p>また、官民協働による定住人口の維持増進を図る。</p>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会は、各種計画の審議・決定を行う。</li> <li>・都市計画法等に基づく開発行為、建築物及び工作物等の築造等に係る届出の受理、指導・助言、進達を行う。</li> <li>・都市計画施設の管理については、都市公園等市民に憩いの空間を提供し、快適に使用してもらうため、適正な維持管理を行う。</li> <li>・都市機能の充実、計画的な土地利用の推進を行う。</li> </ul> <p><b>【主な歳出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧養父グンゼ跡地活用 10,000千円</li> <li>・八鹿・氷ノ山IC周辺開発 5,000千円</li> <li>・宅地開発支援事業補助金 5,000千円</li> <li>・民間集合住宅等建築・リフォーム支援事業補助金 50,000千円</li> </ul> <p><b>【主な歳入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等整備基金 10,000千円</li> <li>・元気な養父づくり応援基金 50,000千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点	若者の定住を推進するため、IC周辺開発及び民間住宅建築・リフォーム支援を新たに行う。									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	21,902	71,092	71,092	71,092	71,092						
財源内訳	一般財源	11,902	11,092	11,092	11,092						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	10,000	60,000	60,000	60,000	60,000					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		屋外広告物管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費		
根拠法令等	兵庫県屋外広告物条例										
事業目的	対象	屋外広告設置者、市民									
	背景と目的	屋外広告について必要な規制を行うことで良好な景観の維持と公衆への危害を防止することを目的に、地域の良好な屋外広告環境の推進を図り、住みたいまちづくりへの環境を整える。									
事業内容	事業概要	<p>屋外広告物法、兵庫県屋外広告条例に基づき、美観風致の維持と公衆に対する危害を防止し、地域の良好な景観の形成を図るため、屋外広告物設置に係る許可事務を行うとともに、違反広告物のパトロール等を行う。</p> <p>【主な歳出】 説明会・研修会旅費 38千円</p> <p>【財源内訳】 屋外広告物許可手数料 88千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	88	88	88	88	88						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	88	88	88	88	88					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		土地利用規制等対策事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	15	陸の豊かさを守ろう							
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	
根拠法令等	国土利用計画法・公払法									
事業目的	対象	市民等								
	背景と目的	適正な土地利用の推進と都市の健全な発展及び秩序ある整備の促進のため、土地取引状況を把握することで、無秩序な地価の高騰等による国民生活に及ぼす弊害を抑制し、適正な土地取引と有効な土地利用の確保を図ることで、安全安心なまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>国土利用計画法に基づく土地取引の届出の受理・進達、公有地の拡大の推進に関する法律土地買取申出等の受理・処理を行う。</p> <p>【主な歳出】 消耗品（事務経費）5千円</p> <p>【財源内訳】 土地利用規制等対策費市町交付金 1千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5	5	5	5	5					
財源内訳	一般財源	4	4	4	4	4				
	国支出金									
	県支出金	1	1	1	1	1				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		「緑豊かな地域環境の形成条例」事務事業費		枝番		単位事業名						
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号					
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）										
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合					90%		
	個別計画											
	横断的行動指針 (SDGs)	15	陸の豊かさを守ろう									
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課							
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算					
予算費目	款	8	土木費		項	4	都市計画費		目	1	都市計画総務費	
根拠法令等	兵庫県緑豊かな地域環境の形成に関する条例											
事業目的	対象	市民、開発事業者										
	背景と目的	無秩序な開発を抑制し、森林等緑地保全の地域環境に配慮した適切な土地利用の推進を図るため、県条例に基づき開発行為の規制・誘導、適正な土地利用と緑豊かな地域環境の形成を推進し、チャレンジできるまちづくり、住みたいまちづくりを促進する。										
事業内容	事業概要	<p>無許可・無届の開発行為を防止するためのパトロールを行とともに、緑条例に基づく開発許可申請、協議・届出の指導・受理及び県への進達を行う。</p> <p>【財源内訳】 県支出金 移譲事務交付金          緑豊かな地域環境の形成に関する条例による開発行為等の指導等の事務分          89千円（定額）</p>										
	前年度からの変更点											
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)							
事業費	89	89	89	89	89							
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0						
	国支出金											
	県支出金	89	89	89	89	89						
	地方債											
	その他											

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		都市計画総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	
根拠法令等	建築基準法									
事業目的	対象	公共施設(建築物)								
	背景と目的	社会情勢の変化、公共施設の老朽化に伴い公共施設を修繕、改修するため、適切な設計積算及び監理を行い施設利用者の安心安全を確保するとともに維持管理費を低減させる。								
事業内容	事業概要	公共施設の修繕、改修工事の設計、監理に関する事務 <b>【主な歳出】</b> ・研修、講習会旅費 136千円 ・建築工事監理講習会受講手数料 198千円 ・CAD保守料 40千円 ・データ処理手数料 144千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	7,397	5,623	5,623	5,623	5,623					
財源内訳	一般財源	7,397	5,623	5,623	5,623					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		景観形成推進事業費			枝番	単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち				ページ番号				
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	15	陸の豊かさを守ろう							
実施主体	養父市		担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	
根拠法令等	その他（景観法・兵庫県景観の形成等に関する条例・養父市景観条例）									
事業目的	対象	市民、自然、風景、建築物、樹木、文化等を含む景観								
	背景と目的	将来にわたり残すべきの景観が、社会情勢の変化等により維持保全が困難な状況になりつつある中、市民との協働により、良好な景観の維持、向上、活用を促進することで住みたいまちの実現を推進し、地域活性化、観光交流促進及び定住促進を図る。								
事業内容	事業概要	<p>市民との協働による地域景観の向上、景観行政への理解、推進を図るため、市内外への景観啓発を積極的に行う。</p> <p>より主体的に景観行政を推進するため、市独自の景観計画、景観条例等に基づき、地域の実情に即したきめ細やかでより効果的な景観施策を展開する。</p> <p>また、市内にある優良な古民家を地域活動や交流の拠点、店舗等地域の賑わいや活性化に資する施設として再生する改修工事を支援する。</p> <p>【主な歳出】 古民家再生促進支援事業 5,000千円</p> <p>【主な歳入】 社会資本整備総合交付金（補助率1/2）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		景観に関する地域指定件数				11	10	10		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,784	5,464	5,464	5,464	5,464					
財源内訳	一般財源	5,784	2,964	2,964	2,964					
	国支出金	5,000	2,500	2,500	2,500					
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		建築確認事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	
根拠法令等	建築基準法									
事業目的	対象	建築物の建築主等								
	背景と目的	良好な市街地形成の推進と、建築物の安全・公衆衛生の確保を図り、住みたいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>建築物、工作物等の確認申請に対し、予定敷地に係る建築基準法等の法令上の制限調査を行う。</p> <p>【主な歳入】 建築確認調査業務受託収入 60千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	60	60	60	60	60					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	60	60	60	60	60				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		住まいの耐震化促進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市				担当課	土地利用未来課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費		項	5	住宅費		目	1	住宅総務費
根拠法令等	社会資本整備総合交付金、ひょうごの住宅防災・安全整備計画										
事業目的	対象	昭和56年5月以前に建築された市内の住宅									
	背景と目的	東日本大震災や熊本地震で家屋の大被害を受けた建物の多くが、昭和56年5月以前に建築された住宅であった。将来予想される南海トラフ地震に備えた住宅の耐震設計及び工事による耐震補強を促進するため、耐震診断費、計画策定(設計計画)費及び工事費を補助し市民の生命と財産を守り、住み続けられるまちづくりを目指す。									
事業内容	事業概要	<p><b>【主な歳出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易耐震診断 10件： 315千円</li> <li>・耐震改修計画策定 2件： 400千円</li> <li>・耐震改修工事 2件： 2,600千円</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b> 社会資本整備総合交付金、ひょうごの住宅防災・安全整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易耐震診断(国、県)： 227千円</li> <li>・耐震改修計画策定(県)： 200千円</li> <li>・耐震改修工事(国)： 1,200千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	3,355	3,355	3,355	3,355	3,355						
財源内訳	一般財源	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728					
	国支出金	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357					
	県支出金	270	270	270	270	270					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		住宅新築資金等徴収事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-2_誰一人取り残さない地域コミュニティ（地域組織）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			12 つくる責任、つかう責任			5 ジェンダー平等を実現しよう			
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費		項	5	住宅費		目	1	住宅総務費
根拠法令等	養父市条例（151号）										
事業目的	対象	住宅新築資金、改修資金の貸付金の利用者									
	背景と目的	昭和44年から平成6年までの間に、旧地域改善対策特別措置法に基づく対象地域に居住するものに対し、住環境の整備及び向上を目的に、住宅の新築や改修に必要な資金の貸付を行ってきており、現在はその償還事務を実施している。									
事業内容	事業概要	現在は貸付を行っておらず、償還事務のみとなっている。（該当者37名） 償還完了に向け定期的に納付されている人がいる一方で、借受人・連帯保証人が高齢又は死亡により、償還が困難になっている事例が多いことから、債権放棄（不納欠損）も視野に手続きを進めていく。									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	50	50	50	50	50						
財源内訳	一般財源	50	50	50	50						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		市営住宅管理費			枝番		単位事業名									
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号								
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）														
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%											
	個別計画															
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			12 つくる責任、つかう責任											
	5 ジェンダー平等を実現しよう															
実施主体	養父市			担当課	土地利用未来課											
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算								
予算費目	款	8	土木費	項	5	住宅費	目	2	住宅管理費							
根拠法令等	公営住宅法															
事業目的	対象	市営住宅及び市営住宅入居者														
	背景と目的	①市営住宅総戸数を適正化（木造等を募集停止） ②移住促進や子育て層定住等に活用、セーフティネット機能 ③予防保全により維持管理費を縮減 以上により、住みたい、子育てしたい、健康に暮らせる市営住宅を目指す。														
事業内容	事業概要	市営住宅の入居者募集、施設修繕等維持管理を行う。また、コンクリート造の市営住宅を長寿命化するための市営住宅長寿命化計画の改訂を行う。  <b>【建設費】</b> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市営宿南住宅外壁改修工事</td> <td style="text-align: right;">25,582千円(社会資本)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市営加保団地解体工事</td> <td style="text-align: right;">17,182千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市営加保団地解体工事設計監理業務</td> <td style="text-align: right;">4,290千円</td> </tr> </table> <b>【財源内訳】</b> 国庫交付金 社会資本整備総合交付金 12,791千円(25,582千円/2)									市営宿南住宅外壁改修工事	25,582千円(社会資本)	市営加保団地解体工事	17,182千円	市営加保団地解体工事設計監理業務	4,290千円
	市営宿南住宅外壁改修工事	25,582千円(社会資本)														
	市営加保団地解体工事	17,182千円														
市営加保団地解体工事設計監理業務	4,290千円															
前年度からの変更点																
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)									
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)											
事業費	79,808	68,346	68,346	68,346	68,346											
財源内訳	一般財源	3,740	0	0	0											
	国支出金	3,500	12,791	12,791	12,791											
	県支出金															
	地方債															
	その他	72,568	55,555	55,555	55,555											

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 地籍調查課

# 実施計画書

事業名		地籍調査事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを	15	陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市				担当課	地籍調査課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6	地籍調査費		
根拠法令等	国土調査法										
事業目的	対象	市内の土地、及び地権者									
	背景と目的	<p>○現在、法務局にある地図及び登記簿は、形状や面積など土地の実態が曖昧である。</p> <p>○国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・地積・境界の調査を行い、地籍図及び地籍簿を作成し、地籍の明確化を図り、土地行政の基礎資料とし、公租公課等税の公平化、土地資産の保全や紛争を防止することで、将来土地を引継ぐ子や孫の世代になっても安心して「住み続けられるまちづくり」の実現を目的とする。</p>									
事業内容	事業概要	<p>1. 地籍調査対象面積404.96km<sup>2</sup>（養父市総面積422.91km<sup>2</sup>－国有林・公有水面除外面積17.95km<sup>2</sup>）令和5年度末までの地籍調査実施済面積は137.83km<sup>2</sup>、進捗率は34.0%</p> <p>2. 令和6年度調査計画区域面積 22.62km<sup>2</sup>（換算面積 4.31km<sup>2</sup>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規 7計画区、継続 24計画区、現地調査 5計画区</li> <li>・山林区域における航空レーザー測量を活用した調査を拡大（2計画区4.67km<sup>2</sup>）</li> </ul> <p>（歳入）・地籍調査事業委託金 120,000千円（県営：国1/2、県1/2）</p> <p>・地籍調査事業補助金 18,750千円（市営：国1/2、県1/4、市1/4【6,250千円】）</p> <p>（歳出）・推進委員報償 1,890千円 ・資材費（境界杭等） 2,262千円</p> <p>・調査業務委託料 127,712千円 ・消耗品費ほか 7,411千円</p> <p>・会計年度任用職員（3名）9,203千円（月額2名 6,728千円、時間給1名 2,475千円）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
	地籍調査進捗率 (%)			35.0	34.0	31.7					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	155,412	148,478	162,000	162,000	162,000						
財源内訳	一般財源	11,863	9,723	11,995	11,995						
	国支出金										
	県支出金	143,544	138,750	150,000	150,000						
	地方債										
	その他	5	5	5	5						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 建設課

## 実施計画書

事業名		交通安全施設整備事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	交通安全対策費	
根拠法令等	道路法第16条、第42条									
事業目的	対象	市道を利用する市民								
	背景と目的	市道（延長514.9km、1234路線）における交通事故を減少させ、安全な通行を確保するため、交通安全施設の整備を行い、安心して快適な住みやすいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>交通事故防止及び円滑な交通確保のため、地元からの要望や道路パトロール等により発見した安全対策が必要な交通安全施設（道路反射鏡、ガードレール、転落防止柵等）の設置、改善を行う。</p> <p>市民課所管事業のハード部分を建設課が対応する。</p> <p>〔歳出〕 工事請負費 5,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		地区要望等による交通安全施設の整備件数					11	7	8	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
財源内訳	一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名						
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号					
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）											
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%									
	個別計画												
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を						
	11	住み続けられるまちづくりを											
実施主体		養父市			担当課	建設課							
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算					
予算費目		款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	2	農業総務費	
根拠法令等													
事業目的	対象												
	背景と目的												
事業内容	事業概要	<p>建設課の管理する車両2台の維持管理費用</p> <p>[歳出] 需用費（燃料費他）、役務費（自動車検査手数料他）、公課費（重量税） 631千円</p>											
	前年度からの変更点												
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)			実績見込 (R5)			実績 (R4)
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)		R7年度 (千円)		R8年度 (千円)		R9年度 (千円)				
事業費		684	631		684		631		684				
財源内訳	一般財源	684	631		684		631		684				
	国支出金												
	県支出金												
	地方債												
	その他												

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		土地改良施設等維持事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市管理農道を利用する市民								
	背景と目的	市管理農道の補修や草刈り、除雪を実施し、適切な維持管理に努める。								
事業内容	事業概要	<p>1. 市管理農道維持修繕          [歳出] 修繕料 3,000千円          工事請負費（パッチング）2,000千円</p> <p>2. 市管理農道12路線の維持管理（除草作業1,110千円、凍結剤散布1,000千円）          [歳出] 委託料 2,110千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		市管理農道修繕路線数				10	7	0		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	7,889	7,834	7,834	7,834	7,834					
財源内訳	一般財源	7,889	7,834	7,834	7,834	7,834				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		林業総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市管理林道を利用する関係者								
	背景と目的	林道整備事業等に係る経費 県営森林基幹道須留ヶ峰線の整備により、持続可能な林業を推進するとともに、森林を活用した新たな産業にチャレンジできる環境づくりに努める。								
事業内容	事業概要	〔歳出〕 普通旅費 65千円 需用費（消耗品費）30千円 役務費（システム更新手数料）139千円 使用料（システム等使用料）454千円 森林基幹道須留ヶ峰線工事負担金 4,000千円 ※事業主体は県、工事費の10%を市が負担								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	12,095	4,688	4,688	14,688	9,688					
財源内訳	一般財源	12,095	888	4,688	4,888	7,188				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	県支出金	0	0	0	0	2,500				
	地方債	0	3,800	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		林道維持管理費			枝番		単事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市				担当課	建設課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費	目	4	林道事業費	
根拠法令等											
事業目的	対象	市内林道を利用する関係者									
	背景と目的	市内林道の適切な維持管理を行い、森林資源の保全と大規模災害の未然防止を図ることで持続可能な林業を推進するとともに、森林を活用した新たな産業にチャレンジできる環境づくりに努める。									
事業内容	事業概要	<p>1. 市管理林道22路線の維持管理 〔歳出〕 修繕料 3,000千円 委託料（上村米地線、新津・伊豆線の除草作業）660千円</p> <p>2. 林道施設長寿命化対策事業（林道橋梁58橋（4m以上）の5年毎の点検・診断） 〔歳出〕 調査業務委託料 31,460千円 〔歳入〕 31,460千円×51%≒16,000千円（林道点検診断・保全整備事業補助金）</p> <p>3. 市管理林道維持修繕工事 〔歳出〕 工事請負費 2,000千円（パッチング）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	24,378	37,549	36,089	36,089	26,089						
財源内訳	一般財源	6,292	21,549	20,789	20,789	15,889					
	国支出金										
	県支出金	9,486	16,000	15,300	15,300	10,200					
	地方債	8,600									
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		市単独治山事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	5	治山事業費	
根拠法令等	森林法第10条の15第4項第4号、第41条第1項、第3項、地すべり防止法第2条第4項									
事業目的	対象	治山堰堤等の下流域の市民								
	背景と目的	治山堰堤等の下流域における土砂流出等による被害を軽減するため、水路等の整備及び災害防止のための谷止め対策等を行うことで、安全で安心して住み続けたいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	1. 治山施設修繕 [歳出] 修繕料 2,000千円  2. 治山堰堤の流末排水路整備（小城地区） [歳出] 工事請負費 12,200千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	14,200	14,400	14,400	14,400	14,400					
財源内訳	一般財源	14,200	4,500	14,400	14,400	14,400				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債		9,900							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		道路橋りょう総務一般事務費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象									
	背景と目的	建設課所管の事務を執行するための経費								
事業内容	事業概要	<p>各種研修会、協議会等への参加旅費及び負担金、工事発注に必要な設計・積算業務に係る経費等</p> <p>〔歳出〕 普通旅費 320千円            需用費（修繕料、消耗品費、積算データ利用料） 1,719千円            役務費（携帯電話料金、設計支援システム更新手数料） 110千円            使用料（積算システム） 800千円            負担金（研修負担金、電源立地関係協議会負担金、高専インフラメンテナンス人材育成推進機構負担金） 73千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,964	3,022	3,022	3,022	3,022					
財源内訳	一般財源	2,964	3,022	3,022	3,022					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		道路橋りょう維持事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費	
根拠法令等	道路法第16条、第42条									
事業目的	対象	市道、橋梁を利用する市民								
	背景と目的	市道（延長514.9km、1234路線）を将来にわたって危険のない良好な状態に保つために、メンテナンスを行い、安全安心な通行を確保することで快適で暮らしやすく住み続けたいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 市道や橋梁の維持管理          [歳出] 需用費（修繕料） 13,130千円          委託料 7,066千円（市道側溝清掃・除草、道路管理パトロール）</p> <p>2. 道路パトロール及び市民からの情報に基づく施設の修繕工事（舗装・側溝・法面等）          [歳出] 工事請負費 24,095千円（パッチング15,000千円、道路維持修繕9,095千円）</p> <p>3. 道路維持車両更新事業          [歳出] 公用車購入費 11,928千円（軽トラック、道路パトロール車の更新）          [歳入] 社会貢献広報事業交付金 6,000千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検実施数				0	0	182			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	61,119	60,097	107,753	96,053	94,553					
財源内訳	一般財源	53,846	54,097	73,453	66,053	65,453				
	国支出金	7,273		34,300	30,000	29,100				
	県支出金									
	地方債									
	その他		6,000							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		除雪対策事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを								
	13	気候変動に具体的な対策を									
実施主体	養父市			担当課	建設課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費		項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費	
根拠法令等	道路法第16条、第42条										
事業目的	対象	積雪により通行が困難になる市道及び市民									
	背景と目的	生活道路（原則市道）の迅速な除雪により、通勤・通学時の交通を確保するほか、在宅医療や要介護者に必要な往診や受診、緊急車両の交通を確保し、市民の生命・財産を守ることと暮らしやすく住み続けたいまちづくりの環境を整える。									
事業内容	事業概要	1. 除雪機械の維持管理 〔歳出〕 需用費（修繕料） 11,650千円 2. 除雪作業 〔歳出〕 GPS除雪管理システム保守管理委託料 1,146千円 除雪委託料 61,510千円 〔歳入〕 除雪委託50,000千円×2/3≒33,333千円（社会資本整備総合交付金） 3. 除雪機械整備事業 〔歳出〕 備品購入費（5t級ドーザ2台、8t級ドーザ1台） 40,034千円 〔歳入〕 40,034千円×2/3≒26,600千円（社会資本整備総合交付金） 4. 小型除雪機購入補助金 〔歳出〕 小型除雪機購入補助金 3,000千円（下網場、下小田、下八木、大江、上網場、他1地区） ※購入価格の70%以内、上限50万円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	147,033	131,503	139,469	111,469	91,469						
財源内訳	一般財源	56,500	56,570	56,536	56,536	56,536					
	国支出金	33,533	60,133	33,533	33,533	33,533					
	県支出金	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400					
	地方債	52,000	13,400	48,000	20,000						
	その他	3,600									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		道路橋りょう補修事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費	
根拠法令等	道路法第16条、第42条									
事業目的	対象	市道、橋梁を利用する市民								
	背景と目的	市道（延長514.9km、1234路線）を将来にわたって危険のない良好な状態に保つために、メンテナンスを行い、安全安心な通行を確保することで快適で暮らしやすく住み続けたいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	<p>1. 橋梁長寿命化対策事業（道路メンテナンス事業補助金）          [歳出] 委託料 185,100千円（補修設計24橋） 工事請負費 230,529千円（補修工事15橋）          [歳入] 410,429千円×62.7%≒253,900千円</p> <p>2. 通学路安全対策事業（社会資本整備総合交付金）          [歳出] 工事請負費 10,100千円 [歳入] 10,000千円×62.7%≒6,200千円</p> <p>3. 市道九鹿小佐線歩道整備事業（社会資本整備総合交付金）          [歳出] 工事請負費 19,479千円 [歳入] 19,379千円×62.7%≒12,100千円</p> <p>4. 市道路面維持補修事業          [歳出] 工事請負費 49,776千円（坂本線、葛畑大久保線）</p> <p>5. 市道京口堤防線補修事業          [歳出] 工事請負費 10,016千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		橋梁長寿命化修繕計画に基づき工事を実施（発注）した橋梁数					31	9	9	
市道路面補修路線数					2	4	3			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	130,300	505,000	214,300	245,400	245,400					
財源内訳	一般財源	21,075	9,900	9,200	9,200					
	国支出金	52,325	272,200	112,000	131,500					
	県支出金									
	地方債	56,900	222,900	93,100	104,700					
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		道路橋りょう整備事業費（単独）		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	3	道路橋りょう新設改良費	
根拠法令等	道路法第16条、第42条									
事業目的	対象	市道を利用する市民								
	背景と目的	既存道路の拡幅、改良による強靱なインフラ構築を通し、安全安心な通行を確保することで、快適で暮らしやすく住み続けたいまちづくりを推進する。								
事業内容	事業概要	1. 市道出合轟1号線道路改良事業 [歳出] 委託料（用地測量）1,144千円 土地購入費4,847千円 2. 市道養父市場上藪崎線排水対策事業 [歳出] 工事請負費 33,954千円 3. 市道米地線落石対策事業 [歳出] 工事請負費 4,981千円 4. 市道横行線道路改良事業（電源立地地域対策交付金） [歳出] 工事請負費 4,500千円 [歳入] 電源立地地域対策交付金 4,400千円 5. 市道大久保1号線道路改良事業 [歳出] 工事請負費 10,200千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	123,500	59,626	53,500	22,500	4,500					
財源内訳	一般財源	25,800	5,226	100	100	100				
	国支出金									
	県支出金	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400				
	地方債	93,300	50,000	49,000	18,000	0				
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		道路橋りょう整備事業費（補助）		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市			担当課	建設課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	3	道路橋りょう新設改良費
根拠法令等	道路法第16条、第42条								
事業目的	対象	市道を利用する市民							
	背景と目的	広域交通ネットワーク及び主要観光地等へのアクセス強化により、交流人口の増加を促進して市の活性化を図り、活気あふれた快適で暮らしやすく住み続けたいまちづくりの実現に寄与する。							
事業内容	事業概要	<p>1. 市道小路頃鹿倉口線ほか道路改良事業（社会資本整備総合交付金） 〔歳出〕 工事請負費 50,018千円（旧鹿倉口橋撤去）〔歳入〕 49,918千円×57%≒28,400千円</p> <p>2. 市道朝倉高柳線道路改良事業（道整備交付金） 〔歳出〕 工事請負費 76,968千円 〔歳入〕 74,000千円×50%=37,000千円</p> <p>3. 市道小山朝倉新道線道路新設事業（道整備交付金） 〔歳出〕 測量設計業務委託料 56,933千円 〔歳入〕 56,800千円×50%=28,400千円</p> <p>4. 仮称）杉の界橋整備事業（社会資本整備総合交付金） 〔歳出〕 測量設計業務委託料 28,907千円 〔歳入〕 28,807千円×57%≒16,400千円</p> <p>5. 仮称）市道口大屋1号線道路改良事業（社会資本整備総合交付金） 〔歳出〕 工事請負費 64,603千円 〔歳入〕 64,503千円×57%≒36,700千円</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	15,600	277,429	145,400	65,100	80,200				
財源内訳	一般財源	188	629	200	100	200			
	国支出金	8,912	146,900	79,600	32,500	40,000			
	県支出金								
	地方債	6,500	129,900	65,600	32,500	40,000			
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		河川維持事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	建設課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費		項	3	河川費		目	2	河川維持費
根拠法令等											
事業目的	対象	河川水位上昇により浸水被害が発生するおそれのある地域に住む市民									
	背景と目的	河川水位上昇に伴う浸水被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ることで、安全安心な暮らしやすく住み続けたいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>市が管理する普通河川の堆積土砂撤去及び護岸整備などの対策工事を実施する。</p> <p>1. 普通河川整備事業          [歳出] 修繕料 5,000千円 (20箇所)          工事請負費 13,500千円 (8河川 浚渫 朝倉川、駅前川、今滝寺川、田路谷川、上野川、大塚川、清水川、家ノ前川)          (筏区流雪溝大屋川堤外水路修繕工事)</p> <p>2. (普) 大塚川他河川改修事業          [歳出] 工事請負費 19,996千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		普通河川の修繕箇所数					20	20	14		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	21,000	38,496	5,000	5,000	5,000						
財源内訳	一般財源	8,200	9,596	5,000	5,000						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債	12,800	28,900								
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		都市下水道事業費			枝番		単事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	建設課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	2	下水道費		
根拠法令等	養父市防災計画、下水道法										
事業目的	対象	河川水位上昇により浸水被害が発生するおそれのある地域に住む市民									
	背景と目的	河川水位上昇に伴う浸水被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ることで、安全安心な暮らしやすく住み続けたいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>1. 山本下水道ポンプ場及び京口ポンプ場の維持管理 〔歳出〕 需用費（修繕料、電気料金他）1,690千円</p> <p>2. 雨水排水施設長寿命化対策事業（下網場ポンプ場耐震対策工事） 〔歳出〕 工事請負費 122,100千円 〔歳入〕 122,000千円×50%=61,000千円（社会資本整備総合交付金）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	53,296	124,596	192,596	194,596	192,596						
財源内訳	一般財源	3,596	5,696	2,596	2,596						
	国支出金	25,500	61,000								
	県支出金										
	地方債	24,200	57,900								
	その他			190,000	192,000		190,000				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		災害応急対策費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	建設課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	11	災害復旧費	項	1	災害応急対策費	目	1	災害応急対策費		
根拠法令等											
事業目的	対象	土砂流出や倒木で寸断された道路を通行する市民									
	背景と目的	応急措置による早期の道路交通確保や、河川・水路等の閉塞部の解消により、災害時の救援活動、防災活動が円滑に実施され、安全安心で住み続けたいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>災害により被災した市管理の公共施設の応急的復旧のため、迅速かつ適切な措置を講じる。</p> <p>〔歳出〕 需用費（修繕料）1,000千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000						
財源内訳	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		林業施設現年単独災害復旧事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を					
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	11	災害復旧費	項	2	農林水産業施設災害復旧費	目	2	林業施設災害復旧費	
根拠法令等										
事業目的	対象	災害で被災した林道を通行する市民								
	背景と目的	災害復旧工事を実施し、林業施設を被災前の常態に復旧することで、安心して林業が続けられ、挑戦できるまちづくりに寄与する。								
事業内容	事業概要	災害の規模や採択条件により国庫補助の対象にならない林業施設復旧工事を実施する。 [歳出] 工事請負費 1千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1	1	1	1	1					
財源内訳	一般財源	1	1	1	1	1				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		林業施設現年補助災害復旧事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を			
	11	住み続けられるまちづくりを								
実施主体	養父市			担当課	建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	11	災害復旧費	項	2	農林水産業施設災害復旧費	目	2	林業施設災害復旧費	
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業国庫補助									
事業目的	対象	災害で被災した林業施設を使用する市民								
	背景と目的	災害復旧工事を実施し、林業施設を被災前の常態に復旧することで、誰でも安心して林業が続けられ、挑戦できるまちづくりに寄与する。								
事業内容	事業概要	林業施設災害復旧事業にて林業施設復旧工事を実施する。 〔歳出〕 工事請負費 1千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1	1	1	1	1					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金	1	1	1	1	1				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		土木施設現年単独災害復旧事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市				担当課	建設課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	11	災害復旧費	項	3	公共土木施設災害復旧費	目	1	公共土木施設災害復旧費		
根拠法令等											
事業目的	対象	災害で被災した公共土木施設（市道・普通河川）を使用する市民									
	背景と目的	災害復旧工事を実施し、公共土木施設（市道・普通河川）を被災前の状態に復旧することで、安全で安心して快適に暮らせる住み続けたいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>災害の規模や採択条件により国庫補助の対象にならない公共土木施設復旧工事を実施する。</p> <p>[歳出] 工事請負費 1千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1	1	1	1	1						
財源内訳	一般財源	1	1	1	1						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		土木施設現年補助災害復旧事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市				担当課	建設課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	11	災害復旧費	項	3	公共土木施設災害復旧費	目	1	公共土木施設災害復旧費		
根拠法令等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担										
事業目的	対象	災害で被災した公共土木施設（市道・普通河川）を使用する市民									
	背景と目的	災害復旧工事を実施し、公共土木施設（市道・普通河川）を被災前の状態に復旧することで、安全で安心して快適に暮らせる住み続けたいまちづくりに寄与する。									
事業内容	事業概要	公共土木施設災害復旧事業（国庫）にて公共土木施設復旧工事を実施する。 〔歳出〕 工事請負費 1千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1	1	1	1	1						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金	1	1	1	1						
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 上下水道課

# 実施計画書

事業名		下水サーベイランス事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	上下水道課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	予防費	
根拠法令等										
事業目的	対象	市民、医療関係者								
	背景と目的	下水サーベイランス事業は市内の新型コロナウイルス感染動向を監視し、その動向を可視化することで市民の感染予防対策に活用している。 令和6年度からは新型コロナウイルス以外の感染症の監視にも拡大し、身近な感染症情報を市民や医療機関に提供することで、公衆衛生環境の向上を図り市民の暮らしの安全安心の向上に寄与する。								
事業内容	事業概要	市内4カ所の浄化センターで週1回の下水サンプルを採水、汚水中のウイルス濃度を計測し、養父市内の感染流行状況を分析する。解析したデータに基づき、市ホームページや庁舎投影などの手法で解析結果を可視化し市民に注意喚起を図る。 採水箇所 4施設 (八鹿浄化センター、養父中央浄化センター、大屋浄化センター、関宮中部浄化センター) 採水頻度 週1回 調査項目 (調査期間) コロナ(1年間)、ノロ(1年間)、インフルエンザ(半年) 財源 創生基金 費用 調査費: 22,809,600円/年 全国下水サーベイランス推進協議会負担金: 100,000円								
	前年度からの変更点	週2回採水を週1回、新型コロナウイルス以外のノロ、インフルエンザウイルスも調査								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)		
		先進的調査研究事例			1事例					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,000	22,910	22,910	22,910	22,910					
財源内訳	一般財源	10,000								
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		22,910	22,910	22,910	22,910				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		し尿処理施設管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	上下水道課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費	
根拠法令等	養父市衛生公園設置及び管理条例									
事業目的	対象	市内及び他府県からのし尿・浄化槽汚泥								
	背景と目的	し尿・浄化槽汚泥を適正に処理することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。								
事業内容	事業概要	<p>衛生公園のし尿処理施設を民間業者に委託し、市内のし尿・浄化槽汚泥及び他市町・広域組合のし尿及び浄化槽汚泥等の処理を行う。</p> <p>(歳入) 土地建物貸付収入 50,250千円 し尿収集手数料 1,817千円          浄化槽清掃手数料 670千円          (歳出) 収集運搬手数料 13,640千円 廃棄物処理手数料 38,665千円          その他 432千円</p>								
	前年度からの変更点	清掃汚泥の受入量が増加傾向								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	45,212	52,737	52,737	52,737	52,737					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	45,212	52,737	52,737	52,737	52,737				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		し尿収集管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数	65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合						90%
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	上下水道課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費		
根拠法令等	養父市衛生公園設置及び管理条例										
事業目的	対象	市内のくみ取り世帯や仮設トイレ設置の事業者									
	背景と目的	養父市内で発生する「し尿」を適正に収集することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
事業内容	事業概要	<p>市内のくみ取り世帯や仮設トイレ設置の事業者からの依頼を受け、し尿の汲み取り（収集）、及び処理を行う。平成20年度より民間業者に委託して事業運営を行っている。</p> <p>(歳入) し尿収集手数料 8,493千円                  (歳出) 収集・運搬手数料 6,424千円 廃棄物処理手数料 2,008千円                  その他 61千円</p>									
	前年度からの変更点	し尿の受入量の増を見込む									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	5,831	8,493	8,493	8,493	8,493						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	5,831	8,493	8,493	8,493	8,493					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		合併処理浄化槽施設管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に	11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	上下水道課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	4	合併処理浄化槽施設費	
根拠法令等	養父市衛生公園設置及び管理条例 養父市合併処理浄化槽修繕に関する要綱									
事業目的	対象	市内の合併処理浄化槽設置利用者								
	背景と目的	浄化槽区域の生活雑排水処理を適切に行うことで、水質汚濁防止と生活環境改善を図る。								
事業内容	事業概要	<p>浄化槽管理業者（設置者）からの依頼を受け浄化槽汚泥の収集及び処理を実施。平成20年度より民間業者に委託して事業運営を行っている。 合併処理浄化槽修繕に関する要綱に基づき浄化槽の修繕を実施。</p> <p>（歳入） 浄化槽清掃手数料 13,843千円 （歳出） 収集運搬手数料 10,010千円 廃棄物処理手数料 2,750千円 消耗品 555千円 修繕料 400千円 その他 128千円</p>								
	前年度からの変更点	浄化槽汚泥の受入量の増を見込む								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	12,196	13,843	13,843	13,843	13,843					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	12,196	13,843	13,843	13,843	13,843				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		合併処理浄化槽施設整備費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	6 安全な水とトイレを世界中に			11 住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	上下水道課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	4	合併処理浄化槽施設費	
根拠法令等	養父市合併処理浄化槽設置整備補助金交付要綱									
事業目的	対象	合併処理浄化槽区域において浄化槽を設置する市民及び事業者								
	背景と目的	集合処理区域外における合併処理浄化槽の設置を促し、移住定住のための生活環境改善に寄与する。								
事業内容	事業概要	合併処理浄化槽区域に浄化槽を設置する市民及び事業者に対して、補助金を交付 ※1. 5人槽390,000円 6~7人槽474,000円 8~10人槽660,000円 ※2. 個人宅に設置するものに対しては、151,000円の市単独補助金を別に加算  (歳入) 循環型社会形成推進交付金(国) 交付率 1/3 418千円 (歳出) 合併浄化槽設置補助金 1,707千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	1,707	1,707	1,707	1,707	1,707					
財源内訳	一般財源	1,447	1,289	1,289	1,289	1,289				
	国支出金	260	418	418	418	418				
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		水道事業会計			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	上下水道課						
会計区分	水道事業会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款			項			目				
根拠法令等	養父市給水条例、養父市給水施設の設置及び管理条例										
事業目的	対象	水道給水区域の市民・事業者等及び給水施設使用者（八鹿町日畑、長野（唐川）地域の住民）									
	背景と目的	水道は、住民の生活・健康を維持する上で重要な役割を果たしており、水道施設の適正な管理と整備を行うことで、安全で良質な水を安定的に供給し、移住定住のための生活環境の向上に寄与する。									
事業内容	事業概要	<p>本会計では、水道事業と給水施設事業の管理を行う。</p> <p>①水道施設（水道事業及び給水施設事業）の維持管理</p> <p>②施設整備</p> <p>主な令和6年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋上系・下系統合整備事業（実施設計）</li> <li>・宿南配水池濁度計設置工事</li> <li>・道路改良に伴う水道管移設工事 ほか</li> </ul> <p>③公債費の償還</p>									
	前年度からの変更点	他会計出資金（基準外）の減									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	有収水量（上水道）				2,500千m <sup>3</sup>	2,400千m <sup>3</sup>	2,458千m <sup>3</sup>				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	2,355,166	1,222,259	1,222,194	1,202,595	1,369,510						
財源内訳	一般財源	53,881	533,515	524,604	517,075	509,654					
	国支出金		6,900	38,600	22,800						
	県支出金										
	地方債	17,900	28,200	158,300	178,400	390,000					
	その他	1,802,385	653,644	500,690	484,320	469,856					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		下水道事業会計			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号			
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）									
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%							
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	6	安全な水とトイレを世界中に			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	上下水道課						
会計区分	下水道事業会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款			項			目				
根拠法令等	養父市下水道条例										
事業目的	対象	下水道の利用者									
	背景と目的	下水道は、住民の日常生活に不可欠な施設である。処理施設の適正な維持管理と施設整備を行うことで、河川等の公共用水域の水質を保全するとともに、移住定住のための生活環境の向上を図る。									
事業内容	事業概要	<p>本会計では、下水道6事業及びコミュニティ・プラント事業の管理を行う。</p> <p>①下水道施設の維持管理</p> <p>②施設整備            主な令和6年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化事業 工事（八鹿、八木、関宮東部）</li> <li>・非常通信システム設備更新（公共、特環、農集）</li> <li>・マンホールポンプ更新（コミプラ）</li> <li>・長寿命化事業 設計（公共、特環、農集）</li> </ul> <p>③公債費の償還</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		有収水量（下水道）				2,200千m <sup>3</sup>	2,150千m <sup>3</sup>	2,165千m <sup>3</sup>			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	2,472,083	2,333,680	2,207,545	2,187,632	2,088,413						
財源内訳	一般財源	472,903	474,407	469,912	465,229	460,597					
	国支出金	167,000	84,902	75,000	75,000	75,000					
	県支出金	25,000	24,715	25,000	25,000	25,000					
	地方債	623,700	612,000	483,900	447,800	332,300					
	その他	1,183,480	1,137,656	1,153,733	1,174,603	1,195,516					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

こども・夢・えがお部

# 子育て応援課

# 実施計画書

事業名		エスポワールこじか運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに			
	5	ジェンダー平等を実現しよう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費	
根拠法令等	エスポワールこじか設置及び管理条例									
事業目的	対象	障がい児及びその保護者								
	背景と目的	心身に発達遅れ又はその疑いのある児童と保護者に対して通所の場を設けて、療育・訓練・指導等発達支援事業を行い児童の心身の発育を促す。								
事業内容	事業概要	<p>エスポワールこじかを設置（朝来市、香美町と共同）し、就学前の幼児を対象に児童発達支援事業を、就学後は小学校1年生を対象として放課後等デイサービス事業を実施する。          平成29年10月から市民ニーズに基づき超早期療育（0～2歳）に対応          平成30年度から療育の内容を体験できるオープン療育を実施          ※令和6年度から令和11年度まで神戸聖隷福祉事業団に指定管理（5期目）</p> <p>（歳入）その他：エスポワールこじか各市町負担金8,394千円          ※朝来市7,174千円、香美町1,220千円          （歳出）需用費1,071千円（修繕料）          委託料13,179千円（指定管理料）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		一日平均利用者数（定員10人）				10	8.2	8.1		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	13,559	14,250	13,799	13,799	13,799					
財源内訳	一般財源	5,302	5,856	5,679	5,679	5,679				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	8,257	8,394	8,120	8,120	8,120				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を			<b>4</b> 質の高い教育をみんなに						
	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう			<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市				担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障害者福祉費		
根拠法令等	社会福祉法 他										
事業目的	対象	障がい児									
	背景と目的	身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児に対して補聴器購入費の一部を助成し、言語取得及び健全な発育を支援する。									
事業内容	事業概要	<p>対象は0歳から18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童</p> <p>【補聴器購入費】1台あたりの助成上限額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常型（ポケット型、耳かけ型、既製品耳穴型等：40千円）</li> <li>・その他（骨導式眼鏡型、オーダーメイド耳穴型等：100千円）</li> </ul> <p>【耳当て等交換費】1個あたりの助成額上限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳あて（イヤモールド：6千円）</li> <li>・耳穴型シェル（オーダーメイド：18千円）</li> </ul> <p>（歳入）県支出金：軽・中度難聴児補聴器購入費等助成金（補助率1/2）92千円 （歳出）扶助費（補装具給付費）184千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		補聴器（購入・修理）助成対象者数					8	2	3		
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）						
事業費	184	184	184	184	184						
財源内訳	一般財源	92	92	92	92	92					
	国支出金										
	県支出金	92	92	92	92	92					
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		児童福祉一般事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号				
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を								
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費		
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、養父市子ども・子育て会議条例										
事業目的	対象	子育て家庭の保護者及びその子ども									
	背景と目的	児童福祉施策・子育て支援施策の円滑な実施及び充実を図るため、「養父市子ども・子育て会議」を開催し、第2期計画(R6満了)の進捗管理及び第3期計画(R6策定、R7～)の策定にあたっての調査審議を行う。またこどもまんなか社会への機運醸成のための取組を行う。									
事業内容	事業概要	<p>幼児教育・児童福祉行政にかかる円滑な実施に向けた一般的な事務費。          子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び課題解決のための検討並びに社会全体で結婚・子育てを応援する機運醸成のための取組（講演会、情報発信、企業参画への推進）を行う。</p> <p>（歳出）国庫支出金：地域少子化対策重点推進交付金（補助率2/3）1,830千円          その他：元気な養父づくり応援基金繰入金 1,015千円</p> <p>（歳出）報酬360千円（子ども・子育て会議委員報酬）          報償費650千円（講師等謝金）          旅費158千円（普通旅費38千円、費用弁償120千円）          需用費1,243千円（印刷製本費389千円、消耗品費854千円）          委託料6,048千円（調査業務委託料4,653千円、ホームページ作成委託料1,395千円）          使用料及び賃借料53千円（OA機器リース料）          備品購入費330千円（庁用備品購入費）</p>									
	前年度からの変更点	こどもまんなか社会実現に向けた啓発事業の実施									
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	4,803	8,842	6,472	1,560	1,560						
財源内訳	一般財源	4,803	5,997	6,472	1,560	1,560					
	国支出金		1,830								
	県支出金										
	地方債										
	その他		1,015								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）



# 実施計画書

事業名		児童扶養手当支給事務費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう		3	すべての人に健康と福祉を			
4		質の高い教育をみんなに		10	人や国の不平等をなくそう				
実施主体	養父市		担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
根拠法令等	児童扶養手当法、養父市児童扶養手当事務取扱規則								
事業目的	対象	ひとり親家庭の母・父または養育者							
	背景と目的	手当を支給することにより、児童を養育するひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉増進を図ることを目的とする。							
事業内容	事業概要	<p>ひとり親家庭の母・父または養育者に対して児童扶養手当を支給する。</p> <p>【手当額】（毎年4月に改定あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全部支給：45,500円</li> <li>○一部支給：10,740円～45,490円</li> <li>○第2子加算額：10,750円</li> <li>○第3子以降加算額：6,450円</li> </ul> <p>【所得制限限度額】※令和6年11月分から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全部支給/2人世帯：190万円(←160万円) 一部支給/2人世帯：385万円(←365万円)</li> </ul> <p>(歳入) 国庫支出金：児童扶養手当負担金（補助率1/3）23,242千円  (歳出) 需用費40千円（消耗品費）  扶助費70,473千円（児童扶養手当給付費）</p>							
	前年度からの変更点	児童扶養手当制度改正等に伴う児童扶養手当の拡充							
	事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	児童扶養手当受給者数（人）		100	105	103				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	63,792	70,513	70,513	70,513	70,513				
財源内訳	一般財源	42,542	47,271	47,271	47,271	47,271			
	国支出金	21,250	23,242	23,242	23,242	23,242			
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		要保護児童対策事業費		枝番	単位事業名					
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市		担当課	子育て応援課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律、発達障害者支援法、養父市要保護児童対策地域協議会設置要綱									
事業目的	対象	要保護児童、要支援児童、特定妊婦、発達障がい児								
	背景と目的	<p>養父市要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童等の適切な保護や支援を図るための協議、児童虐待に関する広報・啓発活動及びその他必要な活動を推進する。</p> <p>また、発達障がい児の早期発見と支援を行い、二次障がいの未然防止を図るとともにこどもの貧困及びヤングケアラーを支援し、全ての人が住みやすい町を目指す。</p>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市要保護児童対策地域協議会の開催</li> <li>・発達障がい等で育てにくさをもつ子どもの育児に対して、専門的なアドバイスが受けられる場を設ける。</li> <li>・悩みを抱えるこども達が気軽に立ち寄れる「こども食堂」を市内に開設する。 また、オンラインによる「相談窓口」を設置する。</li> </ul> <p>(歳入) 国庫支出金：子ども・子育て支援交付金（交付率1/3）1,262千円          児童虐待防止対策等総合支援事業補助金（補助率2/3）782千円          子育て支援対策臨時特例交付金（交付率1/2）50千円          県支出金：子ども・子育て支援交付金／ネットワーク強化（交付率1/3）1,262千円          保護者支援臨時特例事業補助金（補助率1/4）25千円          その他：元気な養父づくり応援基金繰入金 2,512千円</p> <p>(歳出) 報償費530千円（医師報酬325千円、講師等謝金205千円）          旅費379千円（普通旅費294千円、実費弁償85千円）          需用費295千円（印刷製本費100千円、消耗品費195千円）          役務費92千円（郵券料90千円、振込手数料2千円）          委託料1,031千円（事業運営委託料347千円、調査業務委託料684千円）          使用料及び賃借料3,951千円（子ども総合相談システム使用料等）          負担金、補助及び交付金2,285千円（研修負担金165千円、こども食堂開設運営助成金2,120千円）</p>								
	前年度からの変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部局（こども学び課・社会福祉課）と連携した子ども総合相談システムの導入</li> <li>・オンライン相談窓口の設置並びにこども食堂の開設</li> <li>・ヤングケアラー実態調査の実施</li> </ul>								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	要保護児童対策地域協議会（代表者・実務者）の開催			6回	5回	5回				
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	1,459	8,563	7,729	7,729	7,729					
財源内訳	一般財源	796	2,670	4,904	4,904	4,904				
	国支出金	344	2,094	1,538	1,538	1,538				
	県支出金	319	1,287	1,287	1,287	1,287				
	地方債									
	その他		2,512							

注）次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		家庭児童相談員活動事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）									
	10年後の数値目標①	出生数 150人			10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3 すべての人に健康と福祉を				16 平和と公正をすべての人に					
実施主体		養父市			担当課		子育て応援課				
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目		款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等		養父市家庭児童相談員設置要綱									
事業目的	対象	児童及び保護者									
	背景と目的	家庭児童相談員を配置し、家庭における児童及び保護者の相談・支援等を行うことで、児童の養育など児童福祉の向上を図り、子育てしやすいまちを実現する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する様々な悩みや問題を抱える家庭に家庭児童相談員を派遣し、育児不安の解消を図り、児童家庭における適正な生活環境を確保する。</li> <li>・養育能力等に問題のある要保護家庭において軽度の家事援助を行い、児童福祉の向上を図る。</li> <li>・保護者等が疾病などのため一時的に児童の養育が困難になった場合に、児童福祉施設において一定期間、養育・保護する。</li> </ul> <p>(歳入) 国庫支出金：子ども・子育て支援交付金（交付率1/3）191千円、（交付率2/3）1,840千円          児童虐待・DV対策等総合支援事業補助金（交付率1/2）2,992千円          県支出金：子ども・子育て支援交付金/利用者支援基本型（交付率1/6）460千円          子ども・子育て支援交付金/短期支援（交付率1/3）40千円          子ども・子育て交付金/養育支援（交付率1/3）151千円          子育て世帯訪問臨時特例事業補助金（交付率1/4）15千円          その他：子育て家庭ショートステイ利用者負担 14千円</p> <p>(歳出) 報酬8,494千円（会計年度任用職員報酬8,090千円、会計年度任用職員時間外勤務報酬404千円）、職員手当3,034千円（期末手当：短時間勤務会計年度任用職員1,652千円、勤勉手当：短時間勤務会計年度任用職員1,382千円）、共済費596千円（職員共済組合負担金：会計年度任用職員）、旅費275千円（普通旅費55千円、費用弁償220千円）、需用費35千円（消耗品費）、役務費83千円（家庭児童相談員携帯電話使用料）、委託料60千円（養育支援訪問事業委託料）、負担金、補助及び交付金12千円（但馬地区里親会負担金）、扶助費120千円（子育て家庭ショートステイ事業給付金）</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	虐待相談の件数				30件以下	35件	8件				
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費		10,873	12,709	12,709	12,709	12,709					
財源内訳	一般財源	6,376	7,006	7,006	7,006	7,006					
	国支出金	3,766	5,023	5,023	5,023	5,023					
	県支出金	717	666	666	666	666					
	地方債										
	その他	14	14	14	14	14					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		在宅育児支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等	養父市子育てヘルパー派遣事業実施要綱、養父市子育て応援給付金支給事業実施要綱									
事業目的	対象	満3歳に達する年度末までの間にある子どもを在宅で育児している世帯【子育てヘルパー派遣】 満2歳に達する誕生日までの子どもを在宅で育児している世帯【子育て応援給付金支給】								
	背景と目的	在宅で育児を行っている家庭に対し、経済的負担の緩和及び育児の不安感・身体的負担の解消、「子育ては楽しい」という母性の醸成や虐待の防止を推進することで子育てしやすいまちを目指す。								
事業内容	事業概要	<p>《子育てヘルパー派遣》 3歳までの子どもがいる家庭にヘルパー（シルバー人材センター会員、NPO法人りとるめいと職員）を派遣し、家事、育児の援助を行うとともに、知識、技術の継承や、不安感、孤独感の解消を図る。</p> <p>《子育て応援給付金支給》 2歳の誕生日までの子どもを在宅で育児している世帯に対し、給付金（0歳～1歳の誕生日まで月10,000円、1歳～2歳の誕生日まで月5,000円）を支給する。 （歳入）その他：元気な養父づくり応援基金繰入 16,000千円 子育て支援ヘルパー利用者負担金 3千円 （歳出）委託料72千円（子育てヘルパー派遣事業委託料） 負担金、補助及び交付金16,200千円（子育て応援給付金）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		出生数				130	103	101		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	16,907	16,272	16,272	16,272	16,272					
財源内訳	一般財源	404	269	269	269					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	16,503	16,003	16,003	16,003	16,003				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等										
事業目的	対象	公用車（保健師、家庭児童相談員巡回車）								
	背景と目的	特定妊婦や要保護児童は、家庭生活において不安定な面を多くもっており、その大部分は保護者の経済力や育児能力に左右される。これらの児童の生活環境等の向上のためには、保護者を含めた巡回相談活動が必要不可欠であり、巡回に使用する公用車を適切に管理する。								
事業内容	事業概要	保健師や家庭児童相談員が巡回相談を行うとともに、緊急を要する案件にも対処するために使用する公用車を管理する。 ≪管理車両≫軽自動車 アルト（車両番号/姫路581た6146 ※次回車検R7.8） ハイゼット（車両番号/姫路480と7064 ※次回車検R7.8）  （歳出）需用費411千円（修繕料170千円、消耗品費33千円、燃料費208千円） 役務費29千円（自動車検査手数料※R6は法定1年点検のみ）								
	前年度からの変更点	車検費用の計上（2台分）								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	510	440	510	440	510					
財源内訳	一般財源	510	440	510	440	510				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		児童等健やか育成支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			10	人や国の不平等をなくそう			
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	
根拠法令等	養父市児童等視機能訓練支援事業実施要項									
事業目的	対象	市内に居住する3歳～高校3年生(18歳)までの児童								
	背景と目的	眼を動かす力が未発達であるために学習や運動において課題を持つ児童等が学習機能や運動機能の向上のために行う視機能訓練費用の一部を支援することで児童の健全な発達を促進する。								
事業内容	事業概要	<b>児童等視機能訓練支援事業補助金</b> 【対象】 就学前から高校3年生までの児童（3歳～18歳） 【訓練内容】 眼球運動・視空間認知・ボディイメージなどのトレーニング 【効果】 読む力・書く力、手先の器用さ、集中力、判断力の向上、動体視力・運動機能の向上 【要件等】 事業者は市が認める資格を有するトレーナーを配置 【補助金額】 利用者負担の1/2（月額上限5,000円）  （歳出）負担金、補助及び交付金420千円（児童等視機能訓練支援事業補助金）								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	利用実人数				7	8	11			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	450	420	420	420	420					
財源内訳	一般財源	450	420	420	420	420				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		私立認定こども園等運営事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		4	質の高い教育をみんなに			
	5	ジェンダー平等を実現しよう							
実施主体	養父市		担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費
根拠法令等	子ども・子育て支援法、養父市私立認定こども園等の運営費交付金交付要綱、養父市保育事業補助金交付要綱、養父市私立認定こども園等整備費補助規則								
事業目的	対象	保育の必要性のある児童及び幼児教育を希望する児童							
	背景と目的	保育の必要な児童を私立認定こども園で、保護者に代わって教育・保育を実施するとともに、児童の健全な育成を図り、子育てしやすいまちづくりを目指す。							
事業内容	事業概要	<p>民間特定教育・保育施設に、子ども・子育て支援法に基づき教育・保育給付費を交付する。また市内の私立認定こども園に対して、事業の健全化と安定的な運営に資するよう各種補助金を交付する。</p> <p>【教育・保育給付費】 市が確認した幼稚園・認定こども園・保育所に対する財政措置で、支給認定を受けた子どもが当該施設を利用した場合、市がその経費に対し、施設型給付費として給付を行う。</p> <p>【障害児保育事業補助金】 特別な支援が必要な子どもを認定こども園等で受入れた場合、対象児童1人につき、1か月あたり65,300円を補助する。</p> <p>【私立認定こども園運営交付金】 認定こども園等の運営費の一部を交付金（職員処遇改善、事業費、給食費など）として交付する。</p> <p>【保育補助者雇上強化事業補助金】 保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇上げに必要な経費を補助する。</p> <p>【保育体制強化事業】 地域住民や子育て経験者など地域の多様な人材を「保育支援者」として配置し、保育士の負担を軽減することによって、保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士等が働きやすい職場環境に取り組む事業者に対し、補助する。</p> <p>【こども誰でも通園制度】 全ての子育て家庭に対して、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付の創設を見据えて試行的に実施する。</p> <p>（歳入） 国庫支出金：私立こども園教育・保育給付費国庫負担金（負担率1/2）166,366千円          保育対策総合支援事業費補助金/保育補助者雇上強化（補助率3/4）6,927千円、          /保育体制強化（補助率1/2）1,800千円          こども誰でも通園制度試行的事業補助金（補助率3/4）1,894千円          県支出金：私立こども園教育・保育給付費県負担員（負担率1/4）75,720千円          保育体制強化事業補助金（補助率1/4）900千円          私立保育所等子育て支援カウンセラーモデル事業補助金（補助率1/2）96千円          その他：元気な養父づくり応援基金繰入金 532千円          私立認定こども園等運営負担金 1千円</p> <p>（歳出） 委託料4,189千円（事業運営委託料3,086千円、保育所他市町委託料1,103千円）          負担金、補助及び交付金382,959千円</p> <p style="margin-left: 20px;">〔 私立認定こども園教育・保育給付費355,889千円、障害児保育事業補助金1,568千円、          私立認定こども園運営交付金12,474千円（給食食材費高騰分2,151千円含む。）、          保育補助者雇上強化事業補助金9,236千円、保育体制強化事業補助金3,600千円、          私立保育所等子育て支援カウンセラーモデル192千円 〕</p>							
	前年度からの変更点	本格的実施を見据えた、こども誰でも通園制度の試行的な実施							
事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	私立認定こども園入園児数（人）			270	296	306			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）				
事業費	435,944	387,148	384,062	384,062	384,062				
財源内訳	一般財源	130,516	132,912	132,252	132,252	132,252			
	国支出金	183,453	176,987	175,093	175,093	175,093			
	県支出金	88,265	76,716	76,716	76,716	76,716			
	地方債								
	その他	33,710	533	1	1	1			

注）次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		幼児教育・保育負担軽減事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう			
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	コード	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費	
根拠法令等	子ども・子育て支援法、養父市子ども・子育て支援法施行細則、養父市一時預かり利用者負担軽減事業補助金交付要綱、養父市認定こども園等給食費補助金交付要綱、養父市認定こども園等延長保育補助金交付要綱									
事業目的	対象	こども園等に在籍する児童の保護者								
	背景と目的	保育料等の一部を補助することで、子育てに係る経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を創る。								
事業内容	事業概要	<p>子育てに係る費用負担を軽減するため、保育料等の一部を補助する。</p> <p>(歳入) 県支出金：一時預かり利用者負担軽減事業補助金（補助率2/3）174千円                  (歳出) 負担金、補助及び交付金563千円</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費補助金282千円、</li> <li>・延長保育料補助金20千円</li> <li>・一時預かり利用者負担軽減事業補助金261千円</li> </ul> </div>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		補助金交付実人数 (人)				10	7	7		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	551	563	563	563	563					
財源内訳	一般財源	377	389	389	389					
	国支出金									
	県支出金	174	174	174	174					
	起債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		ほっとステーション運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう			3	すべての人に健康と福祉を			
4		質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費	
根拠法令等	養父市ほっとステーション設置及び管理条例、養父市ほっとステーション設置及び管理条例施行規則									
事業目的	対象	主に学校に馴染めないなどの様々な悩みを抱える子ども及びその保護者								
	背景と目的	家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立化してしまう子どもが増加傾向にある。子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習環境など、将来の自立に向けて生き抜く力を育むことが出来る場所として「子ども第三の居場所」を運営する。								
事業内容	事業概要	<p><b>【子どもサポート室】</b> 悩みを抱える小中学生に、家庭・学校に加えて「第三の居場所」として、社会につながる場所・環境を提供するとともに、学習習慣や生活習慣の改善を目指す。</p> <p><b>【相談室】</b> 小中学生とその家族を対象に、子どもに関わるあらゆる相談に応じる。内容により必要に応じ市役所関係部局や専門機関・職員等への取り次ぎ課題解決を目指す。</p> <p><b>【土曜学習教室】</b> 無料で通うことができる自主学習教室。芸術文化観光専門職大学との連携により大学生が講師として学習を支援する。</p> <p><b>【居空間構想推進事業との連携】</b> 慶應義塾大学大学院との連携により、小中学生がデジタル技術について学んだり、先端機器に触れたりするデジタル教室を開催いただき、学ぶ意欲やデジタルへの関心を育てる。</p> <p>(歳入) その他：B&amp;G財団助成金9,600千円 (歳出) 報酬8,529千円、職員手当2,513千円、共済費330千円、旅費475千円、需用費1,739千円、役務費152千円、委託料652千円、使用料及び賃借料233千円、備品購入費573千円、負担金、補助及び交付金384千円（子どもサポート室通所費補助金）、公課費7千円</p>								
	前年度からの変更点	職員配置数の増								
	事業の数値目標	指標		目標(R6)		実績見込(R5)		実績(R4)		
	利用者数		20		20		-			
	利用者（子ども、保護者等）の満足度		80%		80%		-			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	9,994	15,587	15,587	15,587	15,587					
財源内訳	一般財源	394	5,987	5,987	15,587					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	9,600	9,600	9,600						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名	子ども・子育て支援事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号	
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針(SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう		
実施主体	養父市		担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費
根拠法令等	子ども・子育て支援法、養父市子ども・子育て支援法施行細則								
事業目的	対象	就学前児童及びその保護者等							
	背景と目的	子ども・子育て支援法で定められた地域子ども・子育て支援事業を円滑に実施することにより、子育て支援の充実を図る。							
事業内容	事業概要	<p>子ども・子育て支援にかかる各種事業を実施し、子育てしやすい環境を整備することにより、子育て支援の充実を図る。</p> <p><b>【利用者支援事業】</b> 子育て中の親子に、行政窓口やその他の場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整を実施する。</p> <p><b>【地域子育て支援拠点事業】</b> 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供するとともに、子育てについての相談、情報の提供、助言を実施する。</p> <p><b>【ファミリーサポートセンター事業】</b> 乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動を実施する。</p> <p><b>【一時預かり事業】</b> 急な用事など家庭で一時的に保育が困難となった乳幼児について、認定こども園、保育所において一時的に預かり、必要な保護を行う。</p> <p><b>【延長保育事業】</b> 保育認定を受けた子どもについて、通常の利用時間以外の時間において、認定こども園、保育園で保育を実施する。</p> <p><b>【病児保育事業】</b> 子どもが病中又は病気の回復期において、集団保育が困難で医師が必要と認めた期間、保育所等の付設された専用スペースで、一時的に保育及び看護ケアを実施する。</p> <p>(歳入) 国庫支出金：子ども・子育て支援交付金（交付率1/3）15,874千円、（交付率2/3）4,339千円          県支出金：子ども・子育て支援交付金／延長保育（交付率1/3）1,114千円          子ども・子育て支援交付金／子育て支援拠点（交付率1/3）2,407千円          子ども・子育て支援交付金／一時預かり（交付率1/3）6,090千円          子ども・子育て支援交付金／病児保育（交付率1/3）4,940千円          子ども・子育て支援交付金／利用者支援基本型（交付率1/6）1,075千円          子ども・子育て支援交付金／子育て援助活動支援（交付率1/3）1,321千円          その他：元気な養父づくり応援基金繰入金380千円          子育て・移住サポートセンター使用料103千円、病児保育センター利用料40千円</p> <p>(歳出) 報酬2,041千円、給料8,621千円、職員手当4,394千円、共済費2,177千円、報償費70千円、旅費124千円、需用費1,714千円、役務費609千円、委託料11,980千円(病児保育5,344千円、利用者支援6,042千円、施設管理業務528千円他)、使用料及び賃借料207千円、備品購入費350千円、負担金、補助及び交付金33,437千円(一時預かり12,840千円、延長保育3,344千円、地域子育て支援拠点7,221千円、病児保育8,884千円、休日一時預かり1,088千円、ファミリーサポートネットワーク負担金60千円)</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		子育てを支えてもらっていると感じる親の割合							
地域で子育てに取り組む団体数			16団体	16団体	16団体				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)				
事業費	61,773	65,724	65,724	65,724	65,724				
財源内訳	一般財源	26,496	28,041	28,041	28,041	28,041			
	国支出金	19,074	20,213	20,213	20,213	20,213			
	県支出金	16,060	16,947	16,947	16,947	16,947			
	地方債								
	その他	143	523	523	523	523			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		学童保育事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち						ページ番号		
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう			
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	コード	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	学童保育費	
根拠法令等	児童福祉法、養父市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、養父市放課後児童健全育成事業運営要綱、養父市放課後児童健全育成事業実施要綱									
事業目的	対象	放課後や長期休み期間に、家庭において保護者の保育が受けられない小学校及び義務教育学校前期課程就学の児童								
	背景と目的	就労などにより昼間保護者が家庭にいない児童に対し、放課後や長期休業中の安全対策が求められている。このため、保護者に代わって保育を行い、子育てしやすい環境づくりを行う。								
事業内容	事業概要	<p>各小学校区及び義務教育学校区の全9施設（八鹿、高柳、伊佐、宿南、建屋、広谷、養父、大屋、関宮）で学童クラブによる保育を実施する。</p> <p>（歳入）国庫支出金：子ども・子育て支援交付金（交付率1/3）20,158千円          県支出金：子ども・子育て支援交付金/放課後児童育成（交付率1/3）20,158千円          その他：学童クラブ保険料等保護者負担金 655千円          学童クラブ利用料 13,940千円</p> <p>（歳出）報酬55,764千円（会計年度任用職員報酬）          職員手当8,798千円（期末手当・勤勉手当：短時間勤務会計年度任用職員）          旅費1,570千円（普通旅費90千円、費用弁償1,480千円）          需用費4,371千円（印刷製本費53千円、ガス代84千円、修繕料900千円、          消耗品費755千円、水道料金96千円、電気料金804千円、          燃料費179千円、保育材料費1,500千円）          役務費1,628千円（共済掛金674千円、通信運搬費942千円、リサイクル料12千円）          委託料1,317千円（施設設備管理委託料43千円、シルバー人材センター委託料1,124千円、          学童昼食提供事業委託料150千円）          使用料及び賃借料234千円（機械器具等リース料169千円、下水道使用料65千円）          備品購入費1,388千円（庁用備品購入費）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	学童クラブ開設数				9施設	9施設	9施設			
	学童クラブ登録児童数				350人	399人	354人			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	64,004	75,070	75,070	75,070	75,070					
財源内訳	一般財源	16,324	20,159	20,159	20,159					
	国支出金	16,322	20,158	20,158	20,158					
	県支出金	16,322	20,158	20,158	20,158					
	起債									
	その他	15,036	14,595	14,595	14,595					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		母子保健事業費		枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号	
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）						
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を	8	働きがいも経済成長も			
	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市		担当課	子育て応援課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算	
予算費目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 4	母子保健指導費		
根拠法令等	母子保健法、発達障害者支援法、児童虐待防止法、母子保健医療対策総合支援事業実施要綱							
事業目的	対象	市民						
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化、地域の繋がり希薄化、就労妊産婦の増加、育児の孤立化、育児不安を持つ親が増加傾向にある。</li> <li>児童虐待防止の観点からも、妊娠期からの関わり的重要性が求められる。</li> <li>妊娠期から出産、新生児期及び乳幼児期に至るまで、切れ目のない支援の充実を図る。</li> </ul>						
事業内容	事業概要	<p><b>業務内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを望む家族への経済的負担支援事業（不妊治療費助成及び通院交通費助成）</li> <li>産前産後サポート事業、乳児家庭全戸訪問事業、産後ケア事業</li> <li>妊婦健康診査費補助金・新生児聴力検査費助成事業、1か月児等健康診査費助成、産婦健康診査費助成事業</li> <li>電子母子手帳アプリの普及と情報提供</li> <li>食育推進事業として、個別指導を実施</li> <li>妊婦口腔検診事業の実施。母子保健事業で歯科保健指導、こども園でのフッ素洗口</li> <li>看護職による相談事業を実施する団体へ補助金</li> <li>妊娠・子育て家庭応援給付金</li> </ul> <p>(歳入) 国庫支出金：子ども・子育て交付金（交付率1/3）319千円          母子保健医療対策総合支援事業補助金（補助率1/2）4,072千円          県支出金：子ども・子育て支援交付金/利用者支援母子型（交付率1/6）9千円          子ども・子育て支援交付金/乳児家庭全戸訪問（交付率1/3）319千円          不育症治療支援事業補助金（補助率1/4）75千円          妊娠出産子育て支援交付金（交付率5/6）10,000千円          その他：元気な養父づくり応援基金繰入金 2,000千円          (歳出) 報償費5,709千円（医師報償840千円、指導者謝金2,722千円、謝金2,147千円）          旅費61千円、需用費1,441千円、役務費161千円          委託料13,719千円          健康診断委託料8,316千円          事業運営委託料5,403千円（産後ケア事業委託料4,690千円、フッ素塗布委託料150千円、新生児聴力委託料557千円ほか）          使用料及び賃借料396千円、備品購入費886千円（キッズスペース用備品）          負担金、補助及び交付金8,486千円          妊婦健康診査補助金3,260千円、小児救急医療相談窓口負担金123千円、特定不妊治療費助成金2,250千円、特定不妊治療通院交通費助成金500千円、一般不妊治療費助成金500千円、新生児聴力検査費助成金65千円、不育症治療費助成金300千円、産婦健康診査費助成金75千円、母子保健推進補助金1,253千円、生後2週間児・1か月児健康診査費助成金160千円          扶助費12,000千円（妊娠・子育て家庭応援給付金）ほか</p>						
	前年度からの変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健康診査にかかる初回産科受診料の助成対象を低所得妊婦から全妊婦へ拡大</li> <li>不妊治療（先進的医療）にかかる通院交通費の助成</li> </ul>						
事業の数値目標	指標		目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
	妊娠期から3歳児健診までのケース把握		100%	100%	100%			
	乳幼児健診受診率		100%	97%	99.7%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)			
事業費	45,311	42,860	42,860	42,860	42,860			
財源内訳	一般財源	29,998	26,066	26,066	26,066	26,066		
	国支出金	3,581	4,391	4,391	4,391	4,391		
	県支出金	11,666	10,403	10,403	10,403	10,403		
	地方債							
	その他	66	2,000	2,000	2,000	2,000		

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		やぶ保健センター管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	子育て応援課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	保健センター管理費	
根拠法令等	健康増進法									
事業目的	対象	母子健診・相談者など施設利用者、保険事業関係者								
	背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康づくりの拠点となる施設として保健センターが機能している。市民が安心して快適に施設を使用できるよう、やぶ保健センターの維持管理を行う。</li> <li>平成22年度から広谷学童クラブがやぶ保健センターの1階を共同使用中。</li> </ul>								
事業内容	事業概要	<p>健康診査、健康相談、健康教育等保健活動の拠点となる保健センターの適正な維持管理を行う。</p> <p>(歳出) 需用費2,387千円 (ガス代72千円、修繕料415千円、消耗品費30千円、水道料金180千円、電気料金1,690千円)</p> <p>役務費 54千円 (通信運搬費)</p> <p>委託料1,062千円 (屋外清掃委託料32千円、施設清掃委託料164千円、施設設備管理委託料866千円)</p> <p>使用料及び賃借料84千円 (下水道使用料)</p> <p>備品購入費140千円 (庁用備品購入費)</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		やぶ保健センター 利用者延べ人数 (人)					2,000	2,000	2,272	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,270	3,727	3,727	3,727	3,727					
財源内訳	一般財源	3,265	3,727	3,727	3,727					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	5								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

会

計

課

# 実施計画書

事業名		会計管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	会計課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	会計管理費	
根拠法令等	地方自治法等									
事業目的	対象	養父市公金								
	背景と目的	地方自治法第170条に基づく会計管理事務を行う。								
事業内容	事業概要	会計管理者の補助組織である会計課の管理事務に要する経常経費 (1) 公金取扱手数料等 4,124千円 (2) 指定金融機関取扱委託料 2,310千円								
	前年度からの変更点	公金振込手数料の有料化 (R6年10月から)								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,255	6,434	9,129	9,129	9,129					
財源内訳	一般財源	4,255	6,434	9,129	9,129					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		財政調整基金費			枝番		単位事業名						
まちづくり計画	柱							ページ番号					
	施策												
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②								
	個別計画												
	横断的行動指針 (SDGs)												
実施主体		養父市			担当課	会計課							
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算					
予算費目		款	13	諸支出金		項	1	基金費		目	1	財政調整基金費	
根拠法令等		地方自治法、養父市基金条例等											
事業目的	対象	養父市基金											
	背景と目的	地方自治法第241条の規定に基づく基金の管理（運用）により生ずる収益について、基金へ編入するもの。											
事業内容	事業概要	養父市財政調整基金へ当該基金に属する現金の運用収益を編入（積立て） 一般運用利子総額（見込）27,241千円×按分率18.54%＝積立額5,050千円											
	前年度からの変更点												
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)			実績見込 (R5)			実績 (R4)	
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)							
事業費		3,102	5,050	5,050	5,050	5,050							
財源内訳	一般財源	0	0	0	0								
	国支出金												
	県支出金												
	地方債												
	その他	3,102	5,050	5,050	5,050	5,050							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		減債基金費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱								ページ番号	
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	会計課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	13	諸支出金	項	1	基金費	目	2	減債基金費	
根拠法令等	地方自治法、養父市基金条例等									
事業目的	対象	養父市基金								
	背景と目的	地方自治法第241条の規定に基づく基金の管理（運用）により生ずる収益について、基金へ編入するもの。								
事業内容	事業概要	養父市財政調整基金へ当該基金に属する現金の運用収益を編入（積立て） 一般運用利子総額（見込）27,241千円×按分率17.07%＝積立額4,650千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,729	4,650	4,650	4,650	4,650					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	3,729	4,650	4,650	4,650	4,650				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		地域福祉基金費ほか特定目的基金費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	会計課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	13	諸支出金	項	1	基金費	目	3	特定目的基金費	
根拠法令等	地方自治法、養父市基金条例等									
事業目的	対象	養父市基金								
	背景と目的	地方自治法第241条の規定に基づく基金の管理（運用）により生ずる収益について、基金へ編入するもの								
事業内容	事業概要	養父市財政調整基金へ当該基金に属する現金の運用収益を編入（積立て） [積立額 = 一般運用利子総額（見込）27,241千円×按分率] ①地域福祉基金 按分率 4.10% 積立額 1,117千円 ②ふるさと・水と土保全対策事業基金 按分率 0.29% 積立額 79千円 ③学校整備基金 按分率 0.24% 積立額 66千円 ④地域振興基金 按分率 16.24% 積立額 4,423千円 ⑤元気な養父づくり応援基金 按分率 5.77% 積立額 1,571千円 ⑥公共施設等整備基金 按分率 29.52% 積立額 8,040千円 ⑦過疎対策基金 按分率 4.03% 積立額 1,099千円 ⑧企業誘致推進基金 按分率 1.54% 積立額 419千円 ⑨全天候運動場管理運営基金 按分率 0.10% 積立額 27千円 ⑩創生基金 按分率 2.31% 積立額 629千円 ⑪森林経営管理基金 按分率 0.26% 積立額 71千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	10,916	17,541	17,541	17,541	17,541					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	10,916	17,541	17,541	17,541	17,541				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 議 会 公 事 務 局

# 実施計画書

事業名		議員報酬等管理費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱							ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)								
実施主体	養父市			担当課	議会事務局				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費
根拠法令等	日本国憲法第93条、地方自治法第89条及び203条								
事業目的	対象	養父市議会議員							
	背景と目的	議会は、主権者である市民に代わって要望や意見を市政に反映させ、市民生活の充実や福祉の向上のため、条例制定や予算の決定など市政を進める上で大切なことを決定する議事機関としての役割を担う。							
事業内容	事業概要	議員の報酬 430,000円×12か月 340,000円×12か月 320,000円×3人×12か月 310,000円×11人×12か月 議員の期末手当 報酬月額総額×110/100×395/100 議員共済組合負担金 310,000円×16人×12か月×29.3/100 議員共済組合事務費負担金 13,000円×16人 議員公務災害補償組合負担金 16,000円×16人							
	前年度からの変更点	議員職員共済組合負担金率の変更							
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	103,227	101,918	101,000	101,000	101,000				
財源内訳	一般財源	103,227	101,918	101,000	101,000	101,000			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		議会運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱							ページ番号			
	施策										
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②						
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)										
実施主体	養父市			担当課	議会事務局						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費		
根拠法令等	日本国憲法第93条、地方自治法第89条及び203条										
事業目的	対象	養父市議会議員、議会事務局									
	背景と目的	議会は、主権者である市民に代わって要望や意見を市政に反映させ、市民生活の充実や福祉の向上のため、条例制定や予算の決定など市政を進める上で大切なことを決定する議事機関としての役割を担う。									
事業内容	事業概要	報償費 190千円 普通旅費 822千円 議員の費用弁償 1,514千円 会議録調整費用 2,458千円 インターネット配信、システム保守管理委託等 1,925千円 タブレット端末通信経費 1,234千円 議会だより発行経費等 1,139千円 全国、近畿、兵庫県及び播但市議会議長会等負担金 1,511千円 議会図書室設置にかかる経費 1,600千円 その他運営に係る需用費等 2,559千円									
	前年度からの変更点	議会図書室設置にかかる経費及び改選時に必要な経費を計上した。									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	13,428	14,952	12,400	12,400	12,400						
財源内訳	一般財源	13,428	14,952	12,400	12,400	12,400					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱							ページ番号		
	施策									
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)									
実施主体	養父市			担当課	議会事務局					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	
根拠法令等										
事業目的	対象	養父市議会議員、議会事務局職員等								
	背景と目的	主に議会議員、議会事務局職員が行政活動を行うための公用車にかかる費用を計上する。また、議会が使用しないときには、一般職員公用車として利用する。								
事業内容	事業概要	公用車車検及び使用に伴う費用 修繕料 100千円 消耗品費 20千円 燃料費 141千円 車検代行手数料 25千円 オイル交換手数料 5千円 自賠責保険料 21千円 自動車重量税 15千円								
	前年度からの変更点	車検の年度のため増額計上								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	279	327	280	330	280					
財源内訳	一般財源	279	327	280	330	280				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		監査委員費			枝番		単位事業名											
まちづくり計画	柱							ページ番号										
	施策																	
	10年後の数値目標①				10年後の数値目標②													
	個別計画																	
	横断的行動指針 (SDGs)																	
実施主体	養父市			担当課	議会事務局													
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算										
予算費目	款	2	総務費	項	6	監査委員費	目	1	監査委員費									
根拠法令等	地方自治法第195条第1項																	
事業目的	対象	監査委員、監査委員事務局																
	背景と目的	監査委員は、市の財務事務等の執行や経営事業の管理が、法令等に従って適正かつ効率的に行われているかなどについて監査を実施し、その結果に関する報告を決定し、これを議会及び市長等に提出し、公表するなどにより効率的な行政の執行確保に資し、市民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。																
事業内容	事業概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">監査委員報酬</td> <td style="text-align: right;">813千円</td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td style="text-align: right;">109千円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">187千円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td style="text-align: right;">96千円</td> </tr> </table>									監査委員報酬	813千円	普通旅費	109千円	費用弁償	187千円	その他経費	96千円
	監査委員報酬	813千円																
	普通旅費	109千円																
	費用弁償	187千円																
その他経費	96千円																	
前年度からの変更点	全国都市監査委員会総会及び研修会に係る旅費の減額																	
事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)										
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)													
事業費	1,512	1,205	1,300	1,300	1,300													
財源内訳	一般財源	1,512	1,205	1,300	1,300													
	国支出金																	
	県支出金																	
	地方債																	
	その他																	

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 教育部

教

育

課

# 実施計画書

事業名		学校基本調査費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	教育課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費		項	5	統計調査費	目	2	指定統計費	
根拠法令等	統計法施行令及び学校基本調査規則										
事業目的	対象	市内小学校8校、中学校3校、義務教育学校1、認定こども園10園、各種学校（看護専門学校）									
	背景と目的	統計法と学校基本調査規則に基づき、全国全ての学校を対象に毎年度実施。必要な学校に関する基本事項を明らかにすることを対象とした基幹統計調査である。									
事業内容	事業概要	1 学校基本調査の実施（5月1日を基準日とし毎年度実施） 児童、生徒、園児及び教職員等の統計調査 2 調査対象（市内小学校8校、中学校3校、義務教育学校1校、認定こども園10園、各種学校（看護専門学校）1校） 3 予算 【歳入】 県委託金40千円 【歳出】 旅費10千円 需用費31千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標						目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合						85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	40	41	41	41	41						
財源内訳	一般財源	0	1	1	1						
	国支出金										
	県支出金	40	40	40	40						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		公立認定こども園等運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）								
	10年後の数値目標①	出生数	150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに			
	5	ジェンダー平等を実現しよう								
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費	
根拠法令等	養父市幼保連携型認定こども園設置条例、養父市認定こども園管理運営規則 養父市保育所設置条例、養父市保育所管理運営規則									
事業目的	対象	保育の必要性のある児童及び幼児教育を希望する児童								
	背景と目的	保育の必要な児童を保護者に代わって保育するとともに、児童の健全な育成を図り、子育てしやすいまちづくりを目指す。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立こども園7施設、保育所1施設の管理運営費</li> <li>【歳入】</li> <li>国支出金：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金205千円 子ども・子育て支援交付金（交付率1/3）588千円</li> <li>県支出金：子ども・子育て支援交付金（一時預かり）588千円 ひょうご保育料軽減事業補助金（補助率1/2）2,550千円 など</li> <li>その他：日本スポーツ振興センター保護者納付金 69千円 公立認定こども園等運営負担金（現年分）522千円（滞納繰越分）1千円 延長保育事業費負担金 1千円、一時預かり事業負担金（現年分）318千円（滞納繰越分）1千円 市外園児保育受託料 4,992千円、こども園職員給食費 5,922千円 元気な養父づくり応援基金繰入金 4,455千円、公共施設等整備基金繰入金 33,566千円 など</li> <li>【歳出】</li> <li>報酬 63,603千円、光熱水費 20,937千円 維持修繕費 8,962千円、設備等更新費 45,945千円、その他</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	子育てを支えてもらっていると感じる親の割合				98.0%	98.0%	98.4%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	381,142	446,172	446,172	446,172	446,172					
財源内訳	一般財源	331,513	385,345	423,938	423,938					
	国支出金	722	793	793	793					
	県支出金	5,016	9,372	9,372	9,372					
	地方債									
	その他	43,891	50,662	12,069	12,069					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		公立認定こども園等バス送迎事業費	枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号		
	施策	2-1_つながりが支える子育て環境（子育て）							
	10年後の数値目標①	出生数 150人	10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			4	質の高い教育をみんなに		
実施主体	養父市			担当課	教育課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童福祉施設費
根拠法令等	養父市公立認定こども園等送迎バス利用に関する要綱								
事業目的	対象	送迎バスを利用する園児及び保護者							
	背景と目的	公立認定こども園等において、送迎にかかる保護者負担を軽減し、子育てしやすい環境を創るため、公立7園）において、送迎バスにより園児の送迎を行う。							
事業内容	事業概要	園児の送迎及びバス（小佐保育所）の維持管理 【歳入】 過疎債 13,000千円 その他 元気な養父づくり応援基金繰入 4,963千円 【歳出】 ・園児送迎バスの運行経費 （運転委託（10台） 17,649千円、バス添乗員 6,924千円ほか） 24,573千円 ・小佐保育所送迎バス維持費等 446千円 ・送迎バス更新 4,963千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	30,616	30,170	35,000	25,000	25,000				
財源内訳	一般財源	9,953	12,207	35,000	25,000	25,000			
	国支出金	1,800							
	県支出金								
	地方債	14,000	13,000						
	その他	4,863	4,963						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		教育委員会運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市				担当課	教育課					
会計区分	コード	1	一般会計				当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育課		項	1	教育総務費		目	1	教育委員会費
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律										
事業目的	対象	教育長、教育委員									
	背景と目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、定例会議や研修会を開催する。教育委員会規則、要綱等の制定、改廃や教育行政全般における課題を審議し、取組について方針を決定する。									
事業内容	事業概要	<p>1 教育委員会定例会等教育委員会運営に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会 年間12回</li> <li>・臨時会 随時</li> <li>・学校経営研究会 年間6～7回</li> <li>・こども園保育所訪問 年間2～3回</li> <li>・総合教育会議 年間3～4回</li> <li>・研修会 年間3回程度</li> </ul> <p>2 予算 【歳出】教育委員報酬930千円、旅費及び費用弁償527千円、交際費60千円、需用費95千円 負担金、209千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%		
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,841	1,821	1,821	1,821	1,821						
財源内訳	一般財源	1,841	1,821	1,821	1,821						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		教育委員会事務局費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、各委員会条例・要綱									
事業目的	対象	教育委員会事務局								
	背景と目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、円滑な事務局運営を図る。								
事業内容	事業概要	<p>1 教育委員会事務局の事務全般に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員報酬、謝金、費用弁償、事務局職員出張旅費、事務局消耗品費</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳出】(主なもの)</p> <p>報酬13,331千円、謝金27千円、旅費及び費用弁償等1,184千円、消耗品費等需用費638千円、役務費132千円、使用料及び賃借料86千円、負担金15千円 他</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	17,781	21,051	21,051	21,051	21,051					
財源内訳	一般財源	17,781	21,051	21,051	21,051					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)										
実施主体	養父市				担当課	教育課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費		
根拠法令等	養父市公用車管理計画										
事業目的	対象	公用車（教育長車、教育課）									
	背景と目的	公用車管理計画書に基づき、教育委員会事務局公用車を良好に維持管理する。 教育長車1台、教育課2台									
事業内容	事業概要	<p>1 教育委員会事務局が管理する公用車の維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長車1台、教育課2台</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳出】 需用費（燃料費、修繕費他）680千円、役務費（検査料、保険料）93千円、公課費（重量税）41千円</p>									
	前年度からの変更点	歴史文化財課2台分を削除									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,467	814	900	814	900						
財源内訳	一般財源	1,467	814	900	814	900					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		教員住宅管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	
根拠法令等	養父市立教職員住宅管理条例									
事業目的	対象	教職員住宅（中2戸、吉井1戸）								
	背景と目的	養父市立教職員住宅管理条例に基づき教職員住宅を良好に維持管理する。								
事業内容	事業概要	<p>1 ALTが居住する教職員住宅3戸の修繕や環境整備を図る。 中2戸、吉井1戸</p> <p>2 予算 【歳入】教職員住宅使用料 645千円 【歳出】需用費（修繕費他）289千円、役務費（テレビ通信費、廃棄物処理）64千円 委託料（草取り、剪定委託料、清掃）193千円、備品購入費99千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	645	645	645	645	645					
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	645	645	645	645	645				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		高校生修学支援事業費		枝番	1	単位事業名	高校生遠距離通学助成事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費	
根拠法令等	養父市高校生通学費補助金交付要綱									
事業目的	対象	市内在住の補助対象となる高校生（保護者）								
	背景と目的	<p>高等学校への通学に係る経費は、遠距離になるほど経済的な負担が増すこととなる。したがって、市内在住の高校生をもつ保護者に対し、定期券購入費用の一部（月額15,000円を超える金額）を補助し、教育における経済的負担の軽減を図る。</p>								
事業内容	事業概要	<p>1 高等学校への通学に係る定期券（バス代、JR代）が月額15,000円を超えた金額を助成する。（令和6年度予定対象者数50名）</p> <p>2 予算            【歳入】 過疎債 2,000千円            【歳出】 負担金、補助及び交付金 4,000千円</p>								
	前年度からの変更点	実績により500千円の減額								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,500	4,000	4,000	4,000	4,000					
財源内訳	一般財源	4,500	2,000	4,000	4,000					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債		2,000							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		高校生修学支援事業費		枝番	2	単位事業名	但馬農高下宿等支援事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費	
根拠法令等	養父市高等学校生徒下宿費等補助金交付要綱、養父市高等学校生徒民間賃貸住宅等家賃補助金交付要綱									
事業目的	対象	市内の下宿又は民間賃貸住宅から但馬農高に通学している生徒の保護者及び下宿の貸主								
	背景と目的	但馬農高の存続発展と地域農業の活性化を目的とし、養父市高等学校生徒下宿費等補助金交付要綱及び養父市高等学校生徒民間賃貸住宅等家賃補助金交付要綱に基づき、該当する生徒の保護者に対し補助金を交付するもの。また、減少しつつある下宿提供者にも補助金を交付し支援する。								
事業内容	事業概要	<p>1 新入生下宿者1件、貸主1件（新入生見込） 民間賃貸住宅在校生1名（令和5年在学生1件（3年生）、新入生1件見込）</p> <p>2 予算 【歳出】負担金、補助及び交付金 1,440千円</p>								
	前年度からの変更点	対象者3名から2名に減								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	2,160	1,440	1,440	1,440	1,440					
財源内訳	一般財源	2,160	1,440	1,440	1,440	1,440				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		大学等修学支援事業費		枝番	1	単位事業名	若者未来応援奨学生事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費	
根拠法令等	養父市若者未来応援奨学金条例									
事業目的	対象	養父市出身の大学等進学、在学者								
	背景と目的	養父市の将来を担う人材の育成と養父市への定住を促進するため、養父市若者未来応援奨学金条例に基づき、修学意欲のある若者に対し奨学金の貸与を行うもの。								
事業内容	事業概要	<p>1 制度の主な概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等に進学、在学する学生に50,000円/月額を貸与する。（年間60万円）</li> <li>・大学等を卒業後1年以内に養父市に居住し継続して8年間居住すると奨学金の返還を免除する。</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳出】貸付金4,800千円</p> <p>継続奨学生（R2年度生1名、R3年度生1名、R4年度生1名、R5年度生1名）</p> <p>R6年度新規奨学生4名（見込み）</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		若者未来応援奨学生のUターン者数					30名	28名	24名	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	6,600	4,800	6,600	6,600	6,600					
財源内訳	一般財源	6,600	4,800	6,600	6,600					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		大学等修学支援事業費		枝番	2	単位事業名	若者キャリアアップ支援金交付事業				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号				
	施策	1-1_能力や個性を最大限発揮できる暮らし(生活)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに			8 働きがいも経済成長も			11 住み続けられるまちづくりを
実施主体	養父市			担当課	教育課						
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費		
根拠法令等	養父市若者キャリアアップ支援金交付事業実施要綱										
事業目的	対象	養父市に居住しながら就業に必要な知識や資格等取得を目指して学ぶ若者									
	背景と目的	養父市若者キャリアアップ支援金交付事業実施要綱に基づき、養父市に居住しながら就業に必要な知識や技能及び資格取得を目指して学ぶ若者に対して、その学費の一部を支援金と交付し若者の経済的負担の軽減を図り、養父市の未来を担う人材の育成及び定住促進に資することを目的とする。									
事業内容	事業概要	<p>1 制度の主な概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信制大学等の入学金、年間授業料(スクーリング費用含む)の合計額の1/2以内の額で100千円を上限に支援金を交付する。</li> <li>・市に1年以上住所を有し、申請日において満40歳未満の者</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳出】負担金補助及び交付金 200千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	200	200	200	200	200						
財源内訳	一般財源	200	200	200	200	200					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		小学校管理運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	教育課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	1	小学校管理費		
根拠法令等	教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画										
事業目的	対象	市内小学校、義務教育学校前期課程									
	背景と目的	小学校及び義務教育学校前期課程施設的良好かつ適正な維持管理と円滑な学校運営を図り、安心安全な学校教育の環境整備を行う。									
事業内容	事業概要	<p>1 小学校施設の維持管理に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員の報酬(送迎運転員)</li> <li>・学校施設維持管理のための消耗品費、修繕費、水道、電気、ガス等燃料費</li> <li>・学校施設管理のための施設、設備管理委託、検査委託費等</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳入】光熱水費等受入金他 14千円</p> <p>【歳出】(主なもの)報酬44,784千円、需用費(光熱水費、修繕料、消耗品、燃料代等)70,654千円、役務費(ゴミ持込、施設点検手数料等)4,377千円、委託料(施設設備管理、施設点検業務等)10,208千円、使用料(OA機器リース、下水道料等)6,258千円、備品購入費3,300千円、その他</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	136,144	162,210	162,210	162,210	162,210						
財源内訳	一般財源	136,130	162,196	162,196	162,196	162,196					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	14	14	14	14	14					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		小学校遠距離児童通学対策事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
	11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	養父市条例（養父市遠距離通学児童生徒の通学費等の補助に関する条例）									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校前期課程の遠距離通学者								
	背景と目的	遠距離通学（2km以遠）児童の安全・安心な登下校確保								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学（2Km以遠）の児童に対し、通学バス（路線バス、コミュニティバス）定期券の支給やスクールバスの運行を行う。</li> <li>・路線バス等の時刻表外での運行が必要な場合に臨時増発便の運行を行う。</li> <li>・夏季や冬季における、通学路の安全が確保できない場合に臨時便の運行を行う。</li> <li>・不具合等が発生しているスクールバスの更新を計画的に行う。</li> </ul> <p>【歳入】 起債 過疎債 45,400千円            【歳出】 送迎バス運転業務委託料 46,302千円            遠距離児童通学費補助金 30千円（大雪対応分）            スクールバス購入 9,679千円</p>								
	前年度からの変更点	スクールバス購入費の追加								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	52,788	56,011	56,000	47,000	47,000					
財源内訳	一般財源	14,788	10,611	56,000	47,000	47,000				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	38,000	45,400							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		小学校施設整備事業費		枝番	1	単位事業名	小学校PC整備事業			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育課	項	2	小学校費	目	3	小学校建設費	
根拠法令等	第1次養父市教育情報化計画、教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校前期課程の児童・教職員								
	背景と目的	養父市教育情報化計画を基にした計画的な教育ICT機器の整備により、ICTを活用した新しい授業の推進と児童の創造性、情報活用能力の育成及び授業の質向上を図る。								
事業内容	事業概要	<p>養父市教育情報化計画を基に教育ICT機器の計画的な整備を行う。</p> <p>【歳入】・国庫補助金 GIGAスクール運営支援センター整備事業費補助金 693千円</p> <p>【歳出】・小学校PC整備事業 43,801千円 ・教育情報システム保守管理委託料 2,079千円 ・設計・監理業務 1,890千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		特色ある学校教育の実施校の割合				50.0%	38.0%	23.0%		
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合				85.0%	82.0%	81.6%				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	16,158	47,770	0	30,600	60,600					
財源内訳	一般財源	14,458	37,077	0	30,600	60,600				
	国支出金	1,700	693							
	県支出金									
	地方債									
	その他		10,000							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		小学校施設整備事業費		枝番	2	単位事業名	学校施設等長寿命化対策事業(小学校)			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
	6	安全な水とトイレを世界中に								
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	3	小学校建設費	
根拠法令等	教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校前期課程児童、教職員								
	背景と目的	学校施設等を予防保全的な手法である長寿命化改修を進め、適正に改修や建替えを実施するとともに、教育環境の質的改善を図りながら機能回復・機能向上等の効果的で効率的な施設整備を図る。								
事業内容	事業概要	<p>【歳入】学校施設環境改善交付金 40,038千円、過疎債 98,500千円</p> <p>【歳出】138,610千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿南小 長寿命化対策事業(部位修繕) 35,100千円 設計監理委託料5,265千円、工事請負費29,835千円</li> <li>・小学校(大屋小・関宮学園・建屋小・高柳小・伊佐小) 長寿命化対策事業(防犯) 工事請負費10,010千円</li> <li>・関宮学園空調2期目 長寿命化対策事業(部位修繕) 93,500千円 監理委託料3,000千円、工事請負費90,500千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	131,200	138,610	125,200	142,900	748,800					
財源内訳	一般財源	0	72	2,400	5,100	100				
	国支出金	31,533	40,038	20,200	23,300	272,200				
	県支出金									
	地方債	86,500	98,500	102,600	114,500	476,500				
	その他	13,167								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		中学校管理運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市				担当課	教育課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	中学校管理費		
根拠法令等	教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画										
事業目的	対象	市内中学校、義務教育学校後期課程									
	背景と目的	中学校及び義務教育学校後期課程施設的良好かつ適正な維持管理と円滑な学校運営を図り、安心安全な学校教育の環境整備を行う。									
事業内容	事業概要	<p>1 中学校施設の維持管理に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設維持管理のための消耗品費、修繕費、水道、電気、ガス等燃料費</li> <li>・学校施設管理のための施設、設備管理委託、検査委託費等</li> </ul> <p>2 予算</p> <p>【歳出】(主なもの)</p> <p>報酬10,554千円、需用費(光熱水費、修繕料等)35,384千円、役務費(ゴミ持込、施設点検等)2,242千円 委託料(施設設備管理、施設点検業務)4,862千円、使用料(OA機器リース、下水道等)2,680千円 原材料費430千円、備品購入費2,860千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	63,856	65,711	65,711	65,711	65,711						
財源内訳	一般財源	63,855	65,710	65,710	65,710						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	1	1	1	1						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		中学校遠距離生徒通学対策事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに						
		11 住み続けられるまちづくりを									
実施主体	養父市				担当課	教育課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費		
根拠法令等	養父市条例(養父市遠距離通学児童生徒の通学費等の補助に関する条例)										
事業目的	対象	市内中学校及び義務教育学校後期課程の遠距離通学者									
	背景と目的	遠距離通学(2km以遠)生徒の安全・安心な登下校確保									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学(2Km以遠)の生徒(希望者)に対し、通学バス(路線バス、コミュニティバス)定期券の支給やスクールバスを運行するとともに、自転車通学を希望した生徒の保護者に対しては学校からの距離に応じて自転車通学補助金を交付する。</li> <li>・新型コロナ対策として、生徒が密になりやすい校区(関宮学園高原地区)に関しては、増便することによって、生徒の負担を軽減し、感染防止対策を図る。</li> </ul> <p>【歳入】起債 過疎債 72,400千円</p> <p>【歳出】送迎バス運行業務委託料 69,603千円</p> <p>遠距離児童・生徒通学費補助金(自転車通学、大雪対応等) 736千円</p> <p>スクールバス購入 9,679千円</p>									
	前年度からの変更点	通学バス購入費の追加									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
	学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	73,763	80,018	80,100	73,000	73,000						
財源内訳	一般財源	8,763	7,618	80,100	73,000	73,000					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債	65,000	72,400								
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		外国青年英語指導助手招致事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4 質の高い教育をみんなに			10 人や国の不平等をなくそう						
	11 住み続けられるまちづくりを										
実施主体	養父市			担当課	教育課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費		項	3	中学校費		目	2	中学校振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内小中学校及び義務教育学校児童生徒及び教職員									
	背景と目的	ALT(外国青年英語指導助手)を中学校及び義務教育学校後期課程に配置し、生徒の英語力向上と国際交流、相互理解の機会を提供する。 また、小学校でも外国語教育に触れられるようALTによる授業を行っている。建屋小学校は特認校として英語に特化した特色ある学校づくりを進めるため、専属のALTを1名配置している。									
事業内容	事業概要	<p>1 市内中学校3校及び義務教育学校後期課程に外国青年英語指導助手(ALT)を配置。また、小学校にも定期的に訪問し外国語指導の授業を行っている。そのうち建屋小学校では、小規模校活性化事業推進の一環として、英語学習に特色を持たせた学校づくりのため招致したALT1名を配置。令和6年度は定員7名の内4名継続、3名が新規任用の予定であり、報酬等経費やALTの支援を行う語学コーディネーターの謝金等の経費を計上している。</p> <p>2 予算 【歳入】教職員住宅使用料 387千円 【歳出】30,172千円 会計年度任用職員報酬27,746千円、謝金42千円、旅費2,114千円 消耗品36千円、役務費(傷害保険料等)156千円、負担金644千円、その他</p>									
	前年度からの変更点	新規招致2名→3名									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	28,951	30,172	30,172	30,172	30,172						
財源内訳	一般財源	28,564	29,785	29,785	29,785	29,785					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	387	387	387	387	387					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		中学校施設整備事業費			枝番	1	単位事業名	中学校PC整備事業		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市				担当課	教育課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費		項	3	中学校費	目	3	中学校建設費
根拠法令等	第1次養父市教育情報化計画、教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校前期課程の生徒・教職員								
	背景と目的	養父市教育情報化計画を基にした計画的な教育ICT機器の整備により、ICTを活用した新しい授業の推進と児童の創造性、情報活用能力の育成及び授業の質向上を図る。								
事業内容	事業概要	<p>養父市教育情報化計画を基に教育ICT機器の計画的な整備を行う。</p> <p><b>【歳入】</b>・元気基金 15,000千円          ・国庫補助金          GIGAスクール運営支援センター整備事業費補助金 308千円</p> <p><b>【歳出】</b>・中学校PC整備事業 30,258千円          ・教育情報システム保守管理委託料 924千円          ・設計・監理業務 826千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		特色ある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	7,326	32,008	24,500	24,500	49,500					
財源内訳	一般財源	6,526	16,700	24,500	24,500	49,500				
	国支出金	800	308							
	県支出金									
	地方債									
	その他		15,000							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		中学校施設整備事業費		枝番	2	単位事業名	学校施設等長寿命化対策事業(中学校)			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			
	6	安全な水とトイレを世界中に								
実施主体	養父市			担当課	教育課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	3	中学校建設費	
根拠法令等	教育振興法、学校教育法、養父市まちづくり計画									
事業目的	対象	市内中学校及び義務教育学校後期課程生徒、教職員								
	背景と目的	学校施設等を予防保全的な手法である長寿命化改修を進め、適正に改修や建替えを実施するとともに、教育環境の質的改善を図りながら機能回復・機能向上等の効果的で効率的な施設整備を図る。								
事業内容	事業概要	<p>【歳入】・国庫補助金 学校施設環境改善交付金 775千円 ・過疎債 24,600千円</p> <p>【歳出】25,410千円 ・大屋中 長寿命化対策事業(部位修繕:空調、LED、トイレ、給水、他)設計業務委託料 23,860千円 ・養父中 長寿命化対策事業(部位修繕:防犯)工事請負費 1,550千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	1,300	25,410	1,002,100	72,400	0					
財源内訳	一般財源	1,300	35	1,002,100	72,400	0				
	国支出金		775							
	県支出金									
	地方債		24,600							
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		社会教育委員会費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	教育課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費		
根拠法令等	社会教育法、養父市社会教育委員設置条例 ほか										
事業目的	対象	養父市社会教育委員									
	背景と目的	<p>養父市社会教育委員は養父市教育委員会が委嘱（任期2年間）し、社会教育に関して養父市教育委員会に対して助言する機関である。国の社会教育法第15条に規定する地方組織であり、養父市社会教育委員設置条例によって設置する。</p>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市社会教育委員会の開催。 社会教育施設の運営や社会教育の推進に市民の意向を反映させる。 社会教育に関して審議や諮問を行う。</li> <li>・社会教育委員に関する但馬、兵庫県、近畿及び全国の大会や研修会等に参加して委員の見識を高める。</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員報酬 428千円</li> <li>・ " 費用弁償 238千円、その他</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	707	700	700	700	700						
財源内訳	一般財源	707	700	700	700						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		社会教育活動費			枝番		単位事業名					
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号				
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）										
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%						
	個別計画											
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに									
実施主体		養父市			担当課	教育課						
会計区分		一般会計					当初補正区分	当初予算				
予算費目		款	10	教育費		項	4	社会教育費		目	1	社会教育総務費
根拠法令等												
事業目的	対象	養父市文化協会（養父市社会教育団体）等										
	背景と目的	社会教育を効率的に推進するため、関係団体等を支援する。										
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体である養父市文化協会を支援する。</li> </ul> （歳出） <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬 3,082千円</li> <li>・養父市文化協会補助金 1,100千円、その他</li> </ul>										
	前年度からの変更点											
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)			実績見込 (R5)			実績 (R4)
年次計画と財源		R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費		4,665	5,672	5,672	5,672	5,672						
財源内訳	一般財源	4,665	5,672	5,672	5,672	5,672						
	国支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他											

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		二十歳記念式典費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策										
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	8	働きがいも経済成長も				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体	養父市				担当課		教育課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費		項	4	社会教育費		目	5	青少年女性活動振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	20歳到達者（平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれ）の養父市民及び養父市出身者									
	背景と目的	<p>民法改正により成年年齢が18歳となったが、従来通り養父市として20歳の節目を祝福するとともに、二十歳としての自覚を促す機会とする。</p> <p>また、大学生など養父市外居住者に対し、ふるさと“養父市”への郷土愛を育み、養父市への回帰を促進する機会とする。</p>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年「二十歳のつどい」を挙げる。</li> <li>・対象者による実行委員会を組織し、式典の企画・運営をを行政と協働で行う。</li> <li>・市役所内の担当課と連携し、養父市へのUターンを促す機会を盛り込む。</li> <li>・ケーブルテレビの生中継で式典の様相を市民に伝え、養父市全体で祝福する。</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記念品 449千円</li> <li>・消耗品費 201千円</li> <li>・印刷製本費 80千円</li> <li>・謝金 90千円、その他</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	949	963	963	963	963						
財源内訳	一般財源	949	963	963	963						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 学校給食センター

# 実施計画書

事業名		学校給食管理運営事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう			
	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	学校給食センター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食施設費	
根拠法令等	学校給食法、養父市立学校給食センター管理運営規則等									
事業目的	対象	小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒及び保護者、教職員等								
	背景と目的	バランスの良い栄養豊かな学校給食を提供することで、成長期の児童生徒の健康の保持増進と心身の発達を支援する。給食を通して、正しい食事のあり方や望ましい食習慣の習得を図る。食物アレルギー等の個別的な対応や地産地消に取組み、家庭や学校と連携を図りながら食育を推進する。								
事業内容	事業概要	<p>○衛生管理を徹底し、安心・安全でおいしい学校給食を小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒、職員等に1日約1,800食年間約33万食を提供する。</p> <p>○季節感を大事にした献立で給食指導、食育指導、体験活動等を行い、食育推進に努める。</p> <p>○設備機器の定期点検の実施、部品交換や修繕により施設を適切に維持管理する。</p> <p>○給食費負担軽減を継続し、保護者の経済的負担軽減を図る。市負担額 25,647千円</p> <p>・基本月額給食費（年11回） 小学生4,200円、中学生4,500円、小学校教員4,400円、中学校教員4,700円</p> <p>・保護者負担月額（年11回） 第1子3,000円、第2子以降2,100円</p> <p>【歳入】給食実費徴収金 54,988千円</p> <p>【歳出】給食材料費 92,832千円</p> <p>給食食材費高騰分11,538千円①材料費高騰分13.5%②牛乳高騰分8円分いずれも生徒児童のみ</p> <p>蒸気源蓄熱槽購入 5,743千円 1基分/6基中</p> <p>食器（ご飯碗）購入 1,865千円</p> <p style="text-align: right;">会計年度任用職員報酬等 67,047千円</p>								
	前年度からの変更点	児童生徒数の減少								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	学校給食での養父市産品使用割合（精米分を除く）				30%	30%	32.10%			
年次計画と財源	R5年度（千円）	R6年度（千円）	R7年度（千円）	R8年度（千円）	R9年度（千円）					
事業費	183,605	208,144	208,144	208,144	208,144					
財源内訳	一般財源	125,530	153,156	153,156	153,156					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	58,075	54,988	54,988	54,988	54,988				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		庁用自動車管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を			5	ジェンダー平等を実現しよう				
	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市			担当課	学校給食センター						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食施設費		
根拠法令等	学校給食法、養父市立学校給食センター管理運営規則等										
事業目的	対象	小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒及び保護者、教職員等									
	背景と目的	バランスの良い栄養豊かな学校給食を提供することで、成長期の児童生徒の健康の保持増進と心身の発達を支援する。学校給食を安全に各学校に配送、回収するため、庁用自動車の維持管理を適切に行う。									
事業内容	事業概要	<p>○学校給食センターが管理する公用車の維持管理及び安全運転の管理を行う。小学校8校、中学校3校、義務教育学校1校に5台の給食配送車を活用して給食を配送、回収する。</p> <p>管理車両 配送車5台（6カ月点検、1年車検を実施） 軽自動車1台</p> <p>【歳出】 需用費 3,402千円（修繕料、燃料費等） 役務費 809千円（自動車検査手数料等） 配送車購入 11,843千円（1台分）</p>									
	前年度からの変更点	児童生徒数の減少									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	4,112	16,066	28,866	28,866	4,266						
財源内訳	一般財源	4,112	4,466	4,266	4,266						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債		11,600	24,600	24,600						
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 生涯スポーツセンター

## 実施計画書

事業名		天文館管理運営事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市				担当課	生涯スポーツセンター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	7	施設管理費		
根拠法令等	養父市条例（第106号）										
事業目的	対象	市民及び来場者									
	背景と目的	天文館で星空観察や観望会を通して宇宙や星を学ぶ。光害が少ない養父市の豊かな自然環境を実感できる機会をつくり、市民の環境に対する意識の啓発を図る。そのために、施設や機材等を常に良好な状態に保持し、市民に身近な施設として親しまれるよう管理・運営を行う。									
事業内容	事業概要	①星空観察や定期的な観望会に関すること ②施設・設備の適切な維持管理に関すること ③天文オペレーターに関すること									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	750	750	750	750	750						
財源内訳	一般財源	700	700	700	700	700					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	50	50	50	50	50					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		スポーツ振興事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を								
	4	質の高い教育をみんなに									
実施主体	養父市			担当課	生涯スポーツセンター						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	市民が仲間とともに自主的に行うスポーツや運動等の活動に支援を行う。スポーツと健康づくりの受け皿環境を維持し、健康づくりの継続性と実施率の維持・向上につなげる。養父市スポーツ協会（12競技団体）、スポーツクラブ21（18団体）の活動を支え、市民の健康づくりを推進する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自主的に行うスポーツ、健康づくりの活動に対する支援を行う。</li> <li>・養父市スポーツ協会（12競技団体）の活動支援を行う。</li> <li>・市内SC21（18団体）との協働事業と基金管理を行う。</li> </ul>									
	前年度からの変更点	サッカークリニックを廃止									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		スポーツ施設利用者数				260,000	187,519	223,220			
スポーツ大会参加者数				4,000	3,495	2,375					
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,584	1,278	1,278	1,278	1,278						
財源内訳	一般財源	1,284	1,278	1,278	1,278						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	300									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

## 実施計画書

事業名		スポーツ活動支援普及事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を								
実施主体	養父市				担当課	生涯スポーツセンター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育	目	1	保健体育総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	<p>養父市スポーツ推進委員会（23名）の活動により、市民のスポーツ振興と健康づくりの推進を図る。また、市民が安心して充実したスポーツ活動を行うことができる環境を整える。</p> <p>WMG2027関西オリエンテーリング開催に向けた機運醸成等の取り組みを行う。</p>									
事業内容	事業概要	<p>①市民のスポーツ・健康づくりの普及に関すること</p> <p>②スポーツ推進委員会に関すること</p> <p>③養父市スポーツ賞選考に関すること</p> <p>④子どもスポーツ安全保険補助制度に関すること</p> <p>⑤スポーツ・文化団体等大会出場派遣補助制度に関すること</p> <p>⑥WMG2027関西オリエンテーリング開催推進に関すること</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		スポーツ施設利用者数					260,000	187,519	223,220		
スポーツ大会参加者数					4,000	3,495	2,375				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	4,830	5,868	5,868	5,868	5,868						
財源内訳	一般財源	4,830	5,868	5,868	5,868						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		スポーツ大会開催事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を								
実施主体	養父市				担当課	生涯スポーツセンター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費		
根拠法令等											
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	市民を対象としたスポーツ事業を企画し、スポーツに関わる機会を設け、個人の健康づくりやスポーツ団体の活動を支える。									
事業内容	事業概要	<p>【イヌワシ駅伝大会】 市が主催する陸上系スポーツ大会。市内の小学生の参加割合が多く、市民のスポーツ事業として開催。</p> <p>【スーパーアスリート事業】 小中高生やスポーツ愛好家のスポーツ意欲に対する支援事業。スポーツ活動の継続につながることを目的として令和3年度より継続実施。</p> <p>【スポーツフェスティバル】 市が主催する競技別のスポーツ大会。市民を対象にし、養父市スポーツ協会に所属する各競技団体と連携して開催。</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		スポーツ施設利用者数					260,000	187,519	223,220		
スポーツ大会参加者数					4,000	3,495	2,375				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	2,782	2,847	2,847	2,847	2,847						
財源内訳	一般財源	2,580	1,720	2,847	2,847						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	202	1,127								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		全天候運動場管理運営事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	生涯スポーツセンター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	
根拠法令等	養父市条例（第19号）									
事業目的	対象	市民及び来館者								
	背景と目的	養父市のスポーツ施設の中核的施設として長期的に維持管理を行う。天候に左右されない施設の機能を活かし、子どもから高齢者まで幅広い年齢層でスポーツ、健康づくり等が楽しめる環境を維持する。また、農村生活の一コマを人形で再現した渡辺うめ人形を展示し、高齢者を中心に文化的な交流を推進する。								
事業内容	事業概要	①全天候運動場、交流会館の施設管理業務に関すること ②スポーツ・文化等利用促進事業の実施に関すること グラウンド・ゴルフ大会、ジュニア陸上スクール等定期的な事業の実施 小学生フットサル大会等スポーツ大会の実施 渡辺うめ人形展示 受変電設備更新 4,510千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		スポーツ施設利用者数					260,000	187,519	223,220	
スポーツ大会参加者数					4,000	3,495	2,375			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	143,116	26,817	16,383	16,383	16,383					
財源内訳	一般財源	1,040	4,988	16,383	16,383					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	117,800								
	その他	24,276	21,829							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		体育施設管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を							
実施主体	養父市			担当課	生涯スポーツセンター					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	
根拠法令等	養父市条例（第249、23号）									
事業目的	対象	市民及び来館者								
	背景と目的	施設の適正な維持管理により、安全安心なスポーツ環境を整える。温水プール・健康支援施設とおおやB&G海洋センター等は指定管理者による運営を行い、民間活力によるサービスの充実を図る。個別施設計画に基づく施設改修を実施する。								
事業内容	事業概要	<p>養父市都市公園と、おおやB&amp;G海洋センター等の施設維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●都市公園 ・八鹿総合体育館、テニスコート、グラウンド等は直営管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ようか温水プール、健康支援施設は指定管理 2年目/2年（第2期）</li> </ul> </li> <li>指定管理者：シンコースポーツ兵庫（株）</li> <li>●おおやB&amp;G ・指定管理 4年目/5年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者：全但バス・但南建設共同事業体</li> </ul> </li> </ul> <p>【維持修繕】ようか温水プール玄関ポーチタイル 1,212千円  受変電設備更新 5,802千円  おおや球場スコアボード 1,197千円  ようか温水プール保温用カバー 922千円</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		スポーツ施設利用者数				260,000	187,519	223,220		
スポーツ大会参加者数				4,000	3,495	2,375				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	400,608	78,016	56,175	56,175	56,175					
財源内訳	一般財源	63,083	68,472	56,175	56,175	56,175				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債	318,200								
	その他	19,325	9,544							

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

ー  
し  
ど  
も  
学  
び  
課

# 実施計画書

事業名		私学審議会運営事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
根拠法令等	養父市条例(養父市私立学校審議会条例)									
事業目的	対象	市民								
	背景と目的	構造改革特別区域法により、規制の特例措置の適用を受けた学校設置会社による学校設置事業について、調査審議するため設置する。審議会は年間2回実施する。								
事業内容	事業概要	養父市私立学校審議会に係る経費 * 審議会委員(会長1人、その他委員5人)(歳出) ・報酬 審議会委員 155千円(委員長15千円、委員12.5千円 2回分) ・謝金 アドバイザー 10千円 ・費用弁償 審議会委員(日当・旅費) 50千円 アドバイザー 10千円 ・会計年度任用職員報酬等 4,583千円								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	4,146	4,808	4,808	4,808	4,808					
財源内訳	一般財源	4,146	4,808	4,808	4,808					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		教育研修所運営事業費			枝番		単位事業名													
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号												
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)																		
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%														
	個別計画																			
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに																	
実施主体	養父市			担当課	こども学び課															
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算												
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費											
根拠法令等	「教育基本法」「教育公務員特例法」「学校教育法」「学習指導要領」																			
事業目的	対象	教職員																		
	背景と目的	<p>学校教育法及び教育公務員特例法により教職員の研修が義務づけられている。また、地方公共団体は研修の目標、研修に関する計画の指針となるべき事項その他研修に関する基本的な方針を定めることが規定されており、教育研修所がその役割を担っている。そこで、以下の目的達成のために必要な予算措置を行う。</p> <p>①市の教育方針等の策定 ②時代の要請に応じた子どもの育成と教職員の能力向上 ③新たな教育課題への対応</p>																		
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修・夏期講座…今日的な教育課題等への対応</li> <li>・各種研修・校内研修・養護教諭研修…研究推進支援</li> <li>・教科等推進部会…教科の研究推進支援</li> <li>・研究集録作成、養父市教育推進の重点の策定と検討(歳出)</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・報償費</td> <td style="text-align: right;">824千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・研修旅費</td> <td style="text-align: right;">126千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・その他消耗品費等</td> <td style="text-align: right;">521千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・公用車運転委託料</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・教材等購入費</td> <td style="text-align: right;">16千円</td> </tr> </table>									・報償費	824千円	・研修旅費	126千円	・その他消耗品費等	521千円	・公用車運転委託料	10千円	・教材等購入費	16千円
	・報償費	824千円																		
	・研修旅費	126千円																		
	・その他消耗品費等	521千円																		
・公用車運転委託料	10千円																			
・教材等購入費	16千円																			
前年度からの変更点																				
事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)												
	特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%												
	学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%												
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)															
事業費	1,900	1,497	1,497	1,497	1,497															
財源内訳	一般財源	1,900	1,497	1,497	1,497															
	国支出金																			
	県支出金																			
	地方債																			
	その他																			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		教育相談員配置事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費	
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「障害者差別解消法」									
事業目的	対象	児童生徒及び保護者・特別支援教育対象者								
	背景と目的	<p>特別な支援を要する児童生徒を対象に、通級指導や巡回教育相談を行うとともに、教職員の指導力向上を目指した研修の充実を図る。</p> <p>また、スクールソーシャルワーカーを配置し、福祉的な視点から学校の支援を行う。</p>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活支援教員による通級指導の実施</li> <li>・ 学校生活支援教員等の指導力向上を目的とした研修会への参加</li> <li>・ 県立特別支援学校コーディネーターによる巡回教育相談</li> <li>・ スクールアドバイザー及びスクールソーシャルワーカーの配置（歳入） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールソーシャルワーカー配置補助金（県） 充当率33% 931千円</li> </ul> </li> <li>（歳出） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報酬・職員手当 3,137千円</li> <li>・ 旅費 586千円</li> <li>・ 謝金 55千円</li> <li>・ その他消耗品費等 80千円</li> </ul> </li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,296	3,858	3,858	3,858	3,858					
財源内訳	一般財源	2,402	2,927	2,927	2,927					
	国支出金									
	県支出金	894	931	931	931					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		小中一貫教育強化推進事業費		枝番		単位事業名															
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号														
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）																			
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%																
	個別計画																				
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに																		
実施主体	養父市			担当課	こども学び課																
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算														
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費												
根拠法令等	「学校教育法の一部を改正する法律」「学習指導要領」																				
事業目的	対象	児童生徒及び保護者																			
	背景と目的	文部科学省指定の「小中一貫教育調査研究事業」の成果と課題を踏まえ、系統性・連続性のある9年間の教育に取り組む。関宮校区については義務教育学校の設置、他の3校区については小中一貫教育の充実により、魅力ある学校づくりに取り組む。																			
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態把握のため、養父市学力・学習状況調査の実施</li> <li>・中1ギャップの緩和に向けた「6年生登校」や小小連携に取り組む</li> <li>・デジタル教材の活用 ・土曜学習教室の実施 ・教職員指導力向上事業の実施</li> <li>・YABUスクールチャレンジ事業の実施 ・演劇ワークショップの実施</li> </ul> <p>(歳出)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・報償費</td> <td style="width: 20%;">2,276千円</td> <td style="width: 50%;">・消耗品費、備品等</td> <td style="width: 20%;">1,249千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費、委託料等</td> <td>141千円</td> <td>・使用料及び賃借料</td> <td>7,870千円</td> </tr> <tr> <td>・補償金</td> <td>114千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								・報償費	2,276千円	・消耗品費、備品等	1,249千円	・役務費、委託料等	141千円	・使用料及び賃借料	7,870千円	・補償金	114千円		
	・報償費	2,276千円	・消耗品費、備品等	1,249千円																	
	・役務費、委託料等	141千円	・使用料及び賃借料	7,870千円																	
	・補償金	114千円																			
前年度からの変更点																					
事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)													
	特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%													
	学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%													
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)																
事業費	12,793	11,650	11,650	11,650	11,650																
財源内訳	一般財源	12,793	11,620	11,650	11,650	11,650															
	国支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他		30																		

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		各種負担金			枝番	単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに						
実施主体	養父市			担当課	こども学び課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費
根拠法令等	「教育基本法」「教育公務員特例法」「学校教育法」「学習指導要領」								
事業目的	対象	定時制・通信制高校教育、特別支援教育の対象者、児童生徒及び教職員							
	背景と目的	<p>教職員が指導力の向上を図り、組織的・系統的・計画的に指導に当たることが、子どもの「生きる力」を育むことにつながる。</p> <p>小中学校校長会、教頭会等が主催する広域の教職員研修に教職員が参加し、多様で質の高い教育実践を学ぶことにより、指導力の向上を図ることができる。これら研修会を運営するための費用を一部負担することにより、間接的に子どもの学習環境が改善される。また、特別支援教育や通信制・定時制高等学校の教育振興に寄与することになり、子どもの学習権が保障される。</p>							
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信制・定時制高校の教育振興のため、運営費の一部を負担する</li> <li>・但馬地区の特別支援教育振興のため、運営費の一部を負担する</li> <li>・但馬地区小・中学校長会がそれぞれ主催する研究会の費用を一部負担する</li> <li>・但馬地区小・中学校教頭会がそれぞれ主催する研究会の費用の一部を負担する</li> <li>・但馬地区小・中学校各種研究会がそれぞれ主催する費用の一部を負担する</li> <li>・但馬中学校体育連盟が主催する大会等の費用の一部を負担する(歳出)</li> </ul> <p>・各団体負担金 1,365千円</p>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標			目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合			85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)				
事業費	1,300	1,365	1,400	1,400	1,400				
財源内訳	一般財源	1,300	1,365	1,400	1,400	1,400			
	国支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		各種委員会費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市				担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費		
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「障害者差別解消法」										
事業目的	対象	各委員会に関係する委員									
	背景と目的	関係する法や条例、規則、通知等に基づき、次の委員会を開催する。 ・学校結核対策委員会（学校保健法施行規則） ・いじめ防止対策連絡協議会（いじめ防止等対策推進条例等） ・いじめ問題調査委員会（いじめ防止等対策推進条例等） ・教育支援委員会（学校教育法施行令の一部改正について（通知）等） ・学校・警察連絡協議会、進学対策協議会等									
事業内容	事業概要	次の委員会の必要経費 ・いじめ問題調査委員会 73千円 ・学校結核対策委員会 40千円 ・いじめ防止対策連絡協議会 20千円 ・教育支援委員会 40千円 ・学校・警察連絡協議会 10千円 ・進学対策協議会 20千円 ・通学路安全対策検討会議 20千円									
	前年度からの変更点	学校・警察連絡協議会、進学対策協議会、通学路安全対策検討会議を移管									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合				85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	170	223	200	200	200						
財源内訳	一般財源	170	223	200	200						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		学校運営協議会費			枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに						
実施主体	養父市			担当課	こども学び課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	学校教育総務費
根拠法令等	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」								
事業目的	対象	児童生徒、保護者、地域住民							
	背景と目的	平成29年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、学校運営協議会の設置が努力義務化され、その役割の充実を図ることとなった。 学校運営協議会を設置し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく。							
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校及び義務教育学校に学校運営協議会を置く</li> <li>・協議会委員は、保護者、地域住民、対象学校の運営に資する活動を行う者、対象学校の校長及び教職員等とする</li> <li>・協議会は、①学校運営の基本方針を承認すること②学校運営に関する意見を述べること③教職員の任用に関する意見を述べることを主な役割とし、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む</li> </ul> <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール導入推進及び活動充実実践研究事業委託金 622千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 1,733千円 ・報償費 564千円 ・旅費 578千円 ・役務費 58千円</li> </ul>							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	3,559	2,933	3,000	3,000	3,000				
財源内訳	一般財源	3,412	2,311	2,350	2,350				
	国支出金								
	県支出金	147	622	650	650				
	地方債								
	その他								

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		児童教職員健康管理費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	1	小学校管理費	
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「学校保健安全法」									
事業目的	対象	児童及び教職員								
	背景と目的	学校保健安全法の規定により、学校の設置者は園児児童生徒及び教職員の健康診断を実施することが義務づけられている。専門医による健康診断、保健指導・教育相談により、生涯にわたって健康でたくましい心と体を維持していくための基本的な生活習慣の確立を図る。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医・学校歯科医・学校薬剤師による健康診断・就学時健診の実施と保健指導、健康相談の実施</li> <li>※検査結果により、再検査(精密検査)や保健指導等を行う</li> <li>・歯科衛生士による歯磨き指導(口腔環境の改善、基本的な生活習慣確立に向けた指導)</li> <li>・日本スポーツ振興センター負担金の支払い(歳入)</li> <li>・日本スポーツ振興センター保護者納付金(その他)426千円(歳出)</li> <li>・医師報償費 6,489千円</li> <li>・健康診断委託料 1,906千円</li> <li>・その他消耗品費等 1,633千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	10,487	10,028	10,000	10,000	10,000					
財源内訳	一般財源	10,061	9,602	9,600	9,600	9,600				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	426	426	400	400	400				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		小学校教育振興事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」「学校教育法」「学習指導要領」									
事業目的	対象	児童及び教職員								
	背景と目的	<p>学校の設置者は学校の管理義務及び経費を負担する義務を負う(学校教育法)したがって、「学習指導要領」に規定される教育内容を推進するために必要な予算措置を適切に行い、教育課程が円滑に推進されるよう指導しなければならない。</p> <p>そこで、児童が学習するために必要な教材・消耗品、指導に必要な教具・教材備品等の整備を計画的に行うとともに、豊かな心と確かな学力育成に向け、学校図書館やICT環境の整備を行う。さらに、社会見学や交流体験活動等の際のマイクロバス運行支援を行う。</p>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材備品、図書等の整備</li> <li>・ICT環境整備</li> <li>・社会見学及び特別支援学級交流のためのマイクロバス委託料・燃料代</li> <li>・県事業(放課後における補充学習等推進事業)の実施</li> <li>・スクール・サポート・スタッフの配置</li> <li>・やぶ・ふるさとキャリア教育(山の学校を含む)の実施</li> <li>・国庫補助事業による理科教育設備備品の購入(歳入)</li> <li>・理科教育設備整備費等補助金(国) 充当率50% 900千円</li> <li>・教育支援体制整備事業費補助金 2,031千円</li> <li>・放課後における補充学習等推進事業委託金(県) 683千円</li> <li>・国語科の授業改善事業委託金 120千円(歳出)</li> <li>・報酬、職員手当 6,745千円</li> <li>・報償費、旅費 2,789千円</li> <li>・役務費、委託料、使用料 1,853千円</li> <li>・備品購入費 5,500千円</li> <li>・消耗品費等 32,642千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	教科書改訂に伴う指導書及び教師用教科書の購入 学校保健特別対策事業費補助金の廃止								
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		特色のある学校教育の実施校の割合				50.0%	38.0%	23.0%		
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合				85.0%	82.0%	81.6%				
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	24,124	49,529	24,000	24,000	24,000					
財源内訳	一般財源	19,599	45,795	20,300	20,300					
	国支出金	900	900	900	900					
	県支出金	3,625	2,834	2,800	2,800					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		要保護・準要保護児童就学援助費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」「就学奨励法」									
事業目的	対象	市内準要保護認定世帯								
	背景と目的	経済的理由により、生活が不安定な児童の保護者に対し、給食費等就学に必要な経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な推進に資する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本制度について各学校等を通じて周知を図る</li> <li>・学校を通じて申請を受け付ける</li> <li>・申請に基づき、教育委員会において審査し可否の決定を行う</li> <li>・就学援助費を支給する 支給項目：給食費、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費等</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護準要保護児童援助費 3,394千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点	申請にあたり、民生・児童委員の意見を省略した。								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
	学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合				85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	3,957	3,394	3,400	3,400	3,400					
財源内訳	一般財源	3,957	3,394	3,400	3,400					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		特別支援教育就学援助費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4 質の高い教育をみんなに			10 人や国の不平等をなくそう					
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校前期課程特別支援学級に在籍している児童の保護者								
	背景と目的	特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、給食費等就学に必要な経費の一部を援助し、児童の適正な就学を図る。(定められた額の1/2を支給。)								
事業内容	事業概要	<p>給食費、学用品費、新入学用品費、修学旅行費等を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図る (要保護・準要保護就学奨励費を受けている児童の保護者は除く) (歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育就学奨励費補助金(国) 充当率50% 479千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育就学援助費 960千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		特別な支援を要する子どもの個別支援計画の作成					100.0%	100.0%	100.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	967	960	1,000	1,000	1,000					
財源内訳	一般財源	484	481	500	500	500				
	国支出金	483	479	500	500	500				
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		小学校自然学校推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」「ひょうご教育創造プラン」									
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校5年生児童								
	背景と目的	現代の子どもは自然や社会の中で体験する機会が不足しており、また自他を大切にすることに欠けている部分がある。そのため、5年生の児童に自然や社会の中で4泊5日の宿泊体験活動を行わせ、達成感や充実感を味わい主体性や自発性、思いやりの心等「生きる力」の基礎をはぐくむ。								
事業内容	事業概要	<p>養父大屋及び八鹿関宮の2連合に分かれ、連合ごとに4泊5日の自然学校を実施する。 (歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学校推進事業費交付金（県）定額 1,661千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費、旅費 368千円</li> <li>・役務費、委託料 326千円</li> <li>・使用料 2,136千円</li> <li>・消耗品費等 998千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,056	3,828	3,800	3,800	3,800					
財源内訳	一般財源	2,395	2,167	2,139	2,139					
	国支出金									
	県支出金	1,661	1,661	1,661	1,661					
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		環境体験事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市				担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費		項	2	小学校費		目	2	小学校教育振興費
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「学校学習指導要領」「ひょうご教育創造プラン」										
事業目的	対象	市内小学校及び義務教育学校3年生									
	背景と目的	山や川、田畑をフィールドに自然とかかわる直接体験を通して、命の営みや命のつながり、さらに命の大切さを五感で実感させる活動を展開する。 実施にあたっては、各学校ごとに里山・田畑・水辺・地域の自然の4つのフィールドから1～2選り、保護者や地域の人に講師を依頼するなどして環境を守るための体験学習を行い、子どもたちの豊かな感性を培う。									
事業内容	事業概要	3年生を対象に自然との直接体験を推進する。市内9校で実施  (歳入) ・環境体験事業交付金(県)定額 729千円 (歳出) ・報償費 296千円 ・委託料 195千円 ・使用料 26千円 ・消耗品費等 385千円									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		特色のある学校教育の実施校の割合				50.0%	38.0%	23.0%			
小学校で「農」を学ぶ(体験する)児童の割合				85.0%	82.0%	80.5%					
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	934	902	900	900	900						
財源内訳	一般財源	174	173	171	171						
	国支出金										
	県支出金	760	729	729	729						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		小規模校・地域活性化事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	小学校教育振興費	
根拠法令等	「通学区域の弾力化に関する通知」									
事業目的	対象	児童								
	背景と目的	建屋小学校の存続と建屋・三谷地域の活性化を図るため、「小規模特認校」制度を導入し一定の児童数を確保し世界につながる教育を推進するとともに、地域との連携・協働の取組を充実させ、「地域とともにある学校、学校を核とした地域」づくりの充実に資する。								
事業内容	事業概要	<p>英語教育の推進、専門家を招聘した質の高い教育活動、地域と連携・協働した教育活動等、小規模校だからできる特別の教育活動を展開することにより、従来の通学区域外からの就学を促し、児童数50人程度の維持をめざした取組を推進する。また、地域の活性化に向けた特色ある活動を展開する。</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師等謝金 900千円</li> <li>・ 海外交流旅費補助 2,700千円</li> <li>・ 運転業務委託料 2,277千円</li> <li>・ その他、消耗品費等 771千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	4,969	6,648	6,700	6,700	6,700					
財源内訳	一般財源	4,969	6,648	6,700	6,700					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		生徒教職員健康管理費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	中学校管理費	
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「学校保健安全法」									
事業目的	対象	生徒及び教職員								
	背景と目的	<p>学校保健安全法の規定により、学校の設置者は園児児童生徒及び教職員の健康診断を実施することが義務づけられている。</p> <p>専門医による健康診断、保健指導・教育相談により、生涯にわたって健康でたくましい心と体を維持していくための基本的な生活習慣の確立を図る。</p>								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医・学校歯科医・学校薬剤師による健康診断の実施と保健指導、健康相談の実施</li> <li>※検査結果により、再検査(精密検査)や保健指導等を行う</li> <li>・歯科衛生士による歯磨き指導(口腔環境の改善、基本的な生活習慣確立に向けた指導)</li> <li>・思春期ふれあい体験教室の実施</li> </ul> <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本スポーツ振興センター保護者納付金(その他) 218千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師報償費 3,134千円</li> <li>・健康診断委託料 1,073千円</li> <li>・その他消耗品費等 1,063千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	5,389	5,270	5,300	5,300	5,300					
財源内訳	一般財源	5,149	5,052	5,100	5,100					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	240	218	200	200					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		中学校教育振興事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	こども学び課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費		
根拠法令等	「教育基本法」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」「学校教育法」「学習指導要領」										
事業目的	対象	生徒及び教職員									
	背景と目的	生徒が学習するために必要な教材・消耗品、指導に必要な教具・教材備品等の整備を計画的に行うとともに、豊かな心と確かな学力育成に向け、学校図書館やICT環境の整備を行う。さらに、やぶ・ふるさとキャリア教育、特別支援学級交流事業等の際のマイクロバス運行支援を行う。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級交流のためのマイクロバス委託料・燃料代の補助</li> <li>・わくわくオーケストラ事業等に関するバス借上料の支給</li> <li>・国庫補助事業による理科教育設備備品の購入 ・不登校支援員の配置</li> <li>・スクール・サポート・スタッフの配置 ・やぶ・ふるさとキャリア教育の実施</li> </ul> <p>(歳入) ・理科教育設備整備費等補助金(国) 充当率50% 600千円          ・わくわくオーケストラ事業費補助金(県) 充当率1/3 300千円          ・教育支援体制整備事業費補助金 903千円          ・不登校児童生徒支援員配置事業補助金(県) 2,100千円</p> <p>(歳出) ・報酬、費用弁償 3,240千円 ・謝金等報償費 4,774千円          ・公用車運転業務委託料 406千円 ・使用料等 1,246千円          ・備品購入費 3,790千円 ・その他消耗品費等 2,005千円</p>									
	前年度からの変更点	学校保健特別対策事業費補助金の廃止									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)			
		特色のある学校教育の実施校の割合				50.0%	38.0%	23.0%			
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合				85.0%	82.0%	81.6%					
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	12,918	15,461	15,500	15,500	15,500						
財源内訳	一般財源	10,784	11,558	11,600	11,600						
	国支出金	600	600	600	600						
	県支出金	1,534	3,303	3,300	3,300						
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		要保護・準要保護生徒就学援助費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	1 貧困をなくそう			4 質の高い教育をみんなに					
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」「就学奨励法」									
事業目的	対象	市内準要保護認定世帯								
	背景と目的	経済的理由により、生活が不安定な生徒の保護者に対し、給食費等就学に必要な経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な推進に資する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本制度について各学校等を通じて周知を図る</li> <li>・学校を通じて申請を受け付ける</li> <li>・申請に基づき、教育委員会において審査し可否の決定を行う</li> <li>・就学援助費を支給する 支給項目：給食費、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、部活動に係る経費等</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護準要保護児童援助費 5,100千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	5,899	5,100	5,100	5,100	5,100					
財源内訳	一般財源	5,899	5,100	5,100	5,100					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

## 実施計画書

事業名		トライやる・ウィーク推進事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに							
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費	
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「中学校学習指導要領」「ひょうご教育創造プラン」									
事業目的	対象	市内中学校2年生及び義務教育学校8年生								
	背景と目的	少子化・情報化等激しく変化する社会は、子どもたちから人を思いやる心や最後まで粘り強くやり通す力を奪っている。そこで、中学校2年生及び義務教育学校8年生に地域や職場の中で様々な体験活動を実施し、この取組を通して生徒の個性を伸ばし、社会で自立していくための人間形成をめざすキャリア教育の充実をめざす。								
事業内容	事業概要	<p>各学校ごとに推進協議会を開催し、推進体制を確立するなど活動計画を立て、事業を実施する(特別な配慮を要する生徒、不登校生徒の受入について配慮)</p> <p>事業終了後、推進委員会を行い、活動の成果と課題をまとめ次年度の事業実施に生かす(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トライやる・ウィーク事業費交付金(県)定額 900千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通旅費 90千円</li> <li>・傷害保険料 140千円</li> <li>・その他消耗品費等 1,458千円</li> <li>・実費弁償 30千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)	
		特色のある学校教育の実施校の割合					50.0%	38.0%	23.0%	
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%			
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	1,698	1,718	1,700	1,700	1,700					
財源内訳	一般財源	798	818	800	800	800				
	国支出金									
	県支出金	900	900	900	900	900				
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		特別支援教育就学援助費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4 質の高い教育をみんなに			10 人や国の不平等をなくそう						
実施主体	養父市			担当課	こども学び課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費		
根拠法令等	「教育基本法」「ひょうご教育創造プラン」										
事業目的	対象	市内中学校及び義務教育学校後期課程特別支援学級に在籍している生徒の保護者									
	背景と目的	特別支援学級に在籍している生徒の保護者に対し、給食費等就学に必要な経費の一部を援助し、生徒の適正な就学を図る。（定められた額の1/2を支給。）									
事業内容	事業概要	<p>給食費、学用品費、新入学用品費、修学旅行費等を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図る （要保護・準要保護就学奨励費を受けている生徒の保護者は除く）</p> <p>（歳入） ・特別支援教育就学奨励費補助金（国） 充当率50% 547千円</p> <p>（歳出） ・特別支援教育就学援助費 1,095千円</p>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
		特別な支援を要する子どもの個別支援計画の作成					100.0%	100.0%	100.0%		
学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%				
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	912	1,095	1,000	1,000	1,000						
財源内訳	一般財源	457	548	500	500						
	国支出金	455	547	500	500						
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		部活動推進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	こども学び課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	中学校教育振興費		
根拠法令等	「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」										
事業目的	対象	生徒									
	背景と目的	<p>部活動は、生徒指導の充実という観点からも、生涯スポーツ推進や文化活動に親しむ態度の育成という観点からも大きな役割を担っている。</p> <p>本事業では、部活動を円滑に進めるための備品や消耗品の購入、公式試合・大会等への参加費用支援を行い、部活動の振興を図る。これにより、心豊かでたくましい身体をもつ子どもを育成することができる。部活動の地域移行に向けた環境の一体的な整備を図る。</p>									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動推進のために必要な備品や消耗品の整備、備品の修繕を行う</li> <li>・総体、新人戦等公式な大会(但馬大会、県大会、全国大会)出場時の移動費用の一部(1割保護者負担)を補助する</li> <li>・県大会・全国大会出場時の宿泊料の一部(上限6,000円)を補助する</li> <li>・部活動の地域移行に向けた整備</li> </ul> <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動保護者負担金(その他) 380千円</li> <li>・中学校部活動指導員配置事業費補助金 1,066千円</li> <li>・地域クラブ活動への移行に向けた実証事業委託金 1,270千円</li> <li>・元気基金(その他) 1,735千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員報酬、費用弁償 1,750千円</li> <li>・バス等借上料 3,000千円</li> <li>・公用車等運転業務委託料 800千円</li> <li>・使用料等 405千円</li> <li>・備品購入費 780千円</li> <li>・消耗品費等 1,350千円</li> <li>・部活動推進補助金 3,305千円</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
		学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合					85.0%	82.0%	81.6%		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)						
事業費	11,542	11,390	11,400	11,400	11,400						
財源内訳	一般財源	9,380	6,939	7,000	7,000						
	国支出金										
	県支出金	1,792	2,336	2,300	2,300						
	地方債										
	その他	370	2,115	2,100	2,100						

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		青少年女性活動振興事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境(教育)								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	4	質の高い教育をみんなに			5	ジェンダー平等を実現しよう			
	10	人や国の不平等をなくそう			11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体	養父市			担当課	こども学び課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	5	青少年女性活動振興費	
根拠法令等										
事業目的	対象	青少年健全育成関係団体(P T A、子ども会、子育て支援協力隊)								
	背景と目的	人間関係の希薄化や少子化、核家族化が進む中であって、次代を担う青少年が健全に育つ環境づくりを進めるために、地域や関係団体と連携して体験活動等を行う。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の活動支援。 養父市P T A連絡協議会、養父市子ども会育成連絡協議会、養父市子育て支援協力隊</li> <li>(歳入)</li> <li>・小学校グラウンド夜間照明等使用料 336千円</li> <li>(歳出)</li> <li>・報償費 480千円</li> <li>・補助金 425千円(市子連協100千円、市P T A 325千円)</li> <li>・委託料 50千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標(R6)	実績見込(R5)	実績(R4)		
年次計画と財源	R5年度(千円)	R6年度(千円)	R7年度(千円)	R8年度(千円)	R9年度(千円)					
事業費	1,196	955	1,000	1,000	1,000					
財源内訳	一般財源	966	619	664	664	664				
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	230	336	336	336	336				

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある(次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		学校・家庭・地域の連携協力推進事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号	
	施策								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに						
実施主体	養父市			担当課	こども学び課				
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算	
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	5	青少年女性活動振興費
根拠法令等									
事業目的	対象	児童生徒							
	背景と目的	子どもたちが複数人で遊ぶことが減り、社会性を育む機会が減少している。安全・安心な子どもの居場所を設け、勉強やレクリエーション、文化活動などを行う「養父市放課後子ども教室」を実施し、地域と学校が連携・協働する体制を構築する。							
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校で「放課後子ども教室」を実施。（関宮学園前期課程は社協が実施。）</li> <li>・小学校や自治協議会と連携し、子どもたちに体験活動の場を提供する。</li> <li>・地域コーディネーターを1名配置し、企画・運営・活動の取りまとめ等を行う。</li> <li>・各学校が実施した地域学校協働活動事業の内容をまとめ、各学校へ情報提供する。</li> <li>・兵庫県が推進する「子どもの冒険ひろば事業」（市社協実施）を支援する。</li> </ul> (歳入) ・学校・家庭・地域の連携協力推進事業補助金（県）補助率2/3 920千円 ・放課後こども教室参加者保険料 120千円 (歳出) ・指導者謝金 880千円 ・消耗品費 500千円 ・傷害保険料等132千円 ・事業委託料等 507千円							
	前年度からの変更点								
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)				
事業費	3,824	2,019	2,000	2,000	2,000				
財源内訳	一般財源	2,944	979	960	960	960			
	国支出金								
	県支出金	760	920	920	920	920			
	地方債								
	その他	120	120	120	120	120			

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 歷史文化財課

# 実施計画書

事業名		文化財審議会委員会費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
根拠法令等	文化財保護法、養父市文化財保護条例									
事業目的	対象	養父市文化財保護審議会								
	背景と目的	養父市文化財保護審議会委員は養父市教育委員会が委嘱する。養父市の文化財の保存及び活用に関し、教育委員会に対して意見具申を行う。国の文化財保護法第190条第1項に規定する地方組織であり、養父市文化財保護条例によって設置する。国の文化財保護体系の基礎組織である。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市文化財保護審議会の開催</li> <li>養父市の文化財の保存及び活用に関する事項について審議する。</li> <li>新たな養父市指定文化財の候補物件について審議し、市教育委員会に答申する。</li> <li>養父市にある文化財を保護し、養父市の歴史や伝統を受け継ぐために助言・指導する。</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 120千円</li> <li>・費用弁償 48千円</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)	
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	168	168	168	168	168					
財源内訳	一般財源	168	168	168	168					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		文化財保護事務費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11 住み続けられるまちづくりを			15 陸の豊かさを守ろう						
実施主体	養父市				担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費		
根拠法令等	文化財保護法、養父市文化財保護条例										
事業目的	対象	市内にある文化財、文化財の所有者、市民									
	背景と目的	<p>養父市には、国・県・市の指定文化財等が合計167件ある。こうした文化財の調査・保護・修復支援を行うとともに保護団体等と連携して文化財の保護と活用を進める。城跡・古墳・木造建造物・天然記念物・古文書・伝統芸能といった様々な文化財があり、専門的に文化財を取り扱い保護と指導を進める。</p>									
事業内容	事業概要	<p>文化財保護行政を推進するための総務事業費である。文化財行政全般の事務処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市が所有する指定文化財の保護管理・修復・調査を実施する。</li> <li>・養父市にある指定文化財の保護管理・修復・調査を指導し、支援する。</li> <li>・養父市内にある文化財の保護団体や伝統芸能の継承団体の活動を支援する。</li> <li>・養父市民に対して文化財の顕彰、文化財情報の提供を行う。</li> </ul> <p>(歳入) ・公共施設等整備基金繰入金 25,000千円          ・町史等販売代金 130千円          (歳出) ・印刷製本費 605千円 ・修繕料 721千円          ・委託料 23,659千円 (文化財管理等1,659千円、作成業務等22,000千円)          ・備品購入費 3,250千円 ・文化財保護等補助金 900千円 など</p>									
	前年度からの変更点	関宮地域局分館1階文化財展示室の展示作成業務等の実施									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)		実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	12,684	30,887	10,821	5,887	5,887						
財源内訳	一般財源	12,554	5,757	10,691	5,757	5,757					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	130	25,130	130	130	130					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		文化財調査保護事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市				担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費		項	4	社会教育費		目	6	文化財保護費
根拠法令等	文化財保護法、養父市文化財保護条例										
事業目的	対象	史跡八木城跡、大杉重要伝統的建造物群保存地区									
	背景と目的	史跡八木城跡殿屋敷地区の整備、大杉重要伝統的建造物群保存地区の景観整備などに伴う総務的経費である。国指定文化財の保存修理を推進する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財の修理に伴う総務的経費である。</li> <li>・国指定文化財の保存修理、史跡整備を推進するため、大学教員などの専門家や地域代表者等による委員会を設置し、事業の内容を検討する。</li> </ul> (歳出) ・委員等報酬 273千円 ・費用弁償 158千円 など									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	493	493	493	493	493						
財源内訳	一般財源	493	493	493	493	493					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある (次年度以降の予算を担保するものではない)

# 実施計画書

事業名		埋蔵文化財調査事業費			枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号		
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算		
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
根拠法令等	文化財保護法、養父市文化財保護条例									
事業目的	対象	埋蔵文化財、文化財								
	背景と目的	市内にある1,478箇所埋蔵文化財包蔵地（遺跡や古墳等）について、道路・住宅などの開発工事を行う時は、文化財保護法に基づいて埋蔵文化財包蔵地における土木工事の届出が義務付けられている。養父市内の公共工事、民間の開発工事に伴い埋蔵文化財の確認を行う。また市内の文化財の調査や保護を実施する。								
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財行政を実施するための総務事業費である。</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地における開発工事に対する指導や助言を行い、必要な場合は埋蔵文化財調査を実施する。</li> <li>・発掘調査の出土品を整理し、調査資料の管理を行う。県指定の古墳調査を実施する。</li> </ul> <p>（歳出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬等 7,454千円</li> <li>・消耗品費 76千円</li> <li>・委託料 945千円（シルバー委託料465千円、測量委託料480千円）</li> <li>など</li> </ul>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	7,276	8,569	8,569	8,569	8,569					
財源内訳	一般財源	7,276	8,569	8,569	8,569					
	国支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		伝統的建造物群整備事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう				
実施主体	養父市				担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費		項	4	社会教育費		目	6	文化財保護費
根拠法令等	文化財保護法、養父市伝統的建造物群保存地区保存条例、養父市文化財保護条例										
事業目的	対象	養父市大屋町大杉伝統的建造物群保存地区									
	背景と目的	平成29年に大杉地区が国選定の重要伝統的建造物群保存地区となった。これに伴い、三階建養蚕農家住宅を特徴とする国選定の保存地区として、伝統的建造物及び集落景観の保存活用を推進する。養父市の景観の魅力を国や県と連携して全国に広める。このため平成30年度から整備事業を実施している。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大杉地区の伝統的建造物の保存修理を支援するなど景観整備を推進する。</li> <li>・平成30年度から9件の修理及び修景事業を支援した。</li> </ul> <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重伝建地区保存整備費補助金（国：65/100） 8,190千円</li> <li>・重伝建地区保存整備費補助金（県：17.5/100） 2,205千円</li> </ul> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 2,070千円</li> <li>・工事請負費 12,211千円</li> <li>・文化財整備等補助金 200千円 など</li> </ul>									
	前年度からの変更点	市の直接事業として、市が所有する伝統的建造物1棟を修理									
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	6,432	14,685	9,900	6,200	6,200						
財源内訳	一般財源	1,749	4,290	9,900	6,200	6,200					
	国支出金	3,690	8,190								
	県支出金	993	2,205								
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		史跡八木城跡整備事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）								
	10年後の数値目標①	転入者数 630人		10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	歴史文化財課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
根拠法令等	文化財保護法、養父市文化財保護条例									
事業目的	対象	国指定文化財八木城跡								
	背景と目的	<p>史跡八木城跡整備基本計画に基づいて殿屋敷地区（八木城主館）の約1万㎡を整備し、城下町や八木城跡と一体的に歴史公園として活用する。また、八木城跡の石垣の応急的な崩落防止対策を検討する。国道9号線沿いに位置することから、駐車場などのインフラ整備を実施し、八木城跡の活用を進める。養父市の歴史を通して観光交流を推進する。</p>								
事業内容	事業概要	<p>・殿屋敷地区（八木城主館）約1万㎡を歴史公園として整備する。令和6年度は、堀東部の約1,200㎡について整備を計画する。既整備分を含めると全体で約9,300㎡を整備する。</p> <p>（歳入）・文化財保存整備費補助金（国） 7,500千円          ・文化財保存整備費補助金（県） 3,750千円          （歳出）・設計業務等委託料 2,559千円          ・工事請負費 17,620千円 など</p>								
	前年度からの変更点									
	事業の数値目標	指標			目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)					
事業費	29,016	20,359	28,000	15,000						
財源内訳	一般財源	18,366	9,109	28,000	15,000					
	国支出金	7,100	7,500							
	県支出金	3,550	3,750							
	地方債									
	その他									

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		広域連携推進事業費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-3_学びがあふれる教育環境（教育）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	歴史文化財課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費		
根拠法令等											
事業目的	対象	嚶鳴協議会、鉾石の道推進協議会									
	背景と目的	ふるさとの先人をまちづくりに生かすことを目的に設置された全国12市町による嚶鳴協議会や鉾山遺産を広く県内外にPRする兵庫県・養父市・朝来市等の官民が一緒になった日本遺産・鉾石の道推進協議会などに参画し、ふるさとの誇りを育て交流人口の増加に取り組む。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嚶鳴協議会に参画し、池田草庵などのふるさとの先人をまちづくりに生かす。</li> <li>・日本遺産・鉾石の道推進協議会に参画し、明延鉾山や中瀬鉾山などの産業遺産の活用を通じて交流や活性化を推進する。</li> <li>・鉾石の道推進協議会では鉾山遺産の魅力を広くPRするため、専用のホームページの運営、パンフレット等の作成と配付、関連イベントに対する補助や展示などを行う。</li> <li>・各協議会に対する負担金及び会議や研修会等に参加して交流を図る。</li> </ul> (歳出) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉾石の道推進協議会負担金 1,250千円</li> <li>・旅費（嚶鳴フォーラム等） 344千円 等</li> </ul>									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標					目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)		
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	1,829	1,757	1,757	1,757	1,757						
財源内訳	一般財源	1,829	1,757	1,757	1,757						
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）

# 実施計画書

事業名		記念館管理費			枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち						ページ番号			
	施策	1-4_心を豊かにする文化芸術（教養）									
	10年後の数値目標①	転入者数 630人			10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画										
	横断的行動指針 (SDGs)	4	質の高い教育をみんなに								
実施主体	養父市			担当課	歴史文化財課						
会計区分	一般会計						当初補正区分	当初予算			
予算費目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	7	施設管理費		
根拠法令等	養父市立大庄屋記念館（旧長島家住宅）設置及び管理条例、 養父市立青谿書院記念館設置及び管理条例 ほか										
事業目的	対象	大庄屋記念館、青谿書院記念館、山田風太郎記念館、上垣守国養蚕記念館及び大屋かいこの里									
	背景と目的	大庄屋記念館、青谿書院記念館、山田風太郎記念館、上垣守国養蚕記念館及び大屋かいこの里の維持管理・運営を行い、資料を一般公開して後世に伝える。養父市の先人を顕彰するとともにふるさとへの愛着を育成し、養父市への来訪者の増加に寄与する。									
事業内容	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理施設として、上垣守国養蚕記念館及びかいこの里（3年目）、山田風太郎記念館（2年目）の管理運営を実施する。</li> <li>・直営施設として、大庄屋記念館及び青谿書院を管理運営する。</li> <li>・青谿書院駐車場等の設計業務を行う。</li> </ul> （歳入）・公共施設等整備基金繰入金 14,000千円 ・大庄屋記念館使用料 10千円 （歳出）・修繕料 210千円 ・委託料 7,530千円 （施設管理1,187千円、指定管理5,843千円、青谿書院整備設計業務500千円） ・工事請負費 13,500千円 など									
	前年度からの変更点										
	事業の数値目標	指標				目標 (R6)	実績見込 (R5)	実績 (R4)			
年次計画と財源	R5年度 (千円)	R6年度 (千円)	R7年度 (千円)	R8年度 (千円)	R9年度 (千円)						
事業費	60,390	21,758	7,758	7,758	7,758						
財源内訳	一般財源	5,380	7,748	7,748	7,748	7,748					
	国支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	55,010	14,010	10	10	10					

注) 次年度以降の見込み額は各年度の予算編成において変更がある（次年度以降の予算を担保するものではない）